

文学部専門科目

日本語日本文学科

(授業科目名五十音順)

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	池田 彩音		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          大学で学ぶための技法を習得し、それらを用いて、問題を解明したり論述をまとめたりする、思考力、表現能力を育成する。</p> <p>[ 授業概要 ]          まず、大学で学ぶことの意義を理解する。次に、与えられた課題の解明にグループで取り組む。それぞれの意見を表明するために、文献資料やデータを収集し、分析し解釈をまとめ、発表する。後半は、そこで習得した問題設定の仕方・資料の収集・解釈の方法などを用い、課題に対して一人ひとりがレポートをまとめる。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          各回、予習復習合わせて2時間程度。          板書を書き写すのではなく、自分で工夫してノートを作成し、そのノートを読んで授業内容を理解し、次回の授業に備えておく。          日頃から日本語、日本文学の話題に関心を持つ。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに—大学で学ぶとは</li> <li>2. ノートをとる 辞書で調べる</li> <li>3. 図書館を利用する</li> <li>4. グループ研究1—課題を検討する</li> <li>5. グループ研究2—資料・データを収集する</li> <li>6. グループ研究3—レジュメを作成する</li> <li>7. グループ研究4—発表</li> <li>8. 課題文・レポートを書く</li> <li>9. 文を読み、要旨をまとめる</li> <li>10. テキストを読み解く</li> <li>11. テキストから問題点を発見する</li> <li>12. 資料・データの収集 論文の構成</li> <li>13. 解釈をまとめる</li> </ol>			

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	池田 彩音		

[ 成績評価方法 ]

発表・質疑応答等(40%)、課題文を要約した文章(10%)、3000字程度のレポート(50%)を総合して判定する。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

レポート等は、後日添削して返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

[ 教科書(ISBN) ]

なし、大学から配付する『レポート執筆の基礎』を使用することがある。

[ 参考書(ISBN) ]

適宜紹介する。

S20040 [ LJH1-005 ]

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	井上 勝志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

大学で学ぶための技法を習得し、それらを用いて、問題を解明したり論述をまとめたりする、思考力、表現能力を育成する。

[授業概要]

まず、大学で学ぶことの意義を理解する。次に、与えられた課題の解明にグループで取り組む。それぞれの意見を表明するために、文献資料やデータを収集し、分析し解釈をまとめ、発表する。後半は、そこで習得した問題設定の仕方・資料の収集・解釈の方法などを用い、課題に対して一人ひとりがレポートをまとめる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度。

板書を書き写すのではなく、自分で工夫してノートを作成し、そのノートを読んで授業内容を理解し、次回の授業に備えておく。

日頃から日本語、日本文学の話題に関心を持つ。

教員から特段の指示がない場合でも、自発的に授業内容の予習復習を行うようにする。

[授業計画]

1. はじめに—大学で学ぶとは
2. ノートをとる 辞書で調べる
3. 図書館を利用する
4. グループ研究1—課題を検討する
5. グループ研究2—資料・データを収集する
6. グループ研究3—レジュメを作成する
7. グループ研究4—発表
8. 課題文・レポートを書く
9. 文を読み、要旨をまとめる
10. テキストを読み解く
11. テキストから問題点を発見する
12. 資料・データの収集 論文の構成
13. 解釈をまとめる

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	井上 勝志		

[ 成績評価方法 ]

発表・質疑応答等(40%)、課題文を要約した文章(10%)、3000字程度のレポート(50%)を総合して判定する。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

レポート等は、後日添削して返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

[ 教科書(ISBN) ]

なし、大学から配付する『レポート執筆の基礎』を使用することがある。

[ 参考書(ISBN) ]

適宜紹介する。

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	安原 順子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          大学で学ぶための技法を習得し、それらを用いて、問題を解明したり論述をまとめたりする、思考力、表現能力を育成する。</p> <p>[授業概要]          まず、大学で学ぶことの意義を理解する。次に、与えられた課題の解明にグループで取り組む。それぞれの意見を表明するために、文献資料やデータを収集し、分析し解釈をまとめ、発表する。後半は、そこで習得した問題設定の仕方・資料の収集・解釈の方法などを用い、課題に対して一人ひとりがレポートをまとめる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          各回、予習復習合わせて2時間程度。          板書を書き写すのではなく、自分で工夫してノートを作成し、そのノートを読んで授業内容を理解し、次回の授業に備えておく。          日頃から日本語、日本文学の話題に関心を持つ。</p> <p>[授業計画]          1. はじめに—大学で学ぶとは          2. ノートをとる 辞書で調べる          3. 図書館を利用する          4. グループ研究1—課題を検討する          5. グループ研究2—資料・データを収集する          6. グループ研究3—レジュメを作成する          7. グループ研究4—発表          8. 課題文・レポートを書く          9. 文を読み、要旨をまとめる          10. テキストを読み解く          11. テキストから問題点を発見する          12. 資料・データの収集 論文の構成          13. 解釈をまとめる</p>			

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	安原 順子		

[ 成績評価方法 ]

発表・質疑応答等(40%)、課題文を要約した文章(10%)、3000字程度のレポート(50%)を総合して判定する。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

レポート等は、後日添削して返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章)、レポート

[ 教科書(ISBN) ]

なし、大学から配付する『レポート執筆の基礎』を使用することがある。

[ 参考書(ISBN) ]

適宜紹介する。

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	永渕 朋枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          大学で学ぶための技法を習得し、それらを用いて、問題を解明したり論述をまとめたりする、思考力、表現能力を育成する。</p> <p>[授業概要]          まず、大学で学ぶことの意義を理解する。次に、与えられた課題の解明にグループで取り組む。それぞれの意見を表明するために、文献資料やデータを収集し、分析し解釈をまとめ、発表する。後半は、そこで習得した問題設定の仕方・資料の収集・解釈の方法などを用い、課題に対して一人ひとりがレポートをまとめる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          各回、予習復習合わせて2時間程度。          板書を書き写すのではなく、自分で工夫してノートを作成し、そのノートを読んで授業内容を理解し、次回の授業に備えておく。          日頃から日本語、日本文学の話題に関心を持つ。</p> <p>[授業計画]          1. はじめに—大学で学ぶとは          2. ノートをとる 辞書で調べる          3. 図書館を利用する          4. グループ研究1—課題を検討する          5. グループ研究2—資料・データを収集する          6. グループ研究3—レジュメを作成する          7. グループ研究4—発表          8. 課題文・レポートを書く          9. 文を読み、要旨をまとめる          10. テキストを読み解く          11. テキストから問題点を発見する          12. 資料・データの収集 論文の構成          13. 解釈をまとめる</p>			



科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	永渕 朋枝		

[ 成績評価方法 ]

発表・質疑応答等(40%)、課題文を要約した文章(10%)、3000字程度のレポート(50%)を総合して判定する。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

・レポート等は、後日添削して返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

[ 教科書(ISBN) ]

なし、大学から配付する『レポート執筆の基礎』を使用することがある。

[ 参考書(ISBN) ]

適宜紹介する。  
レポートの課題図書は図書館にも常置している。

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	橋本 礼子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          大学で学ぶための技法を習得し、それらを用いて、問題を解明したり論述をまとめたりする、思考力、表現能力を育成する。</p> <p>[授業概要]          まず、大学で学ぶことの意義を理解する。次に、与えられた課題の解明にグループで取り組む。それぞれの意見を表明するために、文献資料やデータを収集し、分析し解釈をまとめ、発表する。後半は、そこで習得した問題設定の仕方・資料の収集・解釈の方法などを用い、課題に対して一人ひとりがレポートをまとめる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          各回、予習復習合わせて2時間程度。          板書を書き写すのではなく、自分で工夫してノートを作成し、そのノートを読んで授業内容を理解し、次回の授業に備えておく。          日頃から日本語、日本文学の話題に関心を持つ。</p> <p>[授業計画]          1. はじめに—大学で学ぶとは          2. ノートをとる 辞書で調べる          3. 図書館を利用する          4. グループ研究1—課題を検討する          5. グループ研究2—資料・データを収集する          6. グループ研究3—レジュメを作成する          7. グループ研究4—発表          8. 課題文・レポートを書く          9. 文を読み、要旨をまとめる          10. テキストを読み解く          11. テキストから問題点を発見する          12. 資料・データの収集 論文の構成          13. 解釈をまとめる</p>			

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	橋本 礼子		

[ 成績評価方法 ]

発表・質疑応答等(40%)、課題文を要約した文章(10%)、3000字程度のレポート(50%)を総合して判定する。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

レポート等は、後日添削して返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 発表・質疑応答・課題・レポート

[ 教科書(ISBN) ]

なし、大学から配付する『レポート執筆の基礎』を使用することがある。

[ 参考書(ISBN) ]

適宜紹介する。

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	池田 彩音		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

大学で学ぶための技法を習得し、それらを用いて、問題を解明したり論述をまとめたりする、思考力、表現能力を育成する。

[授業概要]

まず、大学で学ぶことの意義を理解する。次に、与えられた課題の解明にグループで取り組む。それぞれの意見を表明するために、文献資料やデータを収集し、分析し解釈をまとめ、発表する。後半は、そこで習得した問題設定の仕方・資料の収集・解釈の方法などを用い、課題に対して一人ひとりがレポートをまとめる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度。

板書を書き写すのではなく、自分で工夫してノートを作成し、そのノートを読んで授業内容を理解し、次回の授業に備えておく。

日頃から日本語、日本文学の話題に関心を持つ。

教員から特段の指示がない場合でも、自発的に授業内容の予習復習を行うようにする。

[授業計画]

1. はじめに—大学で学ぶとは
2. ノートをとる 辞書で調べる
3. 図書館を利用する
4. グループ研究1—課題を検討する
5. グループ研究2—資料・データを収集する
6. グループ研究3—レジュメを作成する
7. グループ研究4—発表
8. 課題文・レポートを書く
9. 文を読み、要旨をまとめる
10. テキストを読み解く
11. テキストから問題点を発見する
12. 資料・データの収集 論文の構成
13. 解釈をまとめる

科目名	基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	日本語能力の向上	演習	
担当者	池田 彩音		

[ 成績評価方法 ]

発表・質疑応答等(40%)、課題文を要約した文章(10%)、3000字程度のレポート(50%)を総合して判定する。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

レポート等は、後日添削して返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 発表・質疑応答等、課題文を要約した文章、レポート

[ 教科書(ISBN) ]

なし、大学から配付する『レポート執筆の基礎』を使用することがある。

[ 参考書(ISBN) ]

適宜紹介する。  
レポートの課題図書は図書館にも常置している。

科目名	近現代文学講読 I	前期	2 単位
サブタイトル	夏目漱石の「こころ」を読む	講義	
担当者	水川 布美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 日本近代文学を研究する際の基礎的作業を身に付け、作品をより深く理解する感受性を養う。</p> <p>[ 授業概要 ] 発表から110年、夏目漱石の「こころ」を読む。高校の国語教科書に採用されることもある「こころ」を取り上げ、文学研究の基礎を学ぶ。具体的には、作品発表の背景(作家自身の背景、時代背景、文芸思潮等)を踏まえつつ、作品分析(主題、原典、作品構造、技巧等の考察)を行い、同時代の評価、その後の展開、先行研究の検討等、多角的な考察を試み、作品を読み解く。さらに映像資料を鑑賞し、原作との相違を考察する。 なお、テキストは紙媒体であれば、どの出版社の本でも良い。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 作品を予め読んでおくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス・夏目漱石について・「上 先生と私」一～十 読解</li> <li>2. 十一～二十 読解</li> <li>3. 二十一～三十 読解</li> <li>4. 三十一～三十六、「中 両親と私」一～四 読解</li> <li>5. 五～十四 読解</li> <li>6. 十五～十八「下 先生と遺書」一～六 読解</li> <li>7. 七～十六 読解</li> <li>8. 十七～二十六 読解</li> <li>9. 二十七～三十六 読解</li> <li>10. 三十七～四十六 読解</li> <li>11. 四十七～五十六 読解</li> <li>12. 映像資料視聴1</li> <li>13. 映像資料視聴2・まとめ</li> </ol>			

科目名	近現代文学講読 I	前期	2 単位
サブタイトル	夏目漱石の「こころ」を読む	講義	
担当者	水川 布美子		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験 (60%)、提出物を含む受講態度 (40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 毎回の提出物については、次週、解説を行い、manabaにアップする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 『こころ』 著者名: 夏目漱石 出版社: 角川文庫 (9784041001202)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] プリント配布</p>			

科目名	近現代文学講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	小泉八雲の「怪談・奇談」を読む	講義	
担当者	水川 布美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 日本近代文学を研究する際の基礎的作業を身に付け、作品をより深く理解する感受性を養う。</p> <p>[授業概要] 没後120年、小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の「怪談・奇談」を取り上げ、文学研究の基礎を学ぶ。具体的には、作品発表の背景(作家自身の背景、時代背景、文芸思潮等)を踏まえつつ、作品分析(主題、原典、作品構造、技巧等の考察)を行い、同時代の評価、その後の展開、先行研究の検討等、多角的な考察を試み、映像資料も交えて作品を読み解く。小泉八雲の日本観や、ホラー小説が存続する理由など、心の深層に踏み込みたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 作品を予め読んでおくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス・小泉八雲について・「耳なし芳一のはなし」読解 2. 「おしどり」「お貞のはなし」「乳母ざくら」「はかりごと」「鏡と鐘」読解 3. 「食人鬼」「むじな」「ろくろ首」読解 4. 「葬られた秘密」「雪おんな」「青柳のはなし」読解 5. 「死人が帰って来たはなし」「倩女のはなし」「振袖」「因果ばなし」読解 6. 「和解」「普賢菩薩のはなし」「衝立の乙女」「死骸に乗る者」読解 7. 「鮫人の感謝」「約束」「破約」読解 8. 「閻魔の庁にて」「果心居士のはなし」「梅津忠兵衛のはなし」読解 9. 「興義和尚のはなし」「幽霊滝の伝説」「茶碗の中」「常識」読解 10. 「生霊」「死霊」「おかめのはなし」「蠅のはなし」「雉子のはなし」読解 11. 「忠五郎のはなし」「いつもあること」「鏡の乙女」 12. 「怪談」映像資料視聴 13. 「怪談」映像資料視聴続き・まとめ</p>			



科目名	近現代文学講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	小泉八雲の「怪談・奇談」を読む	講義	
担当者	水川 布美子		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験 (60%)、提出物を含む受講態度 (40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 毎回の提出物については、次週、解説を行い、manabaにアップする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 提出物・試験</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 『怪談・奇談』 著者名: ラフカディオ・ハーン 出版社: 角川文庫 (9784042120018)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] プリント配布</p>			

科目名	近現代文学特講 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三嶋 潤子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          文学研究の前提となる基礎知識を身につける。問題を設定し、それに基づいて近現代文学作品を読むことができるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ]          近現代作家の様々な作品を読み解く。今年度は女性と地方に関する作品を取り扱う。先行論文や同時代資料などにも適宜触れる。あるテーマに基づいて選ばれた作品群を読み解くことで、近現代文学作品を読む際に、自分なりの問題点を見出すための糸口としたい。          同時に、文学研究をする前提として必要な、基礎的用語や考え方を解説する。授業内で確認テストを行い、知識の定着を目指す。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          授業で取り扱う作品について、できる範囲で読んでおくことが望ましい。          また、毎回、授業の最後に、理解度を確かめるための小テストか、小レポートのどちらかを課す。解答できなかった問題があれば、次の回までに各自復習しておくこと。          各回、予習復習合わせて四時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]          1. 「日本語」と「日本文学」 温又柔と柚木麻子を例に          2. 島尾ミホ          3. 石牟礼道子①          4. 石牟礼道子②          5. 村田喜代子①          6. 村田喜代子②          7. 吉屋信子          8. 谷崎潤一郎「卍」①          9. 谷崎潤一郎「卍」②          10. 谷崎潤一郎「細雪」①          11. 谷崎潤一郎「細雪」②          12. 谷崎潤一郎「細雪」③          13. 谷崎潤一郎「細雪」④</p>			

科目名	近現代文学特講 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三嶋 潤子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業内で行う小テスト、小レポートによる。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 小テスト・小レポートは採点して返却する。また、簡単な解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 小テスト、小レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 小レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 小レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 小レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、小レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、小レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。プリント配布。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 特になし。授業内で紹介する。</p>			

科目名	近現代文学特講Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	三嶋 潤子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  様々な視点から文学作品を読むことができるようになる。適切な資料を参照しつつ、作品を読み解けるようになる。作品を読む際に、自分なりの問題点を見出せるようになる。先行研究を批判的に読み解けるようになる。</p> <p>[授業概要]  谷崎潤一郎「少将滋幹の母」(昭24～25)を読む。下敷きとなった古典作品や先行論文などを参照する。同じテーマを扱った谷崎作品や他作家の作品、同時代資料などにも触れる。一つの小説を様々な方向から読み解くことで、近現代文学作品において、自分なりの問題点を見出すための糸口としたい。  受講者の理解度を確認するため、授業内で何度か小レポートを課す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  教科書の授業で取り扱う範囲を、あらかじめ読んでおくこと。  また、授業内で紹介する参考文献や関連する作品についても、できる限り読むことが望ましい。  各回、予習復習四時間程度。</p> <p>[授業計画]  1. イントロダクション  2. 谷崎と関西  3. 「源氏物語」  4. 谷崎文学における〈古典〉①  5. 谷崎文学における〈古典〉②  6. 老人の〈性〉① 「癡癡老人日記」を例に  7. 老人の〈性〉②  8. 『少将滋幹の母』読解①  9. 『少将滋幹の母』読解②  10. 『少将滋幹の母』読解③  11. 『少将滋幹の母』読解④  12. 芥川との比較  13. 『少将滋幹の母』の構成</p>			

科目名	近現代文学特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三嶋 潤子		
<p>[ 成績評価方法 ]          期末レポート(70%)、小レポート(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]          小レポートは採点して返却する。また、簡単な解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。          成績評価方法: 小レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。          成績評価方法: 小レポート、課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。          成績評価方法: 小レポート、課題レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。          成績評価方法: 小レポート、課題レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢          成績評価方法: 課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢          成績評価方法: 小レポート、課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力          成績評価方法: 課題レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]          『少将滋幹の母』 著者名: 谷崎潤一郎 出版社: 新潮文庫 (4101005096)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]          なし。授業内で紹介する。</p>			

科目名	芸能史 I	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	長田 あかね		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	manabaを利用した小レポートとミニツッパーパーの提出・評価と、manabaおよび授業内でのフィードバック。	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1.古代・中世芸能史に関する基礎的かつ専門的な知識を習得し、その概要を体系的に説明できるようになる。  2.古代・中世に行われた諸芸能について理解を深め、各々の特質を説明できるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>【メディア授業】  現代に続く、さまざまな日本の古典芸能の母胎となった古代・中世芸能の歴史を、当時の社会・宗教・文化的背景を交えながら、個々の芸能の特質とともに概説する。芸能への理解を深めるため、映像資料や画像資料などを使って、なるべくビジュアルに授業を展開する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>【予習】高校の日本史の教科書などで、奈良時代から室町時代までのおよそ流れを復習しておく。  【復習】小レポートとミニツッパーパーの中で、授業内容に関する質問や課題を出すので、必ず復習しておく。  各回、予習復習合わせて4時間程度を要する。</p> <p>[授業計画]</p> <p>オンライン授業(13回目のみ対面授業)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.芸能とは何か</li> <li>2.古代国家の芸能①伎楽</li> <li>3.古代国家の芸能②舞楽</li> <li>4.散楽の伝来と展開</li> <li>5.さまざまな音曲—今様・平曲など</li> <li>6.語りと舞の芸能—曲舞と幸若舞</li> <li>7.寺院の芸能—連事と延年</li> <li>8.田楽の成立と展開</li> <li>9.能の形成と展開①猿楽の座と翁猿楽</li> <li>10.能の形成と展開②観阿弥・世阿弥</li> <li>11.能の形成と展開③世阿弥以後</li> <li>12.狂言の形成と展開</li> <li>13.古代・中世芸能史に関する復習と理解度の確認</li> </ol>			

科目名	芸能史 I	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	長田 あかね		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業毎のミニツツペーパー(10%)、小レポート(40%)、試験(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・小レポートはmanabaを活用し、採点后、コメントとともに返却します。また、適宜、授業中に解説を行います。  ・ミニツツペーパーはmanabaから提出し、授業内でフィードバックを行います。  ・試験の解答と解説は、manabaにて公開します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  成績評価方法: 試験、小レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 試験、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 試験、小レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 試験、小レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  講義時にレジュメ・資料を配布する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  参考文献等は講義時に適宜紹介する。</p>			

科目名	芸能史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 浄瑠璃の発生と展開についての知識を習得する。</p> <p>[授業概要] 語り物として街道筋などで語られていた時代から、都市における劇場演劇として上演される時代に至る浄瑠璃の歴史を、それぞれの時代の芸能環境をふまえて、概観する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 各時間の内容をよく理解して、次回の確認テストに臨むこと。 教員から特段の指示がない場合でも、自発的に授業内容の予習復習を行うようにする。</p> <p>[授業計画] 1.『浄瑠璃御前物語』 2.座頭の語り 3.操りとの結合 4.寛永の浄瑠璃 5.金平浄瑠璃 6.江戸の浄瑠璃 7.上方の浄瑠璃 8.加賀掾の浄瑠璃 9.角太夫の浄瑠璃 10.竹本座旗揚げ 11.近松の作者署名 12.元禄の興行界 13.『曾根崎心中』前後</p>			



科目名	芸能史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志		
<p>[ 成績評価方法 ]  確認テスト(50%)、まとめ試験(50%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・確認テストは評価後、授業中に返却し、解説をする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 確認テスト・まとめ試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法: 確認テスト・まとめ試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  成績評価方法: 確認テスト・まとめ試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  成績評価方法: 確認テスト・まとめ試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。  成績評価方法: 確認テスト・まとめ試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 確認テスト・まとめ試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 確認テスト・まとめ試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 確認テスト・まとめ試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 確認テスト・まとめ試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 確認テスト・まとめ試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし。プリント配付。著者名:なし。出版社:なし。(なし。)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし。著者名:なし。出版社:なし。(なし。)</p>			

S21410 [ LJH2-012 ]

科目名	言語学概論 I	前期	2 単位
サブタイトル	言語とは何か、言語学とは何か	講義	
担当者	堀 勝博		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 言語とは何か、どのような特徴をもつのか、また言語学とはどのような学問か、どのような分野があり、どのような術語が用いられているのかなど、言語学の基本事項について理解する。</p> <p>[授業概要] 人間が動物と決定的に異なるのは、言語を使用する能力をもつことである。われわれは毎日のように言語を用いて考え、感じ、理解し、表現し、伝えあい、また、時に言語によって心を動かされ、癒されたり、時に騙され、傷つけられたりもする。かくて人生と切り離すことのできない言語であるが、ひるがえって、それがどのようなものであるかということについては、存外知識をもたない。「あ」と「い」は、音としてどう違うのか、言語としての日本語と英語と中国語とはどこが同じでどこが違うのか、「今ごはんを食べています」と「三年前に彼女は結婚しています」は同じ「～ています」でもなぜ意味が違うのか…。この授業では、言語学の入門講座として、こういった具体的なテーマから説き起こし、言語学とはどんな学問か、言語の構造や特性は何か、世界にはどのような言語があるのかといったテーマで、講義を行う。「言語学概論 I」では、とくに言語学とはどういうことを研究する学問かということを中心に、言語学の歴史、言語研究の方法・視点、世界の諸言語概観、といったテーマを中心に、言語学の基本事項について、要点を整理しつつ解説する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度、簡単な読解課題と、授業に関するmanaba小テストが出題されるので、積極的に取り組むこと。</p> <p>[授業計画] 1. 導入授業—言語学とは何か、言語を研究することの意味 2. 言語学の目的 —言語政策とは 3. 古代の言語学 —古代ギリシャの言語学 4. 言語学の基本概念 —形態論と文法論 5. 言語学の発展 —比較言語学の成立 6. 言語系統論 —グリムの法則など 7. 言語類型論 —世界諸言語の分類 8. 構造主義言語学の成立 —ソシュールの言語観 9. 言語の性質と構造 —恣意性、生産性、経済性、範列関係・統合関係など 10. 世界の諸言語1 —インド・ヨーロッパ語族、アフロ・アジア語族など 11. 世界の諸言語2 —アジア、太平洋の諸言語 12. 世界の諸言語3 —アフリカ、その他の言語 13. まとめ</p>			

科目名	言語学概論 I	前期	2 単位
サブタイトル	言語とは何か、言語学とは何か	講義	
担当者	堀 勝博		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業に取り組む態度および小テストの評点 40%  最終総括試験の成績 60%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  毎回課題や試験を実施した後、その成績や正答について、授業やmanabaを通して、解説する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  日本語教師のための言語学入門 著者名:小泉保著 出版社:(大修館書店) (978-4469220919)  言語世界地図 著者名:町田健著 出版社:(新潮新書) (978-4106102660)  教養としての言語学 著者名:鈴木孝夫著  出版社:(岩波新書) (9780000000000)</p>			

科目名	言語学概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	言語学の諸分野、世界の諸言語について学ぶ	講義	
担当者	堀 勝博		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 世界諸言語の実例を概観しながら、言語学の各分野について学び、言語学の基礎的用語や概念への理解を深める。</p> <p>[授業概要] 人間が動物と決定的に異なるのは、言語を使用する能力をもつことである。われわれは毎日のように言語を用いて考え、感じ、理解し、表現し、伝えあい、また、時に言語によって心を動かされ、癒されたり、時に騙され、傷つけられたりもする。かくて人生と切り離すことのできない言語であるが、ひるがえって、それがどのようなものであるかということについては、存外知識をもたない。「あ」と「い」は、音としてどう違うのか、言語としての日本語と英語と中国語とはどこが同じでどこが違うのか、「今ごはんを食べています」と「三年前に彼女は結婚しています」は、同じ「～ています」でもなぜ意味が違うのか…。この授業では、言語学の入門講座として、こういった具体的なテーマから説き起こし、言語学とはどんな学問か、言語の構造や特性は何か、世界にはどのような言語があるのかといったテーマで、講義を行う。「言語学概論Ⅱ」では、音声、形態、文法、語彙、意味、語用論、応用言語学など言語学の諸分野について、どのような方法でどのような研究が行われているか、具体的な例を紹介しながら概観し、要点を整理しつつ解説する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度、簡単な読解課題と、授業に関するmanaba小テストが出題されるので、積極的に取り組むこと。</p> <p>[授業計画] 1. 導入授業 一言語とは何か 2. 言語学の諸分野 一音声学から応用言語学まで 3. 音声学入門 一物理学的な音声の分析 4. 母音と子音 一言語音はどのような構造をもつか 5. 音韻論の考え方 一言語音の体系化 6. 音節とアクセント 一世界の諸言語比較 7. 形態論と統語論 一派生、屈折、前置、後置など 8. 文法論 一テンス、アスペクト、モダリティ、ヴォイスなど 9. 意味論、語用論、文字論 一言語の意味と文字・表記 10. 応用言語学の世界1 一社会言語学、インターネット言語学、コーパス言語学など 11. 応用言語学の世界2 一神経言語学、心理言語学など 12. 応用言語学の世界3 一言語人類学、身体言語学など 13. まとめ</p>			

科目名	言語学概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	言語学の諸分野、世界の諸言語について学ぶ	講義	
担当者	堀 勝博		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業に取り組む態度および小テストの評点 40%  最終総括試験の成績 60%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  毎回課題や試験を実施した後、その成績や正答について、授業やmanabaを通して、解説する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  『日本語教師のための言語学入門』 著者名:小泉保著 出版社:(大修館書店) (978-4469220919)  『言語世界地図』 著者名:町田健著 出版社:(新潮新書) (978-4106102660)  『教養としての言語学』 著者名:鈴木孝夫著 出版社:(岩波新書) (4-00-430460-1)</p>			

科目名	国語科指導法Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	「よくわかる国語の授業」をめざして	講義	
担当者	島田 哲朗		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]  国語の授業が目指している「話す・聞く・読む・書く」能力を培う授業を展開するために教材の研究手法、授業計画の立て方、および学習指導案の書き方を学び、模擬授業での実践、経験する。</p> <p>[授業概要]  中学校及び高等学校国語科の目標および内容について、適宜、国語の成り立ち、仮名遣い、近代以降の国語教育の変遷等に関する言及をふまえつつ、現代の国語科教育の目的・内容・方法について学習指導要領を参考にしながら学習する。中学・高校の現行の教科書に採用されている代表的教材を取り上げ、特に高等学校「国語総合」の内容に沿った授業指導案作成(学習目標・授業展開・評価方法等)の基本的な方法を学んでいく。又、教材研究及び授業展開の方法に於いては情報通信機器の有効な利用法を実践的に理解し、授業設計に活用できることを目指す。受講者全員が、それぞれの教材について20分～30分程度の模擬授業を実践し、国語の授業を実体験する。授業の進度に応じて参考文献の読書課題を課す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  ○各回、予習復習合わせて4時間程度。  ○古典的、現代的を問わず様々な分野の書籍を数多く読むことで、授業を実践する教員にとって読むという行為がいかに大切かを知る。  ○辞書を引くことを習慣化し、常用漢字、古語、外来語など基本的な国語力を身につける意識を持つ。</p> <p>[授業計画]  1. 日本語の成立と変遷1: 奈良時代・平安時代(上代・中古)の伝統的な言語文化に関して  2. 日本語の成立と変遷2: 鎌倉時代以降江戸時代(中世・近世)までの伝統的な言語文化に関して  3. 国語の成立と変遷: 明治の言語文化に関して。(漢文訓読体・言文一致・国語教育の始まりについて)  4. 学習指導要領解説。アクティブ・ラーニングの方法と実践。学習指導案作成と模擬授業及び、情報通信機器による授業展開、いわゆるICTの授業での活用方法について  5. 教材研究(現代文)と学習指導案作成と受講者による模擬授業①(教材ごとの模擬授業担当はあらかじめグループ分けし、教材研究、発表等、協力し合って実施します。模擬授業用の教材は「羅生門」を予定しています。それぞれの時間で、グループの代表2人から3人の「模擬授業」を行い、その後、受講者相互による感想、討議を行う予定です。6限～8限は教材の進行に従い模擬授業担当者が変わっていきます。古典の授業も同様です。)  6. 教材研究(現代文)と学習指導案作成と模擬授業②  7. 教材研究(現代文)と学習指導案作成と模擬授業③  8. 教材研究(現代文)と学習指導案作成と模擬授業④  9. 教材研究(古典)と学習指導案作成と模擬授業⑤(教材は「伊勢物語」・「論語」予定しています。模擬授業の方法は上に記した「現代文」と同様で、毎回担当者が変わります。)  10. 教材研究(古典)と学習指導案作成と模擬授業⑥  11. 教材研究(古典)学習指導案作成と模擬授業⑦  12. 教材研究(古典)と学習指導案作成と模擬授業⑧  13. まとめ 授業全体を振り返り、授業をするための基礎的な教養について解説する。</p>			

科目名	国語科指導法Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	「よくわかる国語の授業」をめざして	講義	
担当者	島田 哲朗		
<p>[ 成績評価方法 ] 毎週の課題(20%)、模擬授業・発表内容(50%)、レポート(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ○各授業時に課す課題等は添削、採点し、原則として翌週に返却する。 ○レポートは原則として返却しない。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。別途プリント配布。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 授業に応じて指示する。</p>			

科目名	国語科指導法Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル	「より深く理解する国語の授業」をめざして		講義	
担当者	島田 哲朗			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>国語の授業が目指している「話す・聞く・読む・書く」能力を培う授業を展開するために教材の研究、授業計画の立案、および学習指導案作成・模擬授業を実践し、国語科教員としての必要性を認識する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>中学校及び高等学校国語科の目標および内容について、学習指導要領をふまえて生徒がより深く理解し表現する方法について考える国語科教員の育成を目指す。高等学校「現代文」「古典」の内容に沿った授業指導案作成(学習目標・授業展開・評価方法等)の基本的な方法教材研究及び授業展開の方法に於いては情報通信機器の有効な利用法やICTの活用を理解し、授業設計に活用できることを模擬授業の場で実践し学んでいく。授業の進度に応じて参考文献の読書課題を課す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>○各回、予習復習合わせて4時間程度。  ○近代以降の文学者、科学者、哲学者等の作品を読む。  ○「枕草子」「源氏物語」「土佐日記」「徒然草」「古今和歌集」「奥の細道」などの古典作品を読む。  ○「史記」「論語」「唐詩選」等の漢文作品を読む。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国語の成立と変遷:大正期から昭和期の言語文化と国語教育に関して</li> <li>2. 現代の国語教育に関して:学習指導要領解説、情報通信機器の利用やICT活用の重要性について解説。</li> <li>3. 学習指導案作成(現代文)と模擬授業①(受講者をグループ分けし、指導案作成や教材研究の方法、模擬授業の発表順などを協議します。)</li> <li>4. 学習指導案作成(古典・古文)と模擬授業②</li> <li>5. 学習指導案作成と(古典・漢文)模擬授業③</li> <li>6. 模擬授業(現代文)と模擬授業①(教材ごとの模擬授業担当はあらかじめグループ分けし、教材研究、発表等、協力し合って実施します。ここから現代文の模擬授業実習です。教材は「山月記」「ころも」を予定しています。それぞれの時間で、グループの代表2人から3人の「模擬授業」を行い、その後、受講者相互による感想、討議を行う予定です。6限～9限は教材の進行に従い模擬授業担当者が変わっていきます。古典の授業も同様です。)</li> <li>7. 模擬授業(現代文)と検討②</li> <li>8. 模擬授業(現代文)と検討③</li> <li>9. 模擬授業(現代文)と検討④</li> <li>10. 模擬授業(古典・古文)と検討①(ここから「古典」の模擬授業です。教材は「枕草子」・「史記」を予定しています。)</li> <li>11. 模擬授業(古典・古文)と検討②</li> <li>12. 模擬授業(古典・漢文)と検討③</li> <li>13. 模擬授業(古典・漢文)と検討④及びまとめ</li> </ol>				



科目名	国語科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	「より深く理解する国語の授業」をめざして	講義	
担当者	島田 哲朗		
<p>[ 成績評価方法 ] 毎週のレポート(20%)、発表内容(50%)、レポート(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ○各授業時に課す課題等は添削、採点し、原則として翌週に返却する。 ○レポートは原則として返却しない。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。別途プリント配布 (なし。)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし。</p>			

科目名	古典芸能講読 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          古典芸能作品としての浄瑠璃正本の読み方をマスターする。          生の舞台にふれて、古典芸能を体感する。</p> <p>[授業概要]          浄瑠璃正本を講読し、現在文楽として上演される舞台を鑑賞する。          ・大阪日本橋にある国立文楽劇場で開催される「文楽鑑賞教室」(6月6日～20日。11日は休演)に参加する(国立文楽劇場へ行って、文楽を鑑賞する)。          この参加を単位認定の前提とする。          ・1,500円の観劇料金と、国立文楽劇場までの交通費は受講生各自が負担する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          各回、予習復習合わせて4時間程度。          配付資料を熟読し、内容をよく理解しておくこと。          教員から特段の指示がない場合でも、自発的に授業内容の予習復習を行うようにする。</p> <p>[授業計画]          1.『菅原伝授手習鑑』概説          2.初段 大内の段～築地の段          3.二段目 道行詞甘替・安井汐待の段          4.二段目 杖折檻の段～丞相名残の段          5.三段目 車曳の段・茶筌酒の段          6.三段目 喧嘩の段・桜丸切腹の段          7.四段目 天拝山の段・北嵯峨の段          8.観劇 寺入りの段          9.観劇 寺子屋の段          10.五段目 大内天変の段          11.まとめ          12.DVD鑑賞①          13.DVD鑑賞②</p>			

科目名	古典芸能講読 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志		
<p>[ 成績評価方法 ] 観劇レポート(50%)、授業中課題(50%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・レポート・課題について授業中コメントする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p>			

S21420 [ LJH2-013 ]

科目名	古典芸能講読 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

古典芸能作品としての浄瑠璃正本の読み方をマスターする。  
生の舞台にふれて、古典芸能を体感する。

[授業概要]

浄瑠璃正本を講読し、現在文楽として上演される舞台を鑑賞する。  
・大阪日本橋にある国立文楽劇場で開催される「文楽鑑賞教室」(6月6日～20日。11日は休演)に参加する(国立文楽劇場へ行って、文楽を鑑賞する)。  
この参加を単位認定の前提とする。  
・1,500円の観劇料金と、国立文楽劇場までの交通費は受講生各自が負担する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて4時間程度。  
配付資料を熟読し、内容をよく理解しておくこと。  
教員から特段の指示がない場合でも、自発的に授業内容の予習復習を行うようにする。

[授業計画]

- 1.『菅原伝授手習鑑』概説
- 2.初段 大内の段～築地の段
- 3.二段目 道行詞甘替・安井汐待の段
- 4.二段目 杖折檻の段～丞相名残の段
- 5.三段目 車曳の段・茶筌酒の段
- 6.三段目 喧嘩の段・桜丸切腹の段
- 7.四段目 天拝山の段・北嵯峨の段
- 8.観劇 寺入りの段
- 9.観劇 寺子屋の段
- 10.五段目 大内天変の段
- 11.まとめ
- 12.DVD鑑賞①
- 13.DVD鑑賞②

科目名	古典芸能講読 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志		
<p>[ 成績評価方法 ] 観劇レポート(50%)、授業中課題(50%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・レポート・課題について授業中コメントする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: レポート・課題</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p>			

S21420F [ LJH2-013 ]

科目名	古典芸能講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	樹下 文隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	manabaiによる履修者相互の評価	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世阿弥の『花伝(風姿花伝)』を室町末期の写本(奈良宝山寺蔵)で読み、その内容を理解する。</li> <li>・『花伝(風姿花伝)』の諸伝本のあらましとその意味を理解する。</li> <li>・能の作品を取り上げ、その内容を理解する。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世阿弥『花伝(風姿花伝)』を室町末期の写本(奈良宝山寺蔵)をコピー及び奈良女子大学提供の電子データで読み、参考書を用いながら、その内容について調査する。</li> <li>2. 『花伝(風姿花伝)』の写本を幾つか読み、参考書を用いながら、それぞれの存在意義を考える。</li> <li>3. 謡曲のいくつかを活字テキストで読み、その内容を理解する。</li> </ol> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>世阿弥『風姿花伝』を現代語訳などで読んでおくこと。 事前に配布、または提示された資料を熟読しておくこと。 各回、予習復習併せて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世阿弥の生涯の概要。世阿弥作の能について</li> <li>2. 世阿弥の伝書の概要。能の基本的な構造について</li> <li>3. 花伝を読む①年来稽古条々 七歳から二十四五。謡曲を読む①〈杜若〉前半</li> <li>4. 花伝を読む②年来稽古条々 三十四五から五十有余。謡曲を読む②〈杜若〉後半</li> <li>5. 花伝を読む③物まね条々 序・女・老人・直面。謡曲を読む③〈杜若〉の典拠</li> <li>6. 花伝を読む④物まね条々 物狂・法師・唐事。謡曲を読む④〈杜若〉鑑賞の手引き</li> <li>7. 花伝を読む⑤物まね条々 修羅・神・鬼。謡曲を読む⑤〈鉄輪〉前半</li> <li>8. 花伝を読む⑥問答条々 第1・第2。謡曲を読む⑥〈鉄輪〉後半</li> <li>9. 花伝を読む⑦問答条々 第3・第4。謡曲を読む⑦〈鉄輪〉の典拠</li> <li>10. 花伝を読む⑧問答条々 第5・第6。謡曲を読む⑧〈鉄輪〉鑑賞の手引き</li> <li>11. 花伝を読む⑨問答条々 第7・第8。</li> <li>12. 花伝を読む⑩問答条々 第9。まとめ。</li> <li>13. 能楽鑑賞 上田観正会能楽堂で〈杜若〉〈鉄輪〉を鑑賞する。</li> </ol>			

科目名	古典芸能講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	樹下 文隆		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表または課題レポートとコメント(60%)、試験(40%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba上でのやりとりを以てフィードバックとする。レポートも、manabaにてコメントを付ける。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『花伝(風姿花伝)』(宝山寺蔵、写本及び岩波日本思想大系『世阿弥 禅竹』及び『花伝諸本対観』)より、必要箇所のコピーを配布。</p> <p>寶山寺貴重資料電子画像集(奈良女子大学学術情報センター)<a href="https://www.nara-wu.ac.jp/aic/gdb/mahoroba/y01/htmls/nou/html/N01/">https://www.nara-wu.ac.jp/aic/gdb/mahoroba/y01/htmls/nou/html/N01/</a></p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 岩波日本思想大系24『世阿弥 禅竹』 著者名: 表章・加藤周一 出版社: 岩波書店 (4-00-070024-3 9784007305153</p>			

S21430 [ LJH2-014 ]

科目名	古典芸能講読Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	樹下 文隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	manabaiによる履修者相互の評価	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世阿弥の『花伝(風姿花伝)』を室町末期の写本(奈良宝山寺蔵)で読み、その内容を理解する。</li> <li>・『花伝(風姿花伝)』の諸伝本のあらましとその意味を理解する。</li> <li>・能の作品を取り上げ、その内容を理解する。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世阿弥『花伝(風姿花伝)』を室町末期の写本(奈良宝山寺蔵)をコピー及び奈良女子大学提供の電子データで読み、参考書を用いながら、その内容について調査する。</li> <li>2. 『花伝(風姿花伝)』の写本を幾つか読み、参考書を用いながら、それぞれの存在意義を考える。</li> <li>3. 謡曲のいくつかを活字テキストで読み、その内容を理解する。</li> </ol> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>世阿弥『風姿花伝』を現代語訳などで読んでおくこと。 事前に配布、または提示された資料を熟読しておくこと。 各回、予習復習併せて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世阿弥の生涯の概要。世阿弥作の能について</li> <li>2. 世阿弥の伝書の概要。能の基本的な構造について</li> <li>3. 花伝を読む①年来稽古条々 七歳から二十四五。謡曲を読む①〈杜若〉前半</li> <li>4. 花伝を読む②年来稽古条々 三十四五から五十有余。謡曲を読む②〈杜若〉後半</li> <li>5. 花伝を読む③物まね条々 序・女・老人・直面。謡曲を読む③〈杜若〉の典拠</li> <li>6. 花伝を読む④物まね条々 物狂・法師・唐事。謡曲を読む④〈杜若〉鑑賞の手引き</li> <li>7. 花伝を読む⑤物まね条々 修羅・神・鬼。謡曲を読む⑤〈鉄輪〉前半</li> <li>8. 花伝を読む⑥問答条々 第1・第2。謡曲を読む⑥〈鉄輪〉後半</li> <li>9. 花伝を読む⑦問答条々 第3・第4。謡曲を読む⑦〈鉄輪〉の典拠</li> <li>10. 花伝を読む⑧問答条々 第5・第6。謡曲を読む⑧〈鉄輪〉鑑賞の手引き</li> <li>11. 花伝を読む⑨問答条々 第7・第8。</li> <li>12. 花伝を読む⑩問答条々 第9。まとめ。</li> <li>13. 能楽鑑賞 上田観正会能楽堂で〈杜若〉〈鉄輪〉を鑑賞する。</li> </ol>			



科目名	古典芸能講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	樹下 文隆		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表または課題レポートとコメント(60%)、試験(40%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba上でのやりとりを以てフィードバックとする。レポートも、manabaにてコメントを付ける。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表または課題レポートとコメント</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『花伝(風姿花伝)』(宝山寺蔵、写本及び岩波日本思想大系『世阿弥 禅竹』及び『花伝諸本対観』)より、必要箇所のコピーを配布。</p> <p>寶山寺貴重資料電子画像集(奈良女子大学学術情報センター)<a href="https://www.nara-wu.ac.jp/aic/gdb/mahoroba/y01/htmls/nou/html/N01/">https://www.nara-wu.ac.jp/aic/gdb/mahoroba/y01/htmls/nou/html/N01/</a></p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 岩波日本思想大系24『世阿弥 禅竹』 著者名: 表章・加藤周一 出版社: 岩波書店 (4-00-070024-3 9784007305153</p>			

S21430F [ LJH2-014 ]

科目名	古典芸能特講 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          古典芸能についての基礎知識を身につけ、古典芸能への理解を深める。</p> <p>[ 授業概要 ]          段物集の序という形で示される、宇治加賀掾と竹本義太夫(筑後掾)の芸論と、彼らに作品を提供した近松門左衛門の芸論を講ずる。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          各回、予習復習合わせて4時間程度。          配付資料を熟読し、理解を深め、知識を定着させること。          教員から特段の指示がない場合でも、自発的に授業内容の予習復習を行うようにする。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.近世浄瑠璃史概観</li> <li>2.宇治加賀掾の芸論1</li> <li>3.宇治加賀掾の芸論2</li> <li>4.宇治加賀掾の芸論3</li> <li>5.宇治加賀掾の芸論4</li> <li>6.宇治加賀掾の芸論5</li> <li>7.竹本義太夫(筑後掾)の芸論1</li> <li>8.竹本義太夫(筑後掾)の芸論2</li> <li>9.竹本義太夫(筑後掾)の芸論3</li> <li>10.竹本義太夫(筑後掾)の芸論4</li> <li>11.竹本義太夫(筑後掾)の芸論5</li> <li>12.近松門左衛門の芸論1</li> <li>13.近松門左衛門の芸論2</li> </ol>			

科目名	古典芸能特講 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中課題(50%)、まとめレポート(50%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・課題は評価後、授業中に解説をする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。プリント配付。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p>			

S21440 [ LJH3-007 ]

科目名	古典芸能特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	樹下 文隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。</li> <li>・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。</li> <li>・指定の形式で整理し、発表できる。</li> <li>・作品に親しみ、教養を身につける。</li> <li>・各分野の文字・表記の規則を知り、読みこなす能力を育てる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 金春禪竹『五音三曲集』を白筆本で読み、参考書を用いて、内容の理解に努める。</li> <li>2. 提示された『五音三曲集』の注釈に対して疑問点を見つけ、manabaアンケートに記入する。</li> <li>3. アンケート結果を踏まえて、授業時間に討議する。</li> <li>4. 上記の結果を踏まえ、『五音三曲集』の内容や世阿弥または禪竹の用語などについて、調査した結果をレポートにまとめる。</li> </ol> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に指示していた資料を、活字テキストを手掛かりに翻字を試みる。</li> <li>・提示された注釈書を読み、疑問点をmanabaのアンケートに記入する。</li> <li>・授業内容を踏まえ、各自が出した疑問点について、解決方法等を考える。</li> </ul> <p>各回、予習復習併せて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入。五音説(世阿弥『五音曲条々』『五音』と禪竹『五音之次第』)について</li> <li>2. 世阿弥の『九位』について</li> <li>3. 定家仮託歌論書『三五記』について</li> <li>4. 『五音三曲集』を読む①(序文と第一祝言、治世安楽音について)</li> <li>5. 『五音三曲集』を読む②(祝言第二、理世・撫民と祝言第三、松体について)</li> <li>6. 禪竹『歌舞髓脳記』について</li> <li>7. 『五音三曲集』を読む③(祝言第四、竹体と祝言第五、長高体について)</li> <li>8. 『五音三曲集』を読む④(第二幽玄、心詞幽玄と幽玄第二、行雲・廻雪について)</li> <li>9. 『五音三曲集』を読む⑤(幽玄第三、見様体と幽玄第四、遠白体と幽玄第五、有心体について)</li> <li>10. 禪竹の六輪一露説について</li> <li>11. 『五音三曲集』を読む⑥(第三恋慕、濃体と恋慕第二、麗体について)</li> <li>12. 『五音三曲集』を読む⑦(第四哀傷、魂白体と哀傷第二、物哀体について)</li> <li>13. 『五音三曲集』を読む⑧(第五闌曲、拉鬼体と闌曲第二、若声体について)</li> </ol>			

科目名	古典芸能特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	樹下 文隆		
<p>[ 成績評価方法 ] manabaアンケートでの質問や問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答(40%)、レポート(60%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業時間内及びmanaba上でのやりとりを以てフィードバックとする。また、レポートへのコメントも授業時間及びmanaba上で対応する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:問題点の指摘、授業時の意見発表・質疑応答、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 国文学研究資料館蔵、金春禅竹自筆『五音三曲集』I <a href="https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200006860">https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200006860</a> 『五音三曲集』「廿六声曲」注釈(1) <a href="https://suica.repo.nii.ac.jp/records/2673">https://suica.repo.nii.ac.jp/records/2673</a> 著者名:樹下文隆 出版社:神女大国文32号 『五音三曲集』「廿六声曲」注釈(2) <a href="https://suica.repo.nii.ac.jp/records/3976">https://suica.repo.nii.ac.jp/records/3976</a> 著者名:樹下文隆 出版社:神女大国文33号</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 随時指示する。</p>			

S21450 [ LJH3-008 ]

科目名	古典文学講読 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	樹下 文隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	manabaiによる履修者相互の評価	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  著名な説話をもとに、説話がさまざまな古典作品に取り込まれ、変貌していく過程を読み解き、古典文学の基層と変容の種々相を知る事で、今日の日本文化の基底となるものに興味を抱くようになる。</p> <p>[授業概要]  『今昔物語集』、『平家物語』『剣之巻』、『太平記』、能(羅生門)、室町物語「羅生門」を比較しながら読み解くことで、『今昔物語集』巻二十七「近江国安義橋鬼喰人語第十三」から始まる鬼退治物の系譜を、日本文化の一つとして捉え、今流行している鬼のアニメ物が誕生するルーツの一つに日本文化における鬼の扱われ方を考える。併せて、原文に近い形で本文を提供することで、日本語の表記体系の元となった和漢混淆文に慣れ親しむ契機としたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  (授業前)事前に配布した資料を読み、それぞれの作品において、筋書や内容の違いを考える。それぞれの作品の現代語訳を入手するなどして、あらすじをつかんでおく。  (授業後)あらすじ、登場人物などをまとめ、問題点、疑問点を見つける。  各回、予習復習併せて4時間程度。</p> <p>[授業計画]  1. 『今昔物語集』巻二十七「安義橋鬼喰人語第十三」を読む。  2. 『今昔物語集』巻二十七「安義橋鬼喰人語第十三」のテーマを考える。  3. 『今昔物語集』巻二十七「安義橋鬼喰人語第十三」に関する論文を読む。  4. 屋代本『平家物語』『剣之巻』(鬼切)を読む。  5. 屋代本『平家物語』『剣之巻』(鬼切)と源氏重代の刀の意味を考える。  6. 屋代本『平家物語』『剣之巻』(鬼切)を含む「剣巻」の意味を考える。  7. 百二十句本『平家物語』『剣之巻』(鬼切)を読む。  8. 百二十句本『平家物語』『剣之巻』(鬼切)と屋代本『平家物語』の違いを捉える。  9. 『太平記』巻三十二「鬼丸鬼切事」を読む。  10. 『太平記』巻三十二「鬼丸鬼切事」と『平家物語』『剣之巻』(鬼切)を比較する。  11. 室町物語「羅生門 上」を読む。  12. 室町物語「羅生門 下」を読む。  13. 謡曲(羅生門)を読む。</p>			

科目名	古典文学講読 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	樹下 文隆		
<p>[ 成績評価方法 ] 作品の構造分析レポート(40%)と主題レポート(40%)、manabaレポートのコメント(20%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 質問のやりとりは、manabaで随時行う。レポートはmanabaにて教員及び履修者が個々にコメントを返すなどしてフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 主題レポート、レポートのコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 主題レポート、レポートのコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 構造分析レポート、主題レポート、レポートのコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 構造分析レポート、主題レポート、レポートのコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法: 構造分析レポート、主題レポート、レポートのコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 構造分析レポート、主題レポート、レポートのコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 構造分析レポート、主題レポート、レポートのコメント</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 主題レポート、レポートのコメント</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 主題レポート、レポートのコメント</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 構造分析レポート、主題レポート、レポートのコメント</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 主題レポート、レポートのコメント</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 構造分析レポート、主題レポート、レポートのコメント</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。プリントを配布する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 岩波新日本古典文学大系『今昔物語集五』 著者名: 森正人校注 出版社: 岩波書店 『平家物語: 屋代本・高野本対照』 著者名: 麻原美子, 春田宣, 松尾葦江編 出版社: 新典社 『平家物語 百二十句本』 著者名: 高橋貞一校訂 出版社: 思文閣</p>			

S21020 [ LJH2-005 ]

科目名	古典文学講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	池田 彩音		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>1, 平安時代の物語の女君の語られ方の特徴を知り、説明できる。  2, 人物造型と物語展開の関係や、女君同士の影響関係を読み取り、説明できる。  3, 平安時代の物語の女君を取り上げ、その特徴や物語展開における役割、影響関係を整理し、資料を用いてわかりやすく説明できる。</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>この授業では、平安時代の物語の女君に焦点を当てて複数の作品や場面を読んでいく。平安時代の物語に登場する女君がどのような言葉で特徴づけられているか、人物造型と物語展開との関係、女君同士の影響関係などを、本文を読みながら把握する。最終的には、受講生自身がそれらを他者にわかりやすく説明できるようになることを目的とする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。  配布資料を読み、特徴的な言葉については辞書などを用いて調べておく。配布資料の前後の場面などもあわせて読んでおくとい。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本授業で扱う作品の流れ</li> <li>2. かぐや姫</li> <li>3. 落窪の君・あこき</li> <li>4. 桐壺の更衣</li> <li>5. 藤壺・葵の上</li> <li>6. 紫の上</li> <li>7. 夕顔・末摘花</li> <li>8. 六条御息所・梅壺女御</li> <li>9. 玉鬘・女三の宮</li> <li>10. 浮舟</li> <li>11. 源氏の宮・女二の宮</li> <li>12. 寝覚の上</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			



科目名	古典文学講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	池田 彩音		
<p>[ 成績評価方法 ] リアクションペーパー・課題(40%)、期末レポート(60%)による。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業内やmanabaを用いてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:リアクションペーパー・課題、期末レポート</p>			

科目名	古典文学特講 I	前期	2 単位
サブタイトル	中世の芸術論を読む	講義	
担当者	大山 範子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 『風姿花伝』の概要とその成立背景を理解する。さらに、その内容について芸術論・教育論・演劇論など自由な視点から考察し、世阿弥が重視したことがらについて、自分なりのことばで説明することができる。</p> <p>[ 授業概要 ] 能を大成した世阿弥は、多くの作品を作り自ら演じたが、二十篇以上の能楽論も遺している。この授業では、まず世阿弥の生涯・作品について概説する。その上で、演者による最古の演劇論であり、現代も読みつがれている『風姿花伝』をとりあげ、彼の理論や思想背景、実作との係わりなどについて幅広く考察する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 事前に講義内容を予告し資料を配付するので、必ず目を通してること。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>01. 世阿弥の生涯と作品</li> <li>02. 世阿弥の伝書について</li> <li>03. 『風姿花伝』第一年来稽古条々(1)</li> <li>04. 『風姿花伝』第一年来稽古条々(2)</li> <li>05. 『風姿花伝』第二物学条々</li> <li>06. 『風姿花伝』第三問答条々(1)</li> <li>06. 『風姿花伝』第三問答条々(2)</li> <li>08. 『風姿花伝』第四神儀</li> <li>09. 『風姿花伝』奥義云</li> <li>10. 『風姿花伝』第六花修(1)</li> <li>11. 『風姿花伝』第六花修(2)</li> <li>12. 『風姿花伝』第七別紙口伝(1)</li> <li>13. 『風姿花伝』第七別紙口伝(2)</li> </ol>			

科目名	古典文学特講 I	前期	2 単位
サブタイトル	中世の芸術論を読む	講義	
担当者	大山 範子		
<p>[ 成績評価方法 ]          期末レポート60%、講義時の小課題(不定期、数回を予定)40%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]          小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともmanabaを利用。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]          なし。プリントを配付する。 出版社:なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]          開講時に指示する。</p>			

科目名	古典文学特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	中世の古今集仮名序注釈を読む	講義	
担当者	大山 範子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 日本文学における最古の批評である『古今和歌集』仮名序が中世にどのように読まれていたを把握し、さらにそこから展開した文芸世界について知る。</p> <p>[ 授業概要 ] まず『古今和歌集』仮名序本文を概観し、全体を把握する。そのうえで、後世にも大きな影響を与えた、一条兼良の『古今童蒙抄』と飛鳥井栄雅『古今栄雅抄』を読み進める。併せて、中世から近世初期にかけて広く流布したとされる三流抄系統の注釈も参照しながら、中世期における古今仮名序の享受とその広がりについて講義する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 事前に講義内容を予告し資料を配付するので、必ず目を通してくること。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>01. 『古今和歌集』の仮名序について</li> <li>02. 仮名序の本文講読</li> <li>03. 古今集仮名序の注釈史</li> <li>04. 仮名序注(1)和歌とは</li> <li>05. 仮名序注(2)和歌の成り立ち</li> <li>06. 仮名序注(3)和歌の歴史</li> <li>07. 仮名序注(4)和歌の分類</li> <li>08. 仮名序注(5)和歌のありよう</li> <li>09. 仮名序注(6)二人の歌聖</li> <li>10. 仮名序注(7)六歌仙</li> <li>11. 仮名序注(8)古今集の成り立ち</li> <li>12. 仮名序注(9)結び</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	古典文学特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	中世の古今集仮名序注釈を読む	講義	
担当者	大山 範子		
<p>[ 成績評価方法 ]          期末レポート(60%)および講義時の小課題(不定期、数回を予定。40%)によって評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]          小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともmanabaを利用。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力          成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]          なし。資料プリントを配付する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]          開講時及び適宜紹介する。</p>			

科目名	コミュニケーション特講 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	北川 勝利、笹原 寿峰			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]  コミュニケーションについて理論的な枠組みを理解し、教室でのスピーチ、ディスカッションなどの実践学習で伝達表現能力を養い、社会に必要なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>[ 授業概要 ]  人が日常を始め 社会の中で経験する様々なテーマを取り上げ、重要な点を整理・考察する。授業の中では、円滑なコミュニケーションを図る手段、多様化するコミュニケーションの現状を解説したうえで、問題点などを考察する。スピーチ、グループディスカッションなどのコミュニケーション実習を始め 実践型の体験演習することで、就活等にも役立つ、コミュニケーション表現能力を養う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  各回、予習・復習合わせて4時間程度。  日常会話に興味を持ち、どうすれば自己の考え方が人に伝わるかを考察し、家族や友人と会話する際にコミュニケーションを意識して会話するなどの実践を試みる。社会のニュースや、自分の周辺の出来事に興味をもち、分析や整理をしておく。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入:コミュニケーションについて(笹原)</li> <li>2. コミュニケーション表現の基礎について(北川)</li> <li>3. 円滑なコミュニケーション①自己紹介とは(北川)</li> <li>4. 円滑なコミュニケーション②他者紹介とは(笹原)</li> <li>5. CMなどにおけるコミュニケーション表現について(北川)</li> <li>6. 社会におけるコミュニケーション表現について(北川)</li> <li>7. コミュニケーション表現力を高める(笹原)</li> <li>8. コミュニケーション・マネジメントについて(笹原)</li> <li>9. 日本語の特性と非言語(ノンバーバル)の重要性(北川)</li> <li>10. 業務コミュニケーション(北川)</li> <li>11. 実社会でコミュニケーション表現を活かすテクニック(笹原)</li> <li>12. 自己伝達演習(笹原)</li> <li>13. 実演・面談(北川)</li> </ol>				

科目名	コミュニケーション特講 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	北川 勝利、笹原 寿峰		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の体験演習 発表(50%)、レポート(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 講評及びレポートに記載</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 毎回のレポートと発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 毎回のレポートと発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: レポート、発表、ディスカッション</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: レポートと発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポートと発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	コミュニケーション特講Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	岡墻 裕剛			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他	ピアレビュー	実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の音声コミュニケーション上の特徴を説明できる</li> <li>・実践的なコミュニケーション能力を身につけ、人前で発揮できる。</li> <li>・自分自身のコミュニケーション上の特性を自覚し、その改善を行う。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>音声によるコミュニケーションは、言語の最も根幹をなすものであり、現代日本の教育においては話す・聞く・読む・伝え合う力が重要視されている。この授業では、これらの能力を支えている基礎的な音声理論・コミュニケーション理論に理解を深めるとともに、様々な形態によるコミュニケーションを実践することで発話力・コミュニケーションスキル・伝え合う力の向上を目指す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。 事前に提示する発表の準備と振り返りを各自で行う。 教員から特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うように。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 音声とコミュニケーションの関係</li> <li>2. 自己紹介・他者紹介 ◎</li> <li>3. 音声の仕組み</li> <li>4. 1分スピーチ ◎</li> <li>5. コミュニケーション理論</li> <li>6. 音読(1) 1回目 ◎</li> <li>7. 音読(2) 2回目 ◎</li> <li>8. ノンバーバルコミュニケーション・面接準備</li> <li>9. 集団形式による模擬面接(1) 前半グループ ◎</li> <li>10. 集団形式による模擬面接(2) 後半グループ ◎</li> <li>11. アルバイトのことは</li> <li>12. ニュースを読む(1) 練習 ◎</li> <li>13. ニュースを読む(2) 本番 ◎</li> </ol>				



科目名	コミュニケーション特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻 裕剛		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表(◎がついている5種類:60%)、提出物(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。 ・また、manabaを用いて随時フィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・提出物</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 適宜指示する。</p>			

科目名	社会言語学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本 礼子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 身近なことばのさまざまな違いを社会言語学的な観点から考察できるようになる。</p> <p>[授業概要] 私たちはことばを、さまざまな要因で使い分けている。日本語か中国語かといった個別言語の選択はもちろんのこと、一言語の中でも性別、地域、年齢などといった個人の属性によってことばが違ってもあれば、相手が誰なのかによって使うことばが変わることもある。また、友達との会話にかぎっても、遊んでいるときやゼミ発表など、それがどのような場面なのかによって使い分けられることも多い。 この講義では、言語を人の属性や使われる状況、社会などと関連させて捉える社会言語学について、ユニークな研究に触れながら学んでいく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 指定した教科書の授業で取り上げる章を事前に熟読しておくこと。 授業中に次週提出の課題を指示した場合、提出できるように取り組むこと。 各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. 導入:社会言語学とは 2. 言語と地域1:方言 3. 言語と地域2:標準語・共通語・公用語・国語 4. 言語と地域3:言語と意識 5. 言語と社会階層・民族 6. 言語とジェンダー1:ことばの男女差 7. 言語とジェンダー2:性差別的言語 8. 言語と年齢 9. 言語の選択1:ダイグロシヤ 10. 言語の選択2:コード・スイッチング 11. スタイルとレジスター 12. ポライトネス 13. まとめ</p>			

科目名	社会言語学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本 礼子		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(70%)、授業中課題(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中課題や質問については授業中にフィードバックする。 メールやmanabaの掲示板などでの質問も受け付ける。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 改訂版 社会言語学—基本からディスコース分析まで 著者名: 岩田祐子・重光由加・村田泰美 出版社: ひつじ書房 (9784820000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 随時指示する</p>			

科目名	書道	後期	2 単位
サブタイトル	書写書道教育の基礎から応用	演習	
担当者	北山 聡佳		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[ 到達目標 ]

小中学校国語科における書写の基礎的な知識技能の習得はもちろん、そこに至るまでの文字周辺の歴史を学び、書道実技の経験も通して、書写書道のさまざまな側面に触れることを目的とする。そのうえで、幅広い書写指導ができる知識技能の習得を目指し、教員としての指導力を身につける。

[ 授業概要 ]

小・中学校学習指導要領や現行教科書をもとにした内容の知識技能の習得を前提に、「書写」の根源である「書道」の知識技能も学ぶ内容とする。さらに、幅広い児童生徒に対応するために、書写だけではなく必須となるその背景(歴史や文化的事項)も知ることで、高等学校芸術科書道にもつなげる指導力を磨く。  
書道を学ぶことで、日中の伝統文化の継承や発展に寄与し、その意義や楽しさを体感することで、それらを次の世代へつなげるための考えを深め、持続可能な社会への貢献を目指す。  
※本授業は金曜日3限の対面形式を基本とするが、そのうち数回を遠隔授業および補講日への振り替えで実施する。詳細は初回ガイダンス時に通知するが、予め了承すること。  
※予習復習の効果を高めるため講義を中心とする場合は遠隔形式で実施する場合がある。  
※用具を準備する時間を短縮し、集中して実技に取り組むため補講日に2コマ通時で開講する場合がある。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回、予習復習合わせて4時間程度。  
教科書や学習指導要領などを閲覧しておくこと。また、継続的な実技練習をおこなうこと。  
書道についての歴史に関して、簡単に調べておくこと。

[ 授業計画 ]

1. 書写用具について
2. 実技の基礎①「毛筆による基本点画」
3. 書写書道の歴史
4. 実技の基礎②「毛筆による文字の書き方」
5. 実技の基礎③「毛筆によるさまざまな見本の書き方」
6. 実技の応用①「書道・漢字の書」
7. 小筆による書の学習
8. 実技の応用②「書道・仮名の書」
9. 実技の応用③「作品制作1」
10. 作品鑑賞と作品指導
11. 実技の応用④「作品制作2」
12. 実技の応用⑤「作品制作3」
13. これからの書写と書道

科目名	書道	後期	2 単位
サブタイトル	書写書道教育の基礎から応用	演習	
担当者	北山 聡佳		

[ 成績評価方法 ]  
成績評価方法提出物[レポート・作品など](70%)、受講態度(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
随時、教員から添削やコメントをおこない、フィードバックするとともに、互いの作品について考え、助言し合う方法も含める。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]  
書道 I 著者名:中村伸夫ほか 出版社:教育出版 (9784320000000)

[ 参考書(ISBN) ]  
和様の書美 著者名:横山煌平編 出版社:二玄社 (978-4-544-14005-7)  
中国法書選シリーズ 出版社:二玄社  
日本名筆選シリーズ 出版社:二玄社  
書道技法講座シリーズ 出版社:二玄社

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 勝志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  これまでの学修の成果を基に、自分で見つけたテーマについて深く調査し、論文にまとめる。</p> <p>[授業概要]  担当教員の指導のもと、研究テーマを設定し、先行研究や資料を収集して読解・検討しつつ、自ら課題に取り組むことによって卒業論文を作成する。ゼミでの発表および質疑応答のなかで批評・批判を受けとめて修正しながら、よりよい卒業論文を作りあげる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  各回、予習復習合わせて2時間程度。  事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。  必要な資料や論文を収集して読み込み、課題を熟考しておく。  計画を立て、執筆の準備を進めておく。  教員から特段の指示がない場合でも、自発的に授業内容の予習復習を行うようにする。</p> <p>[授業計画]  1.研究テーマの発表、質疑応答  2.年間計画の策定  3.研究テーマの設定と概要1  4.研究テーマの設定と概要2  5.研究テーマの設定と概要3  6.研究テーマの設定と概要4  7.研究テーマの設定と概要5  8.研究テーマの設定と概要6  9.研究テーマの設定と概要7  10.研究テーマの設定と概要8  11.中間発表1  12.中間発表2  13.中間発表3  14.発表と質疑応答1  15.発表と質疑応答2  16.発表と質疑応答3  17.個別指導1  18.個別指導2  19.個別指導3  20.個別指導4  21.個別指導5  22.個別指導6  23.個別指導7  24.成稿1  25.成稿2  26.最終点検</p>			

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 勝志		
<p>[ 成績評価方法 ] 卒業論文・試問による(100%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・適宜個別指導を行うほか、中間発表会を行う。完成論文に対しては試問によってフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p>			

S29000 [ LJH4-001 ]

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	岡墻 裕剛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	個別指導	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  これまでの学修の成果を基に、自分で見つけたテーマについて深く調査し、論文にまとめる。</p> <p>[授業概要]  担当教員の指導のもと、研究テーマを設定し、先行研究や資料を収集して読解・検討しつつ、自ら課題に取り組むことによって卒業論文を作成する。ゼミでの発表および質疑応答のなかで批評・批判を受けとめて修正しながら、よりよい卒業論文を作りあげる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  各回、予習復習合わせて2時間程度。  事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。  必要な資料や論文を収集して読み込み、課題を熟考しておく。  計画を立て、執筆の準備を進めておく。</p> <p>[授業計画]  1. 前期ガイダンス  2. プレインストーミング  3. テーマ確定  4. プロット構築  5. 基礎調査1  6. 基礎調査2  7. 基礎調査3  8. 進捗報告1  9. 進捗報告2  10. 進捗報告3  11. 前期中間発表1  12. 前期中間発表2  13. 前期振り返り  14. 後期ガイダンス  15. 後期中間発表1  16. 後期中間発表2  17. 指導と添削1  18. 指導と添削2  19. 指導と添削3  20. 指導と添削4  21. 指導と添削5  22. 指導と添削6  23. 指導と添削7  24. 論文の完成と提出  25. 梗概作成  26. 研究成果の報告</p>			



科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	岡墻 裕剛		
<p>[ 成績評価方法 ] 卒業論文・試問による(100%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 適宜個別指導を行うほか、中間発表会を行う。完成論文に対しては試問によってフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解りを見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文、試問</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 適宜指示する。</p>			

S29010 [ LJH4-001 ]

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	池田 彩音		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] これまでの学修成果をもとに、自分で見つけたテーマについて深く調査し、論文にまとめる。</p> <p>[授業概要] 担当教員の指導のもと、研究テーマを設定し、先行研究や資料を収集して読解・検討しつつ、自ら課題に取り組むことによって卒業論文を作成する。ゼミでの発表および質疑応答の中での批評・批判を受け止めて修正しながら、より良い卒業論文を作り上げる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。 事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。 必要な資料や論文を収集して読み込み、課題を熟考しておく。 計画を立て、執筆の準備を進めておく。</p> <p>[授業計画] 1. テーマの発表、質疑応答 2. 論文提出に到るまでを計画 3. 論文の内容等について、個別に話し合う(1) 4. 論文の内容等について、個別に話し合う(2) 5. 論文の内容等について、個別に話し合う(3) 6. 論文の内容等について、個別に話し合う(4) 7. 論文の内容等について、個別に話し合う(5) 8. 論文の内容等について、個別に話し合う(6) 9. 論文の内容等について、個別に話し合う(7) 10. 論文の内容等について、個別に話し合う(8) 11. 論文の内容等について、個別に話し合う(9) 12. 論文の内容等について、個別に話し合う(10) 13. 論文の概要についての発表、質疑応答(1) 14. 論文の概要についての発表、質疑応答(2) 15. 論文の概要についての発表、質疑応答(3) 16. 論文の概要についての発表、質疑応答(4) 17. 論文の概要についての発表、質疑応答(5) 18. 論文の概要についての発表、質疑応答(6) 19. 論文の概要についての発表、質疑応答(7) 20. 論文の内容・構成・表現等について、個別に指導(1) 21. 論文の内容・構成・表現等について、個別に指導(2) 22. 論文の内容・構成・表現等について、個別に指導(3) 23. 論文の内容・構成・表現等について、個別に指導(4) 24. 論文の内容・構成・表現等について、個別に指導(5) 25. 論文の内容・構成・表現等について、個別に指導(6) 26. 論文の内容・構成・表現等について、個別に指導(6)</p>			

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	池田 彩音		
<p>[ 成績評価方法 ] 卒業論文・試問による。(100%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 適宜個別指導を行うほか、中間発表を行う。完成論文に対しては、試問によってフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、卒業論文・試問</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

S29020 [ LJH4-001 ]

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	樹下 文隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	manabafによる履修者相互の評価	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

これまでの学修の成果を基に、自分で見つけたテーマについて深く調査し、論文にまとめる。

[授業概要]

担当教員の指導のもと、研究テーマを設定し、先行研究や資料を収集して読解・検討しつつ、自ら課題に取り組むことによって卒業論文を作成する。ゼミでの発表および質疑応答のなかで批評・批判を受けとめて修正しながら、よりよい卒業論文を作りあげる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度。  
事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。  
必要な資料や論文を収集して読み込み、課題を熟考しておく。  
計画を立て、執筆の準備を進めておく。

[授業計画]

1. 前期ガイダンス1 心構え
2. 前期ガイダンス2 参考図書等の探し方
3. 前期ガイダンス3 執筆の注意点
4. 前期ガイダンス4 テーマ検討
5. 個別指導1
6. 個別指導2
7. 個別指導3
8. 個別指導4
9. 中間発表1
10. 中間発表2
11. 中間発表3
12. 中間発表4
13. 夏季休業中の取り組みについて
14. 後期ガイダンス1 目次・一次稿提出
15. 後期ガイダンス2 執筆時の諸注意・推敲
16. 個別指導5
17. 個別指導6
18. 中間発表5
19. 中間発表6
20. 中間発表7
21. 中間発表8
22. 個別指導7
23. 個別指導8
24. 個別指導9
25. 要約(梗概集)の諸注意
26. 口頭試問の諸注意

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	樹下 文隆		
<p>[ 成績評価方法 ] 卒業論文・試問による(100%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・適宜個別指導を行うほか、中間発表会を行う。完成論文に対しては試問によってフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 随時指示する</p>			

S29030 [ LJH4-001 ]

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	永渕 朋枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] これまでの学修の成果を基に、自分で見つけたテーマについて深く調査し、論文にまとめる。</p> <p>[授業概要] 担当教員の指導のもと、研究テーマを設定し、先行研究や資料を収集して読解・検討しつつ、自ら課題に取り組むことによって卒業論文を作成する。ゼミでの発表および質疑応答のなかで批評・批判を受けとめて修正しながら、よりよい卒業論文を作りあげる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。 事前に担当教員が指示する学修を必ず行っておく。 必要な資料や論文を収集して読み込み、課題を熟考しておく。 計画を立て、執筆の準備を進めておく。</p> <p>[授業計画] 前期 1. 各自が卒業論文で取り上げる作品、テーマを発表。「卒論作成マニュアル」 2. 「卒業論文進行予定表」、履修チェックシート提出。図書館にて文献検索指導1。 3. (4月末)図書館にて文献検索指導2。「卒業論文構想表」提出。「卒業論文プレ中間発表」で発表することを確認。 4. (5月上旬)以後、各自調査し(取り上げる作品、全集、参考文献を読み込むなど)、毎週調査の報告をして(できるだけ毎週400字以上)、指導を受け、論の方向を決めていく。報告1。 5. (5月中旬)「卒業論文プレ中間発表1」(4回生ゼミ内) 6. 「卒業論文プレ中間発表2」(4回生ゼミ内) 7. 「卒業論文プレ中間発表3」(4回生ゼミ内) 8. (6月初旬)「卒業論文プレ中間発表4」(4回生ゼミ内) 9. 報告2 10. 報告3 11. 報告4 12. 「卒業論文の主題」(一番言いたいこと)10行程度を提出。夏休みの課題について、指導を受ける。 13. 「卒業論文の主題」10行程度を書き直して提出。 (8月末まで)「論文の仮アウトライン」提出(論文の骨子になるであろうことを800字詰め10枚以上)。</p> <p>後期 1. 新「構想表」提出。中間発表をする箇所を発表。中間発表用レジュメ作成。 2. (10月初旬)「卒業論文中間発表2」(3回生のゼミ生参加)。 3. (10月上旬)「卒業論文中間発表1」(3回生のゼミ生参加)。 4. 指摘されたことを中心に考察を深め、足りない点を調査し、卒業論文を書いていく。毎週、報告して指導を受けることは、前期と同じ。報告1。 5. 報告2 6. (11月初旬)卒論の全体を書いたものを持ってくる。 7. 推敲、書き直し1 8. 推敲、書き直し2 9. 推敲、書き直し3 10. (11月末)卒論全体を持って来て指導を受ける。ゼミ生同士で、お互いにチェックする。 11. (12月初旬)卒業論文ゼミへの提出。 12. (12月中旬)卒業論文を書き直し卒業論文を提出。 13. 卒業論文の梗概提出。主査と副査による試問。</p>			

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	永渕 朋枝		
<p>[ 成績評価方法 ] 卒業論文・試問による(100%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・適宜個別指導を行うほか、中間発表会を行ってコメントをする。完成論文に対しては試問によってフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語・日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 随時指示する</p>			

S29050 [ LJH4-001 ]

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 礼子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  これまでの学修の成果を基に、自分で見つけたテーマについて深く調査し、論文にまとめる。</p> <p>[授業概要]  担当教員の指導のもと、研究テーマを設定し、先行研究や資料を収集して読解・検討しつつ、自ら課題に取り組むことによって卒業論文を作成する。ゼミでの発表および質疑応答のなかで批評・批判を受けとめて修正しながら、よりよい卒業論文を作りあげる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  各回、予習復習合わせて2時間程度。  事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。  必要な資料や論文を収集して読み込み、課題を熟考しておく。  計画を立て、執筆の準備を進めておく。</p> <p>[授業計画]  1. 前期ガイダンス1 心構え  2. 前期ガイダンス2 参考図書等の探し方  3. 前期ガイダンス3 執筆の注意点  4. 前期ガイダンス4 テーマ検討  5. 個別指導1  6. 個別指導2  7. 個別指導3  8. 個別指導4  9. 中間発表1  10. 中間発表2  11. 中間発表3  12. 中間発表4  13. 中間発表5  14. 後期ガイダンス1 目次・一次稿提出  15. 後期ガイダンス2 執筆時の諸注意・推敲  16. 中間発表6  17. 中間発表7  18. 中間発表8  19. 中間発表9  20. 中間発表10  21. 中間発表11  22. 個別指導5  23. 個別指導6  24. 個別指導7  25. 個別指導8  26. 要約と口頭試問についての諸注意</p>			



科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	橋本 礼子		
<p>[ 成績評価方法 ] 卒業論文・試問による(100%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 適宜個別指導を行うほか、中間発表会を行う。完成論文に対しては試問によってフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 卒業論文・試問</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 随時指示する</p>			

S29070 [ LJH4-001 ]

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	安原 順子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]  これまでの学修の成果を基に、自分で見つけたテーマについて深く調査し、論文にまとめる。</p> <p>[授業概要]  担当教員の指導のもと、研究テーマを設定し、先行研究や資料を収集して読解・検討しつつ、自ら課題に取り組むことによって卒業論文を作成する。ゼミでの発表および質疑応答のなかで批評・批判を受け止めて修正しながら、よりよい卒業論文を作りあげる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  各回、予習復習合わせて2時間程度。  事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。  必要な資料や論文を収集して読み込み、課題を熟考しておく。  計画を立て、執筆の準備を進めておく。</p> <p>[授業計画]  1. 卒論執筆の年間計画  2. 資料収集①  3. 資料収集②  4. 資料収集③  5. 資料収集④  6. 下書き執筆①  7. 下書き執筆②  8. 下書き執筆③  9. 卒論中間発表会①  10. 卒論中間発表会②  11. 卒論中間発表会③  12. 卒論中間発表会④  13. 卒論中間発表会⑤  14. 卒論下書き提出  15. 添削指導①  16. 添削指導②  17. 添削指導③  18. 添削指導④  19. 添削指導⑤  20. 添削指導⑥  21. 添削指導⑦  22. 添削指導⑧  23. 添削指導⑨  24. 卒論提出  25. 口頭試問準備①  26. 口頭試問準備②</p>			

科目名	卒業論文	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	安原 順子		
<p>[ 成績評価方法 ] 卒業論文・試問による(100%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 適宜個別指導を行うほか、中間発表会を行う。完成論文に対しては試問によってフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語・日本文学・日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・卒業論文・試問</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 卒業論文指導中に、個別に指示する。 出版社:なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 卒業論文指導中に、個別に指示する。</p>			

S29090 [ LJH4-001 ]

科目名	中国文学講読Ⅰ	前期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	上原 尉暢		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 漢和辞典の調べ方、「訓読」の基礎的事項を一通り把握し、基礎的内容の古典漢文を理解できるようになる。</p> <p>[授業概要] 「漢文」とは、古典中国語を指す言葉である。本講義では、まず古典中国語の読むために必要な漢和辞典の引き方を学習し、ついで古典中国語を日本語の文法に合うように語順を入れかえ、助詞・助動詞を加える「訓読」という方法を学習する。これと平行して、訓読の文体に慣れるべく、漢文訓読体で書かれた文章も幾つか閱讀する。こうした作業を通して古典中国語を解釈・翻訳する技術を身につけるようにする。その過程では、中国古典の持つ豊かな文化的意義を学習し、さらにそれを「訓読」によって受け取ってきた日本文化の特質について理解を深めることを目指す。 授業では、予習・復習が必須であるが、提出課題を数回課す予定である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて4時間程度。 授業で扱う教科書の該当箇所を事前に目を通していき、重要事項を予習する。授業後、既習事項に関する課題プリントで配付するので、それをこなして復習に当てる。</p> <p>[授業計画] 第1回：ガイダンス——漢字と漢文／直読と訓読／日本人と漢文についての講義。 ※配布されたプリント、及び教科書に目を通し、学習内容を復習しておくこと。 第2回：漢和辞典の引き方、及び「訓読のしかた」・「書き下し文」・「熟語の構造・漢文の構造」についての解説 ※教科書の10～19頁を予習しておく。授業後、漢和辞典を引く課題と復習プリントをこなして基本知識を確認し、提出する。 第3回：「置き字」・「再読文字」・「返読文字」についての解説 ※教科書の20～25頁を予習しておく。復習プリントをこなして基本知識を整理・確認し、次週提出する。 第4回：「否定の形」についての解説 ※教科書の30～43頁を予習して、不明点・疑問点を整理しておく。授業後、復習プリントをこなして基本知識を確認し、提出する。 第5回：「使役の形」・「受け身の形」についての解説 ※教科書の46～50頁を予習して、不明点・疑問点を整理しておく。授業後、復習プリントをこなして基本知識を確認し、提出する。 第6回：「疑問の形」についての解説 ※教科書の52～61頁を予習して、不明点・疑問点を整理しておく。授業後、復習プリントをこなして基本知識を確認し、提出する。 第7回：「反語の形」についての解説 ※教科書の62～69頁を予習して、不明点・疑問点を整理しておく。授業後、復習プリントをこなして基本知識を確認し、提出する。 第8回：「感嘆の形」・「仮定の形」・「比較の形」・「比況の形」についての解説 ※教科書の70～82頁を予習して、不明点・疑問点を整理しておく。授業後、復習プリントをこなして基本知識を確認し、提出する。 第9回：「選択の形」・「限定の形」・「累加の形」・「抑揚の形」についての解説 ※教科書の83～93頁を予習して、不明点・疑問点を整理しておく。授業後、復習プリントをこなして基本知識を確認し、提出する。 第10回：「願望の形」・「倒置の形」・「最重要単語」についての解説 ※教科書の96～102頁を参照しながら、ワークの37～41頁を予習しておく。授業後、復習プリントをこなして基本知識を整理・確認し、次週提出する。 第11回：「代名詞」・「接続詞」・「注意が必要な副詞」・「助動詞」・「前置詞」・「複合語」についての解説 ※テキスト1の102～103・165～167頁を予習して、不明点・疑問点を整理しておく。授業後、復習プリントをこなして基本知識を確認し、提出する。 第12回：「意味に注意する漢字」・「読みに注意する漢字」・「兼語文」・「さまざまな修飾語句」・「名詞句を作る助詞」についての解説 ※テキスト1の168～171・185～191頁を予習して、不明点・疑問点を整理しておく。授業後、復習プリントをこなして基本知識を確認し、提出する。 第13回：まとめ ※これまでこなしてきた課題を復習し、漢文訓読についての基本的知識を固めておくこと。</p>			

科目名	中国文学講読 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	上原 尉暢		
<p>[ 成績評価方法 ] 提出物の内容及び授業内の課題による評価(30%)と期末試験による評価(70%)で判定する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業後、KISSシステムを通して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 『体系漢文』 著者名: 数研出版編集部 □出版社: (数研出版・2016) (ISBN-10: 4410343025 ISBN-13: 978-4410343025)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 『全訳漢辞海(第四版)』 著者名: 佐藤進・濱口富士雄編 出版社: (三省堂・2016) (ISBN-10: 4385140480 ISBN-13: 978-4385140483) 『角川新字源 改訂新版』 著者名: 小川環樹・西田太一郎・赤塚忠・阿辻哲次・釜谷武志・木津祐子 □出版社: (角川書店・2017) (ISBN-10: 4046219661 ISBN-13: 978-4046219664)</p>			

科目名	中国文学講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	上原 尉暢		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 「漢文訓読」の基礎を踏まえ、訓点のついていない白文でも簡単な構文であれば、辞書を使えばある程度把握できるようにする。さらに一歩進んで漢文の古典が持つ文学的な面白さを味わえるようにする。</p> <p>[授業概要] 中国文学講読Ⅰで身につけた漢文訓読法を活かしながら、具体的な中国の古典の名篇を読んでいく。それによって漢文訓読の力を高めるとともに、中国古典に対する一層の理解を深めることを目的とする。授業では前期同様、随時課題プリントを配付し、漢文訓読の基礎を確実にしていく予定。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて4時間程度。 配布された予習兼宿題を事前にしっかりしておくこと。予習不足が明らかな場合、平常点に大きく影響するので注意。また授業には必ず前期で使った教科書・関連プリント、そして辞書を必ず携帯すること。</p> <p>[授業計画] 第1回 ガイダンス——中国古典漢文のジャンルの多様性—— ※講義を通して、中国古典漢文の多様性及びこれから学習する各ジャンルの文体的特色について理解を深めること。</p> <p>第2回 諸子百家の文章を読む(1) ※前回の授業で配られた諸子百家の原文をノートに書き写し、意味内容が不明な点を辞書で調べて訓点を施し、それに基づいた書き下し文・現代語訳を作成しておくこと。授業でその適否を確認し、さらに復習によって、漢文訓読の技法に習熟すること。</p> <p>第3回 諸子百家の文章を読む(2)</p> <p>第4回 諸子百家の文章を読む(3)</p> <p>第5回 歴史書を読む(1)——『後漢書』選読—— ※配付された『史記』の原文をノートに書き写し、意味内容が不明な点を辞書で調べて訓点を施し、それに基づいた書き下し文・現代語訳を作成しておくこと。授業でその適否を確認し、さらに復習によって、漢文訓読の技法に習熟すること。</p> <p>第5回 歴史書を読む(2)——『後漢書』選読——</p> <p>第6回 歴史書を読む(3)——『後漢書』選読——</p> <p>第7回 辞賦を読む(1)——『文選』所収辞賦作選読—— ※『文選』所収の辞賦作品の原文をノートに書き写し、意味内容が不明な点を辞書で調べて訓点を施し、それに基づいた書き下し文・現代語訳を作成しておくこと。授業でその適否を確認し、さらに復習によって、漢文訓読の技法に習熟すること。加えて辞賦の文体的特色を把握すること。</p> <p>第8回 辞賦を読む(2)——『文選』所収辞賦作選読——</p> <p>第9回 文言小説を読む——六朝志怪小説または唐代伝奇小説選読—— ※書面語で書かれた六朝期あるいは唐代の文言小説を原文をノートに書き写し、意味内容が不明な点を辞書で調べて訓点を施し、それに基づいた書き下し文・現代語訳を作成しておくこと。授業でその適否を確認し、さらに復習によって、漢文訓読の技法に習熟すること。加えて所謂中国古典小説の特色を把握すること。</p> <p>第10回 古典散文作品を読む(1)——唐宋八家文選読—— ※配付された唐宋八家文の資料を原文をノートに書き写し、意味内容が不明な点を辞書で調べて訓点を施し、それに基づいた書き下し文・現代語訳を作成しておくこと。授業でその適否を確認し、さらに復習によって、漢文訓読の技法に習熟すること。加えて所謂「古文」の文体的特色の概略を把握すること。</p> <p>第11回 古典散文作品を読む(2)——唐宋八家文選読——</p> <p>第12回 古典散文作品を読む(3)——唐宋八家文選読——</p> <p>第13回 まとめ</p>			

科目名	中国文学講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	上原 尉暢		
<p>[ 成績評価方法 ] 提出物の内容による評価 (30%)と期末試験による評価 (70%)で判定する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業後、KISSシステムを通して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 『体系漢文』 著者名: 数研出版株式会社 出版社: (数研出版・2016) (ISBN-10: 4410343025 ISBN-13: 978-4410343025)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 『全訳 漢辞海(第四版)』 著者名: 佐藤進・濱口富士雄編 出版社: 三省堂 (ISBN-10: 4385140480 ISBN-13: 978-4385140483) 『角川新字源 改訂新版』 著者名: 小川環樹・西田太郎他 出版社: 角川書店 (ISBN-10: 4046219661 ISBN-13: 978-4046219664)</p>			

科目名	中国文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	上原 尉暢		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          中学・高校の漢文教育において既習しておくべき最低限の中国文学に関する知識を身につけてもらい、同時にこれまでの自分たちが習っていた中国古典文学の世界がかなり狭い範囲に限定されていたことを確認してもらう。さらに文学作品の具体的な解釈を通して、観賞の方法の多様性や多角的な見方が存在することを発見してもらう。</p> <p>[ 授業概要 ]          日本語の文字について考える時、漢字が不可欠な存在であることからあきらかなように、日本文化に中国文化が与えてきた影響は多大なものがある。したがって中国文化の精髓である古典に接することは、単に中国の文化を理解することのみならず、私たち日本人自身の足もとを理解することにも役立つであろう。本 Semester では、先秦期から魏晋南北朝期の文学史的な流れを関連資料を通して概観していく。同時に古典を読むための工具書(辞書他参考書)の使い方、研究の方法についても解説していく。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          各回、予習・復習合わせて4時間程度。          授業内容に関連するプリントを配布するので、辞書や中国文学講読で用いた教科書『体系漢文』を用いて、疑問点・不明点を調べておくこと。授業ではそのプリント及び『体系漢文』を必ず持参するように。</p> <p>[ 授業計画 ]          1. ガイダンス——中国古典文学史の特色をめぐって          2. 『詩経』の歌謡          3. 『楚辞』文藝と屈原について          4. 先秦期の哲学と文章          5. 『史記』の文章とその背景          6. 後漢の辞賦文芸と五言詩          7. 三国時代の文学——曹操・曹植・曹丕を中心に          8. 晋代の文学——陸機・潘岳・陶淵明          9. 宋・齊・梁・陳代の文学——謝靈運らの文学          10. 中国古代の小説を読んでみる1——『山海経』を中心に          11. 中国古代の小説を読んでみる2——『搜神記』・『世説新語』          12. 漢訳仏典と何か          13. まとめ</p>			



科目名	中国文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	上原 尉暢		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業内の提出物による評価 (30%) + 学期末の論述試験による評価 (70%) で判定する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業後、KISSシステムを通して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] プリントを配布する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 授業内で指示する。</p>			

科目名	中国文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	上原 尉暢		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          中学・高校の漢文教育において既習しておくべき最低限の中国文学に関する知識を身につけてもらい、同時にこれまでの自分たちが習っていた中国古典文学の世界がかなり狭い範囲に限定されていたことを確認してもらう。さらに文学作品の具体的な解釈を通して、観賞の方法の多様性や多角的な見方が存在することを発見してもらう。</p> <p>[ 授業概要 ]          前期を引き継ぎ、中国文学史を概観する。今期は特に唐代・宋代の詩文を対象とし、その観賞の仕方、文学史的な流れを学ぶ。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          各回、予習・復習合わせて4時間程度。          前期同様、授業内容に関連するプリントを配布するので、辞書や中国文学講読で用いた教科書『体系漢文』を用いて、疑問点・不明点を調べておくこと。授業ではそのプリント及び『体系漢文』を必ず持参するように。授業で扱う関連箇所を事前にテキストを読んで把握しておくこと。</p> <p>[ 授業計画 ]          1. 南北朝期の文章と文学理論について——『文心雕龍』・『詩品』などを中心に          2. 唐宋期の文学の展開、及び初唐の文学の概説          3. 王維・孟浩然の詩——盛唐の詩1          4. 李白の詩——盛唐の詩2          5. 杜甫の詩——盛唐の文学3          6. 韓愈・柳宗元の詩文——中唐期・晩唐の文学1          7. 白居易・李商隠の詩文——中唐・晩唐の文学2          8. 『遊仙窟』・『杜子春伝』をめぐる——唐代の伝記小説の展開          9. 中国の神話と伝説          10. 宋代の詩——欧陽脩・蘇軾・陸游を中心に          11. 宋代の文章と小説——唐代以降の散文文学の展開          12. 五代・宋の詞          13. まとめ</p>			

科目名	中国文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	上原 尉暢		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業内の提出物による評価(30%)+学期末の論述試験による評価(70%)で判定する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業後、KISSシステムを通して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] プリントを配付する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 授業内で指示する。</p>			

科目名	日本語学概論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻 裕剛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語と日本人の関係を客観的に説明できる</li> <li>・日本語の表記・語彙上の特徴を把握し、正確な情報を選択できる。</li> <li>・日本語の位相(変種)について説明できる</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>日本語学は日本語の言語現象ならびに関連事象を扱う幅広い分野である。この授業では特に、文字・日本語史・位相・敬語・語彙といった内容について取り扱い、日本語学の基礎的な知識について理解を深めることを目的とする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。      普段から日本語の言語現象について注意深く観察・考察しておくこと。      毎時授業の振り返り課題を行うので、主体的に復習を行うこと。      次週の授業テーマについて、事前に参考文献、概説書、インターネットなどで調査しておくこと。      欠席者は必ず授業内容を確認しておくこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 日本語学とは</li> <li>2. 日本人と名前</li> <li>3. 日本語と日本人</li> <li>4. 日本語の特徴(1) 起源・音声</li> <li>5. 日本語の特徴(2) 文法・語彙・表記</li> <li>6. 言語の位相・方言</li> <li>7. 日本語と文字(1) 漢字</li> <li>8. 日本語と文字(2) 仮名</li> <li>9. 日本語と文字(3) その他</li> <li>10. 敬語(1) 基礎・理論</li> <li>11. 敬語(2) 応用・現実</li> <li>12. 新しい日本語表現</li> <li>13. ことば遊び</li> </ol>			

科目名	日本語学概論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻 裕剛		
<p>[ 成績評価方法 ]  リアクションペーパー(5%×13回)、授業内での確認課題(35%)  ※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。  ・また、manabaを用いて随時フィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし</p>			

S20020 [ LJH1-003 ]

科目名	日本語学概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻 裕剛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の文法的・音声的な特徴について適切な情報を選択できる。</li> <li>・学校文法の問題点を指摘できる。</li> <li>・日本語教育上の立場からの日本語の特徴を説明できる。</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>日本語学は日本語の言語現象ならびに関連事象を扱う幅広い分野である。この授業では特に、音声・文法・日本語教育といった内容について取り扱い、日本語学のやや発展的な知識について理解を深めることを目的とする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。  普段から、日本語の言語現象について注意深く観察・考察しておくこと。  毎時授業の振り返り課題を行うので、主体的に復習を行うこと。  次週の授業テーマについて、事前に参考文献、概説書、インターネットなどで調査しておくこと。  欠席者は必ず授業内容を確認しておくこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 日本語の音声(1) 基礎</li> <li>3. 日本語の音声(2) 発展</li> <li>4. オノマトペ(1) 基礎</li> <li>5. オノマトペ(2) 発展</li> <li>6. 日本語の文法(1) 学校文法</li> <li>7. 日本語の文法(2) 動詞の種類</li> <li>8. 日本語の文法(3) 品詞以外の要素</li> <li>9. 社会と言語</li> <li>10. 語用論</li> <li>11. 日本語教育(1) 現状・歴史・言語言語獲得</li> <li>12. 日本語教育(2) 実践</li> <li>13. 言語の情報性</li> </ol>			

科目名	日本語学概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻 裕剛		
<p>[ 成績評価方法 ]  リアクションペーパー(5%×13回)、授業内での確認課題(35%)  ※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。  ・また、manabaを用いて随時フィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:リアクションペーパー、授業内課題</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし</p>			

S20030 [ LJH1-004 ]

科目名	日本語学講読 I	前期	2 単位
サブタイトル	『万葉集』を読む	講義	
担当者	山口 真輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

「辞書を引くだけではわからない単語の使い方を見いだすことができる」

1. 目的のために適切な辞書を引くことができる。
2. 『万葉集』の中から目的に応じた用例を集めることができる。
3. 集めた用例を整理して特徴を見いだすことができる。
4. 調べた結果を5分程度に簡潔にまとめて発表できる。

[授業概要]

『万葉集』が編纂された奈良時代の日本語(語彙・表記)について学ぶ。

語彙では、『万葉集』で使われる単語の中でも、とくに現代語と見た目や意味が違わないように見える単語に注目する。たとえば「恋」は、古語辞典で調べても「恋・恋心」という現代語と変わらない意味が書かれているだけであるが、『万葉集』に出てくる「恋」を調べてみると、ある一定の傾向を示す。このように辞書で調べるだけではわからないニュアンスや当時の常識、共通認識などを知ることによって、歌に対する理解を深める。

授業では実際に『万葉集』で使われている単語について調べ、発表してもらおう。

表記では、平仮名や片仮名が生まれる前の時代に、漢字だけでどのように和歌が書かれているのか漢字のさまざまな用いられ方を学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

授業で配布する資料をよく読み、必要なら動画を視聴して、毎回課題に取り組む。各回、予習復習合わせて4時間程度。特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うこと。

[授業計画]

1. 万葉集とは
2. 知っているつもり単語(1)「宿」
3. 知っているつもり単語(2)「去る」
4. 万葉集と四季(1)「なでしこ」
5. 万葉集と四季(2)-季節の景物
6. 辞書を引く
7. 万葉集での使い方を調べる(1)-用例を見つける
8. 万葉集での使い方を調べる(2)-用例を整理する
9. 単語をどのような漢字で表すか-七夕の歌
10. 漢字をどのように読むか
11. 当時の漢字と今の漢字
12. 万葉仮名について
13. まとめ



科目名	日本語学講読 I	前期	2 単位
サブタイトル	『万葉集』を読む	講義	
担当者	山口 真輝		

[ 成績評価方法 ]

課題の提出(30%)、授業内作業と発表(30%)、レポート(40%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

小テスト・課題には必要に応じてコメントを付けて返却します  
質問・疑問等には小テスト内に設けた質問欄、manabaの掲示板等で回答します  
レポートを実施した場合は、後日コメントを付けて返却します

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。

成績評価方法: 課題・レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 課題・レポート

[ 教科書(ISBN) ]

適宜プリントを配布する

[ 参考書(ISBN) ]

なし

科目名	日本語学講読 I	前期	2 単位
サブタイトル	『万葉集』を読む	講義	
担当者	山口 真輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>「辞書を引くだけではわからない単語の使われ方を見いだすことができる」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目的のために適切な辞書を引くことができる。</li> <li>2. 『万葉集』の中から目的に応じた用例を集めることができる。</li> <li>3. 集めた用例を整理して特徴を見いだすことができる。</li> <li>4. 調べた結果を5分程度に簡潔にまとめて発表できる。</li> </ol> <p>[授業概要]</p> <p>『万葉集』が編纂された奈良時代の日本語(語彙・表記)について学ぶ。</p> <p>語彙では、『万葉集』で使われる単語の中でも、とくに現代語と見た目や意味が違わないように見える単語に注目する。たとえば「恋」は、古語辞典で調べても「恋・恋心」という現代語と変わらない意味が書かれているだけであるが、『万葉集』に出てくる「恋」を調べてみると、ある一定の傾向を示す。このように辞書で調べるだけではわからないニュアンスや当時の常識、共通認識などを知ることによって、歌に対する理解を深める。</p> <p>授業では実際に『万葉集』で使われている単語について調べ、発表してもらおう。</p> <p>表記では、平仮名や片仮名が生まれる前の時代に、漢字だけでどのように和歌が書かれているのか漢字のさまざまな用いられ方を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業で配布する資料をよく読み、必要なら動画を視聴して、毎回課題に取り組む。各回、予習復習合わせて4時間程度。特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 万葉集とは</li> <li>2. 知っているつもり単語(1)「宿」</li> <li>3. 知っているつもり単語(2)「去る」</li> <li>4. 万葉集と四季(1)「なでしこ」</li> <li>5. 万葉集と四季(2)-季節の景物</li> <li>6. 辞書を引く</li> <li>7. 万葉集での使われ方を調べる(1)-用例を見つける</li> <li>8. 万葉集での使われ方を調べる(2)-用例を整理する</li> <li>9. 単語をどのような漢字で表すか-七夕の歌</li> <li>10. 漢字をどのように読むか</li> <li>11. 当時の漢字と今の漢字</li> <li>12. 万葉仮名について</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本語学講読 I	前期	2 単位
サブタイトル	『万葉集』を読む	講義	
担当者	山口 真輝		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題の提出(30%)、授業内作業と発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 小テスト・課題には必要に応じてコメントを付けて返却します 質問・疑問等には小テスト内に設けた質問欄、manabaの掲示板等で回答します レポートを実施した場合は、後日コメントを付けて返却します</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 課題・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 適宜プリントを配布する</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	日本語学講読Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	『万葉集』を読む	講義	
担当者	山口 真輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 『万葉集』を読み、問題点や興味のある点を見つけ出し、実際に資料を使って調べてまとめ、わかりやすく伝えることができる。 人の発表を問題意識を持ちながら聞き、質問できる。</p> <p>[授業概要] 『万葉集』のなかから自分なりに興味のある点を見つけ出し、調べて、発表してもらう。 まず、『万葉集』を読むための知識を再確認し、何を調べるのか、どのように調べるのか、どうやって発表するのかという方法を学ぶ。それから、実際に自分が発表する、あるいは人の発表を聞くことを通して、『万葉集』についての知識を深める。 必須ではないが、前期の授業と併せて受講することが望ましい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業内容を復習し、出された課題に取り組む。また自分の発表に向けた準備をする。各回、予習復習合わせて4時間程度。特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うこと。</p> <p>[授業計画] 1.万葉集を読む上での注意 2.単語について調べる 3.表記について調べる 4.資料のまとめ方、発表方法 5.発表(1) 6.発表(2) 7.発表(3) 8.発表(4) 9.発表(5) 10.発表(6) 11.発表(7) 12.発表(8) 13.発表(9)</p>			

科目名	日本語学講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	『万葉集』を読む	講義	
担当者	山口 真輝		

[ 成績評価方法 ]

課題の提出(25%)、他人の発表に対する質問とコメント(25%)、発表・レジュメ・レポート(50%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

レポートは後日コメントをつけて返却します

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。

成績評価方法: 課題・レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 課題・レポート

科目名	日本語学講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	『万葉集』を読む	講義	
担当者	山口 真輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 『万葉集』を読み、問題点や興味のある点を見つけ出し、実際に資料を使って調べてまとめ、わかりやすく伝えることができる。 人の発表を問題意識を持ちながら聞き、質問できる。</p> <p>[ 授業概要 ] 『万葉集』のなかから自分なりに興味のある点を見つけ出し、調べて、発表してもらおう。 まず、『万葉集』を読むための知識を再確認し、何を調べるのか、どのように調べるのか、どうやって発表するのかという方法を学ぶ。それから、実際に自分が発表する、あるいは人の発表を聞くことを通して、『万葉集』についての知識を深める。 必須ではないが、前期の授業と併せて受講することが望ましい。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 授業内容を復習し、出された課題に取り組む。また自分の発表に向けた準備をする。各回、予習復習合わせて4時間程度。特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うこと。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.万葉集を読む上での注意 2.単語について調べる 3.表記について調べる 4.資料のまとめ方、発表方法 5.発表(1) 6.発表(2) 7.発表(3) 8.発表(4) 9.発表(5) 10.発表(6) 11.発表(7) 12.発表(8) 13.発表(9)</p>			

科目名	日本語学講読Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	『万葉集』を読む	講義	
担当者	山口 真輝		

[ 成績評価方法 ]

課題の提出(25%)、他人の発表に対する質問とコメント(25%)、発表・レジюме・レポート(50%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

レポートは後日コメントをつけて返却します

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。

成績評価方法: 課題・レポート

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。

成績評価方法: 課題・レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 課題・レポート

科目名	日本語教育特講 I	前期	2 単位
サブタイトル	外国人に教える日本語	講義	
担当者	安原 順子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 外国人に対する日本語教育の音声・文法について学ぶことを目標とする。</p> <p>[ 授業概要 ] 日本語教育特講 I は、日本語教員資格取得希望者には必修の科目である。本講義では、前年度に受講済みの日本語学概論の内容を踏まえ、さらに詳しく外国人への日本語教育のための日本語学を取り上げる。次年度からの日本語教授法の授業に備え、外国人にとっての日本語を、その困難点を中心に分野別に整理し、考えることを目標にする。文法の問題も一部取り上げるが、外国人の間違いやすい点を中心に、実例を通して学ぶ内容になる。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 前回の授業内容を復習し、理解してから授業に参加すること。授業外でも、外国人の使う日本語に興味や関心を持つこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに</li> <li>2. 日本語音声の問題点</li> <li>3. アクセント・イントネーションの問題点</li> <li>4. 文法の問題点① 品詞分類</li> <li>5. 文法の問題点② 動詞の活用形 辞書形</li> <li>6. 文法の問題点③ 動詞の活用形 て形、た形</li> <li>7. 文法の問題点④ 助詞</li> <li>8. 文法の問題点⑤ 主語</li> <li>9. 文法の問題点⑥ テンス</li> <li>10. 文法の問題点⑦ 授受表現</li> <li>11. 文法の問題点⑧ 受け身</li> <li>12. 文字・表記の問題点① 文字の種類とひらがな、書くことの問題点</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			



科目名	日本語教育特講 I	前期	2 単位
サブタイトル	外国人に教える日本語	講義	
担当者	安原 順子		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験 (70%)、受講態度 (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 試験後、試験用紙を返却し、解説する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 試験、受講態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 試験、受講態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 試験、受講態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 試験、受講態度</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 試験、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 試験、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 試験、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 試験、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 試験、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 試験、受講態度</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 授業中に指示する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 授業中に紹介する。</p>			

科目名	日本語教育特講Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	異文化と第二言語習得	講義	
担当者	安原 順子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 日本語教育に必要な異文化間コミュニケーションについて学ぶことを目標とする。</p> <p>[授業概要] 外国人とのコミュニケーションを、日本語教育を通して考える。日本語教育の現場は、直接異文化に触れ、異文化との交流を最も身近に感じられる場所である。しかし、同時にコミュニケーション不足から多くの問題も生まれている。本講義では、実例を通して外国人、日本人それぞれの立場からの交流を広く考える。また、バイリンガリズム、第二言語習得、年少者への日本語教育なども取り上げて、現在の日本語教育に不可欠な知識を増やし、問題点を指摘する方法を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 前回の授業内容を復習し、理解してから授業に参加すること。授業外でも、講義のテーマに興味や関心を持つこと。</p> <p>[授業計画] 1. 日本語教員の資質・能力、日本語教育とICT、著作権 2. 言語と社会の関係、言語政策 3. 言語使用と社会、異文化コミュニケーション 4. 言語習得・発達、第二言語習得理論 5. バイリンガリズムとは何か 6. ファミリーバイリンガリズム、イマージョン教育 7. 習得過程(第一言語・第二言語) 8. 学習ストラテジー 9. 異文化理解と心理 10. 異文化受容・適応 11. コミュニケーションにおける文化的差異 12. コミュニケーション能力 13. まとめ</p>			

科目名	日本語教育特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	異文化と第二言語習得	講義	
担当者	安原 順子		

[ 成績評価方法 ]  
試験 (80%)、受講態度 (20%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
試験後、試験用紙を返却し、解説する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  
成績評価方法: 試験、受講態度

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  
成績評価方法: 試験、受講態度

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  
成績評価方法: 試験、受講態度

学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。  
成績評価方法: 試験、受講態度

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法: 試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  
成績評価方法: 試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  
成績評価方法: 試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法: 試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法: 試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法: 試験、受講態度

[ 教科書 (ISBN) ]  
『ベーシック日本語教育』 著者名: 佐々木泰子他 出版社: ひつじ書房 (978-4-89476-285-5)

[ 参考書 (ISBN) ]  
授業中に紹介する。

科目名	日本語教授法 I - i	前期	2 単位
サブタイトル	日本語教員になるための基礎を学ぶ	講義	
担当者	堀 勝博		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 日本語教育の内容や方法、日本語教育で用いられる専門的用語、日本語学習者の学習段階など、日本語教授法に関する基礎的知識について理解・運用できるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 日本語を学習する外国人の数は世界全体で400万人を超えと言われ、日本語教師養成が一つの課題となっているが、日本人なら、だれでも日本語を教えられるというものでもない。外国人学習者に日本語を教える日本語教師という資格を得るにはどのような体系的知識が求められるのか、この授業は、日本語教師になるための基礎知識を習得することを目的とするものである。「日本語教授法 I - i」では、教科書にもとづき、日本語教育の歴史や現状に始まり、具体的指導計画の作成や授業の進め方などについて、具体的に学習する。一方的な講義ではなく、毎回小テストを課したり、口頭発表を求めたりして、受講生の積極的な参加を求める。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習復習合わせて4 時間程度、積極的に取り組むこと。とくに、各回、テキスト所定箇所を事前に読み、その内容を把握したうえで授業に臨むことが求められる。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入授業 —日本語教師になるために</li> <li>2. 日本語教育の歴史と現状 (p.2—p.62)</li> <li>3. 異文化理解と日本語教育 (p.64—p.113)</li> <li>4. 授業計画と評価の方法 (p.116—p.133)</li> <li>5. 日本語能力認定基準と指導案作成 (p.134—p.153)</li> <li>6. 日本語指教育におけるコミュニケーションとリテラシー (p.154—p.174)</li> <li>7. 日本語教育に必要な言語学の基礎知識 (p.176—p.191)</li> <li>8. 日本語の音声—母音、子音、半母音 (p.194—p.208)</li> <li>9. 日本語の音声—特殊音、アクセント、イントネーションなど (p.209—p.226)</li> <li>10. 日本語の語彙 (p.228—p.241)</li> <li>11. 日本語の文法—品詞、文の種類、テンス、アスペクト、ムードなど (p.242—p.276)</li> <li>12. 語用論、日本語の文字、日本語史 (p.278—p.306)</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本語教授法 I - i	前期	2 単位
サブタイトル	日本語教員になるための基礎を学ぶ	講義	
担当者	堀 勝博		

[ 成績評価方法 ]

授業に取り組む姿勢および小テストの評点 40%

最終見極め試験 60%

ただし、上記にかかわらず、日本語能力試験N5～N1 認定基準の概要を理解していない者は、単位認定対象とはしない(最終見極め試験に問題が出題される)。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

毎回課題や試験を実施した後、その成績や正答について、授業やmanabaを通して、解説する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

ベーシック日本語教育 著者名: 佐々木泰子編 出版社: (ひつじ書房) (978-4894762855)

[ 参考書(ISBN) ]

外国人が日本語教師によくする100の質問新装版 (日本語を教える) 著者名: 酒入郁子他著 出版社: ハベルプレス (9780000000000)

講座・日本語教育学 全6巻 著者名: 縫部義憲監修 出版社: (スリーエーネットワーク) 全6巻

日本語教科書の落とし穴 著者名: 新屋映子 出版社: アルク (9784760000000)

日本語教師になりたいあなたへ 著者名: 佐々木瑞枝 出版社: 小学館 (978-4-09-840132-1)

科目名	日本語教授法 I - ii	後期	2 単位
サブタイトル	日本語の教え方を学ぶ	講義	
担当者	堀 勝博		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	グループによる模擬授業実施	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

日本語教科書を用いて、教室で実際にどのように授業を行うのか、指導案や教材の作り方も含め、要諦を体得する

[授業概要]

日本語を学習する外国人の数は世界全体で400万人を超えと言われ、日本語教師養成が一つの課題となっているが、日本人なら、だれでも日本語を教えられるというものでもない。外国人学習者に日本語を教える日本語教師という資格を得るにはどのような体系的な知識が求められるのか、この授業は、日本語教師になるための基礎知識を習得することを目的とするものである。「日本語教授法 I - ii」では、実際に外国人学習者が用いる日本語の教科書を授業のテキストとして、日本語を教室で教える方法や留意点について、具体的に解説する。一方的な講義ではなく、事前に与えられた課題について発表したり、実際に簡単な指導計画を作って模擬授業を実施したりして、実践的に学習する予定である。学習者役として、留学生も模擬実習に参加する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習あわせて4時間程度。

テキスト所定箇所を素読して、その内容をじゅうぶん把握して授業に臨むこと。また宿題が出された場合は次週までにやっておくこと。評価の大きなポイントとなる研究発表と模擬授業については、じゅうぶん時間をかけて教材研究を行うこと。

[授業計画]

1. 導入授業 — 授業の方針説明、グループ分け、発表や模擬授業の日程
2. 日本語授業の実際 — 教科書と教材研究
3. 日本語授業の実際 — 指導案の書き方
4. 日本語授業の実際 — さまざまな実践例に学ぶ
5. 日本語授業の実際 — よい授業をするために
6. 『みんなの日本語 I』第1課～第5課 — 指示詞、数詞の扱い方など
7. 『みんなの日本語 I』第6課～第10課 — やりもらい、所在など
8. 『みんなの日本語 I』第11課～第14課 — テ形の教え方など
9. 『みんなの日本語 I』第15課～第17課 — 研究発表と模擬授業
10. 『みんなの日本語 I』第18課～第20課 — 研究発表と模擬授業
11. 『みんなの日本語 I』第21課～第23課 — 研究発表と模擬授業
12. 『みんなの日本語 I』第24課～第25課 — 研究発表と模擬授業
13. まとめ

※授業実施回や内容は、履修生の人数や理解度等に応じて、変更する場合がある

科目名	日本語教授法 I – ii	後期	2 単位
サブタイトル	日本語の教え方を学ぶ	講義	
担当者	堀 勝博		

[ 成績評価方法 ]

教材研究や模擬授業に取り組む姿勢、授業を受講する態度、小テストやアンケート回答状況(40%)、指導案ならびに模擬授業の評点(20%)、研究発表およびレポートの内容(20%)、最終見極め試験の評点(20%)発表担当日には欠席しないこと。万一无断欠席した場合は、その時点で単位不認定となる。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

毎回課題や模擬授業を実施した後、その評価について、授業中や授業後に解説する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

『みんなの日本語 初級 I 第2版』 著者名:スリーエーネットワーク編 出版社:スリーエーネットワーク (978-488319-6036)

[ 参考書(ISBN) ]

『みんなの日本語初級 I 教え方の手引き』 著者名:スリーエーネットワーク(編著) 出版社:スリーエーネットワーク (978-488319-1604)

『日本語初級1 大地』メインテキスト、教師用ガイド 著者名:山崎佳子・石井怜子他著 出版社:スリーエーネットワーク (978-4883194766, 978-4883195510)

『日本語文型辞典』 著者名:グループ・ジャマシイ 出版社:くろしお出版 (978-487424-154-9)

『新・はじめての日本語教育』1・2 著者名:高見澤孟他 出版社:ask (978-487217-515-8, 978-487217-514-1)

『初級日本語文法と教え方のポイント』 著者名:市川保子著 出版社:スリーエーネットワーク (978-4-88319-336-3)

科目名	日本語教授法Ⅱ－ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	模擬実習を通じた実践日本語教育	講義	
担当者	岡田 由紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

授業計画の一連の流れを理解し、発表を通して、模擬実習の経験を積み、より良い授業実践に改善できる。

[授業概要]

日本語教授法Ⅱでは、日本語学概論から、言語学概論、日本語教授法Ⅰで学んだ知識と理論を授業の中でどのように活かせるかを学び、同時に、日本語教育模擬実習への準備として発表も行う。教科書は日本語教授法Ⅰで使用した『みんなの日本語初級Ⅰ』を使用し、授業での教室作業を検討して発表後、その内容について討議する。留学生や外国人研修生などへの日本語指導経験がある教員が、その経験を活かして、模擬授業の教案作成・発表・討議の際にコメントやアドバイス、実際の指導方法の例を挙げて説明・指導を行う。教科書の使用法、教授法については日本語教授法Ⅰで講義をしているので、前年度までに教授法Ⅰを履修した学生の受講が望ましい。

- ・4回生の模擬実習のみの受講は認めない。
- ・4回生の1年間で「日本語教員養成講座」のすべての単位をまとめて取得することも認めない。(受講可否が不明瞭な場合、1回目の授業に欠席する場合は必ず連絡のこと)学習者役として、留学生も模擬実習に参加する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- ・各回、予習復習合わせて4時間程度。
- ・教員から特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うこと。
- ・発表者は発表日2週間前までに最初の教案を提出し、発表日3日前までに教案修正を終え、発表の許可をとること。

[授業計画]

1. オリエンテーション
2. 導入、練習方法
3. 教案の書き方
4. 個人発表①(学生A・B担当課文型1つ目)
5. 個人発表②(学生C・D担当課文型1つ目)
6. 個人発表③(学生E・F担当課文型1つ目)
7. 個人発表④(学生G・H担当課文型1つ目)
8. 総復習 1回目の発表分
9. 個人発表⑤(学生A・B担当課文型2つ目)
10. 個人発表⑥(学生C・D担当課文型2つ目)
11. 個人発表⑦(学生E・F担当課文型2つ目)
12. 個人発表⑧(学生G・H担当課文型2つ目)
13. 総復習 2回目の発表分



科目名	日本語教授法Ⅱ－ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	模擬実習を通じた実践日本語教育	講義	
担当者	岡田 由紀子		
<p>[ 成績評価方法 ]  模擬実習2回(70%)、レポート(15%)、受講態度(15%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・模擬実習前は教案を添削して返却。(直接またはメール)  ・模擬実習後は実習についてのコメントをまず授業内で行い、後日コメントシートにまとめたものを発表者に渡す。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  成績評価方法: 模擬実習・レポート・授業態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。  成績評価方法: 模擬実習・レポート・授業態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。  成績評価方法: 模擬実習・レポート・授業態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  成績評価方法: 模擬実習・レポート・授業態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。  成績評価方法: 模擬実習・レポート・授業態度</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: 模擬実習・レポート・授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 模擬実習・レポート・授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 模擬実習・レポート・授業態度</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  みんなの日本語初級Ⅰ 第2版 出版社:スリーエーネットワーク (9784880000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  みんなの日本語初級Ⅰ 第2版 翻訳・文法解説 英語版 出版社:スリーエーネットワーク (9784880000000)  みんなの日本語初級Ⅰ 22版  教え方の手引き 出版社:スリーエーネットワーク (9784880000000)  みんなの日本語Ⅰ 第2版絵教材CD-ROMブック 著者名:なし。 出版社:スリーエーネットワーク (9784883196128)</p>			

科目名	日本語教授法Ⅱ－ii	後期	2 単位
サブタイトル	模擬実習を通じた実践日本語教育	講義	
担当者	安原 順子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] グループ発表を通して、模擬実習の経験を積むことを目標とする。</p> <p>[授業概要] 日本語教授法Ⅱでは、日本語学概論から、言語学概論、日本語教授法Ⅰで学んだ知識と理論を授業の中でどのように生かせるかを学び、同時に、日本語教育実習への準備としてグループでの発表も行う。教科書は日本語教授法Ⅰで使用した『みんなの日本語初級Ⅰ』を使用し、授業での教室作業をグループで検討して発表後、その内容について討議する。教科書の使用方法、教授法については日本語教授法Ⅰで講義をしているので、前年度までに教授法Ⅰを履修した学生の受講が望ましい。本講義を履修する学生は、日本語実習を併修すること。4回生の模擬実習のみの受講は認めない。また、4回生時に、日本語教員養成講座のすべての単位を取得することも認めない。学習者役として、留学生も模擬実習に参加する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。 発表グループの担当する課を事前に読んでから、授業に参加すること。</p> <p>[授業計画] 1. 模擬実習の準備 2. 模擬実習の実際 3. 模擬実習 グループ1 4. 模擬実習 グループ2 5. 模擬実習 グループ3 6. 模擬実習 グループ4 7. 模擬実習 グループ5 8. 模擬実習 グループ6 9. 模擬実習 グループ7 10. 模擬実習 グループ8 11. 模擬実習 グループ9 12. 模擬実習 グループ10 13. まとめ</p>			

科目名	日本語教授法Ⅱ－ii	後期	2単位
サブタイトル	模擬実習を通じた実践日本語教育	講義	
担当者	安原 順子		
<p>[ 成績評価方法 ]  模擬実習(80%)、受講態度(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  模擬実習前には教育実習案について、模擬実習後には模擬実習についてコメントし、フィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 模擬実習、受講態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。  成績評価方法: 模擬実習、受講態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  成績評価方法: 模擬実習、受講態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。  成績評価方法: 模擬実習、受講態度</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 模擬実習、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 模擬実習、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 模擬実習、受講態度</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  『みんなの日本語初級1』第2版 著者名: 鶴尾能子 出版社: (スリーエーネットワーク) (978-4-88319-603-6)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	日本語史 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻 裕剛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の歴史的な変遷を理解し、概略を説明できる。</li> <li>・個別の術語を適切に選択したり、説明したりできる。</li> <li>・特定の文献の名称や資料的価値を説明できる。</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>日本語がたどってきた歴史的変遷に理解を深め、日本語における伝統的な言語文化とその特質を知る。授業は主に時代区分に従ってその時代の日本語の特徴や言語現象の変遷を解説し、適宜、受講者に対し設問を設け、能動的な授業への参加を促す。毎時間、問いへの回答と教員への意見・質問等をリアクションペーパーに記述し、その提出によって日常の習熟度を計る。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。      毎時で提示される問いに対する回答を提出する。      授業内容について不明点・疑問を探し、各自で調査する。      教員から特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うように。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 日本語史について</li> <li>2. 言語と日本語の歴史</li> <li>3. 日本語史概観 奈良時代以前の日本語</li> <li>4. 奈良時代～平安初期の日本語</li> <li>5. 平安時代の日本語(1) 古典語</li> <li>6. 平安時代の日本語(2) 文字・字書</li> <li>7. 平安時代～鎌倉時代の日本語</li> <li>8. 鎌倉時代～室町時代の日本語</li> <li>9. 江戸時代の日本語(1) 近世語</li> <li>10. 江戸時代の日本語(2) 西洋文化の影響</li> <li>11. 近代の日本語(1) 近代語</li> <li>12. 近代の日本語(2) 国語施策</li> <li>13. 現代とこれからの日本語</li> </ol>			

科目名	日本語史 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻 裕剛		
<p>[ 成績評価方法 ]  リアクションペーパー(5%×12回)、授業内での確認課題(40%)。  ※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。  ・また、manabaを用いて随時フィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法:リアクションペーパー、確認課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法:リアクションペーパー、確認課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。  成績評価方法:リアクションペーパー、確認課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。  成績評価方法:リアクションペーパー、確認課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:リアクションペーパー、確認課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:リアクションペーパー、確認課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:リアクションペーパー、確認課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:リアクションペーパー、確認課題</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  国語学 著者名:築島裕 出版社:東京大学出版会 (978-4130820011)  ガイドブック日本語史 著者名:大木一夫 出版社:ひつじ書房 (978-4894766150)  はじめて読む日本語の歴史 著者名:沖森卓也 出版社:ベレ出版 (978-4860642556)</p>			

科目名	日本語史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻 裕剛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で取り扱った日本語学用語の特徴を適切に説明できる。</li> <li>・自ら主体的に情報収集を行える。</li> <li>・指定の形式に情報を整えて報告できる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>日本語史・日本文化上の重要語句について理解を深め、その特徴を学ぶ。授業の具体的な流れとしては、教員が設定する用語について受講者が事前に入念な資料調査を行い、授業時間にグループワークを行ってその内容に関する質問に対する解答を作成するという形式を取る。また、適度に理解度確認のための授業内課題を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。 各回のテーマに関連する文献・資料の情報を調査しておく。 学習した内容を復習する。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 授業の進め方(講義)</li> <li>2. 暦</li> <li>3. 干支</li> <li>4. 五十音図</li> <li>5. いろはうた</li> <li>6. 数と数え方(講義)</li> <li>7. 音声</li> <li>8. アクセント</li> <li>9. 係り結び</li> <li>10. 方言と共通語</li> <li>11. 漢文訓読</li> <li>12. モーフ(講義)</li> <li>13. 授業のまとめ</li> </ol>			

科目名	日本語史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻 裕剛		

[ 成績評価方法 ]

提出物(6%×10回)、確認課題(40%)

※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

- ・各回、質問・疑問に対してコメントと解説を行う。
- ・また、manabaを用いて随時フィードバックする。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。

成績評価方法: 提出物、確認課題

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。

成績評価方法: 提出物、確認課題

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。

成績評価方法: 提出物、確認課題

学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。

成績評価方法: 提出物、確認課題

学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。

成績評価方法: 提出物、確認課題

学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。

成績評価方法: 提出物、確認課題

学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。

成績評価方法: 提出物、確認課題

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 提出物、確認課題

科目名	日本語実習	後期	2 単位
サブタイトル	模擬実習	実習	
担当者	安原 順子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[ 到達目標 ]

教壇実習を通して、外国人に教える経験を積むことを目標とする。

[ 授業概要 ]

- ・日本語教員養成講座の総まとめとして、教壇実習のための教案を書き、各自が45分×2回の教壇実習を行う。
- ・実習では、実習前に何度か実習案について指導を受け、実習後はその内容について受講者全員で討論する。
- ・実習においては、以下を取扱うこととする。

① オリエンテーション

② 授業見学

③ 授業準備

④ 模擬授業

⑤ 教壇実習

⑥ 実践研修全体総括

・4回生の実習のみの受講は認めない。また、4回生時に、日本語教員養成講座のすべての単位を取得することも認めない。

・教壇実習は、一定期間外部の日本語教育機関を使って実施するため、所定の実習費用が発生する。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

発表グループの担当する課を事前に読んでから、授業に参加すること。

[ 授業計画 ]

1. 教壇実習の準備
2. 教壇実習の実際
3. 教壇実習 学生1
4. 教壇実習 学生2
5. 教壇実習 学生3
6. 教壇実習 学生4
7. 教壇実習 学生5
8. 教壇実習 学生6
9. 教壇実習 学生7
10. 教壇実習 学生8
11. 教壇実習 学生9
12. 教壇実習 学生10
13. まとめ



科目名	日本語実習	後期	2 単位
サブタイトル	模擬実習	実習	
担当者	安原 順子		
<p>[ 成績評価方法 ]  教壇実習(80%)、授業態度(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  教壇実習前には教育実習案について、実習後には実習内容についてコメントし、フィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 教壇実習、受講態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。  成績評価方法: 教壇実習、受講態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  成績評価方法: 教壇実習、受講態度</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。  成績評価方法: 教壇実習、受講態度</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 教壇実習、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 教壇実習、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 教壇実習、受講態度</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  『みんなの日本語初級 I 』第2版 著者名: 鶴尾能子 出版社: (スリーエーネットワーク) (978-4-88319-603-6)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	日本語日本文学演習 I - i	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	岡墻 裕剛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	ピアレビュー	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。</li> <li>・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。</li> <li>・指定の形式で整理し、発表できる。</li> <li>・作品に親しみ、教養を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、日本語の発展に大きな影響を与えた漢字や仮名といった文字・表記に関する先行研究を読み解き、日本語の特徴について理解を深める。授業は、発表者がテーマに沿って調査した内容を他の受講者へと報告するという講義形式で演習を進める。聞き手となる他の受講者も事前に文献を読み要約と疑問点の洗い出しをしておき、発表後には質疑応答に積極的に参加すること。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行っておく。</li> <li>・1年次の概論、入門などの必修科目の内容を復習する。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 要約の基礎</li> <li>3. 要約の実践</li> <li>4. 文献の探し方</li> <li>5. 漢字研究の基礎</li> <li>6. 発表の練習</li> <li>7. 発表準備</li> <li>8. 発表1</li> <li>9. 発表2</li> <li>10. 発表3</li> <li>11. 発表4</li> <li>12. 発表5</li> <li>13. レポートの書き方</li> </ol>			

科目名	日本語日本文学演習 I - i	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	岡墻 裕剛		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(30%)、レポート(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 適宜指示する。</p>			

科目名	日本語日本文学演習 I - i	前期	2 単位
サブタイトル	『源氏物語』若紫巻を読む	演習	
担当者	池田 彩音		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- ・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。
- ・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。
- ・指定の形式で整理し、発表できる。
- ・作品に親しみ、教養を身につける。

[授業概要]

この授業では、『源氏物語』若紫巻の輪読を通して、本文読解・調査の方法、問題点の見つけ方、発表・討議の方法やレポートの作り方などを身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- 各回、予習復習合わせて2時間程度。
- ・事前に担当教員が指示する学習を必ず行う。
- ・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行う。
- ・1年次の概論、入門などの必修科目の内容を復習する。

[授業計画]

担当教員から作品の概説や参考文献、発表の方法などについて講義を行った後、受講生による発表と討議を中心とした演習形式で授業を行う。

1. 授業の概要、『源氏物語』の概説
2. 日本古典文学作品の調査・発表方法についての説明
3. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(1)
4. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(2)
5. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(3)
6. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(4)
7. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(5)
8. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(6)
9. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(7)
10. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(8)
11. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(9)
12. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(10)
13. まとめ

科目名	日本語日本文学演習Ⅰ－ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	『源氏物語』若紫巻を読む	演習	
担当者	池田 彩音		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(30%)、レポート(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 源氏物語(一)桐壺―末摘花 (岩波文庫) 著者名: 柳井 滋 他 出版社: 岩波文庫(岩波書店) (9784003510155)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 源氏物語大成 第一冊 著者名: 池田亀鑑 出版社: 中央公論社 (4124024711) 定家本源氏物語 若紫 著者名: 大河内 元冬(監修) 藤本 孝一 出版社: 八木書店出版部 (9784840697705)</p>			

S20121 [ LJH2-001 ]

科目名	日本語日本文学演習 I - i	前期	2 単位
サブタイトル	日本語の文法	演習	
担当者	橋本 礼子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。</li> <li>・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。</li> <li>・指定の形式で整理し、発表できる。</li> <li>・作品に親しみ、教養を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この演習では、現代日本語の中に存在するさまざまな文法現象に着目し、その文法現象がどのような意味をもっているのか、どのように発生したのか、どのような社会的分布状況があるのかといった問題について考察する。</p> <p>前期は毎回テーマに沿ってゼミ参加者が順番にまとめを担当し、発表する。基礎知識を得た後、演習参加者全員で討論する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行っておく。</li> <li>・1年次の概論、入門などの必修科目の内容を復習する。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入: 日本語の文法現象</li> <li>2. 「国語」という教科と「日本語教育」</li> <li>3. 日本語文法の知識の必要性</li> <li>4. データを分析することの重要性</li> <li>5. テーマ1: 品詞</li> <li>6. テーマ2: 活用</li> <li>7. テーマ3: 語形成</li> <li>8. テーマ4: 格・とりたて・主題</li> <li>9. テーマ5: ヴォイス</li> <li>10. テーマ6: アスペクト</li> <li>11. テーマ7: テンス</li> <li>12. テーマ8: 複文</li> <li>13. ことばの分析とは</li> </ol>			

科目名	日本語日本文学演習 I - i	前期	2 単位
サブタイトル	日本語の文法	演習	
担当者	橋本 礼子		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(30%)、レポート(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 『国語教師が知っておきたい日本語文法』 著者名: 山田敏弘 出版社: しろしお出版 (978-4874243107) 『現代日本語文法 1-7』 著者名: 日本語記述文法研究会 出版社: しろしお出版 (9784874244753ほか) 『日本語文法事典』 著者名: 日本語文法学会編 出版社: 大修館書店 (9780000000000)</p>			

S20123 [ LJH2-001 ]

科目名	日本語日本文学演習 I - i	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	永渕 朋枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。</li> <li>・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。</li> <li>・指定の形式で整理し、発表できる。</li> <li>・作品に親しみ、教養を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>近代文学の読みは、書かれた言葉を正しく読み込むことから始まる。前期は、樋口一葉の「たけくらべ」を読む。担当者が担当箇所のでわからない言葉などを調べた上で、問題点を見出して発表し、ゼミ参加者と質疑応答する。時代背景や社会背景の知識も必要になる。最後に、各自が作品について論じる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行っておく。</li> <li>・1年次の概論、入門などの必修科目の内容を復習する。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入、発表担当者決定、樋口一葉について、「たけくらべ」朗読を聴く</li> <li>2. 「たけくらべ(一)」を読む——発表のしかた、「たけくらべ」論の例</li> <li>3. 「たけくらべ(二)」を読む</li> <li>4. 「たけくらべ(三)(四)」を読む</li> <li>5. 「たけくらべ(五)(六)」を読む</li> <li>6. 「たけくらべ(七)(八)」を読む</li> <li>7. 「たけくらべ(九)(十)」を読む</li> <li>8. 「たけくらべ(十一)(十二)」を読む</li> <li>9. 「たけくらべ(十三)(十四)」を読む</li> <li>10. 「たけくらべ(十五)(十六)」を読む</li> <li>11. 『樋口一葉「たけくらべ」作品論集』から論文紹介</li> <li>12. 「たけくらべ」を論じる</li> <li>13. 「たけくらべ」について論をまとめる</li> </ol>			



科目名	日本語日本文学演習Ⅰ－ⅰ	前期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	永渕 朋枝		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] にこりえ・たけくらべ 著者名: 樋口一葉 出版社: (岩波文庫) (9784000000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	日本語日本文学演習 I - i	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	樹下 文隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。</li> <li>・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。</li> <li>・指定の形式で整理し、発表できる。</li> <li>・作品に親しみ、教養を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>変体仮名解読アプリやくずし字辞典を使って、古典作品の一節を写本や版本で読む。      古典作品に関する事典、現代語訳や梗概・解説書を用い、作品を選び、その内容を発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行っておく。</li> <li>・1年次の概論、入門などの必修科目の内容を復習する。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入: 古典作品の範囲</li> <li>2. 古典作品を写本・版本で読む①、担当の古典作品の内容を調べる①。</li> <li>3. 古典作品を写本・版本で読む②、担当の古典作品の内容を調べる②。</li> <li>4. 古典作品を写本・版本で読む③、担当の古典作品の内容を調べる③。</li> <li>5. 古典作品を写本・版本で読む④、担当の古典作品の内容を調べる④。</li> <li>6. 古典作品を写本・版本で読む⑤、担当の古典作品の内容を調べる⑤。</li> <li>7. 古典作品を写本・版本で読む⑥、担当の古典作品を解説する①。</li> <li>8. 古典作品を写本・版本で読む⑦、担当の古典作品を解説する②。</li> <li>9. 古典作品を写本・版本で読む⑧、担当の古典作品を解説する③。</li> <li>10. 古典作品を写本・版本で読む⑨、担当の古典作品を解説する④。</li> <li>11. 古典作品を写本・版本で読む⑩、担当の古典作品を解説する⑤。</li> <li>12. 古典作品を画像などで鑑賞する①。</li> <li>13. 古典作品を画像などで鑑賞する②。</li> </ol> <p>随時、機会があれば展示見学、古典芸能鑑賞等を行う。</p>			

科目名	日本語日本文学演習 I - i	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	樹下 文隆		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(30%)、レポート課題(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] プリントを配布する。また、適宜指示する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 初回講義時に指示する。</p>			

科目名	日本語日本文学演習 I – ii	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	岡墻 裕剛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	ピアレビュー	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。</li> <li>・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。</li> <li>・指定の形式で整理し、発表できる。</li> <li>・作品に親しみ、教養を身につける。</li> <li>・各分野の文字・表記の規則を知り、読みこなす能力を育てる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、日本語の表記研究の一環として、過去の文献や身近に存在する漢字や日本語表現についての調査報告を中心に、受講生主体で演習を進める。発表者以外の参加者も事前に資料を読み疑問点を洗い出しておき、質疑応答に積極的に参加すること。授業では、グループワークや相互批評等を積極的に取り入れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行っておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. プレインストーミング</li> <li>3. 調査テーマ決定</li> <li>4. 調査方法を学ぶ</li> <li>5. 調査</li> <li>6. 進捗報告1</li> <li>7. 進捗報告2</li> <li>8. 発表1</li> <li>9. 発表2</li> <li>10. 発表3</li> <li>11. 発表4</li> <li>12. 発表5</li> <li>13. レポートの書き方</li> </ol>			

科目名	日本語日本文学演習 I – ii	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	岡墻 裕剛		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(30%)、レポート(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 適宜指示する。</p>			

科目名	日本語日本文学演習 I – ii	後期	2 単位
サブタイトル	『源氏物語』若紫巻を読む	演習	
担当者	池田 彩音		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。</li> <li>・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。</li> <li>・指定の形式で整理し、発表できる。</li> <li>・作品に親しみ、教養を身につける。</li> <li>・各分野の文字・表記の規則を知り、読みこなす能力を育てる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、『源氏物語』若紫巻の輪読を通して、本文読解・調査の方法、問題点の見つけ方、発表・討議の方法やレポートの作り方などを身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各回、予習復習合わせて2時間程度。</li> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行っておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <p>受講生は、割り当てられた『源氏物語』若紫巻の本文について、種々の調査を行なって資料を作成し、その結果を発表する。そして発表をもとに全員で質疑応答などの討議をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲1)</li> <li>2. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲2)</li> <li>3. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲3)</li> <li>4. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲4)</li> <li>5. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲5)</li> <li>6. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲6)</li> <li>7. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲7)</li> <li>8. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲8)</li> <li>9. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲9)</li> <li>10. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲10)</li> <li>11. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲11)</li> <li>12. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲12)</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本語日本文学演習 I - ii	後期	2 単位
サブタイトル	『源氏物語』若紫巻を読む	演習	
担当者	池田 彩音		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(30%)、レポート(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 源氏物語(一)桐壺―末摘花 (岩波文庫) 著者名: 柳井 滋 他 出版社: 岩波文庫(岩波書店) (9784003510155)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 源氏物語大成 第一冊 著者名: 池田亀鑑 出版社: 中央公論社 (4124024711) 定家本源氏物語 若紫 著者名: 大河内 元冬(監修) 藤本 孝一 出版社: 八木書店出版部 (9784840697705)</p>			

科目名	日本語日本文学演習 I – ii	後期	2 単位
サブタイトル	日本語の文法	演習	
担当者	橋本 礼子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。</li> <li>・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。</li> <li>・指定の形式で整理し、発表できる。</li> <li>・作品に親しみ、教養を身につける。</li> <li>・各分野の文字・表記の規則を知り、読みこなす能力を育てる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この演習では、現代日本語の中に存在するさまざまな文法現象に着目し、その文法現象がどのような意味をもっているのか、どのように発生したのか、どのような社会的分布があるのかといった問題について考察する。 ゼミでは演習参加者が順番に発表を担当する。一次資料から具体的なデータを収集して独自の分析を加えて発表し、演習参加者全員で討論する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。 ・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。 ・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行っておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入: 日本語の文法現象</li> <li>2. 分析の視点</li> <li>3. 発表と討論: (学生A)</li> <li>4. 発表と討論: (学生B)</li> <li>5. 発表と討論: (学生C)</li> <li>6. 発表と討論: (学生D)</li> <li>7. 発表と討論: (学生E)</li> <li>8. 発表と討論: (学生F)</li> <li>9. 発表と討論: (学生G)</li> <li>10. 発表と討論: (学生H)</li> <li>11. 発表と討論: (学生I)</li> <li>12. 発表と討論: (学生J)</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			



科目名	日本語日本文学演習 I - ii	後期	2 単位
サブタイトル	日本語の文法	演習	
担当者	橋本 礼子		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(30%)、レポート(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 随時指示する。</p>			

科目名	日本語日本文学演習 I – ii	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	永渕 朋枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。</li> <li>・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。</li> <li>・指定の形式で整理し、発表できる。</li> <li>・作品に親しみ、教養を身につける。</li> <li>・各分野の文字・表記の規則を知り、読みこなす能力を育てる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>芥川龍之介、川端康成などの大正期に発表された短篇小説を読み、自分の担当する作品について、問題点を見つけ、発表する。発表者とゼミ参加者が意見を話し合う中で論を深める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行っておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入</li> <li>2. 発表と討論: 菊池寛</li> <li>3. 発表と討論: 芥川龍之介</li> <li>4. 発表と討論: 川端康成</li> <li>5. 発表と討論: 田村俊子</li> <li>6. 発表と討論: 岡本綺堂</li> <li>7. 発表と討論: 佐藤春夫</li> <li>8. 発表と討論: 広津和郎</li> <li>9. 発表と討論: 有島武郎</li> <li>10. 発表と討論: 宇野浩二</li> <li>11. 発表と討論: 内田百閒</li> <li>12. 作品をレポートで論じる</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本語日本文学演習 I - ii	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	永渕 朋枝		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『日本近代短編小説選 大正篇』 著者名: 紅野敏郎・千葉俊二他編 出版社: (岩波文庫) (978-4-00-311913-6)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 随時指示する。</p>			

科目名	日本語日本文学演習 I – ii	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	樹下 文隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- ・専門分野に関する文献を適切に扱い、知識を身につける。
- ・背景などを調べ、問題点を見出して、客観的に評価したり考えたりできるようになる。
- ・指定の形式で整理し、発表できる。
- ・作品に親しみ、教養を身につける。
- ・各分野の文字・表記の規則を知り、読みこなす能力を育てる。

[授業概要]

中世の文学作品を取り上げ、日本及び中国の古典がそれらの作品でどのように表現されているのかを検証する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- 各回、予習復習合わせて2時間程度。
- ・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。
- ・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行っておく。

[授業計画]

1. 導入: 中世の文学作品の概要。
2. 模擬演習①(和歌を中心に扱う)
3. 模擬演習②(典拠となる古典を中心に扱う)
4. 模擬演習③(表現手法を中心に扱う)
5. 演習①(個々に指示された和歌の課題を調査する)
6. 演習②(調査結果を発表する)
7. 演習③(個々に指示された典拠の調査をする)
8. 演習④(調査結果を発表する)
9. 演習⑤(個々に指示された表現の調査を行う)
10. 演習⑥(調査結果を発表する)
11. 演習⑦(個々に担当した箇所についてまとめる)
12. 演習⑧(まとめた結果を発表する)
13. 能楽鑑賞、実地踏査等を行う。

科目名	日本語日本文学演習 I - ii	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	樹下 文隆		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(30%)、レポート(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] プリントを配布し、適宜指示する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 初回講義時に指示する。</p>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 勝志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>近世芸能、および、その周辺の芸能などを取りあげた論文を読む。 各自論文を1編ずつ担当して、その内容を要約紹介する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する作業を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な学習や作業を行っておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.近世演劇史をめぐって</li> <li>2.浄瑠璃の芸能とその周辺</li> <li>3.歌舞伎の芸能とその周辺</li> <li>4.発表の方法</li> <li>5.発表1</li> <li>6.発表2</li> <li>7.発表3</li> <li>8.発表4</li> <li>9.発表5</li> <li>10.発表6</li> <li>11.発表7</li> <li>12.発表8</li> <li>13.まとめ</li> </ol>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 勝志		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 『浄瑠璃の世界』 著者名: 阪口弘之 編 出版社: 世界思想社 (978-4-7907-0423-2) 『近世演劇を学ぶ人のために』 著者名: 阪口弘之 編 出版社: 世界思想社 (978-4-7907-0640-3)</p>			

S20160 [ LJH3-001 ]

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－i	前期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	岡墻 裕剛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	ピアレビュー	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、文字に関する資料・文献・辞書類を使用し、自ら設定した文字に関する調査を行う。前半の授業回ではそのための研究手法のレクチャーを中心とし、後半の授業回では受講者の調査成果に基づき発表について他の受講生を交えた質疑と議論を中心とする。また、上級生の研究発表を聞く機会を予定している。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する作業を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な学習や作業を行っておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 漢字の仕組みを知る</li> <li>3. 漢字研究の基礎</li> <li>4. 発表の練習 身近な漢字調べ</li> <li>5. テーマ決め</li> <li>6. 進捗報告</li> <li>7. 発表準備</li> <li>8. 発表1</li> <li>9. 発表2</li> <li>10. 発表3</li> <li>11. 発表4</li> <li>12. 発表5</li> <li>13. レポートの書き方</li> </ol>			



科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	岡墻 裕剛		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『方言漢字』 著者名: 笹原宏之 出版社: KADOKAWA(角川ソフィア文庫) (9784044006051)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 随時指示する</p>			

S20161 [ LJH3-001 ]

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2単位
サブタイトル	『無名草子』を読む	演習	
担当者	池田 彩音		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- ・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。
- ・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。
- ・指定の形式で、内容を整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。
- ・幅広い知識を身につける。

[授業概要]

この授業では、鎌倉時代初期に成立した『無名草子』の講読を通して、本文読解・調査の方法を身につける。『無名草子』は、平安時代の物語や女性たちについて多く論じられる作品である。そうした論が展開される時代的な背景や、言及される作品や人物について理解を深め、文学史的知識を修得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- 各回、予習復習合わせて2時間程度。
- ・事前に指示する作業(出典調査等)を行っておく。
- ・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、予備知識を身につけておく。

[授業計画]

担当教員から作品の概説や参考文献、発表の方法などについて講義を行った後、受講生による発表と討議を中心とした演習形式で授業を行う。

1. 授業の概要と導入、『無名草子』の解説
2. 日本古典文学作品研究における参考文献、発表についての説明
3. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(1)
4. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(2)
5. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(3)
6. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(4)
7. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(5)
8. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(6)
9. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(7)
10. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(8)
11. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(9)
12. 受講生の調査・検討結果の発表。それについて質疑応答(10)
13. まとめ

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	『無名草子』を読む	演習	
担当者	池田 彩音		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 新編日本古典文学全集 無名草子 著者名:久保木哲夫 出版社:小学館 (4096580406) 鎌倉時代物語集成 第五巻 著者名:市古貞次、三角洋一 出版社:笠間書院 (9784305600059) 「女」が語る平安文学 『無名草子』からはじまる卒論のための基礎知識 著者名:原豊二 他 出版社:和泉書院 (9784757609808)</p>			

S20162 [ LJH3-001 ]

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	樹下 文隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>謡曲などの古典作品を、室町時代の写本や江戸時代の版本をテキストとして、翻字し、校訂本文を作成し、その内容を調べる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業(専門辞典で調べるなど)を行っておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入: 謡曲を例としたテキストの作成方法について</li> <li>2. 謡曲を例とした校訂本文の作成方法について</li> <li>3. 謡曲を例とした内容の調査方法について</li> <li>4. 中世の古典知について①(特に日本の古典受容を中心に)</li> <li>5. 中世の古典知について②(特に中国の古典受容を中心に)</li> <li>6. 選択した作品を翻字する①</li> <li>7. 選択した作品を翻字する②</li> <li>8. 選択した作品の表現を吟味する①</li> <li>9. 選択した作品の表現を吟味する②</li> <li>10. 選択した作品の校訂本文を作成する①</li> <li>11. 選択した作品の校訂本文を作成する②</li> <li>12. 選択した作品に関する研究論文を読む①</li> <li>13. 選択した作品に関する研究論文を読む②</li> </ol> <p>随時、機会があれば展示見学、古典芸能鑑賞等を行う。</p>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	樹下 文隆		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート課題(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] プリントを配布する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 随時指示する。</p>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ		前期	2単位
サブタイトル			演習	
担当者	永渕 朋枝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>大正時代の文壇作家、文壇外の作家、作家志望の人達、読者についての論文を読み、要旨の書き方や論じ方、論文の批判的な読み方を習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する作業を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な学習や作業を行っておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 担当決定、要旨の書き方、批判的な読み方</li> <li>2. 近現代文学文献検索のしかた</li> <li>3. 大正文壇</li> <li>4. 新聞連載の「告白小説」の読まれ方</li> <li>5. 藤村『新生』に嵌め込まれた節子の手紙</li> <li>6. 藤村「嵐」の評判</li> <li>7. 藤村の発行した婦人雑誌『処女地』、『処女地』に執筆した無名の女性達</li> <li>8. 『処女地』に執筆した多様な作家達</li> <li>9. 伊東英子「凍った唇」</li> <li>10. 織田やす——初期女性労働運動との結節点——</li> <li>11. 戦時下における『処女地』の女性達</li> <li>12. メディアの勢力と日本近代文学</li> <li>13. レポート指導、後期担当決定</li> </ol>				

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	永渕 朋枝		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 授業で指示する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 随時指示する</p>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2単位
サブタイトル	方言を学ぶ	演習	
担当者	橋本 礼子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>このゼミでは、方言を分析対象として、自分の気づいた「問題」を調べる方法、分析する多様な視点、集めた情報から結論をまとめる論理的思考を学んでいく。前期は近畿地方の方言についての教科書を輪読し、方言に関する基本的な知識、資料の癖やことばの使用状況などについて学ぶ。ゼミ参加者が持ち回りで文献の内容をまとめて発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する作業を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な学習や作業を行っておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入:ことばの調査</li> <li>2. 方言と方言学</li> <li>3. 分析方法1:辞典の活用</li> <li>4. 分析方法2:言語地図の活用</li> <li>5. 分析方法3:文芸作品などの活用</li> <li>6. 発表1(学生a・b)</li> <li>7. 発表2(学生c・d)</li> <li>8. 発表3(学生e・f)</li> <li>9. 発表4(学生g・h)</li> <li>10. 発表5(学生i・j)</li> <li>11. 発表6(学生k・l)</li> <li>12. 発表7(学生m・n)</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			



科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2単位
サブタイトル	方言を学ぶ	演習	
担当者	橋本 礼子		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 地図で読み解く関西のことば 著者名: 岸江信介・中井精一(編) 出版社: 昭和堂 (9784810000000)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 随時指示する</p>			

S20165 [ LJH3-001 ]

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－i	前期	2単位
サブタイトル	外国人に教える日本語・日本文化	演習	
担当者	安原 順子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>より実践的に日本語教育を体験するために、マルチメディアを使用し、一定期間オークランド工科大学日本語科との双方向授業を行う。演習では、外国人の日本語の誤用を取り上げ、その教授法などを各自の発表の課題とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する作業を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な学習や作業を行っておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初級を教える</li> <li>2. 日本語教師の役割/コースデザイン</li> <li>3. 音声を教える</li> <li>4. 文法を教える</li> <li>5. 日本語の誤用</li> <li>6. 学生Aの発表</li> <li>7. 学生Bの発表</li> <li>8. 学生Cの発表</li> <li>9. 学生Dの発表</li> <li>10. 学生Eの発表</li> <li>11. 学生Fの発表</li> <li>12. 学生Gの発表</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅰ	前期	2単位
サブタイトル	外国人に教える日本語・日本文化	演習	
担当者	安原 順子		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし 出版社:なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 授業中に紹介する。</p>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 勝志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・論文形式の文章が書けるようになる。</li> <li>・作品を鑑賞する。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>前期演習Ⅱ－ⅰで取りあげた論文に関連した作品を読む。 各自作品を1作ずつ担当して、その内容・魅力・問題点などを紹介する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。 ・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。 ・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業を行っておく。 ・発表やレポート執筆の準備を進めておく。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.近世演劇とは何か</li> <li>2.浄瑠璃の読み方</li> <li>3.歌舞伎の読み方</li> <li>4.発表の方法</li> <li>5.発表1</li> <li>6.発表2</li> <li>7.発表3</li> <li>8.発表4</li> <li>9.発表5</li> <li>10.発表6</li> <li>11.発表7</li> <li>12.発表8</li> <li>13.まとめ</li> </ol>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 勝志		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。著者名:なし。出版社:なし。(なし。)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし。適宜紹介する。著者名:なし。出版社:なし。(なし。)</p>			

S20180 [ LJH3-002 ]

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ		後期	2単位
サブタイトル			演習	
担当者	岡墻 裕剛			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他	ピアレビュー	実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・論文形式の文章が書けるようになる。</li> <li>・作品を鑑賞する。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>現代日本において、漢字という文字は言語活動の場のみならず、地名や人名、情報機器の文字での使用など、社会全体に対して強い影響力をもっている。この授業では、漢字のもつ特殊な性質の一端を明らかにするために、地名に使用される方言的要素を持った漢字を対象に研究を進める。前半の授業回では研究手法のレクチャーを中心とし、後半の授業回では受講者の主体的な調査に基づく成果報告を行う。受講者がそれぞれの興味関心に基づいて具体的な研究文字を設定し、その調査結果を事典項目形式でまとめて蓄積することを目指す。授業では、グループワークや相互批評等を積極的に取り入れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業を行っておく。</li> <li>・発表やレポート執筆の準備を進めておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. プレインストーミング</li> <li>3. 調査テーマ決定</li> <li>4. 調査方法を学ぶ</li> <li>5. 調査</li> <li>6. 進捗報告1 話し合い</li> <li>7. 進捗報告2 問題点の分析</li> <li>8. 発表1</li> <li>9. 発表2</li> <li>10. 発表3</li> <li>11. 発表4</li> <li>12. 発表5</li> <li>13. レポートの書き方</li> </ol>				

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	岡墻 裕剛		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 適宜指示する。</p>			

S20181 [ LJH3-002 ]

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	『無名草子』を読む	演習	
担当者	池田 彩音		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・論文形式の文章が書けるようになる。</li> <li>・作品を鑑賞する。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、鎌倉時代初期に成立した『無名草子』の講読を通して、本文読解・調査の方法を身につける。『無名草子』は、平安時代の物語や女性たちについて多く論じられる作品である。そうした論が展開される時代的な背景や、言及される作品や人物について理解を深め、文学史的知識を修得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業を行っておく。</li> <li>・発表やレポート執筆の準備を進めておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <p>受講生は、割り当てられた『無名草子』の本文について、種々の調査を行なって資料を作成し、その結果を発表する。そして発表をもとに全員で質疑応答などの討議をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲1)</li> <li>2. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲2)</li> <li>3. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲3)</li> <li>4. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲4)</li> <li>5. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲5)</li> <li>6. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲6)</li> <li>7. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲7)</li> <li>8. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲8)</li> <li>9. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲9)</li> <li>10. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲10)</li> <li>11. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲11)</li> <li>12. 調査・検討結果の発表。それについての質疑応答(担当範囲12)</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			



科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	『無名草子』を読む	演習	
担当者	池田 彩音		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に合った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 新編日本古典文学全集 無名草子 著者名:久保木哲夫 出版社:小学館 (4096580406) 鎌倉時代物語集成 第五巻 著者名:市古貞次、三角洋一 出版社:笠間書院 (9784305600059) 「女」が語る平安文学 『無名草子』からはじまる卒論のための基礎知識 著者名:原豊二 他 出版社:和泉書院 (9784757609808)</p>			

S20182 [ LJH3-002 ]

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	樹下 文隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・論文形式の文章が書けるようになる。</li> <li>・作品を鑑賞する。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>卒業論文で扱いたいと思う作品やテーマについて、どのような手順で調査・研究し、何を明らかにしようとするかを考える。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業を行っておく。</li> <li>・発表やレポート執筆の準備を進めておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入: 作品やテーマの選定について</li> <li>2. 模擬演習①謡曲作品を読んで、内容理解に努める。</li> <li>3. 模擬演習②謡曲作品の典拠や表現手法について調査する。</li> <li>4. 模擬演習③謡曲作品の成立背景を考える。</li> <li>5. 模擬演習④謡曲作品に関する論文を読む。</li> <li>6. 模擬演習⑤謡曲作品を鑑賞する。</li> <li>7. 演習①選択した作品を調査し、その梗概を発表する。</li> <li>8. 演習②選択した作品の伝本等を調査し、発表する。</li> <li>9. 演習③選択した作品の典拠・素材を調査し、発表する。</li> <li>10. 演習④選択した作品から一部を抜き出して注釈する。</li> <li>11. 演習⑤選択した作品についての疑問点・問題点を指摘する。</li> <li>12. 演習⑥疑問点・問題点についてアプローチする。</li> <li>13. 芸能鑑賞や実地踏査を行う。</li> </ol>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	樹下 文隆		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] プリントを配布する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 随時指示する。</p>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ		後期	2単位
サブタイトル			演習	
担当者	永渕 朋枝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・論文形式の文章が書けるようになる。</li> <li>・作品を鑑賞する。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>受講生が選んだ作品を読む。発表、討議、レポート作成を積み重ねることによって、新しい読みや問題点を見つけ、論を組み立て、論文を書く力を養う。また、発表者以外の受講生の質問力を養い、討論からさらに新たな論点を見つける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業を行っておく。</li> <li>・発表やレポート執筆の準備を進めておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テーマ・発表日程の決定(後期の始まる前に、受講生が、調査、分析のできる作品、テーマを選んでおく)。</li> <li>2. 卒業論文中間発表を聴いて、自分のゼミ論や卒論の参考にする(1)</li> <li>3. 卒業論文中間発表を聴いて、自分のゼミ論や卒論の参考にする(2)</li> <li>4. 学生Aがレポートのもととなる発表をする。発表時に指摘された、不十分なところ、論の展開の不適切さ等を直して、レポートを書く。発表をきいた受講生は必ず質問する。</li> <li>5. 学生Bの発表。進め方等は学生Aの時と同じ。</li> <li>6. 学生Cの発表。進め方等は学生Aの時と同じ。</li> <li>7. 学生Dの発表。進め方等は学生Aの時と同じ。</li> <li>8. 学生Eの発表。進め方等は学生Aの時と同じ。</li> <li>9. 学生Fの発表。進め方等は学生Aの時と同じ。</li> <li>10. 学生Gの発表。進め方等は学生Aの時と同じ。</li> <li>11. 学生Hの発表。進め方等は学生Aの時と同じ。</li> <li>12. ゼミ論の自己チェック方法、問題点の指摘。</li> <li>13. 自己チェックや指摘をもとに書き直しをしてゼミ論を完成させる。</li> </ol>				

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	永渕 朋枝		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 随時指示する</p>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	方言を学ぶ	演習	
担当者	橋本 礼子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・論文形式の文章が書けるようになる。</li> <li>・作品を鑑賞する。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>自分たちが日常生活のなかで使ったり聞いたりしていることばで、気になりながらも、そのままにしているものはないだろうか。このゼミでは方言を研究対象として、自分の気になった「問題」を調べる方法、分析する多様な視点、データから結論をまとめる論理的思考を学んでいく。後期は、実際に自分で集めた資料を分析できるように加工し、多角的な分析を加えて結論を導き出すことに重点を置く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業を行っておく。</li> <li>・発表やレポート執筆の準備を進めておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入: 分析の視点と方法</li> <li>2. 資料の加工方法</li> <li>3. 資料を読み解く方法(発表例)</li> <li>4. 発表と討論:(学生A)</li> <li>5. 発表と討論:(学生B)</li> <li>6. 発表と討論:(学生C)</li> <li>7. 発表と討論:(学生D)</li> <li>8. 発表と討論:(学生E)</li> <li>9. 発表と討論:(学生F)</li> <li>10. 発表と討論:(学生G)</li> <li>11. 発表と討論:(学生H)</li> <li>12. 発表と討論:(学生I)</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	方言を学ぶ	演習	
担当者	橋本 礼子		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 随時指示する</p>			

科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	外国人に教える日本語・日本文化	演習	
担当者	安原 順子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野に関する文献や資料を適切に扱い、読みこなせるようになる。</li> <li>・手順を踏んで問題点を見つけ、解決のための方法を考えて自分なりの分析・考察を行える。</li> <li>・指定の形式で整理して口頭発表ができる。また質疑応答ができる。</li> <li>・論文形式の文章が書けるようになる。</li> <li>・作品を鑑賞する。</li> <li>・幅広い知識を身につける。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>日本語・日本文化を外国人に教えるために、日本語教育関連の文献を読み、日本語教育用教材・教授法についての幅広い知識を得ることを目指す。また、より実践的に日本語教育を体験するために、マルチメディアを使用し、一定期間オーストラリア工科大学との双方向授業を行う。演習では、外国人の日本語の誤用を取り上げ、その教授法などを各自の発表の課題とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に担当教員が指示する学習を必ず行っておく。</li> <li>・指定の資料や作品、教科書などに前もって目を通し、必要な作業を行っておく。</li> <li>・発表やレポート執筆の準備を進めておく。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 書くことを教える</li> <li>2. 読むことを教える</li> <li>3. 音声を教える</li> <li>4. 文法を教える</li> <li>5. 日本語の誤用</li> <li>6. 学生Aの発表</li> <li>7. 学生Bの発表</li> <li>8. 学生Cの発表</li> <li>9. 学生Dの発表</li> <li>10. 学生Eの発表</li> <li>11. 学生Fの発表</li> <li>12. 学生Gの発表</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			



科目名	日本語日本文学演習Ⅱ－ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	外国人に教える日本語・日本文化	演習	
担当者	安原 順子		
<p>[ 成績評価方法 ] 発表・質疑応答等(40%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-4/日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表・質疑応答等、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 授業中に指示する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	日本語日本文学入門 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志、大山 範子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 日本古典文学研究と変体仮名の基礎を身につける。</p> <p>[授業概要] 近世版本(『百人一首』)を使って基本的な変体仮名を読む練習をする。古典文学作品の本文作成の過程や原典の調査方法などを通して日本古典文学研究の基礎を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 『百人一首』などの日本古典文学作品の活字本に目を通しておく。 教員から特段の指示がない場合でも、自発的に授業内容の予習復習を行うようにする。</p> <p>[授業計画] 1.変体仮名入門・日本古典文学研究入門(担当:井上・大山)  2~7.変体仮名を読んでみよう~『百人一首』~ (2~7.担当:井上) 2.1番~20番 3.21番~40番 4.41番~60番 5.61番~80番 6.81番~100番 7.まとめ・試験  8~13.古典文学作品を読むために (8~13.担当:大山) 8.古典文学とは? —活字テキストとその原本— 9.読むための本文を作る(1)「翻字」 10.読むための本文を作る(2)「校訂」 11.本を調べる(1)—装丁・書型など— 12.本を調べる(2)—奥書・刊記など— 13.まとめ・試験</p> <p>各クラスの授業の進め方は以下の通りとする。 Aクラス:第1回:日本古典文学研究入門・変体仮名入門 第2~7回:古典文学作品を読むために (上記「授業計画」8~13.) 第8~13回:変体仮名を読んでみよう~『百人一首』~ (上記「授業計画」2~7.) Bクラス:第1回:変体仮名入門・日本古典文学研究入門 第2~7回:変体仮名を読んでみよう~『百人一首』~ (上記「授業計画」2~7.) 第8~13回:古典文学作品を読むために (上記「授業計画」8~13.)</p>			

科目名	日本語日本文学入門 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志、大山 範子		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(50%)、試験(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 小テストは採点して返却する。試験は、終了後、manabaに正解を掲載する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。プリントを配付する。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし。適宜紹介する。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p>			

科目名	日本語日本文学入門 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大山 範子、井上 勝志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 日本古典文学研究と変体仮名の基礎を身につける。</p> <p>[授業概要] 近世版本(『百人一首』)を使って基本的な変体仮名を読む練習をする。古典文学作品の本文作成の過程や原典の調査方法などを通して日本古典文学研究の基礎を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 『百人一首』などの日本古典文学作品の活字本に目を通しておく。 教員から特段の指示がない場合でも、自発的に授業内容の予習復習を行うようにする。</p> <p>[授業計画] 1.変体仮名入門・日本古典文学研究入門(担当:井上・大山)  2~7.変体仮名を読んでみよう~『百人一首』~ (2~7.担当:井上) 2.1番~20番 3.21番~40番 4.41番~60番 5.61番~80番 6.81番~100番 7.まとめ・試験  8~13.古典文学作品を読むために (8~13.担当:大山) 8.古典文学とは? —活字テキストとその原本— 9.読むための本文を作る(1)「翻字」 10.読むための本文を作る(2)「校訂」 11.本を調べる(1)—装丁・書型など— 12.本を調べる(2)—奥書・刊記など— 13.まとめ・試験</p> <p>各クラスの授業の進め方は以下の通りとする。 Aクラス:第1回:日本古典文学研究入門・変体仮名入門 第2~7回:古典文学作品を読むために (上記「授業計画」8~13.) 第8~13回:変体仮名を読んでみよう~『百人一首』~ (上記「授業計画」2~7.) Bクラス:第1回:変体仮名入門・日本古典文学研究入門 第2~7回:変体仮名を読んでみよう~『百人一首』~ (上記「授業計画」2~7.) 第8~13回:古典文学作品を読むために (上記「授業計画」8~13.)</p>			

科目名	日本語日本文学入門 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大山 範子、井上 勝志		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(50%)、試験(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 小テストは採点して返却する。試験は、終了後、manabaに正解を掲載する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 小テスト・試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。プリントを配付する。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし。適宜紹介する。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p>			

科目名	日本語日本文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	近現代文学入門・日本語学入門	講義	
担当者	永渕 朋枝、橋本 礼子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 近現代文学と日本語学の基礎知識を習得し、発表を行い、レポートを書けるようになる。</p> <p>[授業概要] 近現代文学(永渕朋枝担当)と日本語学(橋本礼子担当)の基礎知識を学び、発表を行い、レポートを書く。近現代文学では、作品を様々な視点で読む読み方、調べ方を学ぶ。日本語学では、身近な例を参照しながら、日本語学的な見方や分析のしかたを学ぶ。基礎演習と演習Ⅰの橋渡しとなる内容を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・各回、予習復習合わせて2時間程度。 ・基礎演習で学んだ内容を復習しておくこと。 ・日本文学や日本語学に関する図書を探して読んでおくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 導入:近現代文学、日本語学(担当:永渕、橋本) 2. 近現代文学の発表の方法と論じ方(2~7. 担当:永渕) 3. 近現代文学のレポートの書き方と文献の調べ方 4. 近現代文学の視点1:言葉(グループ発表1) 5. 近現代文学の視点2:人物・周辺(グループ発表2) 6. 近現代文学の視点3:作品比較(グループ発表3) 7. レポートについて質問、レポートのチェック項目【近現代文学レポート提出】 8. 日本語学の発表の方法とレポートの書き方(8~13. 担当:橋本) 9. さまざまな辞典・事典 10. 日本語学の視点1:音声・音韻(グループ発表1) 11. 日本語学の視点2:語彙・文法(グループ発表2) 12. 日本語学の視点3:文字・表記(グループ発表3) 13. 推敲と校正【日本語学レポート提出】</p> <p>各クラスの授業の進め方は以下の通りとする。 Aクラス:第1回:日本語学導入、近現代文学導入 第2~7回:日本語学(「授業計画」8~13. )、レポート 第8~13回:近現代文学(「授業計画」2~7. )、レポート Bクラス:第1回:近現代文学導入、日本語学導入 第2~7回:近現代文学(「授業計画」2~7. )、レポート 第8~13回:日本語学(「授業計画」8~13. )、レポート</p>			

科目名	日本語日本文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	近現代文学入門・日本語学入門	講義	
担当者	永渕 朋枝、橋本 礼子		
<p>[ 成績評価方法 ]  近現代文学の発表・質疑応答・レポート(50%)  日本語学の発表・質疑応答・レポート(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文1-3／日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文2-2／収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文3-3／他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  プリントを配布する</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S20060 [ LJH1-007 ]

科目名	日本語日本文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	近現代文学入門・日本語学入門	講義	
担当者	橋本 礼子、永淵 朋枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  近現代文学と日本語学の基礎知識を習得し、発表を行い、レポートを書けるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ]  近現代文学(永淵朋枝担当)と日本語学(橋本礼子担当)の基礎知識を学び、発表を行い、レポートを書く。近現代文学では、作品を様々な視点で読む読み方、調べ方を学ぶ。日本語学では、身近な例を参照しながら、日本語学的な見方や分析のしかたを学ぶ。基礎演習と演習Ⅰの橋渡しとなる内容を学ぶ。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  ・各回、予習復習合わせて2時間程度。  ・基礎演習で学んだ内容を復習しておくこと。  ・日本文学や日本語学に関する図書を探して読んでおくこと。</p> <p>[ 授業計画 ]  1. 導入:近現代文学、日本語学(担当:永淵、橋本)  2. 近現代文学の発表の方法と論じ方(2~7. 担当:永淵)  3. 近現代文学のレポートの書き方と文献の調べ方  4. 近現代文学の視点1:言葉(グループ発表1)  5. 近現代文学の視点2:人物・周辺(グループ発表2)  6. 近現代文学の視点3:作品比較(グループ発表3)  7. レポートについて質問、レポートのチェック項目【近現代文学レポート提出】  8. 日本語学の発表の方法とレポートの書き方(8~13. 担当:橋本)  9. さまざまな辞典・事典  10. 日本語学の視点1:音声・音韻(グループ発表1)  11. 日本語学の視点2:語彙・文法(グループ発表2)  12. 日本語学の視点3:文字・表記(グループ発表3)  13. 推敲と校正【日本語学レポート提出】</p> <p>各クラスの授業の進め方は以下の通りとする。  Aクラス:第1回:日本語学導入、近現代文学導入  第2~7回:日本語学(「授業計画」8~13. )、レポート  第8~13回:近現代文学(「授業計画」2~7. )、レポート  Bクラス:第1回:近現代文学導入、日本語学導入  第2~7回:近現代文学(「授業計画」2~7. )、レポート  第8~13回:日本語学(「授業計画」8~13. )、レポート</p>			



科目名	日本語日本文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	近現代文学入門・日本語学入門	講義	
担当者	橋本 礼子、永渕 朋枝		
<p>[ 成績評価方法 ]  近現代文学の発表・質疑応答・レポート(50%)  日本語学の発表・質疑応答・レポート(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・授業中の、教員・学生間でのインタラクションを以てフィードバックとする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文1-3／日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文2-2／収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>学科DP番号／DP内容: 日文3-3／他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 発表・質疑応答・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  プリントを配布する</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S20061 [ LJH1-007 ]

科目名	日本語表現 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	島田 哲朗		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>日本の伝統的な言語活動の所産としての古典の理解を通して、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる基礎的な力をつける。</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>古文と漢文の購読のための基礎事項の理解          古典としての古文と漢文を読む能力を養うために古典文法と漢文句法の基礎を理解する。その上で、代表的な古文・漢文を読む。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>○各回、予習復習合わせて4時間程度。          ○授業用の作品について、予習・復習をしっかりとすること。特に教員採用試験受験予定者は本科目を受講し、受験対策とすることが望ましい。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 古典文法・漢文句法の確認①</li> <li>2. 古典文法・漢文句法の確認②</li> <li>3. 「伊勢物語」「土佐日記」「方丈記」を中心に中古期の文学表現を読む。①</li> <li>4. 「論語」「孟子」を中心に漢文を読む。①</li> <li>5. 「伊勢物語」「土佐日記」を中心に「方丈記」を中心に中古期の文学表現を読む。②</li> <li>6. 「論語」「孟子」を中心に漢文を読む。②</li> <li>7. 「伊勢物語」「土佐日記」を中心に「方丈記」を中心に中古期の文学表現を読む。③</li> <li>8. 「論語」「孟子」を中心に漢文を読む。③</li> <li>9. 「伊勢物語」「土佐日記」を中心に「方丈記」を中心に中古期の文学表現を読む。④</li> <li>10. 「論語」「孟子」を中心に漢文を読む。④</li> <li>11. 「伊勢物語」「土佐日記」を中心に「方丈記」を中心に中古期の文学表現を読む。⑤</li> <li>12. 「論語」「孟子」を中心に漢文を読む。⑤</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本語表現 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	島田 哲朗		
<p>[ 成績評価方法 ] 毎週の課題 (30%)、小テスト (20%)、レポート (50%)</p> <p>[ 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法 ] 課題を課した場合は、採点添削して返却する。 レポートは原則として返却しない。</p> <p>[ オフィスアワー (質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし 別途プリント教材を配布する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし 授業において指示する。</p>			

科目名	日本語表現Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	島田 哲朗		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  「日本語の表現」において、「読む・書く・話す・聞く」それぞれの分野について、より高い能力を獲得し、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ]  論理的文章の読解  近代以降、現代にいたる代表的な評論、エッセイを読み、文章の構成の分析・読解と同時に、論理的な思考に基づく日本語表現について考える。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  ○各回、予習復習合わせて4時間程度。  ○授業用の作品について、予習・復習をしっかりとすること。特に教員採用試験受験予定者は本科目を受講し、受験対策とすることが望ましい。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 言語表現に関する哲学的な評論・エッセイ(内田樹等)を読み、内容についてレポートする。</li> <li>2. 1時間目の課題レポートを相互に読み、評価・感想を討議する。</li> <li>3. 2時間目に出てきた言語表現の視点から短詩系文学(谷川俊太郎等)を読み、内容についてレポートする。</li> <li>4. 3時間目のレポートを相互に読み、評価・感想を討議する。</li> <li>5. 4時間目に出てきた言語表現の視点から短詩系文学(俳句・短歌等)を読み、内容についてレポートする。</li> <li>6. 5時間目のレポートを相互に読み、評価・感想を討議する。</li> <li>7. 文学的な評論・エッセイを読み、表現の主題についてレポートする。①</li> <li>8. 文学的な評論・エッセイを読み、表現の主題についてレポートする。②</li> <li>9. 7・8時間目のレポートを相互に読み、評価・感想を討議する。</li> <li>10. 社会的・歴史的な評論・エッセイを読み、文学的表現との違いについてレポートする。</li> <li>11. 受講者自身が身の回りの話題でエッセイを書き、相互に評価感想を討議する。①</li> <li>12. 受講者自身が身の回りの話題でエッセイを書き、相互に評価感想を討議する。②</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本語表現Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	島田 哲朗		
<p>[ 成績評価方法 ] 毎週の課題(30%)、小テスト(20%)、レポート(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ○授業で課した課題は添削・採点し翌週の授業で返却する。また、学生相互に読み合わせて評価する教材として使用する。 ○レポートは原則として返却しない。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-3/内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。 別途プリントを配布する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし。 授業において指示する。</p>			

科目名	日本語文法 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	岡墻 裕剛			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	ピアレビュー	実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の立場からの理解を深め、日本語の文法の特徴について説明できる</li> <li>・学校文法についてその問題点を指摘できる</li> <li>・類似した日本語表現の微細な違いを説明できる</li> <li>・指定の形式に情報を整理し、他者へと報告できる</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、普段無意識に使っている日本語の文法について、客観的な視点からその構造を読み解くことを目的とする。授業は、事前に配付されたレジュメをよく読み、そこで提示される問いについての回答を前もって用意してから参加し、授業中は主に受講生を交えた議論・グループワーク・発表などで構成する。後半回は毎時複数の発表者を指名する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。  教員からの特別の指示がなくとも、概説書やインターネットなどで自主的に予習復習を行うこと。  授業の前には事前に配布されたレジュメをよく読み、提示された問いについてよく考えておく。また、後半回は必要な小レポートを作成する。  欠席者は必ず授業内容を確認しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 文法とは</li> <li>2. 品詞分類</li> <li>3. 文の構造と順序</li> <li>4. 名詞</li> <li>5. 形容詞・形容動詞</li> <li>6. 動詞</li> <li>7. その他の品詞</li> <li>8. 前半のまとめ</li> <li>9. 「あける」と「ひらく」</li> <li>10. 「くださる」と「いただく」</li> <li>11. 「健康だ」と「健康的だ」</li> <li>12. 「なので」と「だから」</li> <li>13. 「で」、「を」、「が」</li> </ol>				

科目名	日本語文法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡崎 裕剛		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の行動(提出物、議論への参加度合いなど:40%)、授業内での確認課題(40%)、レポート(20%)  ※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。  ・また、manabaを用いて随時フィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 授業中の活動、確認課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法: 授業中の活動、確認課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。  成績評価方法: 確認課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  成績評価方法: 確認課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。  成績評価方法: 確認課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。  成績評価方法: 授業中の活動、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。  成績評価方法: 授業中の活動、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 授業中の活動、確認課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: 授業中の活動、確認課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: 授業中の活動、確認課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 授業中の活動、確認課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 授業中の活動、確認課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 授業中の活動、確認課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 授業中の活動、確認課題、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p>			

S21800 [ LJH2-019 ]

科目名	日本語文法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本 礼子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          古典語の文法的特徴を、現代日本語と関連づけて説明することができる。          文法史の分析方法を知り、日本語文法の変化を理解する。</p> <p>[ 授業概要 ]          この授業では、現代の日本語だけでなく古典の日本語も視野に入れて、文法現象の理解を深める。文の構造、活用、文法カテゴリーなどに分け、文法史の分析手法によって日本語の文法現象のどのようなことがわかるのかを考える。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          中学校レベルの口語文法(現代日本語)、高校レベルの古典文法の知識を確実にしておくこと。          教科書の該当ページについて、必ず事前に読み、取り組んでおくこと。          各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入:総論</li> <li>2. 上代の語構成:「サケ」と「サカヤ」</li> <li>3. 中古の訓点資料:漢文と日本語文法</li> <li>4. 活用1 動詞の活用、形容詞・形容動詞の活用</li> <li>5. 活用2 活用の変化(一段化)</li> <li>6. 係り結びと準体句</li> <li>7. 文法カテゴリー:格</li> <li>8. 文法カテゴリー:ヴォイス</li> <li>9. 文法カテゴリー:アスペクト</li> <li>10. 文法カテゴリー:テンス</li> <li>11. 文法カテゴリー:モダリティ</li> <li>12. 現代の文法変化・分析的傾向</li> <li>13. 敬語文法の変化</li> </ol>			



科目名	日本語文法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本 礼子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中課題(60%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中課題や質問については授業中にフィードバックする。 メールやmanabaの掲示板などでの質問も受け付ける。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: 授業中課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 授業中課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: 授業中課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法: 授業中課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 授業中課題・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: 授業中課題・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中課題・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業中課題・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業中課題・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『ワークブック 日本語の歴史』 著者名: 岡崎友子・森勇太 出版社: くろしお出版 (978-4-87424-706-8)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 随時指示する</p>			

S21810 [ LJH2-020 ]

科目名	日本文学概論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	樹下 文隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	manabaiによる履修者相互の評価	実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

著名な古典に取材した謡曲作品を読み、古典文学解釈のさまざまな側面に接することで、古典に親しみを感じるようになる。

[ 授業概要 ]

『伊勢物語』に取材した謡曲、『源氏物語』に取材した謡曲、『平家物語』に取材した謡曲を、それぞれ1曲ずつ原典との対比で読み解き、ビデオ鑑賞も踏まえて、謡曲で加味されたテーマ等について考える。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

事前に配布した資料を読み、原典と謡曲で、内容がどのように変化しているのかを考える。レポート課題に取り組み、他の人とレポートを相互に評価し合う。質問や批判に対応する。  
各回、予習復習併せて4時間程度。

[ 授業計画 ]

1. 謡曲と『伊勢物語』
2. 『伊勢物語』を典拠とした謡曲を読む①(主として謡曲〈井筒〉を読む)
3. 『伊勢物語』を典拠とした謡曲を読む②(主として『伊勢物語』9段を読む)
4. 『伊勢物語』を典拠とした謡曲を読む③(主として〈井筒〉ビデオ鑑賞)
5. 謡曲と『源氏物語』
6. 『源氏物語』を典拠とした謡曲を読む①(主として謡曲〈玉鬘〉を読む)
7. 『源氏物語』を典拠とした謡曲を読む②(主として『源氏物語』「玉鬘」巻を読む)
8. 『源氏物語』を典拠とした謡曲を読む③(主として〈玉鬘〉ビデオ鑑賞)
9. 謡曲と『平家物語』
10. 『平家物語』を典拠とした謡曲を読む①(主として謡曲〈八鳥〉を読む)
11. 『平家物語』を典拠とした謡曲を読む②(主として『平家物語』の屋島合戦を読む)
12. 『平家物語』を典拠とした謡曲を読む③(主として〈八鳥〉ビデオ鑑賞)
13. 授業のまとめ。古典知の意義について

科目名	日本文学概論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	樹下 文隆		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(60%。相互評価の内容を含む)と試験(40%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 質問のやりとりは、manabaで随時行う。レポートは複数回設定し、manabaにて教員及び履修者が個々にコメントを返すなどしてフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: レポート・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: レポート・試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。 成績評価方法: レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法: レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート・試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。プリントを配布する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 新潮日本古典集成『謡曲集』(全3巻) 著者名: 伊藤正義 出版社: 新潮社 (4-10-620357-X C0392等) 岩波日本古典文学大系『謡曲集』(全2巻) 著者名: 表章・横道萬里雄 出版社: 岩波書店</p>			

S20000 [ LJH1-001 ]

科目名	日本文学概論Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 注釈の意義・歴史とその実際について習得する。</p> <p>[授業概要] 古典文学作品と現代人との間に横たわる時間的経過によって作品理解が行き届かないこともある。すでに成立している古典文学がすり寄ってきてくれることはあり得ないので、我々がその距離を縮める必要がある。そのための注釈のあり方について学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 興味のある古典文学作品を注釈書で読んでおくことが望ましい。 教員から特段の指示がない場合でも、自発的に授業内容の予習復習を行うようにする。</p> <p>[授業計画] 1.古典文学を読む意味と注釈 2.注釈とは何か 3.古代の注釈 4.中世の注釈—源氏注1— 5.中世の注釈—源氏注2— 6.中世の注釈—古今注— 7.中世の注釈—伊勢注— 8.中世の注釈—中世日本紀— 9.近世の注釈—概要— 10.近世の注釈—北村季吟— 11.近世の注釈—契沖— 12.近世の注釈—賀茂真淵— 13.近世の注釈—本居宣長—</p>			

科目名	日本文学概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井上 勝志		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート①(50%)、レポート②(50%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・授業中レポートに対してコメントする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。 成績評価方法: レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。 成績評価方法: レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。 成績評価方法: レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし。プリント配付。 著者名: なし。 出版社: なし。(なし。)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 『古典注釈入門—歴史と技法』 著者名: 鈴木健一 出版社: 岩波書店 (978-4000291460)</p>			

科目名	日本文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	上代～中古の文学史の流れ	講義	
担当者	池田 彩音		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>1、日本古典文学作品を読み、その特徴や面白さについて知り、説明できる。</p> <p>2、作品の同時代的な背景や、影響関係などを正しく把握し、説明できる。</p> <p>3、自分の作品の読みや考察を、根拠をもとにわかりやすく説明できる。</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>日本文学史 I では、文学の発生から平安時代末までの文学を対象とする。このうち一般の文学史で言う上代および中古を、講義で扱う範囲とする。具体的な作品をいくつか取り上げ、本文を読みながら、ジャンル、内容、影響関係など、その特徴を把握する。最終的には、受講生自身がそれらを他者にわかりやすく説明できるようになることを目的とする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>授業で取り上げるジャンル・作品・人物について、文学事典・歴史事典等によってその概要を把握しておくこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、日本古典文学史の概要</li> <li>2. 万葉集</li> <li>3. 古事記、日本書紀、風土記</li> <li>4. 古今和歌集、土佐日記</li> <li>5. 竹取物語</li> <li>6. 伊勢物語、大和物語</li> <li>7. うつほ物語、落窪物語</li> <li>8. 蜻蛉日記、和泉式部日記</li> <li>9. 紫式部日記、和漢朗詠集</li> <li>10. 源氏物語</li> <li>11. 枕草子</li> <li>12. 大鏡</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	上代～中古の文学史の流れ	講義	
担当者	池田 彩音		

[ 成績評価方法 ]  
リアクションペーパー・課題(40%)、期末レポート(60%)による。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
授業内やmanabaを用いてフィードバックを行う。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

[ 教科書(ISBN) ]  
適宜資料を配付する。

[ 参考書(ISBN) ]  
なし

科目名	日本文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	上代～中古の文学史の流れ	講義	
担当者	池田 彩音		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>1、日本古典文学作品を読み、その特徴や面白さについて知り、説明できる。  2、作品の同時代的な背景や、影響関係などを正しく把握し、説明できる。  3、自分の作品の読みや考察を、根拠をもとにわかりやすく説明できる。</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>日本文学史 I では、文学の発生から平安時代末までの文学を対象とする。このうち一般の文学史で言う上代および中古を、講義で扱う範囲とする。具体的な作品をいくつか取り上げ、本文を読みながら、ジャンル、内容、影響関係など、その特徴を把握する。最終的には、受講生自身がそれらを他者にわかりやすく説明できるようになることを目的とする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。  授業で取り上げるジャンル・作品・人物について、文学事典・歴史事典等によってその概要を把握しておくこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、日本古典文学史の概要</li> <li>2. 万葉集</li> <li>3. 古事記、日本書紀、風土記</li> <li>4. 古今和歌集、土佐日記</li> <li>5. 竹取物語</li> <li>6. 伊勢物語、大和物語</li> <li>7. うつほ物語、落窪物語</li> <li>8. 蜻蛉日記、和泉式部日記</li> <li>9. 紫式部日記、和漢朗詠集</li> <li>10. 源氏物語</li> <li>11. 枕草子</li> <li>12. 大鏡</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			



科目名	日本文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	上代～中古の文学史の流れ	講義	
担当者	池田 彩音		

[ 成績評価方法 ]  
リアクションペーパー・課題(40%)、期末レポート(60%)による。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
授業内やmanabaを用いてフィードバックを行う。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

[ 教科書(ISBN) ]  
適宜資料を配付する。

[ 参考書(ISBN) ]  
なし

科目名	日本文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	中古～中世文学の流れ・展開	講義	
担当者	池田 彩音		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>1、日本古典文学作品を読み、その特徴や面白さについて知り、説明できる。  2、作品の同時代的な背景や、影響関係などを正しく把握し、説明できる。  3、自分の作品の読みや考察を、根拠をもとにわかりやすく説明できる。</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>日本文学史Ⅱでは、中古文学の源氏物語からの影響を軸に据えつつ、平安時代後期から鎌倉時代の作品を主として扱う。具体的な作品をいくつか取り上げ、本文を読みながら、ジャンル、内容、影響関係など、その特徴を把握する。最終的には、受講生自身がそれらを他者にわかりやすく説明できるようになることを目的とする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。  授業で取り上げるジャンル・作品・人物について、文学事典・歴史事典等によってその概要を把握しておくこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、日本古典文学史の流れ</li> <li>2. 源氏物語</li> <li>3. 更級日記</li> <li>4. 平安時代後期の物語</li> <li>5. 栄花物語</li> <li>6. 今昔物語集</li> <li>7. 方丈記</li> <li>8. 平家物語</li> <li>9. 新古今和歌集</li> <li>10. 無名草子</li> <li>11. 徒然草</li> <li>12. 奥の細道</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	中古～中世文学の流れ・展開	講義	
担当者	池田 彩音		

[ 成績評価方法 ]  
リアクションペーパー・課題(40%)、期末レポート(60%)による。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
授業内やmanabaを用いてフィードバックを行う。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

[ 教科書(ISBN) ]  
適宜資料を配付する。

[ 参考書(ISBN) ]  
なし

科目名	日本文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	中古～中世文学の流れ・展開	講義	
担当者	池田 彩音		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>1、日本古典文学作品を読み、その特徴や面白さについて知り、説明できる。  2、作品の同時代的な背景や、影響関係などを正しく把握し、説明できる。  3、自分の作品の読みや考察を、根拠をもとにわかりやすく説明できる。</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>日本文学史Ⅱでは、中古文学の源氏物語からの影響を軸に据えつつ、平安時代後期から鎌倉時代の作品を主として扱う。具体的な作品をいくつか取り上げ、本文を読みながら、ジャンル、内容、影響関係など、その特徴を把握する。最終的には、受講生自身がそれらを他者にわかりやすく説明できるようになることを目的とする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>各回、予習復習合わせて4時間程度。  授業で取り上げるジャンル・作品・人物について、文学事典・歴史事典等によってその概要を把握しておくこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、日本古典文学史の流れ</li> <li>2. 源氏物語</li> <li>3. 更級日記</li> <li>4. 平安時代後期の物語</li> <li>5. 栄花物語</li> <li>6. 今昔物語集</li> <li>7. 方丈記</li> <li>8. 平家物語</li> <li>9. 新古今和歌集</li> <li>10. 無名草子</li> <li>11. 徒然草</li> <li>12. 奥の細道</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	日本文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	中古～中世文学の流れ・展開	講義	
担当者	池田 彩音		

[ 成績評価方法 ]  
リアクションペーパー・課題(40%)、期末レポート(60%)による。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
授業内やmanabaを用いてフィードバックを行う。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法: リアクションペーパー・課題、期末レポート

[ 教科書(ISBN) ]  
適宜資料を配付する。

[ 参考書(ISBN) ]  
なし

科目名	日本文学史Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	永渕 朋枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          明治文学を中心とした、日本近現代文学史の知識を身につけ、日本文学に関する独自の視点を見出し、それを伝えられることを目標とする。</p> <p>[ 授業概要 ]          明治の文学史について講義する。時代の中で文学が描かれてきたことに留意して、明治の作家・作品を、歴史的・体系的に解説する。知識を得るだけでなく、暗唱、筆写、続編作成、映像等さまざまな角度から、日本近現代の文学を捉え、意見を述べ合い、小レポートに書く。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          ・各回、予習復習合わせて4時間程度。          ・授業で学んだ作品を中心に、日本近現代文学の作品を読む。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入、文学と映像</li> <li>2. 啓蒙期の思想と文学</li> <li>3. 近代文学の基礎</li> <li>4. 紅露時代</li> <li>5. 明治20年代の文学</li> <li>6. 樋口一葉</li> <li>7. 明治30年代の浪漫主義文学</li> <li>8. 明治30年代の作品を読む</li> <li>9. 自然主義文学</li> <li>10. 森鷗外</li> <li>11. 夏目漱石</li> <li>12. 耽美派の文学</li> <li>13. 総復習、最終レポートをまとめる</li> </ol>			

科目名	日本文学史Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	永渕 朋枝		
<p>[ 成績評価方法 ]  質疑応答・小レポート(60%)、最終レポート(40%)。提出は必須)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  質疑応答についてはその場で、小レポート等は次の授業でフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  プリントを配布する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  適宜授業で示す。</p>			

科目名	日本文学史Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	永渕 朋枝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          明治文学を中心とした、日本近現代文学史の知識を身につけ、日本文学に関する独自の視点を見出し、それを伝えられることを目標とする。</p> <p>[ 授業概要 ]          明治の文学史について講義する。時代の中で文学が描かれてきたことに留意して、明治の作家・作品を、歴史的・体系的に解説する。知識を得るだけでなく、暗唱、筆写、続編作成、映像等さまざまな角度から、日本近現代の文学を捉え、意見を述べ合い、小レポートに書く。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          ・各回、予習復習合わせて4時間程度。          ・授業で学んだ作品を中心に、日本近現代文学の作品を読む。</p> <p>[ 授業計画 ]          1. 導入、文学と映像          2. 啓蒙期の思想と文学          3. 近代文学の基礎          4. 紅露時代          5. 明治20年代の文学          6. 樋口一葉          7. 明治30年代の浪漫主義文学          8. 明治30年代の作品を読む          9. 自然主義文学          10. 森鷗外          11. 夏目漱石          12. 耽美派の文学          13. 総復習、最終レポートをまとめる</p>			



科目名	日本文学史Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	永渕 朋枝		
<p>[ 成績評価方法 ]  質疑応答・小レポート(60%)、最終レポート(40%)。提出は必須)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  質疑応答についてはその場で、小レポート等は次の授業でフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  プリントを配布する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  適宜授業で示す。</p>			

科目名	日本文学史Ⅳ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	永渕 朋枝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 大正文学から現代文学までを中心に、日本近現代文学史の知識を身につけ、日本文学に関する独自の視点を見出し、それを伝えられることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 大正以降の文学史について講義する。時代の中で文学が描かれてきたことに留意して、近現代の作家・作品を、歴史的・体系的に解説する。知識を得るだけでなく、暗唱、筆写、続編作成、映像等さまざまな角度から、日本近現代の文学を捉え、意見を述べ合い、小レポートに書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・各回、予習復習合わせて4時間程度。 ・授業で学んだ作品を中心に、日本近現代文学の作品を読む。</p> <p>[授業計画] 1. 日本近代における時代と文学、近代文学作品の冒頭 2. 白樺派の文学 3. 新現実主義の文学 4. 芥川龍之介 5. 映像と文学 6. プロレタリア文学 7. 芸術派の文学 8. 文化統制下の文学 9. 戦後の文学 10. 現代の文学 11. 近現代の文学(映像化作品) 12. 総復習 13. 近現代の文学から現代社会を考える</p>				

科目名	日本文学史Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	永渕 朋枝		
<p>[ 成績評価方法 ]  質疑応答・小レポート(60%)、最終レポート(40%)。提出は必須)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  質疑応答についてはその場で、小レポート等は次の授業でフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  プリントを配布する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  適宜授業で示す。</p>			

科目名	日本文学史Ⅳ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	永渕 朋枝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 大正文学から現代文学までを中心に、日本近現代文学史の知識を身につけ、日本文学に関する独自の視点を見出し、それを伝えられることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 大正以降の文学史について講義する。時代の中で文学が描かれてきたことに留意して、近現代の作家・作品を、歴史的・体系的に解説する。知識を得るだけでなく、暗唱、筆写、続編作成、映像等さまざまな角度から、日本近現代の文学を捉え、意見を述べ合い、小レポートに書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・各回、予習復習合わせて4時間程度。 ・授業で学んだ作品を中心に、日本近現代文学の作品を読む。</p> <p>[授業計画] 1. 日本近代における時代と文学、近代文学作品の冒頭 2. 白樺派の文学 3. 新現実主義の文学 4. 芥川龍之介 5. 映像と文学 6. プロレタリア文学 7. 芸術派の文学 8. 文化統制下の文学 9. 戦後の文学 10. 現代の文学 11. 近現代の文学(映像化作品) 12. 総復習 13. 近現代の文学から現代社会を考える</p>				

科目名	日本文学史Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	永渕 朋枝		
<p>[ 成績評価方法 ]  質疑応答・小レポート(60%)、最終レポート(40%)。提出は必須)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  質疑応答についてはその場で、小レポート等は次の授業でフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-1/日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-1/獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出すことができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-2/伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 質疑応答等・小レポート・最終レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  プリントを配布する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  適宜授業で示す。</p>			

科目名	文献資料学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	長田 あかね		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	<small>manabaを活用した課題レポートの提出と評価、小テストとミーティングメンバーの提出と授業でのフィードバック</small>	実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.世界の書物史の概略を学び、日本の和書の位置付けを知る。</li> <li>2.日本の古典文学研究に必要な和書の特徴について、書誌学的方面からの理解を深める。</li> <li>3.和書の書誌調査の方法を習得して、実際に取り扱えるようになる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>文献資料は学問の諸分野によって、その種類や特性が異なる。この授業では、日本の古典文学研究に必要な文献資料を対象に、その種類、特徴、調査方法について講義を行う。特に近代以前の日本でつくられた和書(和本・和装本)を重点的に取り上げ、その歴史や多様な形態について学ぶとともに、和書の取り扱いや書誌データの取り方に関する基礎的知識を習得できるようにする。また、世界の書物史の概略を学び、日本の和書の相対的な位置づけについても解説する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>定期的に授業内容を問う小テストを行うので、きちんと復習し、理解不足がないか確認した上で授業に臨むこと。また、課題レポートは、期限までに仕上げ提出すること。各回、予習復習合わせて4時間程度を要する。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.文献資料とは何か</li> <li>2.世界の書物史①紙の発明と伝播</li> <li>3.世界の書物史②印刷技術の発明と発展</li> <li>4.世界の書物史③書物の形態の変遷</li> <li>5.和書の種類</li> <li>6.和書の装訂</li> <li>7.和書の書型</li> <li>8.和書の各部</li> <li>9.和書の書名</li> <li>10.日本の版本</li> <li>11.和書の調査方法①書誌調査の説明</li> <li>12.和書の調査方法②書誌調査の実践</li> <li>13.まとめ</li> </ol>			

科目名	文献資料学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	長田 あかね		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(20%)、課題レポート(40%)、試験(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストは、添削して解説とともに返却します。</li> <li>・課題レポートは、manabaレポートを活用して評価・解説をします。</li> <li>・試験の解答と解説は、manabaにて公開します。</li> </ul> </p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-2/日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。 成績評価方法: 試験、課題レポート、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文2-2/収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。 成績評価方法: 試験、課題レポート、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 試験、課題レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 試験、課題レポート、小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 試験、課題レポート、小テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 試験、課題レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 講義時にレジュメ・資料を配布する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 参考文献等は講義時に適宜紹介する。</p>			

文学部専門科目

英語英米文学科

(授業科目名五十音順)



科目名	Advanced English Seminar I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を取り上げたり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。

[授業概要]

アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日の状態に至っている歴史的経緯について文学作品や歴史書など多様な文献から読み取る。また、各国の代表的な文化的作品や社会を描いた作品の映像を鑑賞し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

- 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の歴史の概要
- 第2回:英語圏の国々の宗教の概要
- 第3回:英語圏の国々の宗教についての討論
- 第4回:英語圏の国々の家族観の概要
- 第5回:英語圏の国々の家族観の討論
- 第6回:英語圏の国々の教育についての概要
- 第7回:英語圏の国々の教育についての討論
- 第8回:英語圏の国々の文学作品についての概要
- 第9回:英語圏の国々の文学作品についての討論
- 第10回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
- 第11回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
- 第12回:プレゼンテーションの準備
- 第13回:プレゼンテーション発表会

科目名	Advanced English Seminar I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: essays</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  No textbook required 著者名:None 出版社:None</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし</p>			

S30161 [ LEH3-003 ]

科目名	Advanced English Seminar I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を取り上げたり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。

[授業概要]

アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日の状態に至っている歴史的経緯について文学作品や歴史書など多様な文献から読み取る。また、各国の代表的な文化的作品や社会を描いた作品の映像を鑑賞し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

- 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の歴史の概要
- 第2回:英語圏の国々の宗教の概要
- 第3回:英語圏の国々の宗教についての討論
- 第4回:英語圏の国々の家族観の概要
- 第5回:英語圏の国々の家族観の討論
- 第6回:英語圏の国々の教育についての概要
- 第7回:英語圏の国々の教育についての討論
- 第8回:英語圏の国々の文学作品についての概要
- 第9回:英語圏の国々の文学作品についての討論
- 第10回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
- 第11回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての討論
- 第12回:プレゼンテーションの準備
- 第13回:プレゼンテーション発表会

科目名	Advanced English Seminar I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will submit assignments to manaba. The teacher will review the assignments and provide comments and suggestions. The students will be asked to read the comments, revise their assignments, and resubmit them through manaba. Presentations will be given written feedback from the teacher as well as student feedback.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: essays</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Materials will be provided by the instructor. (none)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)</p>			

S30162 [ LEH3-003 ]

科目名	Advanced English Seminar I		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	R. ハリソン			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声聞き取ったり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。</p> <p>[授業概要] 英国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日の状態に至っている歴史的経緯について文学作品や歴史書など多様な文献から読み取る。また、各国の代表的な文化的作品や社会を描いた作品の映像を鑑賞し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の歴史の概要 第2回:英語圏の国々の宗教の概要 第3回:英語圏の国々の宗教についての討論 第4回:英語圏の国々の家族観の概要 第5回:英語圏の国々の家族観の討論 第6回:英語圏の国々の教育についての概要 第7回:英語圏の国々の教育についての討論 第8回:英語圏の国々の文学作品についての概要 第9回:英語圏の国々の文学作品についての討論 第10回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要 第11回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要 第12回:プレゼンテーションの準備 第13回:プレゼンテーション発表会</p>				

科目名	Advanced English Seminar I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: essays</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] No textbook required 著者名:None 出版社:None</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし 著者名:None 出版社:None</p>			

S30163 [ LEH3-003 ]

科目名	Advanced English Seminar II	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を取り上げたり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。</p> <p>[授業概要] アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日抱えている自然環境を含む地理的な問題、政治的な問題、健康問題、家族形態の変化、社会格差、教育問題などについて文献から読み取る。また、様々なドキュメンタリー映像等を視聴し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の地理・政治の概要 第2回:英語圏の国々の健康問題 第3回:英語圏の国々の地理・政治や健康に関する内容についての討論 第4回:英語圏の国々の家族形態の概要 第5回:英語圏の国々の家族形態についての討論 第6回:英語圏の国々の教育問題・社会格差の概要 第7回:英語圏の国々の教育問題・社会格差についての討論 第8回:研究論文のテーマ設定について(文化・文学分野のテーマ設定について) 第9回:研究論文のテーマ設定について(社会問題・自然環境分野のテーマ設定について) 第10回:研究論文の論理展開と英語表現について 第11回:研究論文執筆準備(担当教員との質疑応答を含む) 第12回:プレゼンテーションの準備、研究論文提出 第13回:プレゼンテーションの発表</p>			

科目名	Advanced English Seminar II	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: essays</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  No textbook required 著者名:None 出版社:None</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし 著者名:None 出版社:None</p>			

S30171 [ LEH3-004 ]



科目名	Advanced English Seminar II	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を取り上げたり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。</p> <p>[授業概要]  アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日抱えている自然環境を含む地理的な問題、政治的な問題、健康問題、家族形態の変化、社会格差、教育問題などについて文献から読み取る。また、様々なドキュメンタリー映像等を視聴し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]  第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の地理・政治の概要  第2回:英語圏の国々の健康問題  第3回:英語圏の国々の地理・政治や健康に関する内容についての討論  第4回:英語圏の国々の家族形態の概要  第5回:英語圏の国々の家族形態についての討論  第6回:英語圏の国々の教育問題・社会格差の概要  第7回:英語圏の国々の教育問題・社会格差についての討論  第8回:研究論文のテーマ設定について(文化・文学分野のテーマ設定について)  第9回:研究論文のテーマ設定について(社会問題・自然環境分野のテーマ設定について)  第10回:研究論文の論理展開と英語表現について  第11回:研究論文執筆準備(担当教員との質疑応答を含む)  第12回:プレゼンテーションの準備、研究論文提出  第13回:プレゼンテーションの発表</p>			

科目名	Advanced English Seminar II	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will submit assignments to manaba. The teacher will review the assignments and provide comments and suggestions. The students will be asked to read the comments, revise their assignments, and resubmit them through manaba. Presentations will be given written feedback from the teacher as well as student feedback.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: essays</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Materials will be provided by the instructor. (none)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)</p>			

S30172 [ LEH3-004 ]

科目名	Advanced English Seminar II		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	R. ハリソン			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声聞き取り、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。</p> <p>[授業概要] 英国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日抱えている自然環境を含む地理的な問題、政治的な問題、健康問題、家族形態の変化、社会格差、教育問題などについて文献から読み取る。また、様々なドキュメンタリー映像等を視聴し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の地理・政治の概要 第2回:英語圏の国々の健康問題 第3回:英語圏の国々の地理・政治や健康に関する内容についての討論 第4回:英語圏の国々の家族形態の概要 第5回:英語圏の国々の家族形態についての討論 第6回:英語圏の国々の教育問題・社会格差の概要 第7回:英語圏の国々の教育問題・社会格差についての討論 第8回:研究論文のテーマ設定について(文化・文学分野のテーマ設定について) 第9回:研究論文のテーマ設定について(社会問題・自然環境分野のテーマ設定について) 第10回:研究論文の論理展開と英語表現について 第11回:研究論文執筆準備(担当教員との質疑応答を含む) 第12回:プレゼンテーションの準備、研究論文提出 第13回:プレゼンテーションの発表</p>				

科目名	Advanced English Seminar II	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記, English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: essays</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  No textbook required 著者名:None 出版社:None</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし 著者名:None 出版社:None</p>			

S30173 [ LEH3-004 ]

科目名	アメリカ文化研究	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカの文化について学び考える	演習	
担当者	坂元 敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

広大な国土を持ち、移民によって構成されたアメリカの歴史を学び、その文化や社会・文学作品等に特徴がどのように表れているかを理解する。アメリカの多様な文化について説明された資料や記述、映像等を読み鑑賞して考察することによって、異文化理解をめざす。

[ 授業概要 ]

アメリカは身近な国のように思われるが、様々な点で我々と異なる文化と社会のありようが見られる。この授業ではアメリカの風土や文化の多様性に焦点をあて、歴史上のできごとや活躍した人たちについて学びながら、こうしたできごとや人物を扱った文学作品や映画等を取りあげて議論する。多文化社会で生まれた人々の価値観がどのようにアメリカの社会・文化をつくっていったかという点について考察し、より正確なアメリカの理解を目指す。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

課題についてはじゅうぶんにリサーチし提出することが必要である。レポートについては字数・形式を守り、テーマに関するリサーチをじゅうぶん行うこと。  
各回、予習復習合わせて2時間程度

[ 授業計画 ]

- 第1回: アメリカ大陸の発見
- 第2回: 「ポカホンタス」とジェームスタウン
- 第3回: 「ポカホンタス」とジェームスタウン
- 第4回: 「独立宣言」を読む
- 第5回: 南北戦争と南部の文化
- 第6回: アメリカ人とベースボール
- 第7回: 地理的特徴や地方の特色から見るアメリカの国民性
- 第8回: アメリカ演劇とミュージカル
- 第9回: ウォルト・ディズニーとアメリカの夢
- 第10回: 平等を求める運動 Rosa Parks
- 第11回: 平等を求める運動 Martin Luther King
- 第12回: 多文化社会の観点から見るアメリカの国民性
- 第13回: まとめ

科目名	アメリカ文化研究	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカの文化について学び考える	演習	
担当者	坂元 敦子		

[ 成績評価方法 ]  
 テスト(30%)、レポート(40%)、授業参加(発表や発言等)(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
 授業内で実施し、マナバも使用します。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

People and Culture in America 著者名: Tsutomu Akiba ほか 出版社: 英宝社 (978-4-269-19005-4)

[ 参考書(ISBN) ]

科目名	イギリス文化研究	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス社会の現在:労働者階級、移民、子どもたちの教育	メディア(演習)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「イギリス」が民族、宗教、言語の異なる国の連合王国であることを歴史的、地理的に把握する</li> <li>・英国の成り立ちの歴史を知り、多民族社会における宗教、階級、移民、教育など多様な社会問題を知る。</li> <li>・「イギリス社会」のもつ階級制度を理解し、労働者階級の生活と問題点を知る。</li> <li>・さらに日本社会とイギリス社会を個別の問題を通して比較し、問題点をさぐる。</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p><b>【メディア授業】</b>  本講義では、ロンドンの労働者階級の男性と結婚した博多出身の女性ブレイディみかこの保育士体験記を読んで行く。全38篇のなかから、毎回2篇を選び、学生にプレゼンしてもらう。1主題につき担当者2名、プレゼン・質疑・ディスカッションをセットとし、2セットをこなしていく。授業の後半では、母国を離れ日本で生活している外国人と交流することで、文化の多様性や異文化交流の意義を体験的に学ぶ。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  上記の教材、映画意外にも、講義中にふれる小説や映画作品をどんどん読んだり、観たりして、視野を広げてください。  各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  授業計画 (テキストで取り上げる項目は、学生の選択により異なります)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第1回: 英国の正式名称The United Kingdom of Great Britain and Northern Irelandと歴史、「ロザリオ」</li> <li>第2回: 「緊急託児所時代」ほか</li> <li>第3回: 「オリバー・ツイストと市松人形」ほか</li> <li>第4回: 「リトル・モンスターと地上の星々」、「天使を憐れむ歌」ほか</li> <li>第5回: 「底辺託児所時代 2008-2010」ほか</li> <li>第6回: 19世紀の子供たちの貧困を描いたディケンズを考える</li> <li>第7回: 「コスプレと戦争と平和」ほか</li> <li>第8回: 「託児所から見たブレグジット(英国のEU離脱)」ほか</li> <li>第9回: BREXITを作家の手記から読む(Daphne Kapsali, Divided Kingdom)</li> <li>第10回: 「人種と平等のもやもや——インクルージョン」</li> <li>第11回: 神戸の外国人コミュニティ フィールドワーク</li> <li>第12回: 「ロザリオ」「ゴム手袋のヨハネ」ほか</li> <li>第13回: まとめ レポート提出</li> </ol>			

科目名	イギリス文化研究	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス社会の現在:労働者階級、移民、子どもたちの教育	メディア(演習)	
担当者	森 尚也		
<p>[ 成績評価方法 ] 最終レポート(60%)、プレゼン&amp;ディスカッション(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manabaやメール等でおこなう</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『子どもたちの階級闘争 —ブローケン・ブリテンの無料託児所から』 著者名:ブレイディみかこ 出版社:みすず書房 (ISBN-10: 4622086034)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『オリヴァー・ツイスト』 著者名:ディケンズ 出版社:新潮文庫 ジョージ・エリオット『ミドルマーチ』 著者名:ジョージ・エリオット 出版社:光文社古典新訳文庫 (4334753922) ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 著者名:ブレイディみかこ 出版社:新潮社 (ISBN-10 : 4103526815)</p>			



科目名	English for Information Technology	前期	2 単位
サブタイトル	English for Information Technology	演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>In this class, students will learn about various topics of technology using English. Some of these topics include: Microsoft office (Microsoft Word, Power Point, Excel), email writing, and SNS. By the end of this class students will become more familiar about IT and able to talk about IT topics using English.</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>In class students will learn about technology and use class time to familiarize themselves with computer technology. The class will be in English. As a result, students will both learn about IT, and learn about English terminology regarding IT.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>Classroom attitude: 10%</p> <p>Assignments: 50%</p> <p>Midterm test: 20%</p> <p>Final test: 20%</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction / Syllabus</li> <li>2. Microsoft word (1-1)</li> <li>3. Microsoft word (1-2)</li> <li>4. Microsoft Power point (1-2)</li> <li>5. Microsoft Power point (2-2)</li> <li>6. Microsoft Excel (1-1)</li> <li>7. Microsoft Excel (1-2)</li> <li>8. Midterm test / Email writing (1-1)</li> <li>9. Email writing (1-2)</li> <li>10. SNS (1-3)</li> <li>11. SNS (2-3)</li> <li>12. SNS (3-3)</li> <li>13. Final test</li> </ol>			

科目名	English for Information Technology	前期	2 単位
サブタイトル	English for Information Technology	演習	
担当者	J. ファハード		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業での取り組み(20%)、毎回の単語テスト(20%)、期末試験(60%)  毎回の単語テストは点数ではなく、取り組んだかどうかで評価します。  期末試験は、持ち込み不可で、授業で取り組んだ、単語テスト(得点で評価)と英作文のテストを行います。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  試験について、採点結果をmanabaで確認できるようにします。詳しくは、授業中に案内します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法: assignments, group work, tests</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法: assignments, group work, tests</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: assignments, group work, tests</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: assignments, group work, tests</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: assignments, group work, tests</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Materials will be made by teacher 著者名: なし (なし)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	English for Careers I	前期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口 知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力を身に付けます。より具体的には、本授業ではビジネス・シーンで必要とされる英語力の概要を習得します。

[授業概要]

ビジネスの場で必要な英語コミュニケーション能力を総合的に学びます。グローバル化の進む現代、卒業後の進路がどのようなものであれ、ビジネス英語の概要を学んでおくことは、学生諸姉にとって将来必ず役に立つことと思います。

使用テキストは、以下「授業計画」に示すように、ユニットごとにさまざまなビジネス・シーンを想定しています。基本的に、2回の授業で1ユニットずつ進むので、各自十分な準備をして授業に臨んでください。また覚えるべき重要表現を示すので、確実に覚えていきましょう。授業中はペアワーク・グループワークを多用するので、積極的な参加が肝要です。

e-learning については、今期で進捗率50%達成を目指しますが、それ以外にも随時到達目標を設定しますので、遅延なく進めましょう(e-learning については必須というよりも、加点要素として扱います)。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

1. 次回授業の準備を十全にして授業に臨むこと。
  2. 指定された、覚えるべき表現を確実に覚えていくこと。
  3. TOEICの高スコアを目指し、e-learningによる学習に一定時間を費やすこと。
- 各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. 授業の概要説明、Unit 1: Introductions (初対面の挨拶や仕事内容の説明)
2. Unit 2: Telephone Calls (電話の応答や伝言の受け方)
3. Unit 2: Telephone Calls (電話の応答や伝言の受け方)
4. Unit 3: Making an Inquiry (製品や価格に対する問い合わせ方法や対応)
5. Unit 3: Making an Inquiry (製品や価格に対する問い合わせ方法や対応)
6. Unit 4: Making an Appointment (約束の取り付けや変更に関する表現)
7. Unit 4: Making an Appointment (約束の取り付けや変更に関する表現)
8. Unit 5: Receiving a Visitor (受付での来客対応や空港での出迎え)
9. Unit 5: Receiving a Visitor (受付での来客対応や空港での出迎え)
10. Unit 6: Invitations (接客に役立つ表現やスモールトーク)
11. Unit 6: Invitations (接客に役立つ表現やスモールトーク)
12. Unit 7: Presentation 1 (プレゼンテーションを始める際の挨拶や概要説明等の表現)
13. まとめ

科目名	English for Careers I	前期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口 知子		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験 (40%)、授業中の取り組み(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] フィードバックは原則として授業内で行いますが、課題の性質によってはmanaba を通じて行うこともあります。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Successful Office English Student Book 著者名:Tae Kudo 出版社:Cengage (9784860000000)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	English for Careers I	前期	2 単位
サブタイトル	エアラインの英語/ツーリズムの英語	演習	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力</p> <p>[ 授業概要 ] この授業ではエアラインやホテル、旅行代理店など旅に関連する職場で実際に使われている英語表現を学び、それを通して英語によるコミュニケーションの力をつけることを目標とする。扱う職種は客室乗務員や旅行代理店職員、ホテルスタッフ、通訳ガイドなど多岐にわたる。また旅行者として旅行を楽しめるように、あるいはビジネスの場でも実践的な英語表現を使用できるようになることを目指す。旅行に関する英語はTOEICでもしばしば出題されるので、TOEIC対策としても有効である。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 課題をきちんと提出(または授業内で発表)すること。また、次回の授業範囲について、テキストやプリント等の予習をすること。各回、予習復習合わせて1時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 旅行に関連する仕事</li> <li>3. May I help you? (旅行代理店)</li> <li>4. One of my group members is sick. (ツアーコンダクター)</li> <li>5. Are you checking in any luggage? (エアライン・グランドスタッフ)</li> <li>6. Have a nice flight! (エアライン・グランドスタッフ)</li> <li>7. We'll be taking off shortly. (エアライン・客室乗務員)</li> <li>8. 確認テスト</li> <li>9. 離陸前アナウンスとデモンストレーション(エアライン・客室乗務員)</li> <li>10. We have a single room available.(ホテル・予約)</li> <li>11. This is your key card.(ホテル・フロントデスク)</li> <li>12. I recommend the tour to Nikko. (ホテル・コンシェルジュ)</li> <li>13. まとめと確認テスト</li> </ol>			

科目名	English for Careers I	前期	2 単位
サブタイトル	エアラインの英語/ツーリズムの英語	演習	
担当者	坂元 敦子		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験 (40%)、授業中の取り組み(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業内でおこない、マナバも使用します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 授業中に指示します。 プリント配布</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 授業で指示します。</p>			

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口 知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力を身に付けます。より具体的には、本授業ではビジネス・シーンで必要とされる英語力の概要を習得します。

[授業概要]

ビジネスの場で必要な英語コミュニケーション能力を総合的に学習します。グローバル化の進む現代、卒業後の進路がどのようなものであれ、ビジネス英語の概要を学んでおくことは、学生諸姉にとって将来必ず役に立つことと思います。

使用テキストは、以下「授業計画」に示すように、ユニットごとにさまざまなビジネス・シーンを想定しています。基本的に2回の授業で1ユニットずつ進むので、各自十分な準備をして授業に臨むこと。また覚えるべき重要表現を示すので、遅延なく覚えていくこと。授業中はペアワーク・グループワークを多用するので、積極的に参加することが肝要です。

e-learning については、今期で進捗率100%達成を目指しますが(後期のみ履修の場合は50%)、それ以外にも随時到達目標を設定するので、遅延なく進めていきましょう(e-learning については、必須要件というよりも加点要素として扱います)。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

1. 次回授業の準備を十全にして授業に臨むこと。
  2. 指定された、覚えるべき表現を確実に覚えていくこと。
  3. TOEICの高スコアを目指し、e-learningによる学習に一定時間を費やすこと。
- 各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. 授業の概要説明、Unit 8: Presentations 2 (プレゼンテーションで新製品を紹介する)
2. Unit 9: Presentations 3 (プレゼンテーションの締めくくりと質疑応答)
3. Unit 9: Presentations 3 (プレゼンテーションの締めくくりと質疑応答)
4. Unit 10: Online Meetings (ビデオ会議で役立つ表現)
5. Unit 10: Online Meetings (ビデオ会議で役立つ表現)
6. Unit 11: Negotiations (価格交渉および支払い条件の交渉と確認)
7. Unit 11: Negotiations (価格交渉および支払い条件の交渉と確認)
8. Unit 12: Placing an Order (商品の発注および発注内容の変更)
9. Unit 12: Placing an Order (商品の発注および発注内容の変更)
10. Unit 13: Making Complaint (トラブルの際のクレームのあげ方およびその対応)
11. Unit 13: Making Complaint (トラブルの際のクレームのあげ方およびその対応)
12. Unit 14: Completing a Project (プロジェクト完了時の確認および関係者への挨拶・謝意)
13. まとめ

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口 知子		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験 (40%)、授業中の取り組み(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] フィードバックは原則として授業内に行いますが、課題の種類によってはmanaba を通じて行うこともあります。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Successful Office English 著者名:Tae Kudo 出版社:National Geographic Learning (978-4-86312-343-4)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			



科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	エアライン・ビジネス(伊丹空港へのフィールドワークあり)	演習	
担当者	遠山 忠輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力</p> <p>[ 授業概要 ] 【伊丹空港でのJAIR、JALSKY両社の見学と、客室乗務員やグランドスタッフの職務体験が含まれます】</p> <p>この授業では日本と世界のエアラインに関する基礎知識を学び、それを通して異文化理解を深めることを目標とする。エアラインに関して扱う分野は幅広く、エアラインの歴史から運航について、機内および空港での仕事について、また世界各国の乗客への対応についてなどを含む。さまざまな文化的背景によってコミュニケーションに注意する点などは、異文化理解という観点からエアライン産業以外でも広く必要とされることがらである。日本航空勤務の講師が現場での経験、最新の情報を織り交ぜながら講義するとともに、テーマに応じ学生はグループに分かれディスカッションしその内容を発表する。 また、11月中旬の土曜日に伊丹空港において、空港見学、客室乗務員の業務とグランドスタッフの業務を体験するフィールドワークを実施する。 なお、受講受け入れ数は30名として、31名を超える場合は抽選とする。 ※初回授業で抽選を行うため、受講希望者は必ず初回授業に出席すること。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 毎回予習と復習をおこなうこと。また課題が出されるので、きちんと提出(または授業内で発表)すること。各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 日本と世界の航空事情</li> <li>3. フルサービスキャリア(FSC)① 事業計画</li> <li>4. フルサービスキャリア(FSC)② マーケティング</li> <li>5. ローコストキャリア(LCC)</li> <li>6. 航空の安全 小テスト</li> <li>7. 伊丹空港でのフィールドワーク(11月中旬の土曜日に実施予定)</li> <li>9. 運航乗務員(パイロット)・客室乗務員(C/A)</li> <li>10. 運航管理(オペレーション)と空港旅客業務(グランドスタッフ)</li> <li>11. 航空機整備と貨物事業</li> <li>12. 将来のエアラインビジネス</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	エアライン・ビジネス(伊丹空港へのフィールドワークあり)	演習	
担当者	遠山 忠輝		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験(40%)、授業中の取り組み(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業時間内で全般的なフィードバックを実施するとともに、内容に応じ適宜manabaを通じてフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 授業で指示します。 プリント配布</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] エアライン・マネジメント 戦略と実践 著者名:日本航空株式会社 出版社:インプレス (ISBN978-4-295-01505-5)</p>			

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	エアライン・ビジネス(伊丹空港へのフィールドワークあり)	演習	
担当者	遠山 忠輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力</p> <p>[ 授業概要 ] 【伊丹空港でのJAIR、JALSKY両社の見学と、客室乗務員やグランドスタッフの職務体験が含まれます】</p> <p>この授業では日本と世界のエアラインに関する基礎知識を学び、それを通して異文化理解を深めることを目標とする。エアラインに関して扱う分野は幅広く、エアラインの歴史から運航について、機内および空港での仕事について、また世界各国の乗客への対応についてなどを含む。さまざまな文化的背景によってコミュニケーションに注意する点などは、異文化理解という観点からエアライン産業以外でも広く必要とされることがらである。日本航空勤務の講師が現場での経験、最新の情報を織り交ぜながら講義するとともに、テーマに応じ学生はグループに分かれディスカッションしその内容を発表する。 また、11月中旬の土曜日に伊丹空港において、空港見学、客室乗務員の業務とグランドスタッフの業務を体験するフィールドワークを実施する。 なお、受講受け入れ数は30名として、31名を超える場合は抽選とする。 ※初回授業で抽選を行うため、受講希望者は必ず初回授業に出席すること。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 毎回予習と復習をおこなうこと。また課題が出されるので、きちんと提出(または授業内で発表)すること。各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ] 1. オリエンテーション 2. 日本と世界の航空事情 3. フルサービスキャリア(FSC)① 事業計画 4. フルサービスキャリア(FSC)② マーケティング 5. ローコストキャリア(LCC) 6. 航空の安全 小テスト 7.8. 伊丹空港でのフィールドワーク(11月中旬の土曜日に実施予定) 9. 運航乗務員(パイロット)・客室乗務員(C/A) 10. 運航管理(オペレーション)と空港旅客業務(グランドスタッフ) 11. 航空機整備と貨物事業 12. 将来のエアラインビジネス 13. まとめ</p>			

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	エアライン・ビジネス(伊丹空港へのフィールドワークあり)	演習	
担当者	遠山 忠輝		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験(40%)、授業中の取り組み(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業時間内で全般的なフィードバックを実施するとともに、内容に応じ適宜manabaを通じてフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 授業で指示します。 プリント配布</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] エアライン・マネジメント 戦略と実践 著者名:日本航空株式会社 出版社:インプレス (ISBN978-4-295-01505-5)</p>			

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.

[ 授業概要 ]

This course will provide students with the fundamental skills necessary for effective academic writing. It teaches the writing modes, rhetorical devices and language points required for academic success. The course guides the students through the writing process of gathering ideas, organizing an outline, drafting, revising and editing, with attention to grammatical accuracy, proper spelling and punctuation, and critical thinking skills.

Students will learn to write well-developed paragraphs while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English. Students should use only English in class. Those who fail to comply will be penalized and receive a lower grade for the course. Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて2時間程度

[ 授業計画 ]

1. Introduction and syllabus preview, Unit 1 Paragraph to short essay- The paragraph
2. Unit 1 Unity and coherence
3. Unit 1 From paragraph to short essay (A part time job, or hobby)
4. Unit 1 Editing your writing
5. Unit 2 Descriptive Essays- Stimulating ideas
6. Unit 2 Brainstorming and outlining
7. Unit 2 Developing your ideas (A food you strongly like)
8. Unit 2 Editing your writing
9. Unit 3 Narrative Essays- Stimulating ideas
10. Unit 3 Brainstorming and outlining
11. Unit 3 Developing your ideas (An experience that changed you or taught you something important)
12. Unit 3 Editing your writing
13. Final Assessment

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Effective Academic Writing 2 The Short Essay (2nd Edition) Student Book with Online Practice 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer 出版社: Oxford University Press (9780000000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし 著者名: None 出版社: None</p>			

S30101 [ LEH2-003 ]

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.

[ 授業概要 ]

This class looks to further develop students writing skills, while introducing them to academic styles of writing (ex. Descriptive essays). Activities will focus around writing essays, as well as journal writing and free writing for improvement in writing speed. Students are expected to come to class prepared and ready to actively participate in every class session.

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

Review the notes and assignments from the previous week. Complete all the homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[ 授業計画 ]

1. Introduction and syllabus preview, Unit 1 Paragraph to short essay- The paragraph
2. Unit 1 Unity and coherence
3. Unit 1 From paragraph to short essay (A part time job, or hobby)
4. Unit 1 Editing your writing
5. Unit 2 Descriptive Essays- Stimulating ideas
6. Unit 2 Brainstorming and outlining
7. Unit 2 Developing your ideas (A food you strongly like)
8. Unit 2 Editing your writing
9. Unit 3 Narrative Essays- Stimulating ideas
10. Unit 3 Brainstorming and outlining
11. Unit 3 Developing your ideas (An experience that changed you or taught you something important)
12. Unit 3 Editing your writing
13. Final Assessment

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Effective Academic Writing 2 The Short Essay (2nd Edition) Student Book with Online Practice 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer. 出版社: Oxford University Press. (9780000000000)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)</p>			



科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.</p> <p>[ 授業概要 ] * This class will provide students with skills necessary for effective academic writing. * Students will be given the opportunity to improve their reading and writing skills in a supportive classroom with a focus on moving from paragraphs to writing short essays of five different types. They will also develop vocabulary, reading comprehension, grammatical accuracy, correct spelling and punctuation, planning and editing skills. * Students will learn to write well-developed sentences, paragraphs and short essays while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English.</p> <p>* Students should use only English in class. Those who speak Japanese often will be penalized and receive a lower grade for the course. * Plagiarism will not be tolerated. * Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ] Week 1: Class overview and introductions Week 2: Unit 1, "Paragraph to Short Essay. Writing:" Topic sentences; unity and coherence Week 3: Unit 1, "Paragraph to Short Essay. Writing:" Paragraph and essay organization Week 4: Unit 1, "Paragraph to Short Essay. Writing:" Short essay organization Week 5: Workshop class (peer review and trouble-shooting) Week 6: Unit 2, "Descriptive Essays. Culinary Arts and Nutrition:" Prepositional phrases; details in sentences Week 7: Unit 2, "Descriptive Essays. Culinary Arts and Nutrition:" Similes and simile structure Week 8: Unit 2, "Descriptive Essays. Culinary Arts and Nutrition:" Adjectives in descriptive writing Week 9: Workshop class (peer review and trouble-shooting) Week 10: Unit 3, "Narrative Essays. Psychology:" Sequence in narrative essays; subordinating conjunctions Week 11: Unit 3, "Narrative Essays. Psychology:" Details in essays; the past continuous tense Week 12: Unit 3, "Narrative Essays. Psychology:" Past time clauses; simultaneous activities Week 13: Summing up/ Workshop class (peer review and trouble-shooting)</p>			

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will be given feedback after first drafts.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Effective Academic Writing 2 The Short Essay (2nd Edition) Student Book with Online Practice 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer 出版社: Oxford University Press (9780194323475)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] English-Japanese and Japanese-English dictionary 著者名: None 出版社: None</p>			

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>Students will be able to write extensively in English on a variety of social issues by the end of the course. Students will be better prepared for academic essay and dissertation writing.</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>This course will provide students with the fundamental skills necessary for effective academic writing. It teaches the writing modes, rhetorical devices and language points required for academic success. The course guides the students through the writing process of gathering ideas, organizing an outline, drafting, revising and editing, with attention to grammatical accuracy, proper spelling and punctuation, and critical thinking skills.</p> <p>Students will learn to write well-developed paragraphs while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English. Students should use only English in class. Those who fail to comply will be penalized and receive a lower grade for the course. Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>Students must complete assigned homework tasks. They should also prepare for tasks they have to do in class. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Unit 4 Comparison- Contrast Essays- Stimulating Ideas</li> <li>2. Unit 4 Brainstorming and outlining</li> <li>3. Unit 4 Developing your ideas (An aspect of two places)</li> <li>4. Unit 4 Editing your writing</li> <li>5. Unit 5 Opinion Essays- Stimulating Ideas</li> <li>6. Unit 5 Brainstorming and outlining</li> <li>7. Unit 5 Developing your ideas (How a technology benefits or harms society)</li> <li>8. Unit 5 Editing your writing</li> <li>9. Unit 6 Cause-and-Effect Essays- Stimulating Ideas</li> <li>10. Unit 6 Brainstorming and Outlining</li> <li>11. Unit 6 Developing your ideas (How and why you or a person you know changed and grew over time)</li> <li>12. Unit 6 Editing your writing</li> <li>13. Final Assessment</li> </ol>			

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Effective Academic Writing 2 – The Short Essay 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer 出版社: Oxford University Press (978-0-19-430923-3)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし 著者名: None 出版社: None</p>			

S30111 [ LEH2-004 ]

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.

[ 授業概要 ]

This class further introduces students to more academic writing styles. Students will be expected to write several short essays, as well as prepare a writer's portfolio. Students are expected to come to class prepared and ready to actively participate in every class session.

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

Review the notes and assignments from the previous week. Complete all the homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[ 授業計画 ]

1. Unit 4 Comparison- Contrast Essays- Stimulating Ideas
2. Unit 4 Brainstorming and outlining
3. Unit 4 Developing your ideas (An aspect of two places)
4. Unit 4 Editing your writing
5. Unit 5 Opinion Essays- Stimulating Ideas
6. Unit 5 Brainstorming and outlining
7. Unit 5 Developing your ideas (How a technology benefits or harms society)
8. Unit 5 Editing your writing
9. Unit 6 Cause-and-Effect Essays- Stimulating Ideas
10. Unit 6 Brainstorming and Outlining
11. Unit 6 Developing your ideas (How and why you or a person you know changed and grew over time)
12. Unit 6 Editing your writing
13. Final Assessment

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Effective Academic Writing 2: The Short Essay (2006). 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-430923-3)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)</p>			

S30112 [ LEH2-004 ]

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.

[ 授業概要 ]

- \* This class will provide students with skills necessary for effective academic writing.
- \* Students will be given the opportunity to improve their reading and writing skills in a supportive classroom with a focus on moving from paragraphs to writing short essays of five different types. They will also develop vocabulary, reading comprehension, grammatical accuracy, correct spelling and punctuation, planning and editing skills.
- \* Students will learn to write well-developed sentences, paragraphs and short essays while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English.
- \* Students should use only English in class. Those who speak Japanese often will be penalized and receive a lower grade for the course.
- \* Plagiarism will not be tolerated.
- \* Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

Review the notes and assignments from the previous week.

Complete all homework.

Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて2時間程度

[ 授業計画 ]

Week 1: Semester one review/ Semester two overview

Week 2: Unit 4, "Comparison-Contrast Essays:" Essay organization; comparison and contrast connectors

Week 3: Unit 4, "Comparison-Contrast Essays:" Comparatives in comparison-contrast essays

Week 4: Unit 4, "Comparison-Contrast Essays:" Comparatives in sentences

Week 5: Workshop class (peer review and trouble-shooting)

Week 6: Unit 5, "Opinion Essays: Technology:" Opinion organization

Week 7: Unit 5, "Opinion Essays: Technology:" Facts and opinions

Week 8: Unit 5, "Opinion Essays: Technology:" Counterarguments and refutations

Week 9: Workshop class (peer review and trouble-shooting)

Week 10: Unit 6, "Cause and Effect Essays: Education and Economics:" Cause and effect organization

Week 11: Unit 6, "Cause and Effect Essays: Education and Economics:" Clustering information

Week 12: Review of essay-writing criteria/ Learning statements

Week 13: Summing up/ Workshop class (peer review and trouble-shooting)

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will be given feedback after first drafts.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Effective Academic Writing 2 – The Short Essay. 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer 出版社: Oxford University Press (978-0-19-430923-3)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] English-Japanese and Japanese-English dictionary 著者名: None 出版社: None (00000)</p>			

S30113 [ LEH2-004 ]



科目名	エアライン英語 I	前期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 面接対策等	メディア(演習)	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] ホスピタリティ関連企業を中心にして就職、就職後に役立つスキルを身につける。</p> <p>[ 授業概要 ] [メディア授業] エアラインやホテル、またそれ以外でも、ホスピタリティに関連する仕事を目指す人のために必要な指導をおこなう。入社のために必要な英語力や書類の作成準備、面接指導などをおこない、その後、仕事の現場で実際に使われる表現を学んで、スムーズなコミュニケーションができるようになることを目指す。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 課題は締切を守り提出すること。メールでのやりとりも多いため、メール添付で提出・受け取り可能であること。各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ] 第一回: イントロダクション 第二回: 自己紹介、自己分析 第三回: 書類作成、自己分析 第四回: 書類作成 第五回: 面接 第六回: 面接 第七回: 英語面接 第八回: グループ面接、 第九回: グループ面接、 第十回: グループワーク、ホスピタリティの現場で使う表現 第十一回: ホスピタリティの現場で使う表現 第十二回: 幅広い業種で必要な表現 第十三回: まとめ</p>			

科目名	エアライン英語 I	前期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 高卒対策等	メディア(演習)	
担当者	坂元 敦子		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(40%)、授業内での活動(40%)、発表(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業内で実施し、マナバも使用します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] プリント配布</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 授業内で指示します。</p>			

S32310 [ LEH3-027 ]

科目名	エアライン英語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 面接対策等	メディア(演習)	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] ホスピタリティ関連企業を中心にして就職、就職後に役立つスキルを身につける。</p> <p>[ 授業概要 ] [メディア授業] エアラインやホテル、またそれ以外でも、ホスピタリティに関連する仕事を目指す人のために必要な指導をおこなう。入社のために必要な英語力や書類の作成準備、面接指導などをおこない、その後、仕事の現場で実際に使われる表現を学んで、スムーズなコミュニケーションができるようになることを目指す。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 課題は締切を守り提出すること。メールでのやりとりも多いため、メール添付で提出・受け取り可能であること。各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ] 第一回: イントロダクション 第二回: 自己紹介、自己分析 第三回: 書類作成、自己分析 第四回: 書類作成 第五回: 面接 第六回: 面接 第七回: 英語面接 第八回: グループ面接、 第九回: グループ面接、 第十回: グループワーク、ホスピタリティの現場で使う表現 第十一回: ホスピタリティの現場で使う表現 第十二回: 幅広い業種で必要な表現 第十三回: まとめ</p>			

科目名	エアライン英語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 高卒対策等	メディア(演習)	
担当者	坂元 敦子		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(40%)、授業内での活動(40%)、発表(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業内で実施し、マナバも使用します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] プリント配布</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 授業内で指示します。</p>			

S32320 [ LEH3-028 ]

科目名	英語学研究	前期	2 単位
サブタイトル	生成文法の考え方	講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>英語学における主要な研究分野の一つである生成文法の考え方を理解し、人間が母語を獲得できる理由や、英語の音声の仕組み・文法について理解し、さらにそれらについて分析できる能力の基礎を養う。ヒトのこころや知性の起源、人間の本性についても分析できるような広い視野を養う。</p> <p>[授業概要]</p> <p>(この授業は前期と後期に同じものが開講されています。都合のよい方の学期に履修してください。)</p> <p>「言語とは何か」という問いに対する一つの答えは、言語とは、意味と音声という異質の二物を、構造を介して結びつけるシステムのことであるというものです。この意味と音声を関係づける構造をヒトがどのようにして生成しているのかを詳しく調べることで、英語と日本語はどちらも人間の言語なのになぜこんなに違うのかということが理解でき、さらに探求を進めることで実際には両者の間にそれほど違いはないということが明らかになってきます。この授業では英語学における主要な研究分野の一つである生成文法の基礎ならびに理論の変遷を学ぶことで、母語獲得のメカニズムや、英語の音声の仕組み、英語の文法について、高校までの英文法の授業では説明されてこなかった内容について理解することを目指します。身近な例を挙げながら、わかりやすく解説していきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業についての予習・復習4時間程度。 毎回の授業後にmanabaに公開する講義資料等で既習事項を復習しながら、次の授業に臨むこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語と日本語の違い、言語生得説</li> <li>2. ことばと科学、ことばの獲得</li> <li>3. 英語の音声の仕組みと統語構造の関係、普遍文法</li> <li>4. 語彙範疇と機能範疇、統語構造</li> <li>5. X<sup>0</sup>理論</li> <li>6. 文構造の再考</li> <li>7. 意味役割、能動と受動、格</li> <li>8. 数量詞と代名詞、PF表示とLF表示</li> <li>9. コントロールと上昇</li> <li>10. 非対格仮説、述語内主語仮説</li> <li>11. 主要部移動、wh移動</li> <li>12. ミニマリスト・プログラム、ラベル付けアルゴリズム</li> <li>13. これまでの授業および試験に関する質疑応答、試験</li> </ol>			

科目名	英語学研究	前期	2 単位
サブタイトル	生成文法の考え方	講義	
担当者	本田 隆裕		

[ 成績評価方法 ]

授業への参加(コメントの記入、ディスカッションへの参加など) (60%)、試験(40%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

コメントについては次回の授業で紹介し、試験については採点結果をmanabaで受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法: 試験

学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。

成績評価方法: 試験

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法: 授業への参加、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 授業への参加、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 授業への参加、試験

[ 教科書(ISBN) ]

『ベーシック生成文法』 著者名: 岸本秀樹 出版社: ひつじ書房 (978-4-89476-426-2 )

[ 参考書(ISBN) ]

『生成文法の考え方』 著者名: 北川善久・上山あゆみ 出版社: 研究社 (4327257028)

科目名	英語学研究	前期	2 単位
サブタイトル	生成文法の考え方	講義	
担当者	本田 隆裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

英語学における主要な研究分野の一つである生成文法の考え方を理解し、人間が母語を獲得できる理由や、英語の音声の仕組み・文法について理解し、さらにそれらについて分析できる能力の基礎を養う。ヒトのこころや知性の起源、人間の本性についても分析できるような広い視野を養う。

[授業概要]

(この授業は前期と後期に同じものが開講されています。都合のよい方の学期に履修してください。)  
「言語とは何か」という問いに対する一つの答えは、言語とは、意味と音声という異質の二物を、構造を介して結びつけるシステムのことであるというものです。この意味と音声を関係づける構造をヒトがどのようにして生成しているのかを詳しく調べることで、英語と日本語はどちらも人間の言語なのになぜこんなに違うのかということが理解でき、さらに探求を進めることで実際には両者の間にそれほど違いはないということが明らかになってきます。この授業では英語学における主要な研究分野の一つである生成文法の基礎ならびに理論の変遷を学ぶことで、母語獲得のメカニズムや、英語の音声の仕組み、英語の文法について、高校までの英文法の授業では説明されてこなかった内容について理解することを目指します。身近な例を挙げながら、わかりやすく解説していきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業についての予習・復習4時間程度。  
毎回の授業後にmanabaに公開する講義資料等で既習事項を復習しながら、次の授業に臨むこと。

[授業計画]

1. 英語と日本語の違い、言語生得説
2. ことばと科学、ことばの獲得
3. 英語の音声の仕組みと統語構造の関係、普遍文法
4. 語彙範疇と機能範疇、統語構造
5. X<sub>bar</sub>理論
6. 文構造の再考
7. 意味役割、能動と受動、格
8. 数量詞と代名詞、PF表示とLF表示
9. コントロールと上昇
10. 非対格仮説、述語内主語仮説
11. 主要部移動、wh移動
12. ミニマリスト・プログラム、ラベル付けアルゴリズム
13. これまでの授業および試験に関する質疑応答、試験

科目名	英語学研究	前期	2 単位
サブタイトル	生成文法の考え方	講義	
担当者	本田 隆裕		

[ 成績評価方法 ]

授業への参加(コメントの記入、ディスカッションへの参加など) (60%)、試験(40%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

コメントについては次回の授業で紹介し、試験については採点結果をmanabaで受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法: 試験

学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。

成績評価方法: 試験

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法: 授業への参加、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法: 授業への参加、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 授業への参加、試験

[ 教科書(ISBN) ]

『ベーシック生成文法』 著者名: 岸本秀樹 出版社: ひつじ書房 (978-4-89476-426-2 )

[ 参考書(ISBN) ]

『生成文法の考え方』 著者名: 北川善久・上山あゆみ 出版社: 研究社 (4327257028)



科目名	英語学特殊講義 I	前期	2 単位
サブタイトル	英文法への理解を深める	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校文法とは異なる視点で英語の文法を観察し、英語話者がもつ英文法の感覚を学ぶ。</li> <li>・さまざまな構文の文例に幅広く触れ、各構文の形式的・意味的な特徴について学ぶ。</li> <li>・さまざまな文例をもとに、どのような文法規則があるのかを分析する。</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>英語学習者が文法につまずくことは多い。その理由の一つには、文法書などで紹介される多種多様な構文の規則の複雑さと、それらの形式や規則に理由があることが見出せないことが挙げられる。この授業では、英語のさまざまな構文を取り上げ、それらの構文の形式的特徴だけでなく、構文がもつ意味にも注目し、英語の基本構造への理解を深める。また、各構文の文例に幅広く触れ、なぜその構文がこのような形式になっているのか、なぜこのような意味が生まれるのかを読み解くことで、言語データを分析する手法も学ぶ。</p> <p>授業は主に配布資料を用いた解説によって進められる。適宜、トピックに関連する問題に個人またはグループで取り組み、解答を発表する。各回で学んだ内容の理解度を確認するために、授業終了後には課題に取り組み、また、次の回の授業の冒頭で小テストを実施する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>予習: 次回授業で扱う文法事項をあらかじめ自分で調べる。本田・田中・畠山(2020)『英文の基本構造』をあらかじめ読んでおくことが望ましい。</p> <p>復習: 毎回の授業後に講義資料等で既習事項を復習しながら、次の授業に臨むこと。</p> <p>※各回、予習復習を合わせて4時間程度を目安とする。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに: 英語の基本文について</li> <li>2. 基本文の構造(1): リンキング動詞を含む文/自動詞を含む文</li> <li>3. 基本文の構造(2): 目的語を1つとる文</li> <li>4. 基本文の構造(3): 二重目的語構文と与格構文</li> <li>5. 疑問文の形式と意味</li> <li>6. 否定疑問文と付加疑問文</li> <li>7. 情報構造と構文</li> <li>8. 受動文の形式と意味</li> <li>9. 修飾関係と述語関係(1): 限定用法と叙述用法</li> <li>10. 修飾関係と述語関係(2): 目的語の状態に言及する文/結果構文</li> <li>11. 否定文の形式と意味</li> <li>12. 後半のまとめ: 英文の基本パターン</li> <li>13. 講義内容の総括と学習到達度の確認</li> </ol>			

科目名	英語学特殊講義 I	前期	2 単位
サブタイトル	英文法への理解を深める	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等): 30%</li> <li>・授業内や授業後に提出する課題: 30%</li> <li>・最終試験: 40%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示し、希望に応じて答案を返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>英文の基本構造 著者名: 本田謙介・田中江扶・島山雄二 出版社: 朝倉書店 (978-4-254-51674-6)</p>			

科目名	英語学特殊講義Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	似た意味をもつ2種類の文とその違い	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとつの事象に対して複数の表現方法があることを理解する。</li> <li>・それらの複数の表現方法が、それぞれ異なったニュアンスや異なった文法ルールをもつことを具体的に説明できる。</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>同じ事象に対して複数の表現方法が存在することは多くある。たとえば、He gave her a present.(二重目的語構文)とHe gave a present to her.(与格構文)や、The cat chased the mouse.(能動文)とThe mouse was chased by the cat.(受動文)は互いに言い換え可能だと言われる。本授業では、このように言い換え可能な表現が実際には異なるニュアンスを持つことや、言い換えができる場合とできない場合があることに注目して、さまざまな構文のもつ意味や文法規則を考察する。</p> <p>各回の授業は主に配布資料を用いた解説によって進められる。適宜、トピックに関連する問題に個人またはグループで取り組み、解答を発表する。各回で学んだ内容の理解度を確認するために、授業終了後には記述課題に取り組む。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>予習: 次回授業で扱う文法事項をあらかじめ自分で調べる。岸本・岡田(2020)『構文間の交替現象』を読んでおくことが望ましい。</p> <p>復習: 毎回の授業後に講義資料等で既習事項を復習しながら、次の授業に臨むこと。</p> <p>※各回、予習復習を合わせて4時間程度を目安とする。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに: 言い換え可能な表現例について</li> <li>2. 自他交替</li> <li>3. 他動詞文における目的語の省略</li> <li>4. 二重目的語構文と与格構文</li> <li>5. 特定の意味を持つ動詞における言い換え表現</li> <li>6. 能動文と受動文</li> <li>7. 中間まとめ</li> <li>8. 句動詞を用いた文</li> <li>9. 存在文</li> <li>10. 前置文・倒置文</li> <li>11. 後置文・外置文</li> <li>12. 分裂文</li> <li>13. 講義内容の総括と学習到達度の確認</li> </ol>			

科目名	英語学特殊講義Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	似た意味をもつ2種類の文とその違い	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の取り組み: 30%</li> <li>・授業内や授業後に提出する課題: 30%</li> <li>・最終試験: 40%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 試験: 模範解答と解説をmanabaで提示し、希望に応じて答案を返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>構文間の交替現象 著者名: 岸本秀樹、岡田禎之 出版社: 朝倉書店 (978-4-254-51675-3) A Comprehensive Grammar of the English Language 著者名: Randolph Quirkほか 出版社: Longman (978-0582517349) The Cambridge Grammar of the English Language 著者名: Rodney Huddleston and Geoffrey K. Pullum 出版社: Cambridge University Press (978-0521431460)</p>			

科目名	英語学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代英語に至るまでの変遷を、歴史的背景に関連させて説明できる。</li> <li>2. 英語のバリエーションについて具体例を挙げて説明できる。</li> <li>3. 英語の音声や音韻について、具体的な単語や文例を挙げて説明できる。</li> <li>4. 英語の単語がどのような構造で形成されているかを説明できる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の歴史や、音声的特徴・語構造・文構造など、その言語の背景的知識を学ぶことも重要である。この授業では、まず、英語の歴史的変化や方言などのバリエーションを概観する。その後、現代英語の音声的・音韻的な特徴や、単語の構造といった英語という言語に見られるしくみを、他言語との比較を通して客観的に観察する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。  予習: 参考書を用いて、各回で扱うトピックの該当箇所を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておくことが望ましい。  ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションおよび言語の起源について</li> <li>2. 言語研究の諸分野とその研究方法</li> <li>3. 英語の歴史</li> <li>4. 英語の発音とスペリング</li> <li>5. 英語の語彙の多様性</li> <li>6. 標準英語の成立</li> <li>7. 英語の方言と多様性</li> <li>8. 英語の発音のしくみ</li> <li>9. 英語の音の組み合わせ(1)前後の音の影響で変化する発音</li> <li>10. 英語の音の組み合わせ(2)音節、アクセント、リズム</li> <li>11. 英語の単語のしくみ(1)形態素の種類</li> <li>12. 英語の単語のしくみ(2)単語の組み立て</li> <li>13. 講義内容の総括と学習到達度の確認</li> </ol>			

科目名	英語学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等): 30%</li> <li>・授業内や授業後に提出する課題: 30%</li> <li>・最終試験: 40%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社, 2014年. (978-4-327-40165-8) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版, 2013年. (978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会, 2015年. (978-4766422139) 英語の音声を科学する(新装版) 著者名:川越いつえ 出版社:大修館書店, 2007年. (978-4469245318)</p>			

科目名	英語学入門 I		前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する		講義	
担当者	吉本 真由美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代英語に至るまでの変遷を、歴史的背景に関連させて説明できる。</li> <li>2. 英語のバリエーションについて具体例を挙げて説明できる。</li> <li>3. 英語の音声や音韻について、具体的な単語や文例を挙げて説明できる。</li> <li>4. 英語の単語がどのような構造で形成されているかを説明できる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の歴史や、音声的特徴・語構造・文構造など、その言語の背景的知識を学ぶことも重要である。この授業では、まず、英語の歴史的変化や方言などのバリエーションを概観する。その後、現代英語の音声的・音韻的な特徴や、単語の構造といった英語という言語に見られるしくみを、他言語との比較を通して客観的に観察する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。  予習: 参考書を用いて、各回で扱うトピックの該当箇所を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておくことが望ましい。  ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションおよび言語の起源について</li> <li>2. 言語研究の諸分野とその研究方法</li> <li>3. 英語の歴史</li> <li>4. 英語の発音とスペリング</li> <li>5. 英語の語彙の多様性</li> <li>6. 標準英語の成立</li> <li>7. 英語の方言と多様性</li> <li>8. 英語の発音のしくみ</li> <li>9. 英語の音の組み合わせ(1)前後の音の影響で変化する発音</li> <li>10. 英語の音の組み合わせ(2)音節、アクセント、リズム</li> <li>11. 英語の単語のしくみ(1)形態素の種類</li> <li>12. 英語の単語のしくみ(2)単語の組み立て</li> <li>13. 講義内容の総括と学習到達度の確認</li> </ol>				

科目名	英語学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等): 30%</li> <li>・授業内や授業後に提出する課題: 30%</li> <li>・最終試験: 40%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社, 2014年. (978-4-327-40165-8) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版, 2013年. (978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会, 2015年. (978-4766422139) 英語の音声科学(新装版) 著者名:川越いつえ 出版社:大修館書店, 2007年. (978-4469245318)</p>			



科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語の文構造を正しく分析できる。</li> <li>2. 意味の拡張について、話者の認知や視点に関連させて分析できる。</li> <li>3. 会話における意味解釈において、コンテキストがどのように関わっているかを分析できる。</li> <li>4. 文章のなかで効果的に情報を提示する方法を理解し、それを実践する。</li> <li>5. 言語と文化・社会にどのような関連があるかを説明できる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の背景的知識について学ぶことも重要である。「英語学入門Ⅱ」では、「英語学入門Ⅰ」に引き続き、英語を他言語（主に日本語）と比較しながら客観的に観察する。この授業ではまず英語の文構造を分析する。その後、この授業の前半を使って意味解釈に関する理論を概観し、人間の認知と意味拡張の関わりや、会話においてコンテキストの情報が意味解釈に与える影響について考察する。授業の後半では、言語と文化の関わりや、社会言語学的観点からみた英語のバリエーションについて分析する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。  予習: 事前配布する講義資料や参考書等の資料を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておく。  ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションおよび次週への導入(文構造の分析)</li> <li>2. 文構造の分析</li> <li>3. メタファーとメトニミー</li> <li>4. 法助動詞と主観性</li> <li>5. 明意と暗意</li> <li>6. 会話におけるルール</li> <li>7. まとまりのある文章</li> <li>8. 新情報と旧情報</li> <li>9. 異文化間におけるコミュニケーション</li> <li>10. ことばと文化</li> <li>11. ことばと社会(1): 地域変種と社会変種</li> <li>12. ことばと社会(2): ピジンとクレオール</li> <li>13. 講義内容の総括と学習到達度の確認</li> </ol>			

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等):30%</li> <li>・授業内や授業後に提出する課題:30%</li> <li>・最終試験:40%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社,2014年。(978-4-327-40165-8 ) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版,2013年。(978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会,2015年。(978-4766422139)</p>			

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語の文構造を正しく分析できる。</li> <li>2. 意味の拡張について、話者の認知や視点に関連させて分析できる。</li> <li>3. 会話における意味解釈において、コンテキストがどのように関わっているかを分析できる。</li> <li>4. 文章のなかで効果的に情報を提示する方法を理解し、それを実践する。</li> <li>5. 言語と文化・社会にどのような関連があるかを説明できる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の背景的知識について学ぶことも重要である。「英語学入門Ⅱ」では、「英語学入門Ⅰ」に引き続き、英語を他言語(主に日本語)と比較しながら客観的に観察する。この授業ではまず英語の文構造を分析する。その後、この授業の前半を使って意味解釈に関する理論を概観し、人間の認知と意味拡張の関わりや、会話においてコンテキストの情報が意味解釈に与える影響について考察する。授業の後半では、言語と文化の関わりや、社会言語学的観点からみた英語のバリエーションについて分析する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。  予習: 事前配布する講義資料や参考書等の資料を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておく。  ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションおよび次週への導入(文構造の分析)</li> <li>2. 文構造の分析</li> <li>3. メタファーとメトニミー</li> <li>4. 法助動詞と主観性</li> <li>5. 明意と暗意</li> <li>6. 会話におけるルール</li> <li>7. まとまりのある文章</li> <li>8. 新情報と旧情報</li> <li>9. 異文化間におけるコミュニケーション</li> <li>10. ことばと文化</li> <li>11. ことばと社会(1): 地域変種と社会変種</li> <li>12. ことばと社会(2): ピンジンとクレオール</li> <li>13. 講義内容の総括と学習到達度の確認</li> </ol>			

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等):30%</li> <li>・授業内や授業後に提出する課題:30%</li> <li>・最終試験:40%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社,2014年。(978-4-327-40165-8 ) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版,2013年。(978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会,2015年。(978-4766422139)</p>			

科目名	英語科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[ 到達目標 ]

伝統的教授法の問題点を理解し、これからの英語教育に何が必要かを理解する。また、学習指導要領における外国語教育の目標と指導内容について学ぶ。これらの学習を通して、課題意識を持って授業を組み立てる態度を養う。

[ 授業概要 ]

これまで行われてきた日本の英語教育のどこが問題なのかということについて理解を深めていく。まず、今までの知識・経験だけで短時間の模擬授業を行い、自分が持っている英語教育観を見つめ直す。その後、4技能(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」)のそれぞれの指導の注意点と中学校及び高等学校の学習指導要領における外国語教育の目標・指導内容を確認する。さらに、テキストに沿って伝統的教授法の問題点を講義とディスカッションを通して理解し、それに代わる指導法を学ぶ。これらの学習と授業担当教員による実演の体験後、もう一度、模擬授業を計画・実施することにより、目指す授業像を確立する。2回目の模擬授業では、4技能のうち、グループごとに各技能に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、授業実践及び授業観察により、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。

中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回の授業についての予習・復習4時間程度。

テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。

[ 授業計画 ]

1. 英語教員の役割、英語教育観と第二言語習得研究、模擬授業(1)の準備
2. 模擬授業(1)
3. 模擬授業の(1)と自分の英語教育観の振り返り、4技能の指導の注意点、学習指導要領(中学校・高等学校外国語科の目標と指導内容)
4. 伝統的教授法の問題点とコミュニケーション言語教授法
5. タスク中心教授法の理論的背景とその課題
6. 英語の音声指導・文字指導、英語の語彙・表現・文法の指導
7. 小テスト、指導法のワークショップ、
8. 授業の構成、指導手順、指導案の書き方
9. これまでの復習と模擬授業(2)の準備
10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ)
11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ)
12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ)
13. 模擬授業(2)の反省、まとめ

科目名	英語科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[ 成績評価方法 ]  模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。 指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 著者名:和泉伸一 出版社:大修館書店 (978-4-469-24547-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S31040 [ LEH2-014 ]

科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>「フォーカス・オン・フォーム」による指導法を理解する。また、学習指導要領の3つの資質・能力(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」)とともに、評価の在り方及び授業の指導計画について理解し、実際に授業を担当できる能力の基礎を築く。</p> <p>[授業概要]</p> <p>近年注目を集めている「フォーカス・オン・フォーム」という学習者の気付きを支援する指導法を学習することに加え、学習指導要領の3つの資質・能力を踏まえた指導について基本的な知識と技能を身に付ける。また、小学校における外国語活動・外国語科の学習内容を踏まえた、中学校・高等学校の授業づくりの方法や英語の授業における異文化理解の在り方、ALTとのチーム・ティーチングの方法についても学習する。さらに、学習到達目標に基づく授業づくりや観点別評価等の評価の在り方を確認し、考查問題の作成等の言語能力の測定と評価についても学ぶ。模擬授業では、主に、前半はICT等の活用や生徒の習熟度に応じた授業づくりを実践し、後半は5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び領域を統合した指導に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業についての予習・復習4時間程度。 テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領の3つの資質・能力を育むための授業、教科用図書に基づく指導</li> <li>2. 小学校学習指導要領(外国語活動・外国語科)、小中高を通じた英語教育の在り方</li> <li>3. 言語習得の3要素とフォーカス・オン・フォーム、5つの領域の指導、領域統合型の授業映像視聴</li> <li>4. 異文化理解、英語でのインタラクション、フォーカス・オン・フォームに基づいた授業映像の視聴、ALTとのチーム・ティーチングに関する授業映像視聴</li> <li>5. 学習到達目標に基づく授業づくりと評価の在り方、考查問題の作成方法、教材・ICTの活用、生徒の特性・習熟度に応じた授業づくり、模擬授業(1)の準備</li> <li>6. 模擬授業(1)(全体を1/2に分けた第1グループ)</li> <li>7. 模擬授業(1)(全体を1/2に分けた第2グループ)</li> <li>8. 模擬授業(1)の反省と指導法のワークショップ(授業担当教員による実演)</li> <li>9. 小テスト、模擬授業(2)の準備</li> <li>10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ)</li> <li>11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ)</li> <li>12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ)</li> <li>13. 模擬授業(2)の反省、まとめ</li> </ol>			

科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[ 成績評価方法 ]  模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 著者名:和泉伸一 出版社:大修館書店 (978-4-469-24547-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S31050 [ LEH2-015 ]



科目名	英語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 英語指導法の一つであるIntake Readingを学ぶとともに、英語の教科用図書の活用方法を学習する。また、教材やICTの活用方法、英語による授業展開やALTとのチーム・ティーチングの方法についての理解を踏まえた5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導と領域統合型の言語活動の指導についての知識・技能を身に付ける。</p> <p>[授業概要] まず、学習指導要領に基づく5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導について英語科指導法Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を再度確認し、複数の領域を統合した言語活動について理解を深める。次に、生徒の間違った英文産出を減らすことができる、齋藤(2011)で提案されたIntake Readingという指導法を学び、加えて、英語の教科用図書(教科書)の活用方法について学習する。また、英語の音声、文字、語彙・表現の指導についても授業映像の視聴等を通して実践方法を学ぶ。さらに、プレゼンテーションソフトウェアや音声編集ソフトウェア等のICTを活用した視聴覚教材の導入を体験し、英語でのインタラクション、ALTとのチーム・ティーチングの方法についてもさらなる知識と技能を身に付ける。模擬授業では、これまで学習した指導法を踏まえた5つの領域の指導及び複数の領域を統合した言語活動(音声、文字、語彙・表現の指導も含む)を実施することで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 学習指導要領と検定教科書、領域統合型の言語活動の指導 2. Intake Readingの事前指導と実践方法、教科書の活用、Intake Readingを取り入れた授業とワークショップ、英語の語彙・表現に関する授業映像視聴 3. 教材研究とICTの活用、領域統合型の授業映像視聴、教室英語、英語でのインタラクション、チーム・ティーチング等の効果的な活用 4. 小テスト、模擬授業(1)の準備 5. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第1グループ) 6. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第2グループ) 7. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第3グループ) 8. 模擬授業(1)の反省とIntake Readingの応用 9. 模擬授業(2)の準備 10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ) 11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ) 12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ) 13. 模擬授業(2)の反省、まとめ(面接授業)</p>			

科目名	英語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[ 成績評価方法 ]  模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  『生徒の間違いを減らす英語指導法 インテイク・リーディングのすすめ』 著者名:齋藤榮二 出版社:三省堂 (978-4-385-36559-6)  中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (4304051695)  高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (4304051784)</p>			

S31060 [ LEH3-010 ]

科目名	英語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[ 到達目標 ]

第二言語習得研究に基づき、小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方を理解する。個に応じた指導や異文化理解に関する指導について、さらなる知識と技能を身に付ける。また、英語教育に関して自ら研究を進められる能力を養う。

[ 授業概要 ]

第二言語習得研究に基づいた小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方について学習する。また、異文化理解に関する内容を授業に取り入れる方法や生徒の特性や習熟度に基づく指導方法についても理解を深める。さらに、学校文法だけでなく科学文法についても学習し、文法指導について理解するとともに、英語教育について自ら研究できる能力の基礎を築く。模擬授業では、5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び複数の領域を統合した言語活動(音声、文字、語彙・表現、文法の指導や異文化理解に関する指導も含む)を取り入れ、さらに具体的な生徒像も想定した上で授業計画を立てることで、英語の指導法について総括する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。

中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回の授業についての予習・復習4時間程度。

テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。

[ 授業計画 ]

1. 第二言語習得と英語教育、SLA研究と小学校英語教育
2. 中学校英語教育・高校英語教育の今後、自律した学習者を育てる方法(大学生、社会人の英語教育)、異文化理解に関する授業映像の視聴
3. 生徒の特性や習熟度に基づく指導方法とワークショップ(担当教員による実演)
4. 学校文法と生成文法、文法の指導方法、外国語教育学の研究手法
5. 小テスト、模擬授業(1)の準備
6. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第1グループ)
7. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第2グループ)
8. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第3グループ)
9. 模擬授業(1)の反省と模擬授業(2)の準備
10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ)
11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ)
12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ)
13. 模擬授業(2)の反省、まとめ

科目名	英語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[ 成績評価方法 ]  模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:(開隆堂出版)(4304051695)</p>			

科目名	英語圏文学 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア(講義)	
担当者	坂元 敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

アメリカ小説・戯曲を読み、作品中に使用されるさまざまな英語表現を学ぶとともに英語の読解力をつける。  
英語で外国文学作品を味わう方法を学ぶ。  
アメリカ文学作品と時代背景、またアメリカの社会・文化について理解する。  
作品の朗読や台詞の発表を通して、コミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。

[授業概要]

【メディア授業】

この授業では、代表的なアメリカ文学作品の一部(抜粋)を英語で読み、その中の英語表現について学ぶとともに、作品に見られる「アメリカらしさ」とは何かについて考える。作品の背景となる時代やアメリカの社会・文化に焦点をあて、各自が調べたり発表したりすることによって、異なる文化の理解を目指す。また声に出して台詞や文章を読むことによって、英語による文学作品を味わい、自然な英語やコミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。作品の多くは映画化されているので、映像作品と原作の違いなどについても考えたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

課題とした文学作品を次の授業までに読み、発表する。辞書を使用してテキストを細かく読み、理解してから授業に臨むこと。また、レポートは字数や形式を守り、作品に関するリサーチをじゅうぶん行うこと。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]

- 第1回: イントロダクション
- 第2回: 小説と戯曲、アメリカ文学史概観
- 第3回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウインクル』を読む
- 第4回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウインクル』の時代背景と社会
- 第5回: オルコット『若草物語』を読む
- 第6回: オルコット『若草物語』と南北戦争
- 第7回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』を読む
- 第8回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』と20年代
- 第9回: フォークナー『響きと怒り』を読む
- 第10回: フォークナー『響きと怒り』とアメリカ南部
- 第11回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』を読む
- 第12回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』とアメリカの家族
- 第13回: まとめ

科目名	英語圏文学 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア(講義)	
担当者	坂元 敦子		
<p>[ 成績評価方法 ]  テスト(30%)、課題(40%)、授業参加(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業内でおこない、マナバも使用します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  プリント配布 著者名:</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S32200 [ LEH3-025 ]

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・翻訳を通して原作を読み、物語の力を感じる。</li> <li>・原作の英文も一部読むので、時代や作者によって変わる英語の文体の違いを知る。</li> <li>・イギリスやアイルランドの文学作品とその時代背景、社会や文化について理解する。</li> <li>・文学作品を読み、そのなかから問題を探し、調べ、考え、表現する。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>【メディア授業】</p> <p>この授業では、イギリスやアイルランドの代表的な文学作品の一部(抜粋)を英語で読み、その中の英語表現について学ぶとともに、作品に見られる「イギリスらしさ・アイルランドらしさ」とは何かについて考える。作品の背景となる時代や社会・文化にも焦点をあて、各自が調べたり発表したりすることによって、異なる文化の理解を目指す。また声に出して台詞や文章を読むことによって、英語による文学作品を味わい、コミュニケーションの道具を超えた言語表現に触れる。作品の多くは映画化されているので、映像作品と原作の違いなどについても考えたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>図書館やインターネットを使用して、講義関連内容の情報を収集し、興味のある文献を読んでおく。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回 イントロダクション  第2回 小説と戯曲、イギリスとアイルランド文学史概観  第3回 スウィフト『ガリバー旅行記』を読む:18世紀の旅行記文学  第4回 スウィフト『ガリバー旅行記』:「憤怒」の人スウィフトと、フーイヌムの悲しみ  第5回:ディケンズ『オリバー・ツイスト』を読む  第6回:ディケンズ『オリバー・ツイスト』:階級社会  第7回:ハーディ『ダーバヴィル家のテス』を読む  第8回:ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』:意識の流れ  第9回:ジョイス『ダブリン市民』を読む ポスト植民地文学  第10回:ジョイス『ダブリン市民』:意識の流れ  第11回:ベケット『ゴドーを待ちながら』を読む:世界に放り出された人間  第12回:ベケット『ゴドーを待ちながら』を読む 戦争の記憶  第13回:まとめ</p>			

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[ 成績評価方法 ] 音読テスト20% (発音、アクセント、イントネーション、強弱、間など)、最終レポート80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manabaやメール等でおこなう</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『ゴドーを待ちながら』 著者名: サミュエル・ベケット 出版社: 白水社 (ISBN-10: 4560071837)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『ベケット大全』 著者名: 高橋康也監修 出版社: 白水社 (ISBN-10: 4560046662) 『ガリヴァー旅行記』を読む 著者名: 富山太佳夫 出版社: 岩波書店 (ISBN-10: 4000042491) 二十世紀「英国」小説の展開 著者名: 高橋和久・丹治愛編著 出版社: 松柏社 (978-4-7754-0269-6) 『ガリヴァー旅行記』 著者名: スウィフト (高山宏訳) 出版社: 研究社 (4327180521) イェイツとジョイスの時代のダブリン 著者名: リチャード・ケイン 出版社: 小島遊書房 (978-4-909812-37-7)</p>			

S32210 [ LEH3-026 ]



科目名	英語史 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語の歴史を知り、現代英語を知る。	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各時代において英語に変化をもたらした社会・文化的要因について理解する。(外面史の理解)</li> <li>・現代英語が示す様々な文法的特異性を歴史的变化の観点から理解する。(内面史の理解)</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>英語という言葉が歴史上辿ってきた変化について、各時代背景を踏まえつつ、他言語との接触・文字と音声・語形・統語法の観点から講義する。英語を取り巻く状況の変化の歴史(外面史)と英語そのものに生じた変化(内面史)の2つの観点を行き来しながら話を進める。特に内面史においては、各時代に英語に生じた変化が現代英語のどのような特徴に繋がっているかという観点を重視しながら解説していく。</p> <p>資料は授業ごとに配布する。毎回の授業の終わりに、授業担当者が出す問題への解答や自身の質問・コメントを書いて提出することが求められる。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習: 次回授業までに参考書に挙げている寺澤(2008)の該当箇所を読んで予習をすると良い。</li> <li>・復習: 授業で配布した資料を読み返しておくこと。</li> <li>・「英語学入門 I」「英語学入門 II」をすでに履修していることが望ましい。</li> </ul> <p>※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに(英語の外面史と内面史、現代英語の謎)</li> <li>2. 英語のルーツ(1): 語族と印欧祖語</li> <li>3. 英語のルーツ(2): 印欧祖語からゲルマン祖語へ</li> <li>4. 古英語期から中英語期の時代背景</li> <li>5. 英語と外国語の接触(1): 古英語期</li> <li>6. 英語と外国語の接触(2): ノルマン征服以降</li> <li>7. ローマン・アルファベットの歴史</li> <li>8. 文字と音声(1): 古英語～中英語</li> <li>9. 文字と音声(2): 大母音推移</li> <li>10. 語形(1): 古英語の豊富な屈折</li> <li>11. 語形(2): 屈折の平板化、消失</li> <li>12. 格・語順・一致からみた英語の文法変化</li> <li>13. 講義の総まとめ</li> </ol>			

科目名	英語史 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語の歴史を知り、現代英語を知る。	講義	
担当者	吉本 真由美		

[ 成績評価方法 ]

授業内課題 (40%) + 試験 (60%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

授業内課題はその次の回の授業の冒頭にフィードバックをおこなう。  
試験は実施後にmanabaに講評を掲載し、希望に応じて答案を返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  
成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  
成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  
成績評価方法: 授業内課題、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法: 授業内課題、試験

[ 教科書 (ISBN) ]

なし

[ 参考書 (ISBN) ]

『英語の歴史—過去から未来への物語—』 著者名: 寺澤盾 出版社: 中公新書, 2008年. (9784120000000)

『英語の歴史』(テイクオフ英語学シリーズ①) 著者名: 松浪有(編) 出版社: 大修館書店, 1996年. (978-4469141351)

The Cambridge Encyclopedia of the English Language, 3rd Edition. 著者名: David Crystal 出版社: Cambridge University Press. (2018) (9781110000000)

科目名	英語史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	英語の変化・バリエーション	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各時代の英語の特徴を、実際のテキストを通して理解する。</li> <li>・英語の文法の成立過程について基礎的な事項を理解する。</li> <li>・時代や地域による英語のバリエーションを知る。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>以下の3つのテーマに沿って講義を進める。</p> <p>(1) 英語の特徴の変遷(古英語期から初期近代英語期まで):各時代の代表的なテキストを取り上げ、その言語的特徴を時代背景も含めながら解説する。</p> <p>(2) 統語法の歴史(否定辞not、助動詞do、法助動詞の発達):主に語順の固定化という要因を中心に、3つの文法現象の変化の過程について説明する。</p> <p>(3) 英語の変種について(アメリカ、オーストラリア):それぞれの国に英語がもたらされた歴史を踏まえながらそれぞれの英語の変種の特徴を概観する。</p> <p>※資料は授業ごとに配布する。毎回の授業の終わりに、授業担当者が出す問題への解答や自身の質問・コメントを書いて提出することが求められる。</p> <p>※「英語史Ⅰ」の履修は前提としないが、参考書の寺澤(2008)を読んでおくことを推奨する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習:次回授業までに参考書に挙げている宇賀治(2000)や寺澤(2008)の該当箇所を読んで予習をすると良い。</li> <li>・復習:授業で配布した資料を読み返しておくこと。</li> <li>・「英語史Ⅰ」や「英語学入門Ⅰ」「英語学入門Ⅱ」をすでに履修していることが望ましい。</li> </ul> <p>※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに(「英語史Ⅰ」のダイジェスト)</li> <li>2. 古英語の語形成(複合語、派生、品詞転換、屈折)</li> <li>3. 古英詩の特徴:『ベオウルフ』</li> <li>4. 中英語の特徴:『カンタベリー物語』</li> <li>5. 初期近代英語期(1):シェイクスピアの英語</li> <li>6. 初期近代英語期(2):欽定訳聖書の英語</li> <li>7. 統語法の変化(1):否定辞notの歴史</li> <li>8. 統語法の変化(2):助動詞do(前編)</li> <li>9. 統語法の変化(3):助動詞do(後編)</li> <li>10. 統語法の変化(4):法助動詞のサイクル</li> <li>11. 英語の変種(1):アメリカ英語 vs. イギリス英語</li> <li>12. 英語の変種(2):オーストラリア英語</li> <li>13. 講義の総まとめ</li> </ol>			

科目名	英語史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	英語の変化・バリエーション	講義	
担当者	吉本 真由美		

[ 成績評価方法 ]

授業内課題(40%) + 試験(60%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

※授業内課題はその次の回の授業の冒頭にフィードバックをおこなう。  
 ※試験は実施後にmanabaに講評を掲載し、希望に応じて答案を返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  
 成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  
 成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  
 成績評価方法: 授業内課題、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
 成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
 成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
 成績評価方法: 授業内課題、試験

[ 教科書(ISBN) ]

なし

[ 参考書(ISBN) ]

『英語史』(現代の英語学シリーズ⑧) 著者名: 宇賀治正朋 出版社: 開拓社, 2000年. (978-4758902182)  
 The Cambridge Encyclopedia of the English Language, 3rd Edition 著者名: David Crystal 出版社: Cambridge University Press.  
 (2018) (9780000000000)  
 『英語の歴史—過去から未来への物語』 著者名: 寺沢盾 出版社: 中公新書, 2008年. (978-4121019714)

科目名	英語文法論A	後期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	講義	
担当者	大井 良友		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高校までに学習してきた現代英語の基本文構造や文法・語法に関する理解を深める。</li> <li>2. 英文法・語法の知識を駆使して英文を正確に解釈できるようになる。</li> <li>3. 英文法・語法の知識を駆使して文脈に合った適切な英語表現ができるようになる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>本授業の主たる目的は、高校までに学習してきた英語の基本的な文構造や英文法・語法の重要な項目を見直し、その理解を深めることである。英文解釈・和文英訳の実践演習を通して、特に日本人英語学習者が苦手意識を抱く英文法・語法に対する誤解を解き、適切な英語運用の達成を目指す。講義では日本語との比較対照も取り入れて英語との違いや共通点を明らかにし、英語だけでなく日本語への理解も深められるようにする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>教科書の英文を読み、辞書を引いて単語・熟語の意味を確認しておく。 教科書の文法・語法に関する解説ページを熟読し、その内容を把握しておく。 板書や講義メモ、課題の答え合わせで気になった点を整理し、適宜調べたり質問したりする。 各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、Unit 1: 名詞の誤り</li> <li>2. Unit 2: 冠詞の誤り</li> <li>3. Unit 3: 動詞の誤り (1)</li> <li>4. Unit 4: 動詞の誤り (2)</li> <li>5. Unit 5: 時制の誤り</li> <li>6. Unit 6: &lt;動詞+名詞&gt;の誤り</li> <li>7. Unit 7: 準動詞の誤り</li> <li>8. Unit 8: 形容詞の誤り</li> <li>9. Unit 9: 副詞の誤り、Unit 10: 比較の誤り</li> <li>10. Unit 11: 関係詞の誤り</li> <li>11. Unit 12: 接続詞の誤り、Unit 13: 前置詞の誤り</li> <li>12. Unit 14: 主語の選択・語順・態・否定などの誤り</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	英語文法論A	後期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	講義	
担当者	大井 良友		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題 (30%)、理解度確認試験 (70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題等のフィードバックは manaba や授業内での解説を通して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 理解度確認試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 理解度確認試験</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Common Errors in English Writing -- New Edition 著者名: 木塚晴夫、Roger Northridge 出版社: 音羽書房鶴見書店 (978-4-7553-0052-3)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] ジーニアス総合英語(第2版) 著者名: 中邑光男、山岡憲史、柏野健次 編集主幹 出版社: 大修館書店 (978-4-469-34315-1) 英文法解説(改訂3版) 著者名: 江川泰一郎 出版社: 金子書房 (978-4-7608-2009-2)</p>			

S30070 [ LEH1-009 ]

科目名	英語文法論B	前期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	講義	
担当者	大井 良友		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高校までに学習してきた現代英語の基本文構造や文法・語法に関する理解を深める。</li> <li>2. 英文法・語法の知識を駆使して英文を正確に解釈できるようになる。</li> <li>3. 英文法・語法の知識を駆使して文脈に合った適切な英語表現ができるようになる。</li> </ol> <p>[授業概要]</p> <p>本授業の主たる目的は、高校までに学習してきた英語の基本的な文構造や英文法・語法の重要な項目を見直し、その理解を深めることである。英文解釈・和文英訳の実践演習を通して、特に日本人英語学習者が苦手意識を抱く英文法・語法に対する誤解を解き、適切な英語運用の達成を目指す。講義では日本語との比較対照も取り入れて英語との違いや共通点を明らかにし、英語だけでなく日本語への理解も深められるようにする。□</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書の英文を読み、辞書を引いて単語・熟語の意味を確認しておく。 教科書の文法・語法に関する解説ページを熟読し、その内容を把握しておく。 板書や講義メモ、課題の答え合わせで気になった点を整理し、適宜調べたり質問したりする。 各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、Unit 1: 名詞の誤り</li> <li>2. Unit 2: 冠詞の誤り</li> <li>3. Unit 3: 動詞の誤り(1)</li> <li>4. Unit 4: 動詞の誤り(2)</li> <li>5. Unit 5: 時制の誤り</li> <li>6. Unit 6: &lt;動詞+名詞&gt;の誤り</li> <li>7. Unit 7: 準動詞の誤り</li> <li>8. Unit 8: 形容詞の誤り</li> <li>9. Unit 9: 副詞の誤り、Unit 10: 比較の誤り</li> <li>10. Unit 11: 関係詞の誤り</li> <li>11. Unit 12: 接続詞の誤り、Unit 13: 前置詞の誤り</li> <li>12. Unit 14: 主語の選択・語順・態・否定などの誤り</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	英語文法論B	前期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	講義	
担当者	大井 良友		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題 (30%)、理解度確認試験 (70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題等のフィードバックは manaba や授業内での解説を通して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 理解度確認試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 理解度確認試験</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Common Errors in English Writing -- New Edition 著者名: 木塚晴夫、Roger Northridge 出版社: 音羽書房鶴見書店 (978-4-7553-0052-3)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] ジーニアス総合英語(第2版) 著者名: 中邑光男、山岡憲史、柏野健次 編集主幹 出版社: 大修館書店 (978-4-469-34315-1) 英文法解説(改訂3版) 著者名: 江川泰一郎 出版社: 金子書房 (978-4-7608-2009-2)</p>			



科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義を受講することにより、単にイギリスの文学の歴史の流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 【メディア授業】 文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようしながら講義を進めたい。</p> <p>ゲルマン語を祖語とするアングロ・サクソンの時代から、北欧のノルド語との融合で誕生した古英語、フランスのノルマン人の侵入と支配から生まれた中英語、ルネサンス、宗教改革、シェイクスピアを経て、18世紀近代小説の誕生までのダイナミックな英語という言葉のうねりを知る。そして、それぞれの時代の文学作品の背景と表現方法を知る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で次の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1 『ベオウルフ』—古英語時代(5世紀-12世紀) 2 チョーサー『カンタベリー物語』—中英語時代(12世紀-15世紀) 3 ルネッサンスが花開く—ヘンリー8世と英国国教会 4 シェイクスピア—近代英語時代(16世紀-17世紀) 5 悲劇『マクベス』を読む 6 喜劇『夏の夜の夢』を読む 7 映画『マクベス』 8 “King James Bible”『欽定訳聖書』1611 9 ミルトン『失楽園』—清教徒革命と王政復古の時代(17世紀) 10 ボープとサミュエル・ジョンソンの18世紀 11 バンヤン『天路歷程』 12 デフォー『ロビンソン・クルーソー』—近代小説の誕生18世紀 13 スウィフト『ガリヴァー旅行記』—風刺小説・科学小説・政治小説</p>			

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[ 成績評価方法 ]  テスト(60%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  読んで楽しむイギリス文学史入門 著者名:白井義昭 出版社:春風社 (978-4-86110-372-8)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし</p>			

S32040 [ LEH2-017 ]

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義を受講することにより、単にイギリスの文学の歴史の流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 【メディア授業】 文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようにしながら講義を進めたい。</p> <p>ゲルマン語を祖語とするアングロ・サクソンの時代から、北欧のノルド語との融合で誕生した古英語、フランスのノルマン人の侵入と支配から生まれた中英語、ルネサンス、宗教改革、シェイクスピアを経て、18世紀近代小説の誕生までのダイナミックな英語という言葉のうねりを知る。そして、それぞれの時代の文学作品の背景と表現方法を知る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で次の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1 『ベオウルフ』—古英語時代(5世紀-12世紀) 2 チョーサー『カンタベリー物語』—中英語時代(12世紀-15世紀) 3 ルネッサンスが花開く—ヘンリー8世と英国国教会 4 シェイクスピア—近代英語時代(16世紀-17世紀) 5 悲劇『マクベス』を読む 6 喜劇『夏の夜の夢』を読む 7 映画『マクベス』 8 “King James Bible”『欽定訳聖書』1611 9 ミルトン『失楽園』—清教徒革命と王政復古の時代(17世紀) 10 ボープとサミュエル・ジョンソンの18世紀 11 バンヤン『天路歷程』 12 デフォー『ロビンソン・クルーソー』—近代小説の誕生18世紀 13 スウィフト『ガリヴァー旅行記』—風刺小説・科学小説・政治小説</p>			

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[ 成績評価方法 ]  テスト(60%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  読んで楽しむイギリス文学史入門 著者名:白井義昭 出版社:春風社 (978-4-86110-372-8)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし</p>			

S32040F [ LEH2-017 ]

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義を受講することにより、単にイギリスの文学の歴史の流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標にする。</p> <p>[授業概要] 【メディア授業】 文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようしながら講義を進めたい。 18世紀から現代までのイギリス文学史を概観する。市民社会の成立とともに小説が中心ジャンルとなる。DVDなどの視覚教材を用い、適宜ディスカッションをおこなう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で次回の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1. リチャードソン『書簡体小説』—近代小説の発展(18世紀) 2. ワーズワース—ロマン主義の時代 前期(18世紀-19世紀) 3. キーツ—ロマン主義の時代 後期(19世紀) 4. メアリ・シェリー『フランケンシュタイン』(1818) 5. オースティンとプロンテ姉妹—ヴィクトリア朝時代・小説I(19世紀-20世紀) 6. チャールズ・ディケンズ—ヴィクトリア朝の小説(19世紀) 7. トマス・ハーディ—ヴィクトリア朝時代・小説II(19世紀-20世紀) 7. オスカー・ワイルド—ヴィクトリア朝の童話・小説・演劇(19世紀) 8. ワイルド『まじめ(アーネスト)が肝心』映画鑑賞 9. ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』(19世紀) 10. イェイツとT. S. エリオット—二十世紀の詩と 11. ヴァージニア・ウルフとジェイムズ・ジョイス—「意識の流れ」 12. ベケット—二十世紀の演劇 13. カズオ・イシグロ『日の名残り』—映画鑑賞</p>			

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[ 成績評価方法 ]  テスト(60%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  読んで楽しむイギリス文学史入門 著者名:白井義昭 出版社:春秋社 (978-4-86110-372-8)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし</p>			

S32050 [ LEH2-018 ]

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義を受講することにより、単にイギリスの文学の歴史の流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標にする。</p> <p>[授業概要] 【メディア授業】 文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようしながら講義を進めたい。 18世紀から現代までのイギリス文学史を概観する。市民社会の成立とともに小説が中心ジャンルとなる。DVDなどの視覚教材を用い、適宜ディスカッションをおこなう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で次回の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1. リチャードソン『書簡体小説』—近代小説の発展(18世紀) 2. ワーズワース—ロマン主義の時代 前期(18世紀-19世紀) 3. キーツ—ロマン主義の時代 後期(19世紀) 4. メアリ・シェリー『フランケンシュタイン』(1818) 5. オースティンとプロンテ姉妹—ヴィクトリア朝時代・小説I(19世紀-20世紀) 6. チャールズ・ディケンズ—ヴィクトリア朝の小説(19世紀) 7. トマス・ハーディ—ヴィクトリア朝時代・小説II(19世紀-20世紀) 7. オスカー・ワイルド—ヴィクトリア朝の童話・小説・演劇(19世紀) 8. ワイルド『まじめ(アーネスト)が肝心』映画鑑賞 9. ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』(19世紀) 10. イェイツとT. S. エリオット—二十世紀の詩と 11. ヴァージニア・ウルフとジェイムズ・ジョイス—「意識の流れ」 12. ペケット—二十世紀の演劇 13. カズオ・イシグロ『日の名残り』—映画鑑賞</p>			

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[ 成績評価方法 ]  テスト(60%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  読んで愉しむイギリス文学史入門 著者名:白井義昭 出版社:春秋社 (978-4-86110-372-8)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし</p>			

S32050F [ LEH2-018 ]



科目名	英文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	唯美主義概観	講義	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 19世紀後半の英文学の大きな潮流となった「唯美主義」について基礎的な知識を身につけるとともに、代表的な作品を読み、その根幹をなす見方や文学的表現の特徴、さらに文化的背景を理解することを目標とする。</p> <p>[授業概要] 19世紀中後期のイギリスでは、フランス文学(ゴッティエ、ボードレール)やアメリカ文学(ポー)の影響もあり、「芸術のための芸術」を標榜する「唯美主義」が絵画や文学の分野で盛んになる。とりわけそれは芸術批評の場で目覚ましい作品群を生み出したが、その主張は保守派から「刹那的快楽主義」として烈しい非難をまねくことにもなった。「唯美主義」の代表的な批評作品を取上げ、その根幹にある発想や表現の特徴、文化闘争の一端について、現代的観点をふまえて考察する。(適宜、翻訳を利用する。)</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 予習としては、作品の指定された箇所を目を通し、疑問点や不明点を整理しておく。復習としては、授業内容をふまえてテキストを再読する。予習・復習で2~2.5時間程度。 なお、各回の講義で気づいたことや疑問点をリアクションペーパーに記し、提出してもらう。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション 「唯美主義」概観(1) 2. 「唯美主義」概観(2) 3. ゴッティエ『モーバン嬢』序論 4. スウィンバーンの批評作品 5. ペイター『ルネサンス』序論 6. ペイター『ルネサンス』から「ジョルジョーネ派」(1) 7. ペイター『ルネサンス』から「ジョルジョーネ派」(2) 8. ペイター『ルネサンス』から「結語」 9. 保守派からの非難 10. ワイルド「芸術家としての批評家」(1) 11. ワイルド「芸術家としての批評家」(2) 12. ワイルド「芸術家としての批評家」(3) 13. まとめ</p>			

科目名	英文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	唯美主義概観	講義	
担当者	野末 紀之		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業参加度(3分の2以上必須)およびリアクションペーパー40%、中間小レポートおよび期末レポート60%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manabaで採点、返却</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし (manabaにアップする)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	英文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	唯美主義概観	講義	
担当者	野末 紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

19世紀後半の英文学の大きな潮流となった「唯美主義」について基礎的な知識を身につけるとともに、代表的な作品を読み、その根幹をなす見方や文学的表現の特徴、さらに文化的背景を理解することを目標とする。

[授業概要]

19世紀中後期のイギリスでは、フランス文学(ゴッティエ、ボードレール)やアメリカ文学(ポー)の影響もあり、「芸術のための芸術」を標榜する「唯美主義」が絵画や文学の分野で盛んになる。とりわけそれは芸術批評の場で目覚ましい作品群を生み出したが、その主張は保守派から「刹那的快楽主義」として烈しい非難をまねくことにもなった。「唯美主義」の代表的な批評作品を取上げ、その根幹にある発想や表現の特徴、文化闘争の一端について、現代的観点をふまえて考察する。(適宜、翻訳を利用する。)

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

予習としては、作品の指定された箇所を目を通し、疑問点や不明点を整理しておく。復習としては、授業内容をふまえてテキストを再読する。予習・復習で2~2.5時間程度。

なお、各回の講義で気づいたことや疑問点をリアクションペーパーに記し、提出してもらう。

[授業計画]

1. イントロダクション 「唯美主義」概観(1)
2. 「唯美主義」概観(2)
3. ゴッティエ『モーバン嬢』序論
4. スウィンバーンの批評作品
5. ベイター『ルネサンス』序論
6. ベイター『ルネサンス』から「ジョルジョーネ派」(1)
7. ベイター『ルネサンス』から「ジョルジョーネ派」(2)
8. ベイター『ルネサンス』から「結語」
9. 保守派からの非難
10. ワイルド「芸術家としての批評家」(1)
11. ワイルド「芸術家としての批評家」(2)
12. ワイルド「芸術家としての批評家」(3)
13. まとめ

科目名	英文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	唯美主義概観	講義	
担当者	野末 紀之		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業参加度(3分の2以上必須)およびリアクションペーパー40%、中間小レポートおよび期末レポート60%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manabaで採点、返却</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし (manabaにアップする)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

S32000F [ LEH1-019 ]

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	19世紀末～20世紀初頭における男性同性愛文学瞥見	講義	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 19世紀末～20世紀初頭の英文学において男性同性愛を直接間接に扱った短篇をいくつか取上げ、いまだあからさまな表現が憚られた時代の作家によるさまざまな試みについて理解を深めることが目標である。</p> <p>[授業概要] O・ワイルド、E・M・フォースター、D・H・ロレンスなどの短篇作品を精読しながら、男性同性愛をめぐって屈折し、矛盾を孕み、ときとしてあからさまな表現を、社会的・法的・文化的背景をふまえながら考察する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 取上げる作品はすべて複数の翻訳があるので、目を通してほしい。 予習としては、翻訳を参照しながら指定された英文の箇所を読み、疑問点や不明点を整理しておくこと。 復習としては、授業で読んだ英文を再読し、気づいた点をメモしておくこと 予習・復習で2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション 2. イギリスにおける男性同性愛をめぐる背景 3. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む(1) 4. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む(2) 5. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む——先行研究 6. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む(1) 7. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む(2) 8. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む——先行研究 9. E・M・フォースター「バニックの話」を読む 10. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む(1) 11. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む(2) 12. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む——先行研究 13. まとめと展望、期末レポート作成のためのアドバイス</p>			

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	19世紀末～20世紀初頭における男性同性愛文学瞥見	講義	
担当者	野末 紀之		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業参加度およびリアクションペーパー30%、中間(小)・期末レポート70%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 中間(小)・期末レポートともにmanabaで採点、返却</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし (manabaなどに資料を掲載)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 『クィア短編小説集』 著者名:大橋洋一(監訳) 出版社:平凡社 (978-4-582-76844-2) 『ゲイ短編小説集』 著者名:大橋洋一(監訳) 出版社:平凡社 (978-4-582-76315-7)</p>			

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	19世紀末～20世紀初頭における男性同性愛文学瞥見	講義	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 19世紀末～20世紀初頭の英文学において男性同性愛を直接間接に扱った短篇をいくつか取上げ、いまだあからさまな表現が憚られた時代の作家によるさまざまな試みについて理解を深めることが目標である。</p> <p>[授業概要] O・ワイルド、E・M・フォースター、D・H・ロレンスなどの短篇作品を精読しながら、男性同性愛をめぐって屈折し、矛盾を孕み、ときとしてあからさまな表現を、社会的・法的・文化的背景をふまえながら考察する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 取上げる作品はすべて複数の翻訳があるので、目を通してほしい。 予習としては、翻訳を参照しながら指定された英文の箇所を読み、疑問点や不明点を整理しておくこと。 復習としては、授業で読んだ英文を再読し、気づいた点をメモしておくこと 予習・復習で2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション 2. イギリスにおける男性同性愛をめぐる背景 3. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む(1) 4. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む(2) 5. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む——先行研究 6. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む(1) 7. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む(2) 8. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む——先行研究 9. E・M・フォースター「バニックの話」を読む 10. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む(1) 11. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む(2) 12. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む——先行研究 13. まとめと展望、期末レポート作成のためのアドバイス</p>			

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	19世紀末～20世紀初頭における男性同性愛文学瞥見	講義	
担当者	野末 紀之		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業参加度およびリアクションペーパー30%、中間(小)・期末レポート70%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 中間(小)・期末レポートともにmanabaで採点、返却</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし (manabaなどに資料を掲載)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 『クィア短編小説集』 著者名:大橋洋一(監訳) 出版社:平凡社 (978-4-582-76844-2) 『ゲイ短編小説集』 著者名:大橋洋一(監訳) 出版社:平凡社 (978-4-582-76315-7)</p>			

S32010F [ LEH1-020 ]



科目名	英米文学作品研究 I	前期	2 単位
サブタイトル	Hemingway の短編を読む	演習	
担当者	山口 知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

米文学の著名な作品を読むことで、他の英文読解とは異なる「文学作品を読むこと」の面白さと難しさを知ると同時に、1ランク上の読解力習得を目指します。

[授業概要]

本授業では、米文学を代表する作家 Ernest Hemingway の自伝的短編集 を読んでいきます。主人公 Nick Adams は、著者自身の分身と言われています。Hemingway という作家自身をより深く知る機会ともしてほしいと思います。

Hemingway 作品は、「ハードボイルド」と呼ばれる短くそぎ落としたような文体で知られます。一見簡単そうですが、同時に「冰山理論」と呼ばれるように、表面に現れている部分は簡潔でもその背後に深い意味が隠されています。この2つの特徴を兼ね備える Hemingway 作品の面白さを、存分に味わってほしいと思います。

授業中はアットランダムに指名し、音読、和訳、解釈をしてもらいます。自分なりに、ということでよいので、各自十分に準備をして授業に臨んでください。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

「授業計画」に従い該当する部分を綿密に読み、自分なりに日本語にしておきます。その際「文学作品として成立するような文章」を心掛けること。わからない部分は必ず出てくるとは思いますが「ここは〇〇がわからない」という点を明確にしたうえで授業に臨むことが肝要。予習・復習あわせて2時間をめやすとしてください。

[授業計画]

1. 授業の概要説明、ヘミングウェイ概説、“Three Shots” p.1 - p. 3
2. “Three Shots” p.3 - p.5
3. “Indian Camp” p.6 - 8
4. “Indian Camp” p.8 - 10
5. “Indian Camp” p.10 - 13
6. “The Killers” p.64 - p. 66
7. “The Killers” p.66 - p. 68
8. “The Killers” p.69 - p.71
9. “The Killers” p.71 - p.73
10. “The Killers” p.74 - p.76
11. “The Killers” p.76 - p.78
12. “The Killers” p.78 - p.81
13. まとめ

科目名	英米文学作品研究 I	前期	2 単位
サブタイトル	Hemingway の短編を読む	演習	
担当者	山口 知子		

[ 成績評価方法 ]

学期末試験 (70%)、授業中のパフォーマンス (30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

授業中のコメントおよびメール等を通じてフィードバックを行います。課題内容によっては、manaba の掲示板も使用します。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。

学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。

成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。

[ 教科書 (ISBN) ]

Indian Camp: from The Nick Adams Stories 著者名: Ernest Hemingway 出版社: 朝日出版社 (978-4-255-15203-5)

[ 参考書 (ISBN) ]

なし

科目名	英米文学作品研究Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	ピューリッツア賞受賞作家の短編を読む	演習	
担当者	山口 知子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 米文学の著名な作品を読むことで、他の英文読解とは異なる「文学作品を読むこと」の面白さと難しさを知ると同時に、1ランク上の読解力習得を目指します。</p> <p>[授業概要] 本授業では、米国でもっとも権威ある文学賞であるピューリッツア賞を受賞した作家らの短編作品を読んでいきます。</p> <p>具体的には、John Steinbeck の “Breakfast,” William Saroyan の “The First Day of School,” Pearl Buck の “The Kiss” の3作品を精読します(時間が許せば、テキスト掲載の E. Hemingway やB. Malamud の作品にも触れます)。それぞれの作家の背景や作風をより深く知る機会ともしてほしいと思います。</p> <p>授業中はアットランダムに指名し、音読・和訳・作品解釈をしてもらいます。自分なりに、ということでよいので、各自十分に準備をして授業に臨んでください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「授業計画」にしたがって該当する部分を綿密に読み、日本語にしておきます。その際「文学作品として通用するような文章」を心掛けること。わからない部分は必ず出てくるとは思いますが「ここは〇〇がわからない」という点を明確にしたうえで授業に臨むことが肝要です。予習・復習あわせて2時間をめやすとしてください。</p> <p>[授業計画] 1. 授業概要とピューリッツア賞の説明、ジョン・スタインバック概説、“Breakfast,” pp. 4 - 5 2. “Breakfast,” pp. 6 - 8、 3. ウィリアム・サロイアン概説、“The First Day of School,” pp. 12 - 14 4. “The First Day of School,” pp. 15 - 17 5. “The First Day of School,” pp. 17 - 19、 6. パール・バック概説、“The Kiss,” pp. 72 - 73 7. “The Kiss,” pp. 74 - 76 8. “The Kiss,” pp. 77 - 79 9. “The Kiss,” pp. 80 - 82 10. “The Kiss,” pp. 83 - 85 11. “The Kiss,” pp.86 - 87 12. “The Kiss,” pp. 88 13. まとめ</p>			

科目名	英米文学作品研究Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	ピューリッツア賞受賞作家の短編を読む	演習	
担当者	山口 知子		
<p>[ 成績評価方法 ]  学期末試験 (70%)、授業中のパフォーマンス (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中のコメントおよびメール等を通じてフィードバックを行います。  課題の種類によっては、manaba の掲示板も使用します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p>			

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions, and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>In this class, students will practice in pairs and small groups, speaking on a variety of topics. An emphasis will be put on vocabulary building, grammar and fluency.</p> <p>With this base, students will then be expected to make short presentations based on a variety of topics taken from the textbook. Self-study and presentation preparation will be assigned as homework.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <p>Week 1: Introduction  Week 2: Unit 1, The Way We Are  Week 3: Unit 2, Experiences  Week 4: 'Mini' presentations  Week 5: Unit 3, Wonders of the World  Week 6: Unit 4, Family Life  Week 7: Class presentations I/ Evaluation  Week 8: Class presentations II/ Evaluation  Week 9: Unit 5, Food Choices  Week 10: Unit 6, Managing Life  Week 11: 'Mini' presentations  Week 12: Class presentations I/ Evaluation  Week 13: (Summing up) Class presentations II/ Evaluation</p>			

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		

[ 成績評価方法 ]

Participation (20%) , Short presentations (20%) , Midterm (30%) , Final exam (30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

For in-class presentations, students will be given written feedback. On-line presentations will have both oral and written feedback.

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

[ 教科書(ISBN) ]

Touchstone (2nd edition) Student's Book 3 著者名: Michael McCarthy

Jeanne McCarten

Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781107665835)

Touchstone (2nd edition) Workbook 3 著者名: Michael McCarthy

Jeanne McCarten

Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781107642713)

[ 参考書(ISBN) ]

English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions, and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.</p> <p>[ 授業概要 ]  This course focuses on building oral presentation skills through development of vocabulary, discussion, public speaking, grammar, and oral fluency. Students will learn about how to create a short presentation, and how to deliver it effectively. Students are expected to come to class prepared and ready to actively participate in every class sess</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.  各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  1. Introduction  2. Unit 1 The way we are  3. Unit 1 The way we are  4. Unit 2 Experiences (presentation (#1)  5. Unit 2 Experiences  6. Unit 3 Wonders of the world  7. Unit 3 Wonders of the world  8. midterm quiz  9. Unit 4 Family life (presentation #2)  10. Unit 4 Family life  11. Unit 5 Food choices  12. Unit 5 Food choices  13. Final test</p>			

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[ 成績評価方法 ]

Participation (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final exam(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

Students will be given written feedback after each exam and each presentation. I will also give verbal suggestions and feedback.

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

[ 教科書(ISBN) ]

Touchstone (2nd edition) Student's Book 3 著者名: By Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781110000000)

Touchstone (2nd edition) Workbook 3 著者名: By Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781110000000)

[ 参考書(ISBN) ]

English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)



科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation I	演習	
担当者	J. ギルバート		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[ 到達目標 ]

The aim of this class is to study speaking strategies in order to develop vocabulary, expressions and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook..

[ 授業概要 ]

In this class, students will be exposed to a variety of topics, with an emphasis on vocabulary building and grammar. Students will be expected to make short presentations based on topics taken from the textbook. Self-study, and presentation preparation will be assigned as homework.

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely matter.

各回、予習復習合わせて2時間程度

[ 授業計画 ]

1. Introduction
2. Unit 1 The way we are
3. Unit 1 The way we are
4. Unit 2 Experiences
5. Unit 2 Experiences
6. Unit 3 Wonders of the world; practice presentations
7. Unit 3 Wonders of the world
8. Midterm exam and presentations
9. Unit 4 Family life
10. Unit 4 Family life
11. Unit 5 Food choices
12. Unit 5 Food choices/ final presentations
13. Unit 6 Managing life; evaluation

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation I	演習	
担当者	J. ギルバート		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive rubrics to guide them as well as comments on how they can improve their presentation skills. Students will also be given points on their weekly homework assignments.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Touchstone (2nd edition) Student's Book 3 著者名: Michael McCarthy, Jeanne McCarten, and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781110000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] Touchstone (2nd edition) Workbook 3 著者名: Michael McCarthy, Jeanne McCarten, and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781110000000)</p>			

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 聞き手にとってわかりやすく、興味をもたれる発表をするための工夫を学ぶ。また発表するために必要となる語彙力・読解力・リスニング力・構成力および異文化理解の力を身につける。最終的に学んだことを実践し、発表を行う。</p> <p>[授業概要] 【メディア授業】 英語による発表をいかに効果的に行うかをさまざまな角度から学ぶ。まずパラグラフの組み立てやトピックの選び方などについて考え、わかりやすい構成の文章を作成する。その上で日本語の発表との違いなども意識し、ジェスチャーや抑揚、表情等に注意して、作成した原稿をもとにプレゼンテーションの練習を行う。リーディングやリスニングも含めた総合的なアクティビティを通して、最終的によりレベルの高い魅力あるプレゼンテーションを行うことを目標とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習2時間程度。 決められた課題を各しめ切り日までに準備してくること、小テストなどに備えて学習すること。最終発表にむけて決められた日時までに課題提出と発表の練習を行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. 効果的なプレゼンテーションとは 3. 聴衆を意識する 4. 構成について 5. 構成について 6. 構成について 7. 原稿を完成させる 8. アイ・コンタクト、ジェスチャー、抑揚 9. 原稿の修正 10. スピーチ練習 11. スピーチ練習 12. プレゼンテーション 13. プレゼンテーション</p>			

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	J. ファハード		
<p>[ 成績評価方法 ] Student attitude (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] プレゼンテーション及びレポートについては下書き段階でフィードバックを返します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>In this class, students will practice in pairs and small groups, speaking on a variety of topics. An emphasis will be put on vocabulary building, grammar and fluency.</p> <p>With this base, students will then be expected to make short presentations based on a variety of topics taken from the textbook. Self-study and presentation preparation will be assigned as homework.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <p>2nd semester</p> <p>Week 1: Introduction</p> <p>Week 2: Unit 7, Relationships</p> <p>Week 3: Unit 8, What If?</p> <p>Week 4: 'Mini' presentations</p> <p>Week 5: Unit 9, Tech Savvy</p> <p>Week 6: Unit 10 What's up?</p> <p>Week 7: Class presentations I/ Evaluation</p> <p>Week 8: Class presentations II/ Evaluation</p> <p>Week 9: Unit 10, What's Up?</p> <p>Week 10: Unit 11, Impressions</p> <p>Week 11: Unit 12, In the news</p> <p>Week 12: Class presentations I/ Evaluation</p> <p>Week 13: (Summing up) Class presentations II/ Evaluation</p>			

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation (20%) , Short presentations (20%) , Midterm (30%) , Final (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] For in-class presentations, students will be given written feedback. On-line presentations will have both oral and written feedback.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] "Touchstone, Second Edition, Student's Book 3" 著者名: Michael McCarthy Jeanne McCarten Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781107665835) "Touchstone, Second Edition, Student's Book 3 Workbook" (Print) 著者名: Michael McCarthy Jeanne McCarten Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781107642713)</p>			

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>In this class, students will practice in pairs and groups, speaking on a variety of topics. An emphasis will be put on vocabulary building, grammar and fluency.</p> <p>With this base, students will then be expected to make short presentations based on a variety of topics taken from the textbook. Self-study and presentation preparation will be assigned as homework.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction</li> <li>2. Unit 6 : Managing Life</li> <li>3. Unit 6: Managing Life Continued</li> <li>4. Unit 7: relationship (presentation #3)</li> <li>5. Unit 7: relationships continued</li> <li>6. Unit 8: Life situations</li> <li>7. Unit 8: continued</li> <li>8. Midterm quiz</li> <li>9. Unit 9: Tech savvy</li> <li>10. Unit 9: Tech savvy continued, ( presentation #4)</li> <li>11. Unit 10 News and entertainment</li> <li>12. Unit 10 Continued</li> <li>13. Final Quiz</li> </ol>			

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final exam(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will be given written feedback after each exam and each presentation. I will also give verbal suggestions and feedback.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Touchstone Second Edition Student's Book 3 著者名:By Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford 出版社:Cambridge University Press (ISBN 978-1107665835) Touchstone Second Edition Student's Book 3 Workbook 著者名:By Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford 出版社:Cambridge University Press (ISBN 9781107642713)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)</p>			

S30092 [ LEH2-002 ]



科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation II	演習	
担当者	J. ギルバート		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]  The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions, and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.</p> <p>[ 授業概要 ]  In this class, students will practice in pairs and groups, speaking on a variety of topics, with an emphasis on vocabulary building, grammar and fluency. With this base, students will then be expected to make short presentations based on a variety of topics taken from the textbook. Self-study, listening and presentation preparation will be assigned as homework.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.  各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  1. Introduction  2. Unit 7 Relationships; practice presentations  3. Unit 7 Relationships  4. Unit 8 What if?  5. Unit 8 What if?  6. Unit 9 Tech savvy  7. Unit 9 Tech savvy; debate  8. Evaluation; presentations  9. Unit 10 What's up?  10. Unit 10 What's up?  11. Unit 11 Impressions  12. Unit 12 In the news; presentations  13. Unit 12 In the news; evaluaton</p>			

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation II	演習	
担当者	J. ギルバート		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive rubrics to guide them as well as comments on how they can improve their presentation skills. Students will also be given points on their weekly homework assignments.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Touchstone Second Edition Student's Book 3 著者名: Michael McCarthy, Jeanne McCarten, and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (978-1107665835)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] Touchstone Second Edition Student's Book 3 Workbook (Print) 著者名: Michael McCarthy, Jeanne McCarten, and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (978-1107642713)</p>			

S30093 [ LEH2-002 ]

科目名	Oral Presentation IV		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	S. ロウ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[ 到達目標 ]  様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]  プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方の学習を通して、説得力のあるプレゼンテーションを行う能力を養う。前期開講のOral Presentation IIIで学習した全ての技能を活用し、受講者自身で話題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。最終回では全クラス合同でプレゼンテーションコンテストを行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.  各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  第1回:メッセージの伝え方(身体表現・視覚情報を生かした伝え方)  第2回:スピーチの導入表現  第3回:テーマに関する様々な比較  第4回:説得力のあるスピーチの導入  第5回:スピーチで用いるデータ、根拠  第6回:スピーチの展開  第7回:プレゼンテーションの準備  第8回:説得力のあるスピーチの結論  第9回:スピーチの締めくり方  第10回:最終プレゼンテーションの作成  第11回:最終プレゼンテーションの発表  第12回:自由テーマでのプレゼンテーション  第13回:まとめ  期末試験</p>				

科目名	Oral Presentation IV	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  Students will be given written feedback after each presentation they do, and after each exam.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法: presentations, speeches</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法: presentations, speeches</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法: tests / reviews</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, impromptu speeches</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, peer feedback</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, peer feedback</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Speaking of Speech Premium Edition 著者名: Charles LeBeau 出版社: National Geographic Learning  &lt;elt@cengagejapan.com&gt;. . (978-4-86312-385-4 )</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし 著者名: None 出版社: None</p>			

科目名	Oral Presentation IV		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	J. ファハード			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[ 到達目標 ]  様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]  プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方の学習を通して、説得力のあるプレゼンテーションを行う能力を養う。前期開講のOral Presentation IIIで学習した全ての技能を活用し、受講者自身で話題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。最終回では全クラス合同でプレゼンテーションコンテストを行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  第1回:メッセージの伝え方(身体表現・視覚情報を生かした伝え方)  第2回:スピーチの導入表現  第3回:テーマに関する様々な比較  第4回:説得力のあるスピーチの導入  第5回:スピーチで用いるデータ、根拠  第6回:スピーチの展開  第7回:プレゼンテーションの準備  第8回:説得力のあるスピーチの結論  第9回:スピーチの締めくり方  第10回:最終プレゼンテーションの作成  第11回:最終プレゼンテーションの発表  第12回:自由テーマでのプレゼンテーション  第13回:まとめ  期末試験</p>				

科目名	Oral Presentation IV	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[ 成績評価方法 ]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

Students will receive written feedback after each presentation as well as peer feedback from other students.

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: tests / reviews

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations

[ 教科書 (ISBN) ]

Speaking of Speech Premium Edition 著者名: Charles LeBeau 出版社: National Geographic Learning Cengage Learning, ELT Japan (978-4-7773-6271-4)

[ 参考書 (ISBN) ]

English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)

科目名	Oral Presentation IV	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation IV	演習	
担当者	J. ギルバート		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]  様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]  プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方の学習を通して、説得力のあるプレゼンテーションを行う能力を養う。前期開講のOral Presentation IIIで学習した全ての技能を活用し、受講者自身で話題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Prepare all presentations in a timely manner.  各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  第1回:メッセージの伝え方(身体表現・視覚情報を生かした伝え方)  第2回:スピーチの導入表現  第3回:テーマに関する様々な比較  第4回:説得力のあるスピーチの導入  第5回:スピーチで用いるデータ、根拠  第6回:スピーチの展開  第7回:プレゼンテーションの準備  第8回:説得力のあるスピーチの結論  第9回:スピーチの締めくり方  第10回:最終プレゼンテーションの作成  第11回:最終プレゼンテーションの発表  第12回:自由テーマでのプレゼンテーション  第13回:まとめ  期末試験</p>			

科目名	Oral Presentation IV	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation IV	演習	
担当者	J. ギルバート		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive feedback based on completed rubrics. Students will be provided with the rubrics before they make their presentations.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法: presentations, speeches</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法: presentations, speeches</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法: tests / reviews</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, impromptu speeches</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, peer feedback</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, peer feedback</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  Speaking of Speech, Premium Edition 著者名: Charles LeBeau  出版社: National Geographic Learning (978-4-86312-385-4)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  None (None)</p>			



科目名	Oral Presentation Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。

[ 授業概要 ]

プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方を学習する。伝えたい情報を正確に述べる方法やプレゼンテーションソフトウェアの活用についても学習し、プレゼンテーションを実践する。後期開講のOral Presentation IVでのプレゼンテーションコンテストに向けた準備も行う。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて2時間程度

[ 授業計画 ]

第1回: 身体を使った伝達方法の導入

第2回: 姿勢とアイコンタクト

第3回: 情報の伝え方

第4回: ジェスチャー

第5回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの準備

第6回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの発表

第7回: 声の抑揚

第8回: 実演的なスピーチ

第9回: 学習した表現の復習、中間試験

第10回: 視覚情報の活用

第11回: 視覚情報に基づく世界の国々の比較

第12回: 世界の国々の比較についてのプレゼンテーション

第13回: まとめ

期末試験

科目名	Oral Presentation Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[ 成績評価方法 ]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

Students will be given written feedback after each presentation they do, and after each exam.

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: tests / reviews

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations

[ 教科書 (ISBN) ]

Speaking of Speech Premium Edition Student Book 著者名: Charles LeBeau 出版社: Cengage (9780000000000)

[ 参考書 (ISBN) ]

なし 著者名: None 出版社: None

科目名	Oral Presentation Ⅲ		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	J. ファハード			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[ 到達目標 ]  様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]  プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方を学習する。伝えたい情報を正確に述べる方法やプレゼンテーションソフトウェアの活用についても学習し、プレゼンテーションを実践する。後期開講のOral Presentation IVでのプレゼンテーションコンテストに向けた準備も行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて 2 時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  第1回: 身体を使った伝達方法の導入  第2回: 姿勢とアイコンタクト  第3回: 情報の伝え方  第4回: ジェスチャー  第5回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの準備  第6回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの発表  第7回: 声の抑揚  第8回: 実演的なスピーチ  第9回: 学習した表現の復習、中間試験  第10回: 視覚情報の活用  第11回: 視覚情報に基づく世界の国々の比較  第12回: 世界の国々の比較についてのプレゼンテーション  第13回: まとめ  期末試験</p>				

科目名	Oral Presentation Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[ 成績評価方法 ]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

Students will receive written feedback after each presentation as well as peer feedback from other students.

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: tests / reviews

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations

[ 教科書(ISBN) ]

Speaking of Speech Premium Edition Student Book 著者名: Charles LeBeau 出版社: Cengage (978-4863123854)

[ 参考書(ISBN) ]

English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)

科目名	Oral Presentation III	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation III	演習	
担当者	J. ギルバート		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	Discussions, debates, presentations, group work, leadership skills	実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]  様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]  プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方を学習する。伝えたい情報を正確に述べる方法やプレゼンテーションソフトウェアの活用についても学習し、プレゼンテーションを実践する。後期開講のOral Presentation IVでのプレゼンテーションコンテストに向けた準備も行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.  各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  第1回: 身体を使った伝達方法の導入  第2回: 姿勢とアイコンタクト  第3回: 情報の伝え方  第4回: ジェスチャー  第5回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの準備  第6回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの発表  第7回: 声の抑揚  第8回: 実演的なスピーチ  第9回: 学習した表現の復習、中間試験  第10回: 視覚情報の活用  第11回: 視覚情報に基づく世界の国々の比較  第12回: 世界の国々の比較についてのプレゼンテーション  第13回: まとめ  期末試験</p>			

科目名	Oral Presentation III	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation III	演習	
担当者	J. ギルバート		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive feedback based on completed rubrics. Students will be provided with the rubrics before they make their presentations.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法: presentations, speeches</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法: presentations, speeches</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法: tests / reviews</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, impromptu speeches</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, peer feedback</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, peer feedback</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Speaking of Speech Premium Edition Student Book 著者名: Charles LeBeau  出版社: National Geographic Learning (9784860000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  None</p>			

科目名	基礎セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	吉本 真由美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

論理的な文章を読んだり書いたりできるなど、アカデミック・スキルの基礎を養う。

[授業概要]

大学での学習方法について学ぶ。論文や専門書の読み方、資料の探し方、まとめ方、レポートの書き方、発表の仕方について学ぶ。こういったアカデミック・スキルを実践的に使って、各自の興味のあるトピックを選び、それに関連する新書を要約し、調べたことをもとに期末レポートを書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

テキスト・教材の指定された箇所を精読して授業に臨むこと。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. オリエンテーション
2. 大学での学修方法
3. レポート執筆方法: 専門分野1における論文と小論文の違い
4. レポート執筆方法: 専門分野1における引用と剽窃の違い
5. レポート執筆方法: 専門分野1における文献調査
6. フィールドワーク
7. 専門分野1の概要
8. 専門分野1の研究手法
9. 専門分野1の研究意義
10. 専門分野1の研究成果
11. 専門分野1の存在意義
12. 専門分野1の今後課題
13. レポート執筆の準備、まとめ

科目名	基礎セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(20%)、課題(20%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  グループワークや発表に対するフィードバックは授業中におこなう。レポートは添削と講評を書いて返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方にに基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  授業中に適宜紹介する。</p>			

S30241 [ LEH1-013 ]



科目名	基礎セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	西出 良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	資料収集
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

論理的な文章を読んだり書いたりできるなど、アカデミックスキルの基礎を養う。

[授業概要]

大学での学習方法について学ぶ。アカデミックな論文の読み方、資料の探し方、まとめ方、レポートの書き方、発表の仕方について学ぶ。これと平行して適宜文学作品を選び、英語を読む基礎的スキルを身につける。英英あるいは英和辞書必携。  
1人1人気になるトピックを自由に選び、それに関連する新書を要約し、調べたことをもとに期末レポートを書いてもらう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

テキスト・教材の指定された箇所を精読して授業に臨むこと。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. 振り返りエンターション
2. 困学での学修方法
3. レポート執筆方法: 専門分野における論文と小論文の違い
4. レポート執筆方法: 専門分野における引用と割罫の違い
5. レポート執筆方法: 専門分野における文献調査
6. フィールドワーク
7. 専門分野1の概要
8. 専門分野1の研究手法
9. 専門分野1の研究意義
10. 専門分野1の研究成果
11. 専門分野1の存在意義
12. 専門分野1の今後課題
13. レポート執筆の準備、まとめ

科目名	基礎セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み (20%)、課題 (20%)、レポート・試験 (60%)</p> <p>[ 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法 ]  課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[ オフィスアワー (質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: 授業への取り組み、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  プリント配布</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし</p>			

S30242 [ LEH1-013 ]

科目名	基礎セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 論理的な文章を読んだり書いたりできるなど、アカデミック・スキルの基礎を養う。</p> <p>[授業概要] 大学での学習方法について学ぶ。論文や専門書の読み方、資料の探し方、まとめ方、レポートの書き方、発表の仕方について学ぶ。こういったアカデミック・スキルを実践的に使って、各自の興味のあるトピックを選び、それに関連する新書を要約し、調べたことをもとに期末レポートを書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] テキスト・教材の指定された箇所を精読して授業に臨むこと。※各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 大学での学修方法 3. レポート執筆方法: 専門分野2における論文と小論文の違い 4. レポート執筆方法: 専門分野2における引用と剽窃の違い 5. レポート執筆方法: 専門分野2における文献調査 6. フィールドワーク 7. 専門分野2の概要 8. 専門分野2の研究手法 9. 専門分野2の研究意義 10. 専門分野2の研究成果 11. 専門分野2の存在意義 12. 専門分野2の今後課題 13. レポート執筆の準備、まとめ</p>			

科目名	基礎セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(20%)、課題(20%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  グループワークや発表に対するフィードバックは授業中におこなう。レポートは添削と講評を書いて返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方にに基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  授業中に適宜紹介する。</p>			

科目名	基礎セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	大学での学び	演習	
担当者	西出 良郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 論理的な文章を読んだり書いたりできるなど、アカデミックスキルの基礎を養う。</p> <p>[ 授業概要 ] アカデミックな論文の読み方、資料の探し方、まとめ方、レポートの書き方、発表の仕方を学ぶ。基礎セミナーⅡでは、各自が気に入った英米文学作品の一つを選び、それに関連する文献を要約し、調べたことをもとに期末レポートを書いてもらう。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] テキスト・教材の指定された箇所を精読して授業に臨むこと。※各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入りエンターション</li> <li>2. 大学での学修方法</li> <li>3. □レポート執筆方法: 専門分野2における論文と小論文の違い</li> <li>4. □レポート執筆方法: 専門分野2における引用と剽窃の違い</li> <li>5. □レポート執筆方法: 専門分野2における文献調査</li> <li>6. □フィールドワーク</li> <li>7. 専門分野2の概要</li> <li>8. 専門分野2の研究手法</li> <li>9. 専門分野2の研究意義</li> <li>10. 専門分野2の研究結果</li> <li>11. 専門分野2の存在意義</li> <li>12. 専門分野2の今後課題</li> <li>13. □レポート執筆の準備、まとめ</li> </ol>			

科目名	基礎セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	大学での学び	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(20%)、課題(20%)、レポート・試験(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方にに基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし</p>			

S30253 [ LEH1-014 ]

科目名	児童英語教育研究		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小島 文恵			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童期の英語教育に必要な基本的な知識や方法を理解できるようになる。</li> <li>2. 英語でのやり取りを通して、英語を使いながら学ばせる指導法を身に付けられるようにする。</li> <li>3. 他者との対話を通して協力しながら児童への英語の活動内容を作ることができるようになる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>まずは児童対象の英語指導方法、授業作りについて基本的な知識を理解していく。そして、練習活動となる歌・チャンツ、絵本、ゲーム、クイズなどを自分が指導できるように練習しながら、英語学習におけるそれぞれの意義を考察する。また、ティーチャートークや言語活動の一つであるスモールトークの実践を通して自らのコミュニケーションスキルを向上させながら、言語使用を通して言語を学ぶ方法を練習する。最後にそれらを授業作りに役立て、自らが授業を組み立てられるようにする。</p> <p>公立小学校及び民間教室での英語指導経験が豊かな教員がその経験を活かして実践的に指導する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>授業で紹介した活動内容を反復練習してできるようにすること。 講義内に行う小テストのために復習すること。 スモールトークの実践に際しては十分な準備を行うこと。 (各回、予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 言語使用を通じた言語習得について</li> <li>2. スモールトークの仕方</li> <li>3. リズム・メロディーを通じた活動</li> <li>4. 知的好奇心を刺激する活動</li> <li>5. 絵本の活用</li> <li>6. 小学校学習指導要領における外国語活動・外国語の目標</li> <li>7. 第二言語習得に関する基本的な知識</li> <li>8. 異文化理解について</li> <li>9. 文字指導について</li> <li>10. 読む活動、書く活動について</li> <li>11. 一単元の流れ</li> <li>12. 指導案の作り方</li> <li>13. 活動発表と振り返り、まとめ</li> </ol>				

科目名	児童英語教育研究	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小島 文恵		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の課題(スモールトーク発表を含む) (50%)、指導案作成 (20%)、レポート (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中の課題、指導案作成については、授業中にフィードバックする。 レポートについては、manabaを通じてコメントする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中の課題、スモールトークの発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業中の課題、スモールトークの発表に対する取り組みの姿勢</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題、スモールトークの発表への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:指導案作成、スモールトークの発表への取り組み</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし(授業時に資料を配布する)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック』 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm</a> 著者名:文部科学省 『小学校英語はじめる教科書(改訂版)』外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿ってー 著者名:吉田研作(監修)小川隆夫・東仁美(著) 出版社:mpi松香フォニックス (9784896437829)</p>			



科目名	児童英語教育入門 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小島 文恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童対象の英語教育理念を学び、それを達成するための内容と方法を理解できるようになる。</li> <li>2. 主に小学校低学年・中学年の活動を実践的に学ぶことにより、その基本的な活動内容を指導できるようになる。</li> <li>3. 他者との対話を通して協力しながら活動内容を作り上げることができる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>主に小学校低学年から中学年を対象とした指導方法を紹介する。小学生の学年別の特徴に応じた活動内容(ゲーム、クイズ、歌、チャンツ、絵本など)を体験し、練習して、言語学習の理論を踏まえた指導方法が身に付けられるようにする。また、授業中に英語学習活動のミニ発表を行い、そのフィードバックを通して指導技術の向上へつなげていく。そして、毎時間練習を積むことにより、自らが指導できるように導く。</p> <p>公立小学校及び民間教室での英語指導経験が豊かな教員がその経験を活かして実践的に指導する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>授業で紹介した活動を反復練習してできるようにすること。 講義内に行う小テストのために復習すること。 ミニ発表に際しては十分な準備を行うこと。(各回、予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の公立小学校での英語教育のこれまでの経緯、現状について</li> <li>2. 低学年対象の活動</li> <li>3. 歌・チャンツについてその効用と指導のポイント</li> <li>4. 中学年対象の活動①(練習活動)</li> <li>5. 中学年対象の活動②(発表活動)</li> <li>6. 非言語コミュニケーションを扱った活動</li> <li>7. Classroom English及びTeacher Talkについて</li> <li>8. 活動目標についての考察</li> <li>9. 絵本を使った活動</li> <li>10. 英語によるやりとりの仕方と会話を楽しむ活動</li> <li>11. 授業過程について</li> <li>12. 活動案作り</li> <li>13. 活動発表と振り返り、まとめ</li> </ol>			

科目名	児童英語教育入門 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小島 文恵		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の課題と小テスト (40%)、実技(40%)、レポート(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中の課題、小テスト、及び実技に関しては授業中にフィードバックする。  レポートについては、manabaを通じてコメントする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:授業中の課題、活動発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業中の課題や活動発表に対する取り組みの姿勢</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範  やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して  行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  なし。(授業時に資料を配付する)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  『小学校英語はじめる教科書(改訂版)』外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿って  ー 著者名:吉田研作(監修)小川隆夫・東仁美(著) 出版社:mpi松香フォニックス (9784896437829)</p>			

科目名	児童英語教育入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小島 文恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高学年児童対象の英語教育理念とそれを達成するための内容と方法を理解できるようになる。</li> <li>2. 高学年児童向けの活動を実践的に学ぶことにより、発展的な活動内容を指導できるようになる。</li> <li>3. 他者との対話を通して協力しながら活動内容を作り上げることができる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>主に小学校高学年を対象とした指導方法を紹介する。小学校高学年児童の特徴を知り、それに応じた活動内容(ゲーム、クイズ、歌、チャンツ、絵本、フォニックスなど)を体験し、練習しながら、学習意欲を高められる指導方法が身に付けられるようにする。また、授業中に英語学習活動のミニ発表を行い、学生相互による評価、自己評価を通して自分の課題を知り、改善策を考えられるようにする。そして、毎時間練習を積むことにより、自らが指導できるように導く。</p> <p>公立小学校及び民間教室での英語指導経験が豊かな教員がその経験を活かして実践的に指導する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>授業で紹介した活動を反復練習してできるようにすること。 講義内に行う小テストのために復習すること。 ミニ発表に際しては十分な準備を行うこと。(各回、予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高学年の学習上の特徴とそれに合った歌・チャンツ・ゲームの指導の仕方</li> <li>2. 高学年対象の活動(導入の仕方について)</li> <li>3. 高学年対象の活動(他教科と関連づけて)</li> <li>4. 小学校外国語教材(5年生用)について</li> <li>5. 小学校外国語教材(6年生用)について</li> <li>6. 英語によるやりとりの仕方、スモールトークについて</li> <li>7. 自己表現活動、発表活動の仕方</li> <li>8. 絵本の読み聞かせ</li> <li>9. 文字指導について</li> <li>10. 小学校における読む活動、書く活動について</li> <li>11. 教材・教具の活用法</li> <li>12. 活動案作り</li> <li>13. 活動発表と振り返り、まとめ</li> </ol>			

科目名	児童英語教育入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小島 文恵		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の課題と小テスト (40%)、実技(40%)、レポート(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中の課題、小テスト及び実技に関しては授業中にフィードバックする。  レポートについては、manabaを通じてコメントする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:授業中の課題、活動発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業中の課題や活動発表に対する取り組みの姿勢</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし。(授業時に資料を配布する)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  『小学校英語はじめる教科書(改訂版)』外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿ってー  著者名:吉田研作(監修)小川隆夫・東仁美(著) 出版社:(mpi松香フォニックス)(9784896437829)</p>			

科目名	Speaking & Listening I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]            実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]            多様な話題について、日常で遭遇する様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]            What to prepare before class- Review previous weeks' notes and assignments.            Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.            各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]            第1回:オリエンテーション, Unit 1 A world of differenceの聞き取り            第2回:A world of differenceについての自分の意見の発表            第3回:A world of differenceの総括            第4回:Unit 2 The work weekの聞き取り            第5回:The work weekについての自分の意見の発表            第6回:The work weekの総括            第7回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1)            第8回:学習した表現の復習、中間試験            第9回:Unit 3 Good times, bad timesの聞き取り            第10回:Good times, bad timesについての自分の意見の発表            第11回:Good times, bad timesの総括            第12回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2)            第13回:まとめ            期末試験</p>			

科目名	Speaking & Listening I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(20%), 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba. Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: tests, assignments</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group / pair work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, group work / pair work</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] American Headway 2 (3rd Edition) Student Book with Oxford Online Skills 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press. (9780000000000) American Headway 2 (3rd Edition) Workbook with iChecker 出版社: Oxford University Press. (9780000000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし 著者名: None 出版社: None</p>			

S30001 [ LEH1-001 ]

科目名	Speaking & Listening I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]            実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]            多様な話題について、日常で遭遇する様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]            Review previous weeks notes and assignments. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて 2 時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]            第1回:オリエンテーション, Unit 1 A world of differenceの聞き取り            第2回:A world of differenceについての自分の意見の発表            第3回:A world of differenceの総括            第4回:Unit 2 The work weekの聞き取り            第5回:The work weekについての自分の意見の発表            第6回:The work weekの総括            第7回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1)            第8回:学習した表現の復習、中間試験            第9回:Unit 3 Good times, bad timesの聞き取り            第10回:Good times, bad timesについての自分の意見の発表            第11回:Good times, bad timesの総括            第12回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2)            第13回:まとめ            期末試験</p>			

科目名	Speaking & Listening I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(20%), 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will be evaluated by their ability to speak in English during every class which will be reflected in their participation grade. Students will also be evaluated through speeches by teacher and peer evaluation. There will also be two speaking tests with the teacher that will be graded on how fluently they can respond to questions.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: tests, assignments</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group / pair work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, group work / pair work</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] American Headway 2 (3rd Edition) Student Book with Oxford Online Skills 著者名: Liz and John Soars 出版社: Oxford University Press (978-0-19-472591-0 ) American Headway 2 (3rd Edition) Workbook with iChecker 出版社: Oxford University Press (978-0-19-472591-0 )</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] none (none)</p>			

S30002 [ LEH1-001 ]



科目名	Speaking & Listening II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]            実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]            多様な話題について、日常で遭遇する様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]            Students must complete assigned homework tasks.            They should also prepare for tasks they have to do in class.            各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]            第1回: オリエンテーション, Unit 4 Getting it rightの聞き取り            第2回: Getting it rightについての自分の意見の発表            第3回: Getting it rightの総括            第4回: Unit 5 Our changing worldの聞き取り            第5回: Our changing worldについての自分の意見の発表            第6回: Our changing worldの総括            第7回: 学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1)            第8回: 学習した表現の復習、中間試験            第9回: Unit 6 What matters to meの聞き取り            第10回: What matters to meについての自分の意見の発表            第11回: What matters to meの総括            第12回: 学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2)            第13回: まとめ            期末試験</p>			

科目名	Speaking & Listening II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(20%), 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba. Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: tests, assignments</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work / pair work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, group work / pair work</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] American Headway 2: Student Book (Third Edition) 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472588-0 ) American Headway 2: Workbook (Third Edition) by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0 )</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし 著者名: None 出版社: None</p>			

S30011 [ LEH1-002 ]

科目名	Speaking & Listening II	後期	1 単位
サブタイトル	Speaking & Listening II	演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]            実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]            多様な話題について、日常で遭遇する様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]            Students are expected to come prepared to participate in class</p> <p>各回、予習復習合わせて 2 時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]            第1回:オリエンテーション, Unit 4 Getting it rightの聞き取り            第2回: Getting it rightについての自分の意見の発表            第3回: Getting it rightの総括            第4回: Unit 5 Our changing worldの聞き取り            第5回: Our changing worldについての自分の意見の発表            第6回: Our changing worldの総括            第7回: 学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1)            第8回: 学習した表現の復習、中間試験            第9回: Unit 6 What matters to meの聞き取り            第10回: What matters to meについての自分の意見の発表            第11回: What matters to meの総括            第12回: 学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2)            第13回: まとめ            期末試験</p>			

科目名	Speaking & Listening II	後期	1 単位
サブタイトル	Speaking & Listening II	演習	
担当者	J. ファハード		

[ 成績評価方法 ]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(20%), 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション(20%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

Students will be evaluated by their ability to speak in English during every class which will be reflected in their participation grade. Students will also be evaluated through speeches by teacher and peer evaluation. There will also be two speaking tests with the teacher that will be graded on how fluently they can respond to questions.

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: English only discussions, presentations

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: English only discussions, presentations

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: tests, assignments

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, group work / pair work

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, presentations, group work / pair work

[ 教科書(ISBN) ]

American Headway 2: Student Book (Third Edition) 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472588-0)

)

American Headway 2: Workbook (Third Edition) by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)

)

科目名	卒業論文セミナー		前期～後期	8 単位
サブタイトル			演習	
担当者	木村 恵子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文作成を通じて、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って卒業論文を完成できるように必要に応じて個別に指導を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。</p> <p>[授業計画]</p> <p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入: 卒業論文の目的と意義・卒業論文にかかわる諸規定</li> <li>2. 個別指導: テーマの絞込み</li> <li>3. 個別指導: テーマの絞込み</li> <li>4. 個別指導: 論文の構成</li> <li>5. 個別指導: 論文の構成</li> <li>6. 個別指導: 一次資料と二次資料</li> <li>7. 個別指導: 一次資料と二次資料</li> <li>8. 個別指導: テキストの読み込み</li> <li>9. 個別指導: テキストの読み込み</li> <li>10. 個別指導: 論文執筆上の注意</li> <li>11. 個別指導: 論文執筆上の注意</li> <li>12. 書式と文献目録作成上の注意</li> <li>13. 書式と文献目録作成上の注意</li> </ol> <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中間論文準備指導</li> <li>2. 個別指導: 中間論文フィードバック</li> <li>3. 個別指導: 論文の展開上の注意</li> <li>4. 個別指導: 論文の展開上の注意</li> <li>5. 個別指導: 論文の展開上の注意</li> <li>6. 個別指導: 二次資料の活用</li> <li>7. 個別指導: 二次資料の活用</li> <li>8. 個別指導: 序と結論</li> <li>9. 個別指導: 序と結論</li> <li>10. 個別指導: 論文要旨の作成に向けて</li> <li>11. 個別指導: 論文要旨の作成に向けて</li> <li>12. 全体指導: 校正の方法</li> <li>13. セミ内論文発表</li> </ol>				

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ] ゼミ内への参加・発表会への取り組み (20%)、卒業論文 (80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 章提出ごとに添削します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 授業にて個別に指示 著者名:x 出版社:x (なし。)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] MLA英語論文の手引き 著者名:x 出版社:北星堂出版 (9780000000000)</p>			

S39000 [ LEH4-001 ]

科目名	卒業論文セミナー		前期～後期	8 単位
サブタイトル			演習	
担当者	坂元 敦子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文の作成を通して、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 各自が選んだテーマについて卒業論文を作成する。3年次から行ったリサーチを基礎として、論文を執筆する。論文作成にあたっては、問いのたてかた、仮説、先行研究への言及など重要な点がいくつかあるが、中でも論の構成をどう決めるかという点はもっとも重要と考えられるため、最初にこの点について考え、構成を明確に決めることからスタートする。授業内で発表をおこない、質問に対する答えや説明の練習も行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。各回、予習復習あわせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 前期 1. イントロダクション 2. 論文執筆に関して 構成①問いをたてる 3. 論文執筆に関して 構成②文献入手と先行研究 4. 論文執筆に関して 構成③自分の論を確認する 5. 論文執筆 6. 論文執筆 7. 論文執筆 8. 発表 9. 発表 10. 論文執筆 11. 論文執筆 12. 論文執筆 13. まとめ  後期 1. 中間報告 2. 中間報告 3. 論文執筆 4. 論文執筆 5. 論文執筆 6. 論文執筆 7. 論文執筆 8. 論文執筆 9. 論文執筆 10. 論文執筆 11. 卒業論文発表 12. 卒業論文発表 13. まとめ</p>				

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	坂元 敦子		
<p>[ 成績評価方法 ] ゼミ内への参加・発表会への取り組み (20%)、卒業論文 (80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業内でおこない、マナバも使用します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 授業中に指示します プリント配布</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 授業中に指示します</p>			

S39010 [ LEH4-001 ]



科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文作成を通じて、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 前期は、卒業論文で扱う分野を、言語学分野にするのか、それとも英語教育学分野にするのかということを考え、自分の研究したいテーマを見つけます。言語学分野では、例えば、自分が今まで英語を学習してきた疑問に思った言語事実を取り上げ、深く掘り下げるのもいいでしょうし、日本語と英語を比較した研究でもいいでしょう。また、英語教育学の分野では、自分が試してみたい指導法を考え、教育実習中に実践してデータを集め、分析するというのも一つの方法です。また、テーマを探す一方で、同時に論文の書き方(論理展開の方法など)についても学んでいきます。 後期は、自分の研究テーマに関する先行研究を各自で持ち寄り、全員で議論しながら理解を深め、卒業論文の執筆につなげていきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習2時間程度。 テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。</p> <p>[授業計画] 前期 1. 卒業論文について—その意義とルール 2. 論文作成の基礎:議論の組み立て方 3. 論文作成の基礎:先行研究の調査と引用のルール 4. テーマ・研究計画発表会 5. 研究経過報告(1人目) 6. 研究経過報告(2人目) 7. 研究経過報告(3人目) 8. 研究経過報告(4人目) 9. 研究経過報告(5人目) 10. 議論の構成:データの重要性 11. 議論の構成:データと仮説 12. 前期成果発表会用資料の作成 13. 前期の成果発表会 後期 1. 中間論文発表会&lt;前半&gt; 2. 中間論文発表会&lt;後半&gt; 3. 論文作成指導(1):本論の執筆 4. 論文作成指導(2):本論の執筆 5. 論文作成指導(3):本論の仕上げ 6. 論文作成指導(4):序論と結論の仕上げ 7. 論文作成指導(5):全体構成の最終調整 8. 最終校正(1)レイアウト 9. 最終校正(2)校正 10. 論文の完成、提出 11. 論文要旨作成指導 12. 口頭試問&lt;前半&gt; 13. 口頭試問&lt;後半&gt;</p>			

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本田 隆裕		
<p>[ 成績評価方法 ] ゼミ内への参加・発表会への取り組み (20%)、卒業論文 (80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 卒業論文の下書きについて年間を通じて複数回フィードバックを返します。卒業論文については口頭試問でフィードバックを行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:卒業論文</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

S39030 [ LEH4-001 ]

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	イギリスの文学・文化の研究	演習	
担当者	西出 良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

卒業論文作成を通じて、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。

[授業概要]

論文のテーマを決め、それに沿って調査・研究し、論文構成についてディスカッションをした上、序論、本論と順次作成していく。中間報告は序論・一章・二章くらいまでを完成させて提出し、その後、三章、結論を完成させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

テーマに合わせて資料を集め、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]

前期

1. テーマについてディスカッション
2. テーマ決定
3. 序論作成①
4. 序論作成②
5. 1章についてのディスカッション
6. 1章について参考文献の提示と研究
7. 1章を作成
8. 1章の完成
9. 2章についてディスカッション
10. 2章について参考文献の提示と研究
11. 2章を作成
12. 2章の完成
13. 中間報告にむけてのまとめ

後期

1. 中間報告について
2. 3章についてディスカッション
3. 3章について参考文献の提示と研究
4. 3章について研究
5. 3章を作成
6. 3章を完成
7. 結論についてディスカッション
8. 結論を作成
9. 結論のチェック
10. 卒論の本文を通してチェック
11. 「卒論の手引き」を元に卒論を完成させる
12. レジューメ作成
13. 卒論提出

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	イギリスの文学・文化の研究	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[ 成績評価方法 ] 論文制作の取り組み、論文の内容</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] それぞれのテーマに沿って個別に指導を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

S39040 [ LEH4-001 ]

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	言語学(英語学)分野の研究論文の作成	演習	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文の作成を通して、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 3回生のゼミで学び、検討した内容をもとに、英語を対象とした研究テーマを立て、その研究成果を論文にまとめていくための指導をおこなう(適宜、個別指導も実施する)。調査報告会を適宜実施し、教員および受講生どうしのディスカッションを経て各自の考察を深化させる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。各回の授業についての予習・復習2時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 卒業論文について—その意義とルール、テーマの絞り方</li> <li>2. 論文作成の基礎:議論の組み立て方</li> <li>3. 論文作成の基礎:先行研究の調査と引用のルール</li> <li>4. 研究テーマ、研究計画の発表会</li> <li>5. 研究経過報告(1)</li> <li>6. 研究経過報告(2)</li> <li>7. 研究経過報告(3)</li> <li>8. 研究経過報告(4)</li> <li>9. 議論の構成(1)</li> <li>10. 議論の構成(2)</li> <li>11. 議論の構成(3)</li> <li>12. 前期成果発表会用資料の作成</li> <li>13. 前期の成果発表会</li> </ol> <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中間論文発表会(1)</li> <li>2. 中間論文発表会(2)</li> <li>3. 論文作成指導(1):本論の執筆</li> <li>4. 論文作成指導(2):本論の執筆</li> <li>5. 論文作成指導(3):本論の仕上げ</li> <li>6. 論文作成指導(4):序論と結論の仕上げ</li> <li>7. 論文作成指導(5):全体構成の最終調整</li> <li>8. 最終校正(1)</li> <li>9. 最終校正(2)</li> <li>10. 論文の完成、提出</li> <li>11. 論文要旨作成指導</li> <li>12. ゼミ内卒業論文発表会</li> <li>13. 口頭試問</li> </ol>			

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	言語学(英語学)分野の研究論文の作成	演習	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ] ゼミ内での取り組み(20%)、卒業論文(80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 発表へのフィードバックは授業内でおこなう。卒業論文の下書きへのフィードバックは添削したものを返却して実施する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『論文の教室—レポートから卒論まで』 著者名:戸田山和久 出版社:NHKブックス, 2002年。(978-4-14-001954-2) 『よくわかる卒論の書き方』 著者名:白井利明・高橋一郎 出版社:ミネルヴァ書房, 2013年。(978-4-623-06572-1) 『論文・レポートの基本』 著者名:石黒圭 出版社:日本実業出版社 (978-4534049278)</p>			

S39050 [ LEH4-001 ]

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村 英江		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 英検2級合格、TOEIC 500点</p> <p>[ 授業概要 ] これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、 Semester中にWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] ①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。 ②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Introduction 2. Unit 1 (1) 3. Unit 1 (2) 4. Unit 2 (1) 5. Unit 2 (2) 6. Web Test (1) 7. Unit 3 (1) 8. Unit 3 (2) 9. Unit 4 10. Web Test (2) 11. Unit 5 12. review 13. TOEIC Bridge IP 試験</p>			

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村 英江		
<p>[ 成績評価方法 ] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] THE TOEIC TEST Trainer Target 650 Revised Edition Student Book 著者名: Masahiko Yamaguchi, Hiroko Matsuura, Michael Howard Maesaka, George W. Pifer 出版社: Cengage Learning (978-4-86312-274-1)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			



科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	英語の基礎力養成講座	演習	
担当者	野末 紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

英語検定試験2級、TOEIC500点

[授業概要]

TOEICは国際社会で必要とされる「英語によるコミュニケーション能力」を測定するものです。コミュニケーション能力が世界共通の客観的数値で正確に出されるので、就職等に欠かせない判定指標となります。着実な学力向上を目指して地道な努力を積み重ねてください。

この授業ではTOEICをまだよく知らなくても効率よく点数を獲得する方法について意識化します。実際のテストに準拠した教科書を使って確実に英語力をアップさせていきます。授業では、文法・語彙・リスニング・リーディングのパートをこなしていきます。十分な予習と復習が必要です。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。たとえばインターネットで無料アクセスできるサイトで記事を読み、ニュース映像を見る。
2. 授業の復習を必ず行なう。とくに新しい語句の用例をマスターする。

[授業計画]

1. イントロダクション、TOEIC Testとは？
2. Unit 1 Part1:物の位置と状態を聞きとる Part5:語幹を共有する名詞・動詞・形容詞・副詞
3. Unit 2 Part2:基本的な疑問文に応える Part6:気をつけるべき英語の語順 Part7:広告文
4. Unit 3 Part3:電話での会話 Part5:数にからんだ語の用法①
5. Unit 4 Part4:スピーチ Part6:数にからんだ語の用法②
6. Unit 5 Part1:人物の動作と様子 Part5:ねらわれやすい現在形と未来を表す表現
7. Review①(振り返り、テスト)
8. Unit 6 Part6:ねらわれやすい過去形と完了形の表現 Part7:図表と文書
9. Unit 7 Part3:カジュアルな日常会話 Part5:比較がらみの表現①
10. Unit 8 Part4:録音メッセージ・広告 Part6: 比較がらみの表現② Part7:雑誌・新聞の記事
11. Unit 9 Part1:建物・乗り物と周りとの関係 Part5:文と文との結びつきの表現①
12. Unit 10 Part2:いろいろな形の問いかけに対応する Part6:文と文との結びつきの表現② Part7:求人広告と応募の手紙
13. Review②(振り返り、テスト)

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	英語の基礎力養成講座	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への参加度(60%)、テスト(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  毎回のミニテストはmanabaで採点して返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Effective Approaches to the TOEIC L&amp;R  Test 著者名:Kiyomi Tanaka et. all 出版社:南雲堂 (978-4-523-17915-3)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出 良郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 英検2級合格、TOEIC 500点</p> <p>[ 授業概要 ] これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、セメスター中にWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] ①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。 ②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Introduction 2. Section 1 3. Section 2 4. Section 3 5. Section 4 6. Web Test (1) 7. Section 5 8. Section 6 9. Section 7 10. Section 8 11. Section 9 12. Section 10 13. TOEIC Bridge IP 試験</p>			

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[ 成績評価方法 ] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 公式TOEIC Listening &amp; Readingトレーニング リーディング編2 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 (4906033733) TOEIC L&amp;R TEST 出る単特急 金のフレーズ 著者名: TEX加藤 出版社: 朝日新聞出版 (4023315680)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村 英江		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 英検2級合格、TOEIC 500点</p> <p>[ 授業概要 ] これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、 Semester中に2回のWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] ①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。 ②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Unit 6 (1) 2. Unit 6 (2) 3. Unit 7 (1) 4. Unit 7 (2) 5. Web Test (1) 6. Unit 8 7. Unit 9 8. Unit 10 9. Unit 11 10. Web Test (2) 11. Unit 12 12. review 13. Speech ContestにAudienceとして参加</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村 英江		
<p>[ 成績評価方法 ] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] TOEIC? TEST Trainer Target 650, Revised Edition 著者名:Masahiko Yamaguchi, Hiroko Matsuura, Michael Howard Maesaka, George W. Pifer 出版社:Cengage Learning (978-4-86312-274-1)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	英語の基礎力養成講座	演習	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 英語検定試験2級、TOEIC500点</p> <p>[ 授業概要 ] TOEICは国際社会で必要とされる「英語によるコミュニケーション能力」を測定するものです。コミュニケーション能力が世界共通の客観的数値で正確に出されるので、就職等に欠かせない判定指標となります。学力向上を目指して地道な努力を積み重ねてください。 この授業ではTOEICをまだよく知らなくても効率よく点数を獲得する方法について意識化します。実際のテストに準拠した教科書を使って着実に英語力をアップさせていきます。おもにリスニングとリーディングのパートをこなしていきます。受講生を次々に指名していきますので、十分な予習をして授業に参加してください。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。インターネットに無料アクセスできるサイトで記事を読み、ニュース映像を見る。 2. 授業の復習を必ず行なう。とくに新しい語句や表現の用例をマスターする。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.Unit 11 Part3: 同僚との多様なやりとり Part5: V-ingとV-edの使い分け① 2.Unit 12 Part4: 案内放送 Part6: V-ingとV-edの使い分け② Part7: お知らせ文 3.Unit 13 Part1: 複数の人物の様子 Part5: まぎらわしい動詞の語形・意味・語法 4.Unit 14 Part2: HowとWhyの広がる意味とその応答 Part6: まぎらわしい前置詞の表現 Part7: 説明文とレシビ 5.Unit 15 Part3: ビジネス会話 Part5: 不定詞の重要表現① 6.Unit 16 Part4: ガイドの説明 Part6: 不定詞の重要表現② Part7: 社内文書 7.Unit 17 Part1: 写真風景・人物と背景写真の描写 Part5: 条件と仮定法の表現① 8.Review①(振り返り、テスト) 9.Unit 18 Part2: 特殊な疑問文にすばやく反応する Part6: 条件と仮定法の表現② Part7: トリプルパッセージの問題 10.Unit19 Part3: オフィス内の会話 Part5: 疑問詞・関係詞・接続詞 11.Unit 20 Part4: ニュース Part6: 気をつけたい助動詞の用法 Part7: 製品などの説明書 12.単語・熟語チェック 13.Review②(振替値、テスト)</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	英語の基礎力養成講座	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[ 成績評価方法 ]  テスト(40%)、授業への参加度(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  毎回の授業のミニテストは採点して返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Effective Approaches to the TOEIC Lab Test 改訂版 著者名:Kiyomi Tanaka et al. 出版社:南雲堂 (978-4-523-17915-3)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			



科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出 良郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 英検2級合格、TOEIC 500点</p> <p>[ 授業概要 ] これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、セメスター中に2回のWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] ①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。 ②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Section 11 2. Section 12 3. Section 13 4. Section 14 5. Section 15 6. Section 16 7. Web Test (1) 8. Section 17 9. Section 18 10. Section 19 11. Web Test (2) 12. Section 20 13. Speech ContestにAudienceとして参加</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[ 成績評価方法 ] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 公式TOEIC Listening &amp; Readingトレーニング リーディング編2 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 (4906033733 ) TOEIC L&amp;R TEST 出る単特急 金のフレーズ 著者名: TEX加藤 出版社: 朝日新聞出版 (4023315680 )</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験・受験の備え	演習	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] TOEICテスト600点をクリアすることを目標とします。</p> <p>[ 授業概要 ] ご承知の通り、TOEICは国際社会で必要とされる「英語によるコミュニケーション能力」を測定するものです。英語のコミュニケーション能力が客観的数値で計測されるので、就職等の場面で、不可欠な評価指標となっています。着実に英語力をつけていきましょう。 本授業では、実際のTOEIC Testに準拠した教科書を使い、効率よく点数を上げるための戦略を身に着けます。毎回の授業ではリスニングのユニットとリーディングのユニットを交互にこなしていきますので十分予習をして参加してください。 教科書は前期・後期同じものを使用します。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。インターネットで無料アクセスできるサイトで記事を読み、ニュース映像を見る。 2. 授業の復習を必ず行なう。とくに新しい語句や表現をマスターする。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.イントロダクション、TOEIC Testとは？ 2.Unit 1 Part1:物の位置と状態を聞きとる Part5:語幹を共有する名詞・動詞・形容詞・副詞 3.Unit 2 Part2:基本的な疑問文に応える) Part6:気をつけるべき英語の語順 Part7:広告文 4.Unit 3 Part3:電話での会話 Part5:数にからんだ語の用法① 単語チェック 5.Unit 4 Part4:スピーチ Part6:数にからんだ語の用法② 6.Unit 5 Part1:人物の動作と様子 Part5:ねらわれやすい現在形と未来を表す表現 7.Review①(振り返り、テスト) 8.Unit 6 Part6:ねらわれやすい過去形と完了形の表現 Part7:図表と文書 9.Unit 7 Part3:カジュアルな日常会話 Part5:比較がらみの表現① 単語チェック 10.Unit 8 Part4:録音メッセージ・広告 Part6: 比較がらみの表現② Part7:雑誌・新聞の記事 11.Unit 9 Part1:建物・乗り物と周りとの関係 Part5:文と文との結びつきの表現① 12.Unit 10 Part2:いろいろな形の問いかけに対応する Part6:文と文との結びつきの表現② Part7:求人広告と応募の手紙 単語チェック 13.Review②(振り返り、テスト)</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験・受験の備え	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[ 成績評価方法 ] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 毎回の授業のReview workとして行うミニテストはmanabaで採点して返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Effective Approaches to the TOEIC L&amp;R Test 著者名: Kiyomi Tanaka et. all 出版社: 南雲堂 (978-4-523-17915-3)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	TOEIC L&R Test 対策	演習	
担当者	大井 良友		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] TOEIC で 600点以上のスコアを獲得する。</p> <p>[ 授業概要 ] 本授業は TOEIC Listening &amp; Reading Test 対策に特化し、実際の TOEIC で600点以上のスコアを獲得するという目標の達成を目指す。 授業では TOEIC と同形式の演習を行い、重要表現の確認や、パートごとの出題形式や設問の内容に応じた解法の説明を行う。多くの英語学習者が苦手意識を持つ英語の聞き取り対策としてディクテーション演習も取り入れる。さらに、単語・フレーズ帳の指定範囲から毎回小テストを実施し、TOEIC で頻出する重要表現の定着を図る。 授業で扱う問題や Web Test、必須受験の IP テストで高得点を目指すことは当然のことながら、誤答の原因を明らかにすることも TOEIC 対策においては重要なプロセスとなる。「なぜその選択肢が答えになるのか」「最も適切かつ効率的な解き方は何か」を自分で説明できるようになるため、適宜ペアワークや全体ディスカッションを取り入れる。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] (1) 授業で扱った問題を解き直し、特に間違えた問題は、誤答の原因と正答の根拠を説明できるようにする。 (2) 小テストの準備として、毎日単語・フレーズ帳に目を通し、表現を何度も音読して覚えられるようにする。 各回、予習復習合わせて1時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. オリエンテーション / Web Test (1) 2. Unit 1: Eating Out (Listening) 3. Unit 1: Eating Out (Reading) 4. Unit 2: Travel (Listening) 5. Unit 2: Travel (Reading) 6. Unit 3: Amusement 7. Unit 4: Meetings 8. Unit 5: Personnel (Listening) 9. Unit 5: Personnel (Reading) 10. Unit 6: Shopping 11. Unit 7: Advertisement (Listening) 12. Unit 7: Advertisement (Reading) 13. Web Test (2) / まとめ ※ 後期の同クラスでも引き続き同じ指定教科書を使用する。</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	TOEIC L&R Test 対策	演習	
担当者	大井 良友		
<p>[ 成績評価方法 ] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] フィードバックは manaba を利用して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Step-up Skills for the TOEIC Listening and Reading Test Level 2 Intermediate 著者名: 北尾泰幸 他 出版社: 朝日出版社 (978-4-255-15595-1) TOEIC L&amp;R TEST 出る単特急 銀のフレーズ 著者名: TEX 加藤 出版社: 朝日新聞出版 (978-4-02-331684-3)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	TOEIC、英検などの対策	演習	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] TOEIC600点</p> <p>[ 授業概要 ] この授業ではTOEICの問題を数多く解くことにより、テストの形式に慣れ、より高得点を取得することを目指す。テキストは交通、飲食店、ビジネス、コミュニケーション等の身近なピックにわかれているので、英語圏の文化に親しみながら勉強することができる。なお、TOEIC頻出単語・熟語リストも授業で使用する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。(e-learning等も十分に活用する。) 2. 自分の学習状況のレビューに十分な時間を費やす。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. イントロダクション 2. Transportation and Information 3. Instructions and Explanations 4. Eating and Drinking 5. Web Test 6. Eating and Drinking 7. Business Scene 8. Communication 9. Web Test 10. Communication 11. Socializing 12. Socializing 13. まとめ</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	TOEIC、英検などの対策	演習	
担当者	坂元 敦子		

[ 成績評価方法 ]

Web testの結果(20%)、英検・TOEICの結果(20%)、授業への参加(60%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

授業内でおこない、マナバも使用します。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: 授業への参加

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: TOEIC・英検、授業への参加

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 授業への参加

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 授業への参加

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検、授業への参加

[ 教科書(ISBN) ]

Start-up Course for the TOEIC L&R Test 著者名: Nagaki Kitayama 出版社: 誠美堂 (9784790000000)  
プリント配布

[ 参考書(ISBN) ]

授業で指示します。



科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] TOEICテスト600点クリアを目標とします。</p> <p>[ 授業概要 ] ご承知の通り、TOEICは国際社会で必要とされる「英語によるコミュニケーション能力」を測定するものです。英語のコミュニケーション能力が客観的数値で計測されるので、就職等の場面で、不可欠な評価指標となっています。着実に英語力をつけていきましょう。 本授業では、実際のTOEIC Testに準拠した教科書を使い、効率よく点数を上げるための戦略を身に着けます。毎回の授業ではおもにリスニングのユニットとリーディングのユニットをこなしていきます。受講生を次々に指名していきますので、十分な予習をして授業に参加してください。 (教科書は前期・後期同じものを使用)</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。例えばインターネットで無料でアクセスできるサイトで記事を読み、ニュース映像を見る。 2. 授業の復習を必ず行う。特に新しい語・句の用例をマスターする。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.Unit 11 Part3: 同僚との多様なやりとり Part5: V-ingとV-edの使い分け① 2.Unit 12 Part4: 案内放送 Part6: V-ingとV-edの使い分け② Part7: お知らせ文 3.Unit 13 Part1: 複数の人物の様子 Part5: まぎらわしい動詞の語形・意味・語法 単語テスト 4.Unit 14 Part2: HowとWhyの広がる意味とその応答 Part6: まぎらわしい前置詞の表 Part7: 説明文とレシピ 5.Unit 15 Part3: ビジネス会話 Part5: 不定詞の重要表現① 単語テスト 6.Unit 16 Part4: ガイドの説明 Part6: 不定詞の重要表現② Part7: 社内文書 7.Unit 17 Part1: 写真風景・人物と背景写真の描写 Part5: 条件と仮定法の表現① 8.Review①(振り返り、テスト) 9.Unit 18 Part2: 特殊な疑問文にすばやく反応する Part6: 条件と仮定法の表現② Part7: トリプルパッセージの問題 10.Unit19 Part3: オフィス内の会話 Part5: 疑問詞・関係詞・接続詞 単語テスト 11.Unit 20 Part4: ニュース Part6: 気をつけたい助動詞の用法 Part7: 製品などの説明書 12.単語・熟語チェック 13.Review②(振替値、テスト)</p>			

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[ 成績評価方法 ]  テスト(40%)、授業への参加(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  毎回の授業のReview workとして行うミニテストはmanabaで採点して返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:Web Test、TOEIC・英検</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:授業への参加</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:Web Test、TOEIC・英検</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:Web Test、TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Effective Approaches to the TOEIC Lab Test 改訂版 著者名:Kiyomi Tanaka et. al. 出版社:南雲堂 (978-4-523-17915-3)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	TOEIC L&R Test 対策	演習	
担当者	大井 良友		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] TOEIC で 600点以上のスコアを獲得する。</p> <p>[ 授業概要 ] 本授業は TOEIC Listening &amp; Reading Test 対策に特化し、実際の TOEIC で600点以上のスコアを獲得するという目標の達成を目指す。 授業では TOEIC と同形式の演習を行い、重要表現の確認や、パートごとの出題形式や設問の内容に応じた解法の説明を行う。多くの英語学習者が苦手意識を持つ英語の聞き取り対策としてディクテーション演習も取り入れる。さらに、単語・フレーズ帳の指定範囲から毎回小テストを実施し、TOEIC で頻出する重要表現の定着を図る。 授業で扱う問題や Web Test、必須受験の IP テストで高得点を目指すことは当然のことながら、誤答の原因を明らかにすることも TOEIC 対策においては重要なプロセスとなる。「なぜその選択肢が答えになるのか」「最も適切かつ効率的な解き方は何か」を自分で説明できるようになるため、適宜ペアワークや全体ディスカッションを取り入れる。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] (1) 授業で扱った問題を解き直し、特に間違えた問題は、誤答の原因と正答の根拠を説明できるようにする。 (2) 小テストの準備として、毎日単語・フレーズ帳に目を通し、表現を何度も音読して覚えられるようにする。 各回、予習復習合わせて1時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ] ※ 前期の同クラスの指定教科書を引き続き使用する。 1. オリエンテーション / Web Test (1) 2. Unit 8: Daily Life (Listening) 3. Unit 8: Daily Life (Reading) 4. Unit 9: Office Work (Listening) 5. Unit 9: Office Work (Reading) 6. Unit 10: Business (Listening) 7. Unit 10: Business (Reading) 8. Unit 11: Traffic 9. Unit 12: Finance and Banking 10. Unit 13: Media (Listening) 11. Unit 13: Media (Reading) 12. Unit 14: Health and Welfare 13. Web Test (2) / まとめ</p>			

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	TOEIC L&R Test 対策	演習	
担当者	大井 良友		
<p>[ 成績評価方法 ] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] フィードバックは manaba を利用して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Step-up Skills for the TOEIC Listening and Reading Test Level 2 Intermediate 著者名: 北尾泰幸 他 出版社: 朝日出版社 (978-4-255-15595-1) TOEIC L&amp;R TEST 出る単特急 銀のフレーズ 著者名: TEX 加藤 出版社: 朝日新聞出版 (978-4-02-331684-3)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	TOEIC ,英検などの対策。	演習	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] TOEIC600点</p> <p>[ 授業概要 ] この授業ではTOEICの問題を数多く解くことにより、テストの形式に慣れ、より高得点を取得することを目指す。テキストは交通、飲食店、ビジネス、コミュニケーション等の身近なピックにわかれているので、英語圏の文化に親しみながら勉強することができる。なお、TOEIC頻出単語・熟語リストも授業で使用する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。(e-learning等も十分に活用する。) 2. 自分の学習状況のレビューに十分な時間を費やす。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. イントロダクション 2. Invitation 3. Medical Treatment 4. Culture and Entertainment 5. Web Test 6. Culture and Entertainment 7. Shopping 8. Shopping 9. Web Test 10. Sports and Exercise 11. Sports and Exercise 12. Trouble and Claims 13. まとめ</p>			

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	TOEIC ,英検などの対策。	演習	
担当者	坂元 敦子		

[ 成績評価方法 ]

Web testの結果(20%)、英検・TOEICの結果(20%)、授業への参加(60%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

授業内で実施し、マナバも使用します。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: 授業への参加

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: TOEIC・英検、授業への参加

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 授業への参加

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 授業への参加

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検、授業への参加

[ 教科書(ISBN) ]

Start-up Course for the TOEIC L&R Test 著者名: Nagaki Kitayama 出版社: 誠美堂 (9784790000000)  
プリント配布

[ 参考書(ISBN) ]

授業で指示します。

科目名	発音トレーニングA	前期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石 浩一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

英語の発音の仕組みを理解し、習得する。

[ 授業概要 ]

発音訓練を通じて、より英語の母語話者に近い英語発音をマスターする。モデルとするのは一般アメリカ英語(General American English)だが、その他の母語変種に関する事項も適宜取り入れる。唇や舌の動かし方から発声法、そしてリズムの取り方まで、あらゆる側面から日本語との違いを確認しながら訓練を進めていく。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

テキストにしたがって予習復習(2時間程度)をした上で授業に臨むこと。定期的な発音の小テストをおこなうので練習を積むこと。予習課題を出す場合があるので、自発的に努力すること。

[ 授業計画 ]

105分の使い方は原則下記のようなものとし、毎回の内容に応じて微調整する。

15分 前回のおさらい(発音課題について発表)

10分 内容1について説明

15分 内容1の練習

10分 文の中で読んでみる

10分 内容2について説明

15分 内容2の練習

10分 文の中で読んでみる

15分 振り返り課題を練習し、学びを強化

5分 まとめ、課題の提示

毎回の授業の計画は下記の通りである。

言語の音声とは、英語とは

1 Lesson 1-3 World Englishes, Speech Organs, Speech Sounds(世界の英語、発音に使われる器官、言語音声の種類))

英語の子音

2 Lesson 7-8 [p]-[b], [t]-[d](両唇および歯茎閉鎖音)

3 Lesson 9-10 [k]-[g], [f]-[v](軟口蓋閉鎖音および唇歯摩擦音)

4 Lesson 11-12 [θ]-[ð], [s]-[z](歯および歯茎摩擦音)

5 Lesson 13-14 [ʃ]-[ʒ], [tʃ]-[dʒ](硬口蓋歯茎音)

6 Lesson 15-16 [m]-[n]-[ŋ], [r]-[l](鼻音と流音)

7 Lesson 17-18 [h], [j]-[w]-[hw](半母音と声門摩擦音)

英語の母音

8 Lesson 19-20 [i:]-[ɪ], [u:]-[ʊ](高母音)

9 Lesson 21-22 [e]-[æ]-[ɛ], [oʊ]-[ɔ:](中高および中低母音)、期末課題提示

10 Lesson 23-24 [ɑ:]-[ɑ]-[ʌ], [aɪ]-[aʊ]-[ɔɪ](低母音と低母音から始まる二重母音)

11 Lesson 25-26 [ə:]-[ɑə]-[ɔə], [ɪə]-[eə]-[ʊə](rを伴う母音とそれで終わる二重母音)

プロゾディ

12 Lesson 4-6 Word Stress, Sentence Rhythm, Intonation(ストレス(強勢)、英語のリズムとイントネーション)

総まとめ

13 授業の振り返りと課題(音読)発表

テキストの順番と進み方を少し変えています。授業計画と授業中の指示に従って下さい。

科目名	発音トレーニングA	前期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石 浩一		

[ 成績評価方法 ]  
知識確認のための課題(manaba利用) 30% 音声を利用した小課題(manaba及び授業内) 30% 最終音読発表課題 40%□

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
毎回manabaを利用して行い、次回授業で解説する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して達成度を測定する。

学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  
成績評価方法:発音発表を通して達成度を測定する。

学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法:知識課題、音声課題を通して達成度を測定する。

[ 教科書(ISBN) ]  
『アメリカ英語の発音教本 四訂版』 著者名:津田塾大学英語英文学科 出版社:研究社 (978-4-327-40176-4)

[ 参考書(ISBN) ]  
なし



科目名	発音トレーニングB	後期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石 浩一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

英語の発音の仕組みを理解し、習得する。

[授業概要]

発音訓練を通じて、より英語の母語話者に近い英語発音をマスターする。モデルとするのは一般アメリカ英語(General American English)だが、その他の母語変種に関する事項も適宜取り入れる。唇や舌の動かし方から発声法、そしてリズムの取り方まで、あらゆる側面から日本語との違いを確認しながら訓練を進めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

テキストにしたがって予習復習(2時間程度)をした上で授業に臨むこと。定期的な発音の小テストをおこなうので練習を積むこと。予習課題を出す場合があるので、自発的に努力すること。

[授業計画]

105分の使い方は原則下記のようなものとし、毎回の内容に応じて微調整する。

15分 前回のおさらい(発音課題について発表)

10分 内容1について説明

15分 内容1の練習

10分 文の中で読んでみる

10分 内容2について説明

15分 内容2の練習

10分 文の中で読んでみる

15分 振り返り課題を練習し、学びを強化

5分 まとめ、課題の提示

毎回の授業の計画は下記の通りである。

言語の音声とは、英語とは

1 Lesson 1-3 World Englishes, Speech Organs, Speech Sounds(世界の英語、発音に使われる器官、言語音声の種類)

英語の子音

2 Lesson 7-8 [p]-[b], [t]-[d](両唇および歯茎閉鎖音)

3 Lesson 9-10 [k]-[g], [f]-[v](軟口蓋閉鎖音および唇歯摩擦音)

4 Lesson 11-12 [θ]-[ð], [s]-[z](歯および歯茎摩擦音)

5 Lesson 13-14 [ʃ]-[ʒ], [tʃ]-[dʒ](硬口蓋歯茎音)

6 Lesson 15-16 [m]-[n]-[ŋ], [r]-[l](鼻音と流音)

7 Lesson 17-18 [h], [j]-[w]-[hw](半母音と声門摩擦音)

英語の母音

8 Lesson 19-20 [iː]-[ɪ], [uː]-[ʊ](高母音)

9 Lesson 21-22 [ɛ]-[æ]-[eɪ], [oʊ]-[ɔː](中高および中低母音)、期末課題提示

10 Lesson 23-24 [ɑː]-[ɑ]-[ʌ], [aɪ]-[aʊ]-[ɔɪ](低母音と低母音から始まる二重母音)

11 Lesson 25-26 [ɚː]-[ɑɚ]-[ɔɚ], [ɪə]-[ɛə]-[ʊə](rを伴う母音とそれで終わる二重母音)

プロゾディ

12 Lesson 4-6 Word Stress, Sentence Rhythm, Intonation(ストレス(強勢)、英語のリズムとイントネーション)

総まとめ

13 授業の振り返りと課題(音読)発表

テキストの順番と進み方を少し変えています。授業計画と授業中の指示に従って下さい。

科目名	発音トレーニングB	後期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石 浩一		

[ 成績評価方法 ]  
知識確認のための課題(manaba利用) 30% 音声を利用した小課題(manaba及び授業内) 30% 最終音読発表課題 40%□

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
毎回manabaを利用して行い、次回授業で解説する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して達成度を測定する。

学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  
成績評価方法:発音発表を通して達成度を測定する。

学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法:知識課題、音声課題を通して達成度を測定する。

[ 教科書(ISBN) ]  
『アメリカ英語の発音教本 四訂版』 著者名:津田塾大学英語英文学科 出版社:研究社 (978-4-327-40176-4)

[ 参考書(ISBN) ]  
なし

科目名	Practical Cross-Cultural Communication		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	J. ファハード			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	0		グループワーク	0
プレゼンテーション	0		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] Students will have a greater understanding of their own and other countries' communication styles. They will speak with people of foreign cultures through zoom sessions to practice using more authentic, natural English in conversation.</p> <p>[ 授業概要 ] Students will discuss various topics together and with foreigners in English. They will also write a report and make a presentation about what they learned from speaking with foreigners.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Students will prepare interview questions. They will practice delivering them, and they will prepare reports on what they learned from their foreign partners.</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Orientation, Unit 1: Communication 2. Unit 2: Culture 3. Unit 4: Communicating clearly 4. Unit 5: Culture and values 5. Unit 6: Culture and perception 6. Unit 7: Diversity 7. Unit 8: Stereotypes 8. Unit 9: Culture shock 9. Unit 10: Culture and Change 10. Unit 11: Talking about Japan 11. Unit 12: Becoming a global person 12. Presentation preparation 13. Final presentations</p> <p>** Schedule will change depending on when Zoom sessions with foreigner students can be scheduled.</p>				

科目名	Practical Cross-Cultural Communication	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	J. ファハード		
<p>[ 成績評価方法 ] Class attitude 20%, Interview preparation 10%, interview participation 20%, presentations 20% written reports 30%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will write reports on what they learned from students from different cultures and then have a presentation on the information they compiled over the course of a semester.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, interviews</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: interviews, reports, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: readings, English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: interviews, English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: presentations, reports, interviews</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: readings, English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: interviews, presentations, discussions</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Speaking of Intercultural Communication 著者名: Peter Vincent 出版社: NAN' UN-DO (978-4-523-17840-8)</p>			

S31145 [ LEH3-015 ]

科目名	プレセミナーA	前期	2 単位
サブタイトル	Cross-cultural Communication	演習	
担当者	前田 葵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] The goal of this class is for students to be part of a positive force of globalization.</p> <p>[ 授業概要 ] In this course, students will explore and learn how to communicate with people from all over the world. The influx of culture can enrich us but also cause misunderstandings. How can we communicate with people from different backgrounds? How can we learn to appreciate the differences? How do we respect others? These are some of the questions that must be addressed in this day of age. Every week, we will discuss not only the differences between cultures but also what we learn about ourselves from those differences.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[ 授業計画 ] 1 Communication 2 Cultur 3 Nonverbal Communication 4 Communicating Clearly 5 Culture and Values 6 Culture and Perception 7 Diversity 8 Stereotypes 9 Culture Shock 10 Culture and Change 11 Talking about Japan 12 Becoming a Global Person</p>			

科目名	プレセミナーA	前期	2 単位
サブタイトル	Cross-cultural Communication	演習	
担当者	前田 葵		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation (20%)、Short Assessment (50%) Presentation(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba を通じて講評をフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Speaking of Intercultural Communication 著者名: Peter Vincent 出版社: 南雲堂 (9784523178408)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	プレセミナーA	後期	2 単位
サブタイトル	□Cross-cultural Communication	演習	
担当者	前田 葵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] The goal of this class is for students to be part of a positive force of globalization.</p> <p>[ 授業概要 ] In this course, students will explore and learn how to communicate with people from all over the world. The influx of culture can enrich us but also cause misunderstandings. How can we communicate with people from different backgrounds? How can we learn to appreciate the differences? How do we respect others? These are some of the questions that must be addressed in this day of age. Every week, we will discuss not only the differences between cultures but also what we learn about ourselves from those differences.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[ 授業計画 ] Communication 2 Culture 3 Nonverbal Communication 4 Communicating Clearly 5 Culture and Values 6 Culture and Perception 7 Diversity 8 Stereotypes 9 Culture Shock 10 Culture and Change 11 Talking about Japan 12 Becoming a Global Person 13 Review</p>			

科目名	プレセミナーA	後期	2 単位
サブタイトル	□Cross-cultural Communication	演習	
担当者	前田 葵		
<p>[ 成績評価方法 ] Participation (20%)、Short Assessment (50%) Presentation (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba を通じて講評をフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Speaking of Intercultural Communication 著者名: Peter Vincent 出版社: 南雲堂 (9784523178408)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			



科目名	プレセミナーB	前期	2 単位
サブタイトル	Never Let Me Goを読む	演習	
担当者	西出 良郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 一冊の原書を読み切る喜びを知る</p> <p>[ 授業概要 ] イギリスのノーベル賞作家Kazuo IshiguroのNever Let Me Go(『私を離さないで』)を読みます。原書と翻訳本を比較しながら、小説の英文に親しむことを第一目標とし、翻訳本に見られる和訳技術についても学びます。1990年代末のイギリスで臓器提供者達の世話をする31歳の介護人キャシーは、提供者達の世話をしつつ自分の育ったヘルシヤムにある施設で暮らした奇妙な少女時代や卒業後を回想し、自分達の秘密を紐解いていく物語ですが、映画もあり、また日本でドラマ化されていますので、内容的にはヘヴィーですが、物語自体はわかりやすいと思われず。授業ではポイントとなる場面を選んで読んでいきます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 授業を受ける前にさっと目を通しておくべき部分と、辞書をつかってしっかり調べる部分を指定します。授業では、各パートの読みどころを中心に語彙、文法、文体に注意を払いながら読んでいきます。各回予復習合わせて1-2時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ] 1 作品の概要、予習の仕方の説明 2 Part One (1) 3 Part One (2) 4 Part One (3) 5 Part One (4) 6 Part Two (1) 7 Part Two (2) 8 Part Two (3) 9 Part Two (4) 10 Part Three (1) 11 Part Three (2) 12 Part Three (3) 13 Part Three (4)</p>			

科目名	プレセミナーB	前期	2 単位
サブタイトル	Never Let Me Goを読む	演習	
担当者	西出 良郎		

[ 成績評価方法 ]

- (1)課題30%  
(2)レポート・試験70%

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
manabaやメール等でおこなう

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

科目名	プレセミナーB	後期	2 単位
サブタイトル	Never Let Me Goを読む	演習	
担当者	西出 良郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 一冊の原書を読み切る喜びを知る</p> <p>[ 授業概要 ] イギリスのノーベル賞作家Kazuo IshiguroのNever Let Me Go(『私を離さないで』)を読みます。原書と翻訳本を比較しながら、小説の英文に親しむことを第一目標とし、翻訳本に見られる和訳技術についても学びます。1990年代末のイギリスで臓器提供者達の世話をする31歳の介護人キャシーは、提供者達の世話をしつつ自分の育ったヘルシャムにある施設で暮らした奇妙な少女時代や卒業後を回想し、自分達の秘密を紐解いていく物語ですが、映画もあり、また日本でドラマ化されていますので、内容的にはヘヴィーですが、物語自体はわかりやすいと思われず。授業ではポイントとなる場面を選んで読んでいきます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 授業を受ける前にさっと目を通しておくべき部分と、辞書をつかってしっかり調べる部分を指定します。授業では、各パートの読みどころを中心に語彙、文法、文体に注意を払いながら読んでいきます。各回予復習会わせて1-2時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ] □ 1 作品の概要、予習の仕方の説明 2 Part One (1) 3 Part One (2) 4 Part One (3) 5 Part One (4) 6 Part Two (1) 7 Part Two (2) 8 Part Two (3) 9 Part Two (4) 10 Part Three (1) 11 Part Three (2) 12 Part Three (3) 13 Part Three (4)</p>			

科目名	プレセミナーB	後期	2 単位
サブタイトル	Never Let Me Goを読む	演習	
担当者	西出 良郎		

[ 成績評価方法 ]

(1)課題30%

(2)レポート・試験70%

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
manabaやメール等でおこなう

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

科目名	プレセミナーC	前期	2 単位
サブタイトル	現代演劇の最高傑作 サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』/Waiting for Godot を読み	演習	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文学テキストの精読の仕方を習得する。</li> <li>すぐには理解できないものも、受けとめ、考える「ネガティブ・ケイパビリティ」を身につける。</li> <li>作品がどのような歴史的、社会的、思想的、自伝的背景のもとで書かれたを知る。</li> <li>疑問点を見つけ、そこから論文に展開する方法を学ぶ。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>浮浪者二人があっただけもない「ゴドー」を待ち続ける劇でありながら、20世紀演劇の代表作として知られるサミュエル・ベケットのWaiting for Godot(1952)を、翻訳『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス)を参照しながら読んでいきます。そして様々な観点から、作品に光を当てていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 サミュエル・ベケットの生い立ちを知り、どのような状況からこの作品が生まれたのかを考える。</li> <li>2 『ゴドー』初演1953年に、ジャン・アヌイが『ゴドー』を「喜劇役者が演じるパスカルの『パンセ』と批評したのは、どういう意味か？パスカルの思想にも触れていきます。</li> <li>3 『ゴドー』には、20世紀初頭のサイレント映画の喜劇王チャップリンやキートン、当時のミュージック・ホールの演藝的側面もあることを、見ていきます。</li> <li>4 前衛劇と呼ばれる『ゴドー』ですが、じつは西洋文学の伝統に深く根ざしていることを検証していきます。(文学: 聖書、シェイクスピア、ダンテ、W. B. イェイツ、J. M. シング)</li> <li>5 『ゴドー』の舞台には、西洋絵画の伝統も流れている (マンテーニャ、プリューゲル、ジャック・B・イェイツ)</li> <li>6 『ゴドー』には、第二次世界大戦でパリに住んでいたベケットが、ナチスから逃げて、南フランスに潜伏した記憶も綴られている。</li> <li>7 これらさまざまな背景を知った上で、今、わたしたちは『ゴドー』をどう読むかを議論していきます。</li> </ol> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス)を一読しておくこと。</li> <li>英文テキスト"Waiting for Godot: A Tragicomedy in Two Acts"を毎回予習しておくこと。</li> <li>分からない単語、表現は辞書を引く、台詞のやりとりを理解する。</li> <li>サイレント映画や絵画の影響などを調べ、パワーポイント資料作成。(2時間)</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 サミュエル・ベケットの生い立ちを知る(ダブリンからパリへ、二カ国語作家への道)</li> <li>2 日本語と英語でのテキスト読み合わせ(以後、毎回)。伝統的演劇を知り、『ゴドー』の特異性を考える。</li> <li>3 20世紀初頭のサイレント映画の喜劇王チャップリンやキートン、ミュージック・ホールの影響</li> <li>4 パスカルの『パンセ』と『ゴドー』</li> <li>5 西洋文学の古層、伝統 (聖書、シェイクスピア、ダンテ、W. B. イェイツ、J. M. シング)</li> <li>6 西洋絵画の伝統 (マンテーニャ、プリューゲル、ジャック・B・イェイツ)</li> <li>7 第二次世界大戦、ナチスのパリ占領、レジスタンス運動、南仏ルシヨンでの農作業</li> <li>8 戦後:ベケットの二人組</li> <li>9 ライブニッツの「無窓性」と『ゴドー』のちぐはぐな会話</li> <li>10 待つこと・生きること・死ぬこと:「木の葉のそよぎだ」</li> <li>11 疑問点をあげて議論しよう</li> <li>12 論文の書き方、参考文献を読む</li> <li>13 自分の視点を見つけプレゼンとディスカッション</li> </ol>			

科目名	プレセミナーC	前期	2 単位
サブタイトル	現代演劇の最高傑作サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』/Waiting for Godot を読み	演習	
担当者	森 尚也		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への貢献(30%)、授業内の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  発表へのフィードバックは授業中に行う。レポートはコメントを書き入れたものを返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  『Waiting for Godot: A Tragicomedy in Two Acts』 著者名:Samuel Beckett 出版社:Grove Press (080214442X)  『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス) 著者名:サミュエル・ベケット 出版社:白水Uブックス (4560071837)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  『ベケット大全』 著者名:高橋康也監修 出版社:白水社 (9784870000000)  ベケット伝(上・下) 著者名:ジェームズ・ノウルソン 出版社:白水社 (4560047650)  なぜベケットか 著者名:イノック・ブレイター 出版社:白水社 (4560028559)</p>			

S30284 [ LEH2-009 ]

科目名	プレセミナーD	後期	2 単位
サブタイトル	現代演劇の最高傑作 サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』/Waiting for Godot を読み	演習	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文学テキストの精読の仕方を習得する。</li> <li>すぐには理解できないものも、受けとめ、考える「ネガティブ・ケイバリティ」を身につける。</li> <li>作品がどのような歴史的、社会的、思想的、自伝的背景のもとで書かれたを知る。</li> <li>疑問点を見つけ、そこから論文に展開する方法を学ぶ。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>浮浪者二人があつたこともない「ゴドー」を待ち続ける劇でありながら、20世紀演劇の代表作として知られるサミュエル・ベケットのWaiting for Godot(1952)を、翻訳『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス)を参照しながら読んでいきます。そして様々な観点から、作品に光を当てていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 サミュエル・ベケットの生い立ちを知り、どのような状況からこの作品が生まれたのかを考える。</li> <li>2 『ゴドー』初演1953年に、ジャン・アヌイが『ゴドー』を「喜劇役者が演じるパスカルの『パンセ』と批評したのは、どういう意味か？パスカルの思想にも触れていきます。</li> <li>3 『ゴドー』には、20世紀初頭のサイレント映画の喜劇王チャップリンやキートン、当時のミュージック・ホールの演藝的側面もあることを、見ていきます。</li> <li>4 前衛劇と呼ばれる『ゴドー』ですが、じつは西洋文学の伝統に深く根ざしていることを検証していきます。(文学: 聖書、シェイクスピア、ダンテ、W. B. イエイツ、J. M. シング)</li> <li>5 『ゴドー』の舞台には、西洋絵画の伝統も流れている。(マンテーニャ、プリューゲル、ジャック・B・イエイツ)</li> <li>6 『ゴドー』には、第二次世界大戦でパリに住んでいたベケットが、ナチスから逃げて、南フランスに潜伏した記憶も綴られている。</li> <li>7 これらさまざまな背景を知った上で、今、わたしたちは『ゴドー』をどう読むかを議論していきます。</li> </ol> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス)を一読しておくこと。</li> <li>英文テキスト「Waiting for Godot: A Tragicomedy in Two Acts」を毎回予習しておくこと。</li> <li>分からない単語、表現は辞書を引き、台詞のやりとりを理解する。</li> <li>サイレント映画や絵画の影響などを調べ、パワーポイント資料作成。(2時間)</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 サミュエル・ベケットの生い立ちを知る(ダブリンからパリへ、二カ国語作家への道)</li> <li>2 日本語と英語でのテキスト読み合わせ(以後、毎回)。伝統的演劇を知り、『ゴドー』の特異性を考える。</li> <li>3 20世紀初頭のサイレント映画の喜劇王チャップリンやキートン、ミュージック・ホールの影響</li> <li>4 パスカルの『パンセ』と『ゴドー』</li> <li>5 西洋文学の古層、伝統(聖書、シェイクスピア、ダンテ、W. B. イエイツ、J. M. シング)</li> <li>6 西洋絵画の伝統(マンテーニャ、プリューゲル、ジャック・B・イエイツ)</li> <li>7 第二次世界大戦、ナチスのパリ占領、レジスタンス運動、南仏ルシヨンでの農作業</li> <li>8 戦後:ベケットの二人組</li> <li>9 ライプニッツの「無窓性」と『ゴドー』のちぐはぐな会話</li> <li>10 待つこと・生きること・死ぬこと:「木の葉のそよぎだ」</li> <li>11 疑問点をあげて議論しよう</li> <li>12 論文の書き方、参考文献を読む</li> <li>13 自分の視点を見つけプレゼンとディスカッション</li> </ol>			

科目名	プレセミナーD	後期	2 単位
サブタイトル	現代演劇の最高傑作 サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』/Waiting for Godot を読み	演習	
担当者	森 尚也		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への貢献(30%)、授業内の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  発表へのフィードバックは授業中に行う。レポートはコメントを書き入れたものを返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  『Waiting for Godot: A Tragicomedy in Two Acts』 著者名:Samuel Beckett 出版社:Grove Press (080214442X)  『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス) 著者名:サミュエル・ベケット 出版社:白水Uブックス (4560071837)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  『ベケット大全』 著者名:高橋康也監修 出版社:白水社 (9784870000000)  ベケット伝(上・下) 著者名:ジェームズ・ノウルソン 出版社:白水社 (4560047650)  なぜベケットか 著者名:イノック・ブレイター 出版社:白水社 (4560028559)</p>			

S30285 [ LEH2-010 ]



科目名	プレセミナーH	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

留学に必要な英語運用能力を身につけるとともに、ハワイの事情に精通して多角的なものの見方ができるようにする。

[ 授業概要 ]

[メディア授業]

ハワイの歴史を伝統を知り、英語のベーシックスキルを養ってプログラムが始まった時に戸惑うことなく留学生生活をスタートさせられるように態勢を整える。安全で心身ともに健康な生活が送れるように保険、栄養、心理の各分野の専門家から講義を受け、さらにハワイ大学から派遣されている教員からもオリエンテーションを受けることにより、現在のハワイ(大学・社会・文化を含む)の情報を得る。このように、さまざまな方法で留学準備をしながら、受講生の英語運用能力を高め、自らの考えを英語で発信するとともに説得力のある説明ができるようにする。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

①授業を欠席しない。(時間厳守)②与えられた課題は必ず提出する。③毎日かかさず英語に触れる時間は確保する。各回、予習、復習、課題を合わせて4時間程度。

[ 授業計画 ]

1. ハワイセメスター留学の概要について
2. 自己紹介の仕方
3. 寮・大学の規律・日常生活について
4. Placement Testを意識した勉強方法とは
5. メンタルチェック(リスク・マネージメント)
6. 渡航手続き・危機管理について
7. 食と健康について
8. 体の安全と衛生について
9. ハワイについて書かれた本を読みレポートを提出
10. ファハード先生によるオリエンテーション
11. スピーチ原稿の作成
12. スピーチの練習
13. 結団式

科目名	プレセミナーH	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	J. ファハード		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の取り組み(40%)、レポート(40%)、発表(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

S30311 [ LEH2-011 ]

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	言語学の研究課題	演習	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語学(英語学)の研究トピックにどのようなものがあるかを理解する。</li> <li>・関連する文献を読み込む能力を養う。</li> <li>・各自、卒業論文につながる具体的な研究テーマを発見する。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>言語学(英語学)の諸分野が扱う研究課題について、文法や意味を対象としたもの等を中心に概観し、自らの興味のある研究テーマの発見とその分析方法の習得へとつなげる。</p> <p>学期の前半では、各回で取り上げる研究分野の基本的事項を教員が解説し、関連する文献を紹介する。また、各回のトピックにそってどんな研究テーマが立てられるかを、個人またはグループで検討し、発表する。これにより、テーマを具体的に絞る方法を学び、他者のアイデアから自らの興味を広げていく。</p> <p>学期の後半では、実際に卒業論文で扱うテーマを具体的に各自で検討し始め、それに沿った参考文献を入手、読解を始める。適宜、テーマの絞り方や文献の入手方法等、教科書を用いながら確認していく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>予習: 各回に取り上げる研究分野に関連して事前に調査し、興味深いと思う研究テーマをあらかじめ考えておく。</p> <p>復習: 配布資料や講義内容を振り返り、理解を深めておく。</p> <p>※各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに: 自己紹介・本セミナーについて・言語学の諸分野の紹介</li> <li>2. 英語の音声、音韻: 日英語の違いと共通点</li> <li>3. 単語の構造: 単語の内部構造と意味</li> <li>4. 文法的な文と非文的な文の分析: さまざまな構文とその規則</li> <li>5. 認知と意味: ことばの意味の広がり(前置詞の意味、比喩表現)</li> <li>6. 文脈と意味: 直接的な意味と言外の意味</li> <li>7. 言語のバリエーション: 多様な日本語、英語</li> <li>8. 論文の構成を知る 教科書Ch.1「論文の構成の考え方」</li> <li>9. テーマの検討(1): キーワードを集めて整理する 教科書Ch.2「問う一目的」</li> <li>10. テーマの検討(2): テーマを具体化して絞る</li> <li>11. 参考文献の入手 教科書Ch.3「調べる一先行研究」</li> <li>12. 参考文献の読解・要約</li> <li>13. まとめ: 検討中のテーマと関連文献の内容の発表</li> </ol>			

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	言語学の研究課題	演習	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み (30%)、授業中の発表 (30%)、レポート (40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  グループワークや発表に対するフィードバックは授業中におこなう。レポートは添削と講評を書いて返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  論文・レポートの基本 著者名:石黒圭 出版社:日本実業出版社 (978-4534049278)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  授業中に適宜紹介する。</p>			

S30584 [ LEH3-008 ]

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	「新しい女」の出現	演習	
担当者	野末 紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究方法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

イギリス19世紀末にあらわれた「新しい女」の文学的表象について、現代的観点から考察する。前半では、ヴィクトリア朝の、おもに中産階級のジェンダー規範にかんする代表的な言説(ラスキンほか)を読んだのち、「新しい女」の登場する社会的背景について文献により理解する。そのあと、規範からの解放を求める女たちの姿を描いたギッシングの長篇小説の一部を読む。毎回、受講生はレジユメを作成し報告する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はレジユメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講生も指定された箇所を精読してくる。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. イントロダクション
2. ラスキンの『胡麻と百合』より(1)
3. ラスキンの『胡麻と百合』より(2)
4. サラ・ルイス『女性の使命』
5. サラ・エリス『イングランドの女性』
6. 「新しい女」の登場(1)
7. 「新しい女」の登場(2)
8. 「新しい女」の登場(3)
9. ギッシング『余った女たち』(1)
10. ギッシング『余った女たち』(2)
11. ギッシング『余った女たち』(3)
12. ギッシング『余った女たち』(4)
13. まとめと展望、レポート作成のためのアドバイス

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	「新しい女」の出現	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(20%)、授業中の発表(20%)、期末レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題のフィードバックはmanabaを利用して行なう</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  プリント配布(manabaへの掲載をふくむ)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  『(新しい女たちの)世紀末』 著者名:川本静子 出版社:みすず書房 (978-4622046769)  『(新しい女)の系譜』 著者名:武田美保子 出版社:彩流社 (978-4882028161)</p>			

S30585 [ LEH3-008 ]

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。</p> <p>[授業概要] アメリカ文学の味わい方について、作品を読んだり映画を見たりして考え、アメリカの文化や社会、歴史に親しむ。最初に代表的なアメリカ文学作品を紹介し、さらに自分の選んだアメリカ文学の作品についてリサーチし発表しながら卒業論文のテーマを決める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の担当者はレジュメを用意し、発表の準備をする。各回、予習復習あわせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション/課題と発表について説明 2. アメリカについてー歴史を概観する 3. アメリカについてーその社会 4. アメリカ文学の代表的な作品を紹介する 5. アメリカ文学の代表的な作品を紹介する 6. 映画大国アメリカ 映画化されたアメリカ文学作品 7. 映画大国アメリカ 映画化されたアメリカ文学作品 8. 映画大国アメリカ 映画化されたアメリカ文学作品 9. アメリカ文学作品についてリサーチする 10. アメリカ文学作品についてリサーチする 11. 作品を選び発表する 12. 作品を選び発表する 13. まとめ</p>			

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元 敦子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み (30%)、授業中の発表 (30%)、レポート (40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業内で実施し、マナバでもおこないます。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  The Glass Menagerie 著者名:Tennessee Williams 出版社:New Directions (9780810000000)  プリント配布</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  授業で指示します</p>			

S30587 [ LEH3-008 ]



科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	人魚の物語—ギリシャ神話から最近の映画まで	演習	
担当者	木村 恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

人魚というのはどういった生き物なのだろうか。ギリシャ神話やホメロスの『オデュッセイア』の中では、半人半鳥でセイレーンと呼ばれている。それは海岸に生息する生き物であることから時代を経て半身半魚の人魚へと形が変容していく。その特性として、美しい歌声をもって船員を惑わせ没我状態にし、船を遭難させたり、船員を海底まで引きずり込み、命を奪うことがあげられる。

人魚は人間とは違う異形の生き物である。この生き物が人間に恋愛感情を抱いた場合どうなるのだろうか？古来より語り継がれてきた人魚の物語は、悲劇で終わることと決まっていた。人魚は地上では生きれないし、人間は海中では生きれないのだ。有名なアンデルセンの「人魚姫」の末路は昔からの異類婚のむずかしさを踏襲している。

そんな悲恋、悲劇の物語をハッピーエンドの物語へと変えたのはディズニーである。このようにハッピーエンドに変えた理由は何か。またその終わり方によってこれまで語り継がれてきた視点がひっくり返されたことになる。そのことで何が得られ、何が失われたのだろうか？

20世紀以降も人魚は様々なかたちで描かれるようになった。なぜ私達はこの人魚という異形の生き物にこも惹きつけられるのだろうか？

授業では、まず人魚(セイレーン)の誕生の史的背景を踏まえ、アンデルセンやフーク、ジロウの物語への展開をたどる。そして『リトル・マーメイド(アニメ版)』(Little Mermaid)(1989)を取り上げ、それが30年を経て『リトル・マーメイド(実写版)』(2023)で軸軸は同じながらもその主題がどのように変化したかを考察する。さらに『バイレーツ・オブ・カリビアン/生命(いのち)の泉』(Pirates of the Caribbean: On Stranger Tides)(2011)を取り上げ、ファム・ファタールの側面を持つ人魚に焦点をあてて分析を試みる。いくなればこの作品に登場する人魚達が古典を正統に受け継いだものともいえる。さらに『崖の上のポニョ』(2008)や『シェイプ・オブ・ウォーター』(2017)というそれまでの人魚像をくつがえす存在の登場に時代の影響を見る。

他に参照するのは以下の映画である:『スプラッシュ』(1984)、『愛しのアクアマリン』(Aquamarine)(2006)、『PAN ～ネーバーランド、夢のはじまり～』(2015)、『ゆれる人魚』(2015)、『人魚姫』(2016)。こうした映画を通して人魚が現代人に訴えてくるものとは何なのかをみんなと考えていきたいと思う。

なお同時に卒論に向けて論文の書き方の指導も行っているので授業ではコンピュータも使用します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読しておくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. イントロダクション。
2. 人魚はどのようにして生まれたのか？
3. 人魚関連の映画を観て分析をする。
4. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
5. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
6. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
7. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
8. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
9. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
10. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
11. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
12. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
13. 全体のまとめ

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	人魚の物語—ギリシャ神話から最近の映画まで	演習	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ドライブを共有設定にして課題をチェックし、レポート提出ごとに添削します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  授業時に指示する。</p>			

S30588 [ LEH3-008 ]

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学に見る結婚	演習	
担当者	西出 良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究方法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

イギリスの詩、演劇、小説を取り上げ、そこに描かれる男たちや女たちの生き方を探ること  
で、イギリスの社会、文化、歴史、ジェンダー観について学びます。前期はジェイン・オースティン『高慢と偏見』をじっくり読みます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はシユメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講生も指定された箇所を精読してくること。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. イントロダクション
2. 『高慢と偏見』1
3. 『高慢と偏見』2
4. 『高慢と偏見』3
5. 『高慢と偏見』4
6. 『高慢と偏見』5
7. 『高慢と偏見』6
8. 『高慢と偏見』7
9. 『高慢と偏見』8
10. 『高慢と偏見』9
11. 『高慢と偏見』10
12. 『高慢と偏見』11
13. まとめ

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学に見る結婚	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み (30%)、授業中の発表 (30%)、レポート (40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  プリント配布</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし</p>			

S30589 [ LEH3-008 ]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	研究課題の発見と研究の実践	演習	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前期で学んだ内容を参考に、各自、卒業論文につながる具体的な研究テーマを立てる。</li> <li>各自の研究テーマに関連する文献を批判的に読む力を養う。</li> <li>論文にふさわしい構成と表現を学び、自ら実践する。</li> <li>課題を発見する力とそれに対して情報収集して分析する力、および問題を解決に導く力を養う。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、前期に学んだ内容を踏まえて自らが卒業論文で取り組みたい研究課題を立て、次年度の卒業論文執筆にむけた下準備を進める。そのために、研究に必要な文献の読み方、インタビューやコーパス等のデータベースをもとにした言語資料の収集方法を学び、入手した資料を客観的に分析する。自ら考察した内容は授業内で随時発表し、議論を通じて考察をさらに深める訓練を行ったうえで、説得力があり且つ論理的な構成を備えたレポートの形にまとめる。各自の研究テーマに沿って調査を進めるのと同時に、前期に引き続き教科書を用いながら、論文やレポートにふさわしい構成および文体についても学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>予習:教科書の該当箇所を精読しておく。発表担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。  復習:各回の授業で各自で発見した課題に取り組み、期末レポートに向けた調査を進めること。  ※各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめに:前期の振り返り、後期の計画、発表担当の決定</li> <li>研究テーマの発表・修正、研究計画の立案</li> <li>必要な調査の検討と準備 教科書Ch.4、5「選ぶ一資料と方法」「確かめる一結果と分析」</li> <li>調査の実施</li> <li>調査結果の分析・考察 教科書Ch.6、7「裏付ける一考察」「まとめる一結論」</li> <li>これまでの進捗報告会</li> <li>論文の作成(1):構成の検討 教科書Ch.10「正確な言葉選び」</li> <li>論文の作成(2):研究で明らかにしたい問い・関連する先行研究のレビュー 教科書Ch.11「正確な表記」</li> <li>論文の作成(3):調査方法とその結果 教科書Ch.12「論文専用の表現」</li> <li>論文の作成(4):考察 教科書Ch.13「論文の文体」</li> <li>論文の作成(5):導入および結論の仕上げ</li> <li>ピアレビュー(受講生どうして論文を批判的に読み合う)</li> <li>これまでの研究内容の発表会</li> </ol>			

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	研究課題の発見と研究の実践	演習	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  発表に対するフィードバックは授業中におこなう。レポートは添削と講評を書いて返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  論文・レポートの基本 著者名:石黒圭 出版社:日本実業出版社 (978-4534049278)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  授業中に適宜紹介する。</p>			

S30604 [ LEH3-009 ]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2単位
サブタイトル	「新しい女」の表象	演習	
担当者	野末 紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

後期では、「神経病の女」をめぐる当時の医学的言説の問題を確認したのち、「新しい女」が表象されたいくつかの短篇をトピックに分けて精読する。読解と考察を通じて、各自、卒論で取上げる作品をひろく探す一助としてほしい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読してくる。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. 「神経病の女」にかんする医学的言説
2. 「新しい女」にかんする医学的言説
3. C・P・ギルマン「黄色い壁紙」——「病む女」(1)
4. C・P・ギルマン「黄色い壁紙」——「病む女」(2)
5. G・エジャートン「交差線」——「踊る女」
6. G・エジャートン「交差線」——「囁む女」
7. G・エジャートン「交差線」——母性をめぐる嫌悪と愛着
8. G・エジャートンの他の短篇——「釣りをする女」「街を歩く女」
9. O・ワイルド『サロメ』——「踊る女」
10. O・ワイルド『サロメ』——「囁む女」
11. O・シュライナーの短篇(1)
12. O・シュライナーの短篇(2)
13. まとめと展望、レポート作成のためのアドバイス

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	「新しい女」の表象	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業への取り組み(20%)、授業中の発表(20%)、レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 資料配布(webへの掲載をふくむ)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

S30605 [ LEH3-009 ]



科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。</p> <p>[授業概要] アメリカ文学の味わい方について、作品を読んだり映画を見たりして考え、アメリカの文化や社会、歴史に親しむ。代表的なアメリカ文学作品を紹介し、さらに自分の選んだアメリカ文学の作品についてリサーチし発表しながら卒業論文のテーマを決める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 後期は選んだ作品に関してリサーチし論文の構成を決める。各回、予習復習あわせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. 後期の課題について説明 2. 選んだ作品について発表する/リサーチの方法 3. 選んだ作品についてテーマを決める/リサーチの方法 4. 選んだ作品についてテーマを決める/アメリカの文化・社会について考える 5. 互いの作品とテーマに関するディスカッションをする 6. 論文の構成について 7. 論文の構成について 8. 構成を決める 9. 構成を決める 10. 構成を決めて論文を書く 11. 構成を決めて論文を書く 12. 発表と批評 13. まとめ</p>			

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元 敦子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業内、マナバ等</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 授業で指示します プリント配布</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 授業で指示します</p>			

S30607 [ LEH3-009 ]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	人魚の物語—ギリシャ神話から最近の映画まで	演習	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。</p> <p>[授業概要] 人魚というのはどうい生き物なのだろうか。ギリシャ神話やホメロスの『オデュッセイア』の中では、半人半鳥でセイレーンと呼ばれている。それは海岸に生息する生き物であることから時代を経て半身半魚の人魚へと形が変容していく。その特性として、美しい歌声をもって船員を惑わせ没我状態にし、船を遭難させたり、船員を海底まで引きずり込み、命を奪うことがあげられる。 人魚は人間とは違う異形の生き物である。この生き物が人間に恋愛感情を抱いた場合どうなるのだろうか？古来より語り継がれてきた人魚の物語は、悲劇で終わることと決まっていた。人魚は地上では生きれないし、人間は海中では生きれないのだ。有名なアンデルセンの「人魚姫」の末路は昔からの異類婚のむずかしさを踏襲している。 そんな悲恋、悲劇の物語をハッピーエンドの物語へと変えたのはディズニーである。このようにハッピーエンドに変えた理由は何か。またその終わり方によってこれまで語り継がれてきた視点がひっくり返されたことになる。そのことで何が得られ、何が失われたのだろうか？ 20世紀以降も人魚は様々なかたちで描かれるようになった。なぜ私達はこの人魚という異形の生き物にこも惹きつけられるのだろうか？ 授業では、まず人魚(セイレーン)の誕生の史的背景を踏まえ、アンデルセンやフーク、ジロウの物語への展開をたどる。そして『リトル・マーメイド(アニメ版)』(Little Mermaid)(1989)を取り上げ、それが30年を経て『リトル・マーメイド(実写版)』(2023)で基軸は同じながらもその主題がどのように変化したかを考察する。さらに『バイレーツ・オブ・カリビアン/生命(いのち)の泉』(Pirates of the Caribbean: On Stranger Tides)(2011)を取り上げ、ファム・ファタールの側面を持つ人魚に焦点をあてて分析を試みる。いふなればこの作品に登場する人魚達が古典を正統に受け継いだものともいえる。さらに『崖の上のポニョ』(2008)や『シェイプ・オブ・ウォーター』(2017)というそれまでの人魚像をくつがえす存在の登場に時代の影響を見る。 他に参照するのは以下の映画である:『スプラッシュ』(1984)、『愛しのアクアマリン』(Aquamarine)(2006)、『PAN ～ネーバーランド、夢のはじまり～』(2015)、『ゆれる人魚』(2015)、『人魚姫』(2016)。こうした映画を通して人魚が現代人に訴えてくるものとは何なのかをみんなと考えていきたいと思う。 なお同時に卒論に向けて論文の書き方の指導も行っているので授業ではコンピュータも使用します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読しておくこと。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション。 2. 人魚はどのようにして生まれたのか？ 3. 人魚関連の映画を観て分析をする。 4. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。 5. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。 6. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。 7. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。 8. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。 9. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。 10. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。 11. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。 12. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。 13. 全体のまとめ</p>			

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	人魚の物語—ギリシャ神話から最近の映画まで	演習	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ドライブを共有設定にして課題をチェックし、レポート提出ごとに添削します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  授業時に指示する。</p>			

S30608 [ LEH3-009 ]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	卒論のテーマを見つける	演習	
担当者	西出 良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

各自が卒論で取り上げる作品を探す。

映画を見て面白そうと感じたら、最初は翻訳で良いのでその作品を最後まで読んでみる。そして、気になる点、面白いと思った点をノートに書き出してみ、四年時に作成する卒業論文の材料にする。時代背景を調べていくと、登場人物の行動やセリフに込められた新しい意味が浮かび上がり、なるほどそういうことか、という気づきが得られる。歴史も文化も社会も、日本とは大きく異なるイギリスだが、女や男が抱く希望、不安、喜び、悲しみは、私たちにも十分に理解・共感できる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読してこよう。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. フロンテ姉妹の男女(3)
2. ディケンズの男女(1)
3. ディケンズの男女(2)
4. ディケンズの男女(3)
5. ワイルドの男女(1)
6. ワイルドの男女(2)
7. ワイルドの男女(3)
8. ショーの男女(1)
9. ショーの男女(2)
10. チャーチルの男女(1)
11. チャーチルの男女(2)
12. ミュージカル
13. 児童文学

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	卒論のテーマを見つける	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  プリント配布</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし</p>			

S30609 [ LEH3-009 ]

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。</p> <p>[ 授業概要 ] アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということが多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通じ、アメリカ人というものの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 次週取り上げるテキストの範囲を事前に読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 19世紀の文学について(1)。</li> <li>2. 19世紀の文学について(2)。</li> <li>3. ジャズ・エイジについて。</li> <li>4. ハーレム・ルネサンスについて。</li> <li>5. ゾラ・ニール・ハーストンを中心に。</li> <li>6. ネラ・ラーセンを中心に。</li> <li>7. ロスト・ジェネレーションについて。</li> <li>8. アーネスト・ヘミングウェイを中心に。</li> <li>9. モダニズムの作家たちについて。</li> <li>10. サザンルネサンスについて。</li> <li>11. ウィリアム・フォークナーを中心に。</li> <li>12. 危機の文学について。</li> <li>13. 南部ゴシックについて。</li> </ol>			

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9784270000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『アメリカ文学案内』 著者名:寺田泰彦ほか 出版社:朝日出版社 (9784260000000)</p>			



科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。</p> <p>[ 授業概要 ] アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通じ、アメリカ人というものの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 次週取り上げるテキストの範囲を事前に読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 19世紀の文学について(1)。</li> <li>2. 19世紀の文学について(2)。</li> <li>3. ジャズ・エイジについて。</li> <li>4. ハーレム・ルネサンスについて。</li> <li>5. ゾラ・ニール・ハーストンを中心に。</li> <li>6. ネラ・ラーセンを中心に。</li> <li>7. ロスト・ジェネレーションについて。</li> <li>8. アーネスト・ヘミングウェイを中心に。</li> <li>9. モダニズムの作家たちについて。</li> <li>10. サザンルネサンスについて。</li> <li>11. ウィリアム・フォークナーを中心に。</li> <li>12. 危機の文学について。</li> <li>13. 南部ゴシックについて。</li> </ol>			

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9784270000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『アメリカ文学案内』 著者名:寺田泰彦ほか 出版社:朝日出版社 (9784260000000)</p>			

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。</p> <p>[ 授業概要 ] アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通じ、アメリカ人というものの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 次週取り上げる範囲のテキストの部分をあらかじめ読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ユダヤ系アメリカ作家について(1)。</li> <li>ユダヤ系アメリカ作家について(2)。</li> <li>アフリカ系アメリカ作家について(1)。</li> <li>アフリカ系アメリカ作家について(2)。</li> <li>劇作家について(1)。</li> <li>劇作家について(2)。</li> <li>中国系・日系アメリカ作家について(1)。</li> <li>中国系・日系アメリカ作家について(2)。</li> <li>ネイティブ・アメリカ作家について。</li> <li>現代詩人について(1)。</li> <li>現代詩人について(2)。</li> <li>アメリカで花開いたミュージカルについて。</li> <li>21世紀の作家について。</li> </ol>			

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9784270000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『アメリカ文学案内』 著者名:寺門泰彦ほか 出版社:朝日出版社 (9784260000000)</p>			

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。</p> <p>[ 授業概要 ] アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通じ、アメリカ人というものの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 次週取り上げる範囲のテキストの部分をおらかじめ読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ユダヤ系アメリカ作家について(1)。</li> <li>ユダヤ系アメリカ作家について(2)。</li> <li>アフリカ系アメリカ作家について(1)。</li> <li>アフリカ系アメリカ作家について(2)。</li> <li>劇作家について(1)。</li> <li>劇作家について(2)。</li> <li>中国系・日系アメリカ作家について(1)。</li> <li>中国系・日系アメリカ作家について(2)。</li> <li>ネイティブ・アメリカ作家について。</li> <li>現代詩人について(1)。</li> <li>現代詩人について(2)。</li> <li>アメリカで花開いたミュージカルについて。</li> <li>21世紀の作家について。</li> </ol>			

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9784270000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『アメリカ文学案内』 著者名:寺門泰彦ほか 出版社:朝日出版社 (9784260000000)</p>			

科目名	米文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学をゴシックの視点から見る。</p> <p>[授業概要] ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていたのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いうなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるテキストの範囲を読んできてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1 ゴシック小説の誕生について 2 イギリスにおけるゴシック小説(1) 3 イギリスにおけるゴシック小説(2) 4 イギリスにおけるゴシック小説(3) 5 アメリカンゴシックが生まれた背景 6 インディアンが存在 7 ピューリタニズムの影 8 魔女狩り 9 コットン・マザー 10 フロンティアの恐怖 11 アメリカゴシック小説の誕生—チャールズ・ブロックデン・ブラウン 12 エドガー・アラン・ポー (1) 13 エドガー・アラン・ポー (2)</p>			

科目名	米文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9780000000000)</p>			



科目名	米文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] アメリカ文学をゴシックの視点から見る。			
[授業概要] ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていたのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いうなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるテキストの範囲を読んできてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度			
[授業計画] 1 ゴシック小説の誕生について 2 イギリスにおけるゴシック小説(1) 3 イギリスにおけるゴシック小説(2) 4 イギリスにおけるゴシック小説(3) 5 アメリカンゴシックが生まれた背景 6 インディアンが存在 7 ピューリタニズムの影 8 魔女狩り 9 コットン・マザー 10 フロンティアの恐怖 11 アメリカゴシック小説の誕生—チャールズ・ブロックデン・ブラウン 12 エドガー・アラン・ポー (1) 13 エドガー・アラン・ポー (2)			

科目名	米文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9780000000000)</p>			

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学をゴシックの視点から見る。</p> <p>[授業概要] ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていたのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いふなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるテキストの範囲をあらかじめ読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1 イントロダクション。授業計画、成績評価方法等の説明。前期の復習。 2 ナサニエル・ホーソーン (1) 3 ナサニエル・ホーソーン (2) 4 ヘンリー・ジェイムズ (1) 5 ヘンリー・ジェイムズ (2) 6 南部ゴシックについて(1) 7 南部ゴシックについて(2) 8 南部ゴシックについて(3) 9 黒人ゴシックについて 10 女性ゴシックについて(1) 11 女性ゴシックについて(2) 12 モダン・ゴシックについて(1) 13 モダン・ゴシックについて(2)</p>			

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。 著者名:</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『アメリカ文学案内』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9780000000000)</p>			

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学をゴシックの視点から見る。</p> <p>[授業概要] ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていたのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いふなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるテキストの範囲をあらかじめ読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1 イントロダクション。授業計画、成績評価方法等の説明。前期の復習。 2 ナサニエル・ホーソーン (1) 3 ナサニエル・ホーソーン (2) 4 ヘンリー・ジェイムズ (1) 5 ヘンリー・ジェイムズ (2) 6 南部ゴシックについて(1) 7 南部ゴシックについて(2) 8 南部ゴシックについて(3) 9 黒人ゴシックについて 10 女性ゴシックについて(1) 11 女性ゴシックについて(2) 12 モダン・ゴシックについて(1) 13 モダン・ゴシックについて(2)</p>			

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし。  著者名:</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  『アメリカ文学案内』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9784270000000)</p>			

科目名	Basic Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。

[ 授業概要 ]

様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、ブログや手紙、Eメール、民話、伝記、様々な場所についての紹介文など様々な形態の英文を書く作業を行う。また、フォーマルな英文とそうでない英文の違いについても着目しながら英語を書く演習を行う。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework.  
各回、予習復習合わせて2時間程度

[ 授業計画 ]

第1回:オリエンテーション、ブログの文面作成  
 第2回:ブログの文面作成 発表・討論と書き直し  
 第3回:旧友への手紙、Eメールの作成  
 第4回:旧友への手紙、Eメールの作成 発表・討論と書き直し  
 第5回:民話の作成  
 第6回:民話の作成 発表・討論と書き直し  
 第7回:民話について議論  
 第8回:学習した表現の復習、中間試験  
 第9回:自分の好きな場所についての紹介文作成  
 第10回:自分の好きな場所についての紹介文作成 発表・討論と書き直し  
 第11回:心配事の原因についての小論文作成  
 第12回:心配事の原因についての小論文作成 発表・討論と書き直し  
 第13回:まとめ  
 期末試験

科目名	Basic Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[ 成績評価方法 ]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ 教科書 (ISBN) ]

Effective Academic Writing 1 (2nd Edition) Student Book with Online Practice 著者名: By Alice Savage and Masoud Shafiei  
出版社: Oxford University Press. (9780000000000)

[ 参考書 (ISBN) ]

なし 著者名: None 出版社: None



科目名	Basic Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。

[ 授業概要 ]

様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、ブログや手紙、Eメール、民話、伝記、様々な場所についての紹介文など様々な形態の英文を書く作業を行う。また、フォーマルな英文とそうでない英文の違いについても着目しながら英語を書く演習を行う。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework.  
各回、予習復習合わせて2時間程度

[ 授業計画 ]

第1回:オリエンテーション、ブログの文面作成  
 第2回:ブログの文面作成 発表・討論と書き直し  
 第3回:旧友への手紙、Eメールの作成  
 第4回:旧友への手紙、Eメールの作成 発表・討論と書き直し  
 第5回:民話の作成  
 第6回:民話の作成 発表・討論と書き直し  
 第7回:民話について議論  
 第8回:学習した表現の復習、中間試験  
 第9回:自分の好きな場所についての紹介文作成  
 第10回:自分の好きな場所についての紹介文作成 発表・討論と書き直し  
 第11回:心配事の原因についての小論文作成  
 第12回:心配事の原因についての小論文作成 発表・討論と書き直し  
 第13回:まとめ  
 期末試験

科目名	Basic Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[ 成績評価方法 ]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

Students will submit a draft by email, which will be returned by the teacher with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will then submit a second draft for evaluation, which will be given by email and as oral comments to the group as a whole.

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

Effective Academic Writing 1 (2nd Edition) Student Book with Online Practice 著者名: By Alice Savage and Masoud Shafiei

出版社: Oxford University Press. (9780190000000)

[ 参考書(ISBN) ]

なし 著者名: None 出版社: None

科目名	Basic Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]  様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、人物紹介文、物語、エッセー、有名な街の紹介文、親しい間柄のEメール、感謝を表すEメールなど様々な形態の英文を書く作業を行う。また、様々な語彙や表現を用いながら英語を書くことに重点を置く。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.  各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  第1回: 人物紹介作成  第2回: 人物紹介作成 発表・討論と書き直し  第3回: 物語作成  第4回: 物語作成 発表・討論と書き直し  第5回: 特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー  第6回: 特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー 発表・討論と書き直し  第7回: クラス内でのエッセー発表会  第8回: 学習した表現の復習、中間試験  第9回: 有名な街の紹介文作成  第10回: 有名な街の紹介文作成 発表・討論と書き直し  第11回: 親しい間柄のEメール作成  第12回: 親しい間柄のEメール作成 発表・討論と書き直し  第13回: まとめ  期末試験</p>			

科目名	Basic Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: book discussion, book reviews, m-reader</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: book discussion, m-reader</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: m-reader tests, assignments, reading tests</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: m-reader, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: class discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: class discussions, book reviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: class discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, book reviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: class discussions</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Effective Academic Writing 1 (Second Edition) 著者名: Alice savage and Masoud Shafiei 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472588-0 ) American Headway 2: Workbook (Third Edition) by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0 )</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし 著者名: None 出版社: none</p>			

S30052 [ LEH1-006 ]

科目名	Basic Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。</p> <p>[ 授業概要 ]  様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、人物紹介文、物語、エッセー、有名な街の紹介文、親しい間柄のEメール、感謝を表すEメールなど様々な形態の英文を書く作業を行う。また、様々な語彙や表現を用いながら英語を書くことに重点を置く。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.  各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  第1回: 人物紹介作成  第2回: 人物紹介作成 発表・討論と書き直し  第3回: 物語作成  第4回: 物語作成 発表・討論と書き直し  第5回: 特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー  第6回: 特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー 発表・討論と書き直し  第7回: クラス内でのエッセー発表会  第8回: 学習した表現の復習、中間試験  第9回: 有名な街の紹介文作成  第10回: 有名な街の紹介文作成 発表・討論と書き直し  第11回: 親しい間柄のEメール作成  第12回: 親しい間柄のEメール作成 発表・討論と書き直し  第13回: まとめ  期末試験</p>			

科目名	Basic Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[ 成績評価方法 ]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

Students will submit a draft by email, which will be returned by the teacher with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will then submit a second draft for evaluation, which will be given by email and as oral comments to the group as a whole.

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ 教科書 (ISBN) ]

Effective Academic Writing 1 (Second Edition) 著者名: Alice savage and Masoud Shafiei 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472588-0 )

American Headway 2: Workbook (Third Edition) by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0 )

[ 参考書 (ISBN) ]

なし 著者名: None 出版社: none

科目名	翻訳演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 字幕という字数の限られた翻訳を理解する。</p> <p>[ 授業概要 ] 英米を舞台とした映画を題材に、そのスクリプトを読み、字幕翻訳の仕方を学ぶ。ナレーション、会話特有の表現にも留意し、作品の文化的歴史的背景も考慮しながら翻訳を試みる。また自分の翻訳と実際の字幕との違いについても考えてみる。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 次週取り上げるスクリプトの部分を事前に読み、辞書を引いておいてください。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション(授業計画、成績評価方法の説明等)。スクリプト配布し、概要を説明する。</li> <li>2. 映画を見る。あらすじをたどる。</li> <li>3. 映画の歴史的・文化的背景を見る。登場人物に焦点を当てる。</li> <li>4. 映画を英語字幕入りで見ると見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。①</li> <li>5. 映画を英語字幕入りで見ると見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。②</li> <li>6. 映画を英語字幕入りで見ると見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。③</li> <li>7. 映画を英語字幕入りで見ると見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。④</li> <li>8. 映画を英語字幕入りで見ると見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑤</li> <li>9. 映画を英語字幕入りで見ると見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑥</li> <li>10. 映画を英語字幕入りで見ると見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑦</li> <li>11. 映画を英語字幕入りで見ると見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑧</li> <li>12. 映画を英語字幕入りで見ると見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑨</li> <li>13. 全体のまとめ</li> </ol>			

科目名	翻訳演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(30%)、課題(50%)、試験(20%)で評価。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  書かれた訳に誤訳があった場合、どこが間違っているかを指摘します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし 著者名:なし。 出版社:x (x)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし 著者名:x 出版社:x (x)</p>			



科目名	翻訳演習Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 字幕という字数の限られた翻訳を理解する。</p> <p>[授業概要] アメリカを舞台とした映画を題材に、そのスクリプトを読み、字幕翻訳の仕方を学ぶ。ナレーション、会話特有の表現にも留意し、作品の文化的歴史的背景も考慮しながら翻訳を試みる。また自分の翻訳と実際の字幕との違いについても考えてみる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週扱う予定のスクリプトの範囲を読み、あらかじめ意味のわからない単語の意味を調べておいてください。各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション(授業計画、成績評価方法の説明等)。スクリプト配布し、概要を説明する。 2. 映画を見る。あらすじをたどる。 3. 映画の歴史的・文化的背景を見る。登場人物に焦点を当てる。 4. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。① 5. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。② 6. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。③ 7. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。④ 8. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑤ 9. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑥ 10. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑦ 11. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑧ 12. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑨ 13. 全体のまとめ</p>			

科目名	翻訳演習Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村 恵子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み(30%)、課題(50%)、試験(20%)で評価。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  書かれた訳に誤訳があった場合、どこが間違っているかを指摘します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし 著者名:x 出版社:x (x)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし 著者名:x 出版社:x (x)</p>			

科目名	Media English I	前期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] おとぎ話の過去から現代への変容を知る。</p> <p>[ 授業概要 ] この授業では、ヨーロッパにおいて語り継がれたおとぎ話が現在どのように映画で表象されているかについて考察する。中心として扱うおとぎ話は、「白雪姫」、「シンデレラ」、「眠れる森の美女」である。授業では実際に映画を見て、時代を経るにつれ、おとぎ話がどのように変容していているかを理解してもらう。またディスカッションを通して他の学生の意見を聞くことによって自分の考えを深めてもらう。精神分析的視点、ジェンダー的視点、歴史的視点、カルチュラル的視点からの解説も行う予定である。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 毎回ノートを取り、ドライブに保存してください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「白雪姫」—グリム童話を読む。</li> <li>2 「白雪姫」—アニメ映画を見て考察。</li> <li>3 「白雪姫」—映画分析。グリム童話との比較。</li> <li>4 「白雪姫」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。</li> <li>5 「白雪姫」—意志を持ち、戦う白雪姫の映画を見て考察。</li> <li>6 「白雪姫」—映画分析。現代人の求める白雪姫象とは？</li> <li>7 「白雪姫」—ディスカッション。「シンデレラ」、「眠れる森の美女」との比較。</li> <li>8 「白雪姫」—コメディタッチの映画を見て考察。</li> <li>9 「白雪姫」—映画分析。現代人の求める白雪姫象とは？</li> <li>10 「白雪姫」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。</li> <li>11 「白雪姫」—「白雪姫」がベースになっている映画を見て考察。</li> <li>12 「白雪姫」—映画分析。どういうモチーフが白雪姫と結びつけられるのか？</li> <li>13 「白雪姫」—ディスカッション。「シンデレラ」、「眠れる森の美女」との比較。</li> </ol>			

科目名	Media English I	前期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村 恵子		

[ 成績評価方法 ]

授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

提出された課題に対して講評します。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

科目名	Media English II	後期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] おとぎ話の過去から現代への変容を知る。</p> <p>[授業概要] この授業では、ヨーロッパにおいて語り継がれたおとぎ話が現在どのように映画で表象されているかについて考察する。中心として扱うおとぎ話は、「白雪姫」、「シンデレラ」、「眠れる森の美女」である。授業では実際に映画を見て、時代を経るにつれ、おとぎ話がどのように変容していているかを理解してもらう。またディスカッションを通して他の学生の意見を聞くことによって自分の考えを深めてもらう。精神分析的視点、ジェンダー的視点、歴史的視点、カルチュラル的視点からの解説も行う予定である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回ノートを取り、ドライブに保存してください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1 「シンデレラ」—アニメ映画を見て考察。 2 「シンデレラ」—映画分析。グリム童話ペローの童話との比較。 3 「シンデレラ」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。 4 「シンデレラ」—実写映画を見て考察。 5 「シンデレラ」—映画分析。現代人の求めるシンデレラ象とは？ 6 「シンデレラ」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。 7 「眠れる森の美女」—グリム童話、ペローの童話を読む。 8 「眠れる森の美女」—アニメ映画を見て考察。 9 「眠れる森の美女」—映画分析。グリム童話との比較。 10 「眠れる森の美女」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。 11 「眠れる森の美女」—ヴィランが主人公の映画を見て考察。 12 「眠れる森の美女」—映画分析。現代人の求めるオーロラ象とは？ 13 「眠れる森の美女」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。</p>			

科目名	Media English II	後期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村 恵子		

[ 成績評価方法 ]

授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

提出された課題に対して講評します。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

科目名	Reading I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。</p> <p>[ 授業概要 ]  この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  What to prepare before class- Review the notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.  各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]  第1回:オリエンテーション  第2回:Welcome to our worldの読解  第3回:Welcome to our worldについてのブックレポート発表  第4回:8 Unusual things successful people do every dayの読解  第5回:8 Unusual things successful people do every dayのブックレポート発表  第6回:8 Unusual things successful people do every dayの総括  第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験  第8回:Romeo and Julietの読解  第9回:Romeo and Julietのブックレポート発表  第10回:Romeo and Julietの総括  第11回:How Jake Knapp solved his problemの読解  第12回:How Jake Knapp solved his problemのブックレポート発表  第13回:まとめ  期末試験</p>			

科目名	Reading I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の態度(ディスカッションへの参加等) (10%), 自宅課題(ブックレポート) (20%), Moodle Readerによるクイズ (30%), 中間試験 (20%), 期末試験 (20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba. Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法: book discussion, book reviews, m-reader</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法: book discussion, m-reader</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法: m-reader tests, assignments, reading tests</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: m-reader, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: class discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: class discussions, book reviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: class discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: class discussions, book reviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: class discussions</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  American Headway 2 (3rd Edition) Student Book with Oxford Online Skills 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)  American Headway 2 (3rd Edition) Workbook with iChecker 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  Graded Readers from the library 著者名: None 出版社: None</p>			

S30021 [ LEH1-003 ]



科目名	Reading I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	0	グループワーク	0
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。</p> <p>[授業概要] この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] What to prepare before class- Review the notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション 第2回:Welcome to our worldの読解 第3回:Welcome to our worldについてのブックレポート発表 第4回:8 Unusual things successful people do every dayの読解 第5回:8 Unusual things successful people do every dayのブックレポート発表 第6回:8 Unusual things successful people do every dayの総括 第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験 第8回:Romeo and Julietの読解 第9回:Romeo and Julietのブックレポート発表 第10回:Romeo and Julietの総括 第11回:How Jake Knapp solved his problemの読解 第12回:How Jake Knapp solved his problemのブックレポート発表 第13回:まとめ 期末試験</p>			

科目名	Reading I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[ 成績評価方法 ]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等) (10%), 自宅課題(ブックレポート) (20%), M-Readerによるクイズ (30%), 中間試験 (20%), 期末試験 (20%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

Students will be given feedback on their homework and e-learning assignments a few weeks after completion. They are also required to read books and review several books of their choice, which will be given feedback at the end of the semester.

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: book discussion, book reviews, m-reader

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: book discussion, m-reader

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: m-reader tests, assignments, reading tests

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: m-reader, assignments

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: class discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: class discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: class discussions

[ 教科書 (ISBN) ]

American Headway 2 (3rd Edition) Student Book with Oxford Online Skills 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press (9780194725880 )

American Headway 2 (3rd Edition) Workbook with iChecker 出版社: Oxford University Press. (9780194725910 )

[ 参考書 (ISBN) ]

Graded Readers from the library

科目名	Reading II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。</p> <p>[授業概要] この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] What to prepare before class- Review the notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、Life in 2065の読解 第2回:Life in 2065のブックレポート発表 第3回:Life in 2065の総括 第4回:My Kitchenの読解 第5回:My Kitchenのブックレポート発表 第6回:My Kitchenの総括 第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験 第8回:Singaporeの読解 第9回:Singaporeのブックレポート発表 第10回:Singaporeの総括 第11回:The three studentsの読解 第12回:The three studentsのブックレポート発表 第13回:まとめ 期末試験</p>			

科目名	Reading II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の態度(ディスカッションへの参加等) (10%), 自宅課題(ブックレポート) (20%), Moodle Readerによるクイズ (30%), 中間試験 (20%), 期末試験 (20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba. In addition, they will receive comments and suggestions on videos that they submit using the “Flipgrid” online program. Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  American Headway 2 著者名: Jon and Liz Soares 出版社: Oxford University Press. (ISBN-10: 0194309223 ISBN-13: 978-0194309226)  American Headway 2: Workbook (Third Edition) 著者名: by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0 )</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  Graded Readers 著者名: None 出版社: None</p>			

S30031 [ LEH1-004 ]

科目名	Reading II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	0	グループワーク	0
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。</p> <p>[授業概要] この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  Review notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.  各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、Life in 2065の読解 第2回:Life in 2065のブックレポート発表 第3回:Life in 2065の総括 第4回:My Kitchenの読解 第5回:My Kitchenのブックレポート発表 第6回:My Kitchenの総括 第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験 第8回:Singaporeの読解 第9回:Singaporeのブックレポート発表 第10回:Singaporeの総括 第11回:The three studentsの読解 第12回:The three studentsのブックレポート発表 第13回:まとめ 期末試験</p>			

科目名	Reading II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の態度(ディスカッションへの参加等) (10%), 自宅課題(ブックレポート) (20%), M-Readerによるクイズ (30%), 中間試験 (20%), 期末試験 (20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  Students will be given feedback on their homework and e-learning assignments a few weeks after completion. They are also required to read books and review several books of their choice, which will be given feedback at the end of the semester.</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。  成績評価方法: book discussion, book reviews, m-reader</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。  成績評価方法: book discussion, m-reader</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。  成績評価方法: m-reader tests, assignments, reading tests</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: m-reader, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: class discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法: class discussions, book reviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法: class discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: class discussion, book reviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: class discussions</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  American Headway 2: Student Book (3rd Edition) 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press (978-0-19-472588-0 )  American Headway 2: Workbook (Second Edition) by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0 )</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

文学部専門科目

国際教養学科

(授業科目名五十音順)

科目名	OCP I 事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ留学への準備	実習	
担当者	E. ウィリアムズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。  
米国ピッツァー大学短期留学で英語を学ぶとともに、ホームステイ、現地学生との文化交流、地域でのボランティア活動やインターンシップを行う体験学習プログラムの事前学習である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

- 1、オリエンテーション/ガイダンス:前期授業内容の説明、留学とは何?
- 2、異文化コミュニケーションと異文化理解
- 3、ホームステイとアメリカのファミリーについて
- 4、アメリカの大学生活について & Pitzer College
- 5、アメリカ事情:社会と政治
- 6、アメリカ事情:文化と多民族国家
- 7、カリフォルニアについて:社会と食文化
- 8、カリフォルニアについて:政治と若者の政治的な活動
- 9、カリフォルニアについて:多文化、多民族国家、言葉
- 10、米国に関する研究調査①
- 11、米国に関する研究調査②
- 12、米国に関する研究調査③
- 13、口頭発表とまとめ



科目名	OCP I 事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ留学への準備	実習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(50%)、レポート(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし 随時、資料を配布します。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし 随時、資料を配布します。</p>			

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	カナダ留学への準備	実習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(4週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(4週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。 カナダのダグラスカレッジ短期留学で英語を学ぶとともに、ホームステイ、現地学生との文化交流、地域でのボランティア活動、多文化体験学習プログラムの事前学習を行う。さらに、英語の能力をブラッシュアップする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション/ガイダンス: 前期授業内容の説明、留学とは何? 2.異文化コミュニケーションと国際交流 3.ホームステイ、異文化理解、カルチャーショック 4.カナダ事情: 基礎知識、社会 5.カナダ事情: 文化と多民族国家 6.バンクーバー事情: 社会と多民族国家 7.バンクーバー事情: 教育と若者の政治活動 8.バンクーバー事情: 大学生活、ディスカッションスキル 9.ダグラスカレッジの紹介、オンライン異文化交流 10.カナダに関する研究調査の準備とディスカッション① 11.カナダに関する研究調査の準備とディスカッション② 12.カナダに関する研究調査の準備とディスカッション③ 13.口頭発表とまとめ</p>			

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	カナダ留学への準備	実習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(50%)、レポート(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性 /自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画力・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし 随時、資料を配布します。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし 随時、資料を配布します。</p>			

S44002 [ LGH2-025 ]

科目名	OCP I 事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	海外の大学の学生と交流しSDGsについて知ろう	実習	
担当者	野口 和美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。国連持続可能な開発目標2030(SDGs)について、新聞記事でみる事例、実際の地域単位(企業や教育機関、NGOなど)の事例、海外の事例について調査し、可能な限り現場(フィールド)に足を運び、国内や海外の大学との交流を行う予定である。zoomを活用する。後期(2023年2月~3月予定のスタディツアーに向けて、危機管理や留意点、事前に国内外のSDGsについて調査し、プレゼンテーションを行う。なお、どのSDGsの分野に焦点をあてるのかは、教員と学生と相談して決める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

SDGsの各目標に関する基本的事項は事前に調べる。海外の大学の学生との交流においては、担当教員のガイダンスの下、プレゼンテーションの練習を実施する。使用言語は、日英語の半々である。各回、予習復習に4時間程度。

[授業計画]

1. 持続可能な開発のための目標(Sustainable Development Goals:SDGs)
2. SDGsの成り立ちと変遷
3. 新聞記事で見るSDGsの事例 ①
4. 新聞記事で見るSDGsの事例 ②
5. 新聞記事で見るSDGsの事例 ③
6. 地域(企業やNGO)のSDGs事例 ①
7. 地域(企業やNGO)のSDGs事例 ②
8. 地域(企業やNGO)のSDGs事例 ③(学外講師と担当教員との協働授業)
9. 海外のSDGs事例 ①
10. 海外のSDGs事例 ②
11. 海外のSDGs事例 ③(学外講師と担当教員との協働授業)
12. 学生の調査に基づいた発表
13. 学生の調査に基づいた発表

科目名	OCP I 事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	海外の大学の学生と交流しSDGsについて知ろう	実習	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(50%)、レポート(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 授業中に必要な資料を配布する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 授業中に必要な参考資料を配布する。</p>			

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	ドイツ研究	実習	
担当者	室屋 安孝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。同時に、生活のさまざまな場面で使われるドイツ語を基礎的な会話を中心に学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

1. ガイダンス:ドイツ文化への誘い
2. ドイツ語会話とドイツの芸術
3. ドイツ語会話とドイツのものづくり
4. ドイツ語会話とドイツ人の国民性
5. ドイツ語会話とドイツ人のライフスタイル
6. ドイツ語会話とドイツの大学
7. ドイツ語会話と女性の社会進出
8. ドイツ語会話とジェンダー論
9. ドイツ語会話とドイツのエネルギー政策
10. ドイツ語会話とドイツの多文化主義
11. ドイツ語会話とドイツの戦後史
12. ドイツ語会話と日独交流史
13. まとめ・ドイツ文化についての復習

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	ドイツ研究	実習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題 (50%)、レポート (50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 現代ドイツを知るための67章(第3版) 著者名:浜本隆志、高橋憲編著 出版社:明石書店 (9784750000000)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

S44021 [ LGH2-025 ]

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	韓国留学(3週間)の準備	実習	
担当者	高城 建人		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。  
3週間の韓国・高麗大学語学研修への準備学習として、現代韓国についての基礎的な事柄を学ぶ。適宜、映画などの映像資料も用いる予定である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

1. イントロダクション、韓国政治①(統治制度)
2. 韓国政治②(政党)
3. 韓国の文化①(食文化)
4. 韓国の文化②(教育)
5. 韓国の文化③(ドラマ、音楽、映画などポップカルチャー)
6. 韓国の文化④(伝統行事)
7. 韓国の社会①(人口状況)
8. 韓国の社会②(経済状況)
9. 韓国の社会③(社会福祉状況)
10. 近年韓国で起きている争点①(地域感情)
11. 近年韓国で起きている争点②(ジェンダー問題)
12. 発表①
13. 発表②



科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	韓国留学(3週間)の準備	実習	
担当者	高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(50%)、レポート(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 現代韓国を知るための60章(第2版) 著者名:石坂浩一、福島みのり 出版社:明石書店 (9784750000000) 知りたくなる韓国 著者名:新城道彦ほか 出版社:有斐閣 (9784640000000) 韓国朝鮮を知る事典 著者名:伊藤亜人ほか 出版社:平凡社 (9784580000000) 「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし 著者名:加藤圭木監修、一橋大学社会学部加藤圭木ゼミナール編 出版社:大月書店 (9784270000000) 韓国学ハンマダン 著者名:緒方義広・古橋綾編 出版社:岩波書店 (9784000000000)</p>			

S44031 [ LGH2-025 ]

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(3週間)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。  
OCP I (静宜大学)に参加する学生が履修する科目である。

台湾に関する基本的な知識を学び、協定校・静宜大学(台湾)との交流イベントで自ら現地の雰囲気を経験する。事前学習で学んだ内容を通して、台湾の留学中に取り組みたいテーマを探る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

授業内容は主に以下の三点になる:

- ①台湾社会に関する基本的な知識を学ぶ。
- ②静宜大学の学生との文化交流体験授業も行い、現地学生との交流を通して、台湾に関する様々な議題を学習する。
- ③留学に際しての準備を整える。

※交流授業は、口語練習・文化現象討論が中心になる。

【授業のスケジュール】

1. オリエンテーション
2. 台湾の地理
3. 台湾の歴史
4. 台湾の社会
5. 留学の準備(パスポート、申請書類、保険)
6. 研究計画書作成
7. 『台湾を知るための72章』Ⅲ社会 第26章～32章の輪読
8. 『台湾を知るための72章』Ⅲ政治と経済 第16章～19章、第22章～25章の輪読
9. 『台湾を知るための72章』Ⅲ社会 第35章～第41章の輪読
10. 文化交流体験(静宜大学と共催)
11. 『台湾を知るための72章』Ⅳ文化と芸術 第47章～51章の輪読
12. 『台湾を知るための72章』Ⅳ文化と芸術 第52章～56章の輪読
13. 留学計画のプレゼンテーション

※「留学計画のプレゼンテーション」は、パワポ発表になります。

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(3週間)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <p>1. 輪読・演習発表の評価 30%</p> <p>2. 授業後課題 20%</p> <p>3. レポート(2000字) 50%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>課題のフィードバックはmanabaを通して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>『台湾を知るための72章』 著者名:赤松美和子、若松大祐編著 出版社:明石書店 (978-4750353777) 授業中に適宜、追加資料を配布する 著者名:なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>適宜に資料を配布する。</p>			

S44041 [ LGH2-025 ]

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2単位
サブタイトル	中国留学(半年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。 OCPⅢ(華南師範大学)に参加する学生が履修する科目である。</p> <p>中国に関する基本的な知識を学び、協定校・華南師範大学(中国)との交流イベントで自ら現地の雰囲気を経験する。事前学習で学んだ内容を通して、中国の留学中に取り組みたいテーマを探る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 授業内容は主に以下の三点になる：</p> <p>①中国社会に関する基本的な知識を学ぶ。 ②華南師範大学、もしくは静宜大学の学生との文化交流体験授業も行い、現地学生との交流を通して、台湾に関する様々な議題を学習する。 ③留学に際しての準備を整える。</p> <p>【授業のスケジュール】 1. オリエンテーション 2. 中国事情(1)地理 3. 中国事情(2)歴史 4. 留学の準備(パスポート、申請書類、健康証明、財務状況証明、保険) 5. 留学中に取り組んでみたいテーマ(研究計画書作成) 6. 留学準備:パスポート、申請書類、保険 7. 研究計画書作成 8. 中国事情(5)社会 9. 中国事情(6)社会 10. 文化交流体験 11. 中国事情(7)食文化 12. 中国事情(8)大学事情 13. 留学計画のプレゼンテーション</p> <p>※「留学計画のプレゼンテーション」はパワポ発表になります。</p>			

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	中国留学(半年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <p>1. 輪読・演習発表の評価 30%</p> <p>2. 授業後課題 20%</p> <p>2. レポート(2500字) 50%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>課題のフィードバックはmanabaを通して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]</p> <p>中国超入門 これだけは知っておきたい中国社会の基礎知識 著者名:ニューズヴィーク日本版編集部 出版社:CCCメディアハウス□9784480000000) 必要に応じて適宜に配布する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]</p> <p>DVDで学ぶ中国文化 著者名:洪潔清 出版社:金星堂 (9784760000000)</p>			

S44051 [ LGH2-029 ]

科目名	OCPⅢ事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	中国留学(1年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。 OCPⅢ(華南師範大学; 1年)に参加する学生が履修する科目である。</p> <p>中国と台湾に関する基本的な知識を学び、協定校との交流イベントで自ら現地の雰囲気を経験する。事前学習で学んだ内容を通して、中国や台湾の長期留学中に取り組みたいテーマを探る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 授業内容は主に以下の三点になる:</p> <p>①中国社会に関する基本的な知識を学ぶ。 ②華南師範大学、もしくは静宜大学の学生との文化交流体験授業も行い、現地学生との交流を通して、台湾に関する様々な議題を学習する。 ③留学に際しての準備を整える。</p> <p>【授業のスケジュール】 1. オリエンテーション 2. 中国事情(1)地理 3. 中国事情(2)歴史 4. 留学の準備(パスポート、申請書類、健康証明、財務状況証明、保険) 5. 留学中に取り組んでみたいテーマ(研究計画書作成) 6. 留学準備:パスポート、申請書類、保険 7. 研究計画書作成 8. 中国事情(5)社会 9. 中国事情(6)社会 10. 文化交流体験 11. 中国事情(7)食文化 12. 中国事情(8)大学事情 13. 留学計画のプレゼンテーション</p> <p>※「留学計画のプレゼンテーション」はパワポ発表になります。</p>			

科目名	OCPⅢ事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	中国留学(1年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <p>1. 輪読・演習発表の評価 30%</p> <p>2. 授業後課題 20%</p> <p>3. レポート(3000字) 50%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>manabaもしくはメール</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>『中国超入門』これだけは知っておきたい中国社会の基礎知識 著者名:ニューズヴィーク日本版編集部 出版社:株式会社版急コミュニケーションズ(978-4484122281)</p> <p>『台湾を知るための72章』著者名:赤松美和子など 出版社:明石書店(978-4750353777)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>なし</p>			

S44061 [ LGH2-029 ]

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(半年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。 OCPⅢ(静宜大学)に参加する学生が履修する科目である。</p> <p>台湾に関する基本的な知識を学び、協定校・静宜大学(台湾)との交流イベントで自ら現地の雰囲気を経験する。事前学習で学んだ内容を通して、台湾の留学中に取り組みたいテーマを探る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 授業内容は主に以下の三点になる: ①台湾社会に関する基本的な知識を学ぶ。 ②静宜大学の学生との文化交流体験授業も行い、現地学生との交流を通して、台湾に関する様々な議題を学習する。 ③留学に際しての準備を整える。</p> <p>【授業のスケジュール】 1.オリエンテーション 2.台湾事情(1)『台湾物語』第一章「1」 3.台湾事情(2)Ⅲ社会 26章～32章 4.留学の準備(パスポート、申請書類、健康証明、財務状況証明、保険) 5.留学中に取り組んでみたいテーマ(研究計画書作成) 6.台湾事情(3)Ⅲ社会 33章、『台湾物語』第二章「1」「2」 7.台湾事情(4)Ⅳ文化 54章、『台湾物語』第三章 8.台湾事情(5)『台湾物語』第五章 9.台湾事情(6)Ⅳ文化 52章、『台湾物語』第六章 10.文化交流体験 11.台湾事情(7)Ⅲ社会 41章、Ⅳ文化 51章 12.台湾事情(8)Ⅲ社会 38章～39章 13.留学計画のプレゼンテーション</p> <p>※「台湾事情」の授業は、テキストの輪読形式で行います。予習したうえ、説明・質問・討論したい事項をご用意ください。</p> <p>※「留学計画のプレゼンテーション」は、パワポ発表になります。</p>			



科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(半年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <p>1. 輪読・演習発表の評価 30%</p> <p>2. 授業後課題 20%</p> <p>3. レポート(2500字) 50%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>課題のフィードバックはmanabaを通して行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>台湾を知るための72章 著者名:赤松美和子、若松大祐 編著 出版社:筑摩書房 (9784750000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>台湾物語 著者名:新井一二三 出版社:明石書店 (978-4480016812)</p>			

S44071 [ LGH2-029 ]

科目名	OCPⅢ事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(1年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。 OCPⅢ(静宜大学,1年)に参加する学生が履修する科目である。</p> <p>台湾と中国に関する基本的な知識を学び、協定校との交流イベントで自ら現地の雰囲気を経験する。事前学習で学んだ内容を通して、台湾と中国の長期留学中に取り組みたいテーマを探る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 授業内容は主に以下の三点になる: ①台湾社会に関する基本的な知識を学ぶ。 ②静宜大学の学生との文化交流体験授業も行い、現地学生との交流を通して、台湾に関する様々な議題を学習する。 ③留学に際しての準備を整える。</p> <p>【授業のスケジュール】 1.オリエンテーション 2.台湾事情(1)『台湾物語』第一章「1」 3.台湾事情(2)Ⅲ社会 26章～32章 4.留学の準備(パスポート、申請書類、健康証明、財務状況証明、保険) 5.留学中に取り組んでみたいテーマ(研究計画書作成) 6.台湾事情(3)Ⅲ社会 33章、『台湾物語』第二章「1」「2」 7.台湾事情(4)Ⅳ文化 54章、『台湾物語』第三章 8.台湾事情(5)『台湾物語』第五章 9.台湾事情(6)Ⅳ文化 52章、『台湾物語』第六章 10.文化交流体験 11.台湾事情(7)Ⅲ社会 41章、Ⅳ文化 51章 12.台湾事情(8)Ⅲ社会 38章～39章 13.留学計画のプレゼンテーション</p> <p>※「台湾事情」の授業は、テキストの輪読形式で行います。予習したうえ、説明・質問・討論したい事項をご用意ください。</p> <p>※「留学計画のプレゼンテーション」は、パワポ発表になります。</p>			

科目名	OCPⅢ事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(1年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <p>1. 輪読・演習発表の評価 30%</p> <p>2. 授業後課題 20%</p> <p>3. レポート(2500字) 50%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>manabaもしくはメール</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>『台湾を知るための72章』 著者名:赤松美和子、若松大祐編著 出版社:明石書店 (978-4750353777)</p> <p>『中国超入門』これだけは知っておきたい中国社会の基礎知識 著者名:ニューズウィーク日本版編集部 出版社:CCCメディアハウス (9780000000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>なし</p>			

S44081 [ LGH2-029 ]

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	タイに関する基礎知識	実習	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。 タイの国家や周辺地域、そして市民社会について学んだ後、研究調査の準備を行う。 チェンマイ大学とオンラインを通して、授業を行うこともある。更に、研究準備段階で、SDGs(持続可能な開発目標)の目標について、タイでの実施状況についてレポートを書くことも行う。現地研修での準備を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 予習復習に4時間程度かけること。毎回の授業準備のために課題を出します。</p> <p>[授業計画] 1)チェンマイ大学プログラムについて (野口) 2)チェンマイについて ① (野口) 3)チェンマイについて ② (野口) 4)チェンマイについて ③ (野口) 5)チェンマイについて ④ (野口) 6)チェンマイについて ⑤ (野口) 7)タイ語 ① (チェンマイ大学とのオンライン学習)(野口) 8)タイ語 ② (チェンマイ大学とのオンライン学習)(野口) 9)タイについて① (野口) 10)タイについて② (野口) 11)タイについて③ (野口) 12)タイについて④ (野口) 13)タイについて⑤ (学外講師)</p>			

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	タイに関する基礎知識	実習	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ]  ディスカッションへの参加度 (30%) レポート作成のための調査 (40%)、口頭発表 (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  mana以上にコメントを載せます。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  タイを知るための72章(第2版) 出版社:明石書店 (9784750000000)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  物語タイの歴史 微笑みの国の真実 出版社:中央公論新社 (9784120000000)</p>			

S44091 [ LGH2-029 ]

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	タイ及びバンコクの基礎知識	実習	
担当者	野口 和美、平松 秀樹、チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。各回、予習復習合わせて4時間程度。事前学習では、国際ビジネスの学習を行った後、文学・仏教などの文化方面およびジェンダーなどの社会的方面からタイ国について総合的に学んでいく。授業に際しては、文学テキストや映画作品などに即し具体的な事例を通して学んでいく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] タイやバンコクに関する調査を事前に実施すること。 教科書の予習復習を含め、4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. プログラム参加に向けて (カセサート大学の紹介を含む)(野口) 2. 文学作品を通してみたタイ社会①(平松) 3. 文学作品を通してみたタイ社会②(平松) 4. 仏教の視点からみたタイ社会(平松) 5. ジェンダーの視点からみたタイ社会①(平松) 6. ジェンダーの視点からみたタイ社会②(平松) 7. タイと日本の関係①(歴史的経緯)(平松) 8. タイと日本の関係②(タイ文学・映画に描かれた日本および日本文学・映画に描かれたタイ)(平松) 9. 現代タイ事情①(平松) 10. タイの市民社会 (野口) 11. タイと国際社会 (野口) 12. タイとベトナムとの関係①(チャン) 13. タイとベトナムとの関係②(チャン)</p>			

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	タイ及びバンコクの基礎知識	実習	
担当者	野口 和美、平松 秀樹、チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ]  ディスカッションへの参加度 (30%) レポート作成のための調査 (40%)、口頭発表 (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  提出されたレポートについて全体的にフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  特に指定しない。授業中に資料を配布する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  特に指定しない。</p>			

科目名	OCPIV事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ留学への準備	実習	
担当者	野口 和美、E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 留学に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[ 授業概要 ] 米国の留学準備授業である。米国の文化、社会、政治などを事前に学修する。 米国に関する調査のための事前調査やサーヴィス・ラーニング、SDGsの状況など学修する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 授業の予習及び復習を行うこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業のオリエンテーション、留学とは？(ウィリアムズ)</li> <li>2) 異文化理解と異文化コミュニケーション(ウィリアムズ)</li> <li>3) アメリカ事情: 基礎知識と歴史(ウィリアムズ)</li> <li>4) アメリカ事情: 政治と若者の政治活動(ウィリアムズ)</li> <li>5) アメリカ事情: 多民族国家(ウィリアムズ)</li> <li>6) アメリカ事情: 若者の文化と大学生の生活(ウィリアムズ)</li> <li>7) カリフォルニア事情 :政治 (野口)</li> <li>8) カリフォルニア事情 :社会 (野口)</li> <li>9) カリフォルニア事情 :市民社会 (野口)</li> <li>10) カリフォルニア事情 :自治体 (野口)</li> <li>11) カリフォルニア事情 :教育(野口)</li> <li>12) カリフォルニア事情 :文化(野口)</li> <li>13) カリフォルニア事情 :歴史(野口)</li> </ol>			



科目名	OCPIV事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ留学への準備	実習	
担当者	野口 和美、E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ]  ディスカッションの参加(30%)、毎週の小レポート(40%)、口頭発表(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  なし  随時、資料を配布します。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  なし  資料等は、授業中に配布する。</p>			

S44121 [ LGH2-032 ]

科目名	アジアの言語 I	前期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。

・毎課の新出語句の単語をしっかりと復習して欲しい。

・復習する際は読む練習、書く練習、聞く練習、話す練習を意識して行って欲しい。

・中国語(漢族語・漢語)は、日本語とは異なる語族に属する言語である。このことを常に意識しながら学習して欲しい。

[授業計画]

主な授業の流れ:

- 1.教科書の会話を漢字だけでノートに書き写す。
- 2.会話の解説を聴いて会話の内容を理解し、発音及び会話練習を繰り返す。
- 3.置替え練習を中心とした練習を行ない、文型を把握し定着させる。
- 4.小テストを随時実施する。

以下は計画の詳細:

月曜1限【会話】担当: 莊 千慧

- 1.【会話】導入・発音編1
- 2.【会話】発音編2
- 3.【会話】発音編3
- 4.【会話】発音編4
- 5.【会話】まとめ。発音・聞取試験①
- 6.【会話】第1課
- 7.【会話】第2課
- 8.【会話】第3課
- 9.【会話】第4課
- 10.【会話】第5課
- 11.【会話】第6課
- 12.【会話】まとめ。発音・聞取試験②
- 13.【会話】期末試験

金曜1限【読解】担当: 東條 智恵

- 1.【読物】導入・発音編1
- 2.【読物】発音編2
- 3.【読物】発音編3
- 4.【読物】発音編4
- 5.【読物】ヒンイン練習
- 6.【読物】第1課
- 7.【読物】第2課
- 8.【読物】第3課
- 9.【読物】まとめ。漢字試験①
- 10.【読物】第4課
- 11.【読物】第5課
- 12.【読物】第6課
- 13.【読物】まとめ。漢字試験②

科目名	アジアの言語 I	前期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	荘 千慧、東條 智恵		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manabaやメールで行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『みんなの中国語 会話編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4-86398-079-2) 『みんなの中国語 読物編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4863980785)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

S40240 [ LGH1-007 ]

科目名	アジアの言語 I	前期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習・復習合わせて2時間程度必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.ガイダンス、Lesson 1 基本母音(担当:高城) 2.Lesson 2 子音①:平音 (担当:権) 3.Lesson 2 子音②:激音、子音③:濃音(担当:高城) 4.Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音(担当:権) 5.日本語のハングル表記。第1課「私は日本人です」【文法】(担当:高城) 6.韓国の地図、教室でよく使う表現、挨拶。第1課「私は日本人です」【会話】(担当:権) 7.第2課「日本人ではありません」【文法】(担当:高城) 8.第2課「日本人ではありません」【会話】(担当:権) 9.第3課「それは何ですか」【文法】(担当:高城) 10.第3課「それは何ですか」【会話】(担当:権) 11.第4課「約束があります」【文法】(担当:高城) 12.第4課「約束があります」【会話】(担当:権) 13.復習(担当:高城) 14.中間のまとめ(担当:権) 15.第5課「会社はどこにありますか」【文法】(担当:高城) 16.第5課「会社はどこにありますか」【会話】(担当:権) 17.第6課「週末は何をしますか」【文法】(担当:高城) 18.第6課「週末は何をしますか」【会話】(担当:権) 19.第7課「そんなに遠くありません」【文法】(担当:高城) 20.第7課「そんなに遠くありません」【会話】(担当:権) 21.第8課「いつ行きますか」【文法】(担当:高城) 22.第8課「いつ行きますか」【会話】(担当:権) 23.第9課「釜山までどうやって行きますか」【文法】(担当:高城) 24.第9課「釜山までどうやって行きますか」【会話】(担当:権) 25.期末のまとめ(担当:高城) 26.韓国文化の理解(担当:権)</p>			

科目名	アジアの言語 I	前期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容: 国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名: 李志映 出版社: DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。

- ・毎課の新出語句の単語をしっかりと復習して欲しい。
- ・復習する際は読む練習、書く練習、聞く練習、話す練習を意識して行って欲しい。

[授業計画]

後期の授業は、11月の第4日曜日に行われる、中国語検定試験の準4級合格を目指して進める。

月曜1限【会話】担当: 莊 千慧

- 1.【会話】前期内容の復習
- 2.【会話】第7課
- 3.【会話】第8課
- 4.【会話】第9課
- 5.【会話】第10課
- 6.【会話】まとめ。発音・聞取試験①
- 7.【会話】第11課
- 8.【会話】第12課
- 9.【会話】第13課
- 10.【会話】第14課
- 11.【会話】第15課
- 12.【会話】まとめ。発音・聞取試験②
- 13.【会話】期末試験

金曜1限【読解】担当: 東條 智恵

- 1.【読物】第7課
- 2.【読物】第8課
- 3.【読物】第9課
- 4.【読物】第10課
- 5.【読物】第11課
- 6.【読物】漢字試験①
- 7.【読物】中国語検定準4級練習 受験概要・実力テスト
- 8.【読物】第12課
- 9.【読物】第13課
- 10.【読物】中国語検定準4級練習 受験準備
- 11.【読物】第14課
- 12.【読物】第15課
- 13.【読物】漢字試験②

※11月の第4日曜日は中国語検定試験の日。この日を必ず空けてください。

科目名	アジアの言語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		

[ 成績評価方法 ]

小テスト(20%)、試験(80%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
manabaやメールで行います。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

『みんなの中国語 会話編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4-86398-079-2)  
『みんなの中国語 読物編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4863980785)

[ 参考書(ISBN) ]

なし

科目名	アジアの言語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[ 授業概要 ]

韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回、予習・復習合わせて2時間程度必要。

[ 授業計画 ]

- 1.前期学習内容の復習(担当:権)
- 2.第10課「何時からですか」【文法】(担当:高城)
- 3.第10課「何時からですか」【会話】(担当:権)
- 4.第11課「いつ日本へ来ましたか」【文法】(担当:高城)
- 5.第11課「いつ日本へ来ましたか」【会話】(担当:権)
- 6.第12課「お名前は?」【文法】(担当:高城)
- 7.第12課「お名前は?」【会話】(担当:権)
- 8.第13課「どちらへ行っていましたか」【文法】(担当:高城)
- 9.第13課「どちらへ行っていましたか」【会話】(担当:権)
- 10.第14課「日本と韓国は似てるけど、けっこう違うでしょう?」【文法】(担当:高城)
- 11.第14課「日本と韓国は似てるけど、けっこう違うでしょう?」【会話】(担当:権)
- 12.第15課「温泉に行きたいです」【文法】(担当:高城)
- 13.第15課「温泉に行きたいです」【会話】(担当:権)
- 14.中間のまとめ(担当:高城)
- 15.復習(担当:権)
- 16.第16課「プレゼントを買うのでたくさんお金を使います」【文法】(担当:高城)
- 17.第16課「プレゼントを買うのでたくさんお金を使います」【会話】(担当:権)
- 18.第17課「結婚式に何を着ていけばいいですか」【文法】(担当:高城)
- 19.第17課「結婚式に何を着ていけばいいですか」【会話】(担当:権)
- 20.第18課「食事でも一緒にしましょうか」【文法】(担当:高城)
- 21.第18課「食事でも一緒にしましょうか」【会話】(担当:権)
- 22.第19課「写真をちょっと撮っていただけますか」【文法】(担当:高城)
- 23.第19課「写真をちょっと撮っていただけますか」【会話】(担当:権)
- 24.第20課「自転車に乗ることができますか」【文法】(担当:高城)
- 25.第20課「自転車に乗ることができますか」【会話】(担当:高城)
- 26.期末のまとめ(担当:権)



科目名	アジアの言語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、あるいはmanaba等フィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容: 国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名: 李志映 出版社: DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための初中級の語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1.教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.「会話編」第1課 2.「講読編」第1課 3.「会話編」第2課 4.「講読編」第2課 5.「会話編」第3課 6.「講読編」第3課 7.「会話編」第4課 8.「講読編」第4課 9.「会話編」第5課 10.「講読編」第5課 11.「会話編」第6課 12.「講読編」第6課 13.「会話編」「講読編」第1課～第6課のまとめ</p>			

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『準中級中国語 会話編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0711-5) 『準中級中国語 講読編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0712-2)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス、基本文法の確認 2.第1課 文法:動詞の現在連体形、～して(先行動作の用法) 3.第1課 会話:「食べる方法が大きく異なりますね」 4.第2課 文法:動詞の過去連体形、～したことがある(経験) 5.第2課 会話:「韓国に行ったことがありますか」 6.第3課 文法:動詞の未来連体形、～するつもりです(予定・意志) 7.第3課 会話:「卒業したら何をするつもりか」 8.第4課 文法:形容詞の現代連体形、名詞文の現在連体形 9.第4課 会話:「背が大きい男性は誰ですか」 10.第5課 文法:～するのですが、するのに(前置き) 11.第5課 会話:「お忙しいのにすみません」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		

[ 成績評価方法 ]  
小テスト20%、試験80%

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。  
成績評価方法:小テスト、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法:小テスト、試験

[ 教科書(ISBN) ]  
『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)

[ 参考書(ISBN) ]  
なし

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.ガイダンス、基本文法の確認 2.第1課 文法:動詞の現在連体形、～して(先行動作の用法) 3.第1課 会話:「食べる方法が大きく異なりますね」 4.第2課 文法:動詞の過去連体形、～したことがある(経験) 5.第2課 会話:「韓国に行ったことがありますか」 6.第3課 文法:動詞の未来連体形、～するつもりです(予定・意志) 7.第3課 会話:「卒業したら何をするつもりか」 8.第4課 文法:形容詞の現代連体形、名詞文の現在連体形 9.第4課 会話:「背が大きい男性は誰ですか」 10.第5課 文法:～するのですが、するのに(前置き) 11.第5課 会話:「お忙しいのにすみません」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級Ⅱ』。 著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための準中級の語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1.教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 後期の授業は、 11月の第4日曜日に行われる、中国語検定試験の4級合格を目指して進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.「会話編」第7課</li> <li>2.「講読編」第7課</li> <li>3.「会話編」第8課</li> <li>4.「講読編」第8課</li> <li>5.「会話編」第9課</li> <li>6.「講読編」第9課</li> <li>7.「会話編」第10課</li> <li>8.「講読編」第10課</li> <li>9.「会話編」第11課</li> <li>10.「講読編」第11課</li> <li>11.「会話編」第12課</li> <li>12.「講読編」第12課</li> <li>13.「会話編」「講読編」第7課～第12課のまとめ</li> </ol> <p>※11月の第4日曜日は中国語検定試験の日。この日を必ず空けてください。</p>			



科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『準中級中国語 会話編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0711-5) 『準中級中国語 講読編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0712-2)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.前期学習内容の復習 2.第6課 文法:動詞の不規則活用、～から～ので 3.第6課 会話:「熱いので気をつけてください」 4.第7課 文法:動詞の不規則活用、～なければならない 5.第7課 会話:「外国語は毎日聞かなければなりません」 6.第8課 文法:動詞の不規則活用、～ために・せいで、～するため 7.第8課 会話:「風邪は治りましたか」 8.第9課 文法:用言の不規則活用、～するじゃないですか 9.第9課 会話:「A型とO型とどちらがいますか」 10.第10課 文法:形容詞の不規則活用、～してみる 11.第10課 会話:「赤色はありませんか」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容: 国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名: 李志映・金鎮姫 出版社: DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.前期学習内容の復習</li> <li>2.第6課 文法:動詞の不規則活用、～から～ので</li> <li>3.第6課 会話:「熱いので気をつけてください」</li> <li>4.第7課 文法:動詞の不規則活用、～なければならない</li> <li>5.第7課 会話:「外国語は毎日聞かなければなりません」</li> <li>6.第8課 文法:動詞の不規則活用、～ために・せいで、～するため</li> <li>7.第8課 会話:「風邪は治りましたか」</li> <li>8.第9課 文法:用言の不規則活用、～するじゃないですか</li> <li>9.第9課 会話:「A型とO型とどちらがいますか」</li> <li>10.第10課 文法:形容詞の不規則活用、～してみる</li> <li>11.第10課 会話:「赤色はありませんか」</li> <li>12.総復習</li> <li>13.まとめ</li> </ol>			

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容: 国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級Ⅱ』。 著者名: 李志映・金鎮姫 出版社: DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅴ	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	李 允昊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[ 授業概要 ]

韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための中上級の語学力を身につける。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[ 授業計画 ]

1. ガイダンス、基本文法の確認
2. 第11課 文法: ~ます(意思・約束・決意)、「?」不規則活用
3. 第11課 会話: 「私もメール送ります」
4. 第12課 文法: ~ています(完了状態の継続)、~しないでください(禁止)
5. 第12課 会話: 「人々が並んでいます」
6. 第13課 文法: 過去/現在/未来の推量・不確定
7. 第13課 会話: 「雨が降りそうですね」
8. 第14課 文法: ~する前に、~した後
9. 第14課 会話: 「新年のあいさつをした後、お墓参りに行きます」
10. 第15課 文法: ~するほうだ、~く(副詞化)、~になる
11. 第15課 会話: 「辛くして食べるほうです」
12. 総復習
13. まとめ

科目名	アジアの言語Ⅴ	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	李 允昊		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内に解説します。課題内容に応じて適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅴ	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるため中級の語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1. 教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2. 毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. 第1課 2. 第1課 3. 第2課 4. 第2課 5. 第3課 6. 第3課 7. 第4課 8. 第4課 9. 第5課 10. 第5課 11. 第6課 12. 第6課 13. 第1課～第6課のまとめ復習、試験</p>			



科目名	アジアの言語Ⅴ	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『続・中国語でおもてなし』 著者名:おもてなし中国語教材開発チーム著 出版社:金星堂 (9784764707375)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語VI	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	李 允昊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための中上級の語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[授業計画] 授業計画Ⅰ前期学習内容の復習 2.第16課 文法:~してから~経つ、~ようと思う 3.第16課 会話:「日本にいらしてからどれぐらい経ちましたか」 4.第17課 文法:動詞の名詞化、目的、~しやすい、~にくい 5.第17課 会話:「こうすれば探しやすいです」 6.第18課 文法:~でしょう、~でしょうね、~するとき、~したとき 7.第18課 会話:「運転お上手でしょうね」 8.第19課 文法:~してあげる、~してくれる、~く見える 9.第19課 会話:「私がお持ちしましょうか」 10.第20課 文法:意志、願望 11.第20課 会話:「何を召し上がりますか」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語VI	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	李 允昊		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内に解説します。課題内容に応じて適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名:李志映・?鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語VI	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための中上級の語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1. 教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2. 毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. 第7課 2. 第7課 3. 第8課 4. 第8課 5. 第9課 6. 第9課 7. 第10課 8. 第10課 9. 第11課 10. 第11課 11. 第12課 12. 第12課 13. 第7課～第12課のまとめ復習、試験</p> <p>※11月の第4日曜日は中国語検定試験の日。この日を必ず空けてください。</p>			

科目名	アジアの言語VI	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト・試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『続・中国語でおもてなし』 著者名:おもてなし中国語教材開発チーム著 出版社:金星堂 (9784764707375)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語A－I（中国語）	前期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。

・毎課の新出語句の単語をしっかりと復習して欲しい。

・復習する際は読む練習、書く練習、聞く練習、話す練習を意識して行って欲しい。

・中国語(漢族語・漢語)は、日本語とは異なる語族に属する言語である。このことを常に意識しながら学習して欲しい。

[授業計画]

主な授業の流れ:

- 1.教科書の会話を漢字だけでノートに書き写す。
- 2.会話の解説を聴いて会話の内容を理解し、発音及び会話練習を繰り返す。
- 3.置替え練習を中心とした練習を行ない、文型を把握し定着させる。
- 4.小テストを随時実施する。

以下は計画の詳細:

月曜1限【会話】担当: 莊 千慧

- 1.【会話】導入・発音編1
- 2.【会話】発音編2
- 3.【会話】発音編3
- 4.【会話】発音編4
- 5.【会話】まとめ。発音・聞取試験①
- 6.【会話】第1課
- 7.【会話】第2課
- 8.【会話】第3課
- 9.【会話】第4課
- 10.【会話】第5課
- 11.【会話】第6課
- 12.【会話】まとめ。発音・聞取試験②
- 13.【会話】期末試験

金曜1限【読解】担当: 東條 智恵

- 1.【読物】導入・発音編1
- 2.【読物】発音編2
- 3.【読物】発音編3
- 4.【読物】発音編4
- 5.【読物】ヒンイン練習
- 6.【読物】第1課
- 7.【読物】第2課
- 8.【読物】第3課
- 9.【読物】まとめ。漢字試験①
- 10.【読物】第4課
- 11.【読物】第5課
- 12.【読物】第6課
- 13.【読物】まとめ。漢字試験②

科目名	アジアの言語A－I（中国語）	前期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manabaやメールで行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『みんなの中国語 会話編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4-86398-079-2) 『みんなの中国語 読み物編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4863980785)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

S40240R [ LGH1-008 ]

科目名	アジアの言語A-Ⅱ(中国語)	後期	2単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。

- ・毎課の新出語句の単語をしっかりと復習して欲しい。
- ・復習する際は読む練習、書く練習、聞く練習、話す練習を意識して行って欲しい。

[授業計画]

後期の授業は、11月の第4日曜日に行われる、中国語検定試験の準4級合格を目指して進める。

月曜1限【会話】担当: 莊 千慧

- 1.【会話】前期内容の復習
- 2.【会話】第7課
- 3.【会話】第8課
- 4.【会話】第9課
- 5.【会話】第10課
- 6.【会話】まとめ。発音・聞取試験①
- 7.【会話】第11課
- 8.【会話】第12課
- 9.【会話】第13課
- 10.【会話】第14課
- 11.【会話】第15課
- 12.【会話】まとめ。発音・聞取試験②
- 13.【会話】期末試験

金曜1限【読解】担当: 東條 智恵

- 1.【読物】第7課
- 2.【読物】第8課
- 3.【読物】第9課
- 4.【読物】第10課
- 5.【読物】第11課
- 6.【読物】漢字試験①
- 7.【読物】中国語検定準4級練習 受験概要・実力テスト
- 8.【読物】第12課
- 9.【読物】第13課
- 10.【読物】中国語検定準4級練習 受験準備
- 11.【読物】第14課
- 12.【読物】第15課
- 13.【読物】漢字試験②

※11月の第4日曜日は中国語検定試験の日。この日を必ず空けてください。



科目名	アジアの言語A－Ⅱ(中国語)	後期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manabaやメールで行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『みんなの中国語 会話編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4-86398-079-2) 『みんなの中国語 読物編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4863980785)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語A-Ⅲ(中国語)	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための初中級の語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1.教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.「会話編」第1課 2.「講読編」第1課 3.「会話編」第2課 4.「講読編」第2課 5.「会話編」第3課 6.「講読編」第3課 7.「会話編」第4課 8.「講読編」第4課 9.「会話編」第5課 10.「講読編」第5課 11.「会話編」第6課 12.「講読編」第6課 13.「会話編」「講読編」第1課～第6課のまとめ</p>			

科目名	アジアの言語A-Ⅲ(中国語)	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『準中級中国語 会話編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0711-5) 『準中級中国語 講読編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0712-2)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語A-IV(中国語)	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための準中級の語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 1.教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 後期の授業は、 11月の第4日曜日に行われる、中国語検定試験の4級合格を目指して進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.「会話編」第7課</li> <li>2.「講読編」第7課</li> <li>3.「会話編」第8課</li> <li>4.「講読編」第8課</li> <li>5.「会話編」第9課</li> <li>6.「講読編」第9課</li> <li>7.「会話編」第10課</li> <li>8.「講読編」第10課</li> <li>9.「会話編」第11課</li> <li>10.「講読編」第11課</li> <li>11.「会話編」第12課</li> <li>12.「講読編」第12課</li> <li>13.「会話編」「講読編」第7課～第12課のまとめ</li> </ol> <p>※11月の第4日曜日は中国語検定試験の日。この日を必ず空けてください。</p>			

科目名	アジアの言語A-IV(中国語)	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『準中級中国語 会話編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0711-5) 『準中級中国語 講読編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0712-2)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語B－I（韓国・朝鮮語）	前期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習・復習合わせて2時間程度必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.ガイダンス、Lesson 1 基本母音(担当:高城) 2.Lesson 2 子音①:平音 (担当:権) 3.Lesson 2 子音②:激音、子音③:濃音(担当:高城) 4.Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音(担当:権) 5.日本語のハングル表記。第1課「私は日本人です」【文法】(担当:高城) 6.韓国の地図、教室でよく使う表現、挨拶。第1課「私は日本人です」【会話】(担当:権) 7.第2課「日本人ではありません」【文法】(担当:高城) 8.第2課「日本人ではありません」【会話】(担当:権) 9.第3課「それは何ですか」【文法】(担当:高城) 10.第3課「それは何ですか」【会話】(担当:権) 11.第4課「約束があります」【文法】(担当:高城) 12.第4課「約束があります」【会話】(担当:権) 13.復習(担当:高城) 14.中間のまとめ(担当:権) 15.第5課「会社はどこにありますか」【文法】(担当:高城) 16.第5課「会社はどこにありますか」【会話】(担当:権) 17.第6課「週末は何をしますか」【文法】(担当:高城) 18.第6課「週末は何をしますか」【会話】(担当:権) 19.第7課「そんなに遠くありません」【文法】(担当:高城) 20.第7課「そんなに遠くありません」【会話】(担当:権) 21.第8課「いつ行きますか」【文法】(担当:高城) 22.第8課「いつ行きますか」【会話】(担当:権) 23.第9課「釜山までどうやって行きますか」【文法】(担当:高城) 24.第9課「釜山までどうやって行きますか」【会話】(担当:権) 25.期末のまとめ(担当:高城) 26.韓国文化の理解(担当:権)</p>			

科目名	アジアの言語B－I（韓国・朝鮮語）	前期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名:李志映 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語B－Ⅱ(韓国・朝鮮語)	後期	2単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度必要。</p> <p>[授業計画] 1.前期学習内容の復習(担当:権) 2.第10課「何時からですか」【文法】(担当:高城) 3.第10課「何時からですか」【会話】(担当:権) 4.第11課「いつ日本へ来ましたか」【文法】(担当:高城) 5.第11課「いつ日本へ来ましたか」【会話】(担当:権) 6.第12課「お名前は?」【文法】(担当:高城) 7.第12課「お名前は?」【会話】(担当:権) 8.第13課「どちらへ行っていたらいいですか」【文法】(担当:高城) 9.第13課「どちらへ行っていたらいいですか」【会話】(担当:権) 10.第14課「日本と韓国は似てるけど、けっこう違うでしょう?」【文法】(担当:高城) 11.第14課「日本と韓国は似てるけど、けっこう違うでしょう?」【会話】(担当:権) 12.第15課「温泉に行きたいです」【文法】(担当:高城) 13.第15課「温泉に行きたいです」【会話】(担当:権) 14.中間のまとめ(担当:高城) 15.復習(担当:権) 16.第16課「プレゼントを買うのでたくさんお金を使います」【文法】(担当:高城) 17.第16課「プレゼントを買うのでたくさんお金を使います」【会話】(担当:権) 18.第17課「結婚式に何を着ていけばいいですか」【文法】(担当:高城) 19.第17課「結婚式に何を着ていけばいいですか」【会話】(担当:権) 20.第18課「食事でも一緒にしましょうか」【文法】(担当:高城) 21.第18課「食事でも一緒にしましょうか」【会話】(担当:権) 22.第19課「写真をちょっと撮っていただけますか」【文法】(担当:高城) 23.第19課「写真をちょっと撮っていただけますか」【会話】(担当:権) 24.第20課「自転車に乗ることができますか」【文法】(担当:高城) 25.第20課「自転車に乗ることができますか」【会話】(担当:高城) 26.期末のまとめ(担当:権)</p>			



科目名	アジアの言語B－Ⅱ(韓国・朝鮮語)	後期	2単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、あるいはmanaba等フィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名:李志映 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語B－Ⅲ(韓国・朝鮮語)	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス、基本文法の確認 2.第1課 文法:動詞の現在連体形、～して(先行動作の用法) 3.第1課 会話:「食べる方法が大きく異なりますね」 4.第2課 文法:動詞の過去連体形、～したことがある(経験) 5.第2課 会話:「韓国に行ったことがありますか」 6.第3課 文法:動詞の未来連体形、～するつもりです(予定・意志) 7.第3課 会話:「卒業したら何をするつもりか」 8.第4課 文法:形容詞の現代連体形、名詞文の現在連体形 9.第4課 会話:「背が大きい男性は誰ですか」 10.第5課 文法:～するのですが、するのに(前置き) 11.第5課 会話:「お忙しいのにすみません」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語B－Ⅲ(韓国・朝鮮語)	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語B-Ⅲ(韓国・朝鮮語)	前期	1単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス、基本文法の確認 2.第1課 文法:動詞の現在連体形、～して(先行動作の用法) 3.第1課 会話:「食べる方法が大きく異なりますね」 4.第2課 文法:動詞の過去連体形、～したことがある(経験) 5.第2課 会話:「韓国に行ったことがありますか」 6.第3課 文法:動詞の未来連体形、～するつもりです(予定・意志) 7.第3課 会話:「卒業したら何をするつもりか」 8.第4課 文法:形容詞の現代連体形、名詞文の現在連体形 9.第4課 会話:「背が大きい男性は誰ですか」 10.第5課 文法:～するのですが、するのに(前置き) 11.第5課 会話:「お忙しいのにすみません」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語B－Ⅲ(韓国・朝鮮語)	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級Ⅱ』、プリント配布。著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版(978-4-87217-886-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語B-IV(韓国・朝鮮語)	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.前期学習内容の復習 2.第6課 文法:動詞の不規則活用、～から～ので 3.第6課 会話:「熱いので気をつけてください」 4.第7課 文法:動詞の不規則活用、～なければならない 5.第7課 会話:「外国語は毎日聞かなければなりません」 6.第8課 文法:動詞の不規則活用、～ために・せいで、～するため 7.第8課 会話:「風邪は治りましたか」 8.第9課 文法:用言の不規則活用、～するじゃないですか 9.第9課 会話:「A型とO型とどちらがいますか」 10.第10課 文法:形容詞の不規則活用、～してみる 11.第10課 会話:「赤色はありませんか」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語B-IV(韓国・朝鮮語)	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容: 国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名: 李志映・金鎮姫 出版社: DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	アジアの言語B-IV(韓国・朝鮮語)	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.前期学習内容の復習 2.第6課 文法:動詞の不規則活用、～から～ので 3.第6課 会話:「熱いので気をつけてください」 4.第7課 文法:動詞の不規則活用、～なければならない 5.第7課 会話:「外国語は毎日聞かなければなりません」 6.第8課 文法:動詞の不規則活用、～ために・せいで、～するため 7.第8課 会話:「風邪は治りましたか」 8.第9課 文法:用言の不規則活用、～するじゃないですか 9.第9課 会話:「A型とO型とどちらがいますか」 10.第10課 文法:形容詞の不規則活用、～してみる 11.第10課 会話:「赤色はありませんか」 12.総復習 13.まとめ</p>			



科目名	アジアの言語B－IV(韓国・朝鮮語)	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『できる韓国語初級Ⅱ』。 著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	Intensive English I A	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[ 授業概要 ] Students will learn about the basic components involved with using English for communicative purposes. The main focus of the course is to facilitate quick response, aural comprehension, and increase fluency in the spoken language. Students are expected to work in pairs and in small groups and are encouraged to remain in the target language as much as possible. The course will also attempt to give students confidence in their communicative abilities by requiring them to use English to solve a multitude of group oriented tasks and to act out roles in various dramatic situations.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Getting to know your classmates</li> <li>2. Personalities</li> <li>3. Talking to People You Don't Know</li> <li>4. Simple Past, Simple Questions</li> <li>5. Food for Thought</li> <li>6. Giving Reasons</li> <li>7. Review I Units 1-6</li> <li>8. Talking about Experiences Abroad</li> <li>9. Future Plans</li> <li>10. Giving Feedback</li> <li>11. Making Inferences</li> <li>12. Asking for and Giving Opinions</li> <li>13. Summary</li> </ol>			

S40001 [ LGH1-001 ]

科目名	Intensive English I A	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[ 成績評価方法 ] Class Participation (30%) , Homework assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Oral Exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Voices Book 3 Student's Book with Online Practice and Student's eBook (TOEIC 390 ~ 500) 著者名:Emily Bryson &amp; Christien Lee 出版社:National Geographic Learning Japan (9.78035745881-5)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

S40001 [ LGH1-001 ]

科目名	Intensive English I A	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[ 授業概要 ] Students will learn about the basic components involved with using English for communicative purposes. The main focus of the course is to facilitate quick response, aural comprehension, and increase fluency in the spoken language. Students are expected to work in pairs and in small groups and are encouraged to remain in the target language as much as possible. The course will also attempt to give students confidence in their communicative abilities by requiring them to use English to solve a multitude of group oriented tasks and to act out roles in various dramatic situations.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Getting to know your classmates</li> <li>2. My Place</li> <li>3. Making and Accepting a General Invitation</li> <li>4. Money Matters</li> <li>5. Going Out on the Town</li> <li>6. Learning Languages</li> <li>7. Review I Units 1-6</li> <li>8. Talking about Experiences Abroad</li> <li>9. Health Issues</li> <li>10. Personalities</li> <li>11. Making Inferences</li> <li>12. Asking for and Giving Opinions</li> <li>13. Summary</li> </ol>			

S40002 [ LGH1-001 ]

科目名	Intensive English I A	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[ 成績評価方法 ] Class Participation (30%) , Homework assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Oral Exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Voices Book 3 Student's Book with Online Practice and Student's eBook (TOEIC 390 ~ 500) 著者名:Emily Bryson &amp; Christien Lee 出版社:National Geographic Learning Japan (9.78035745881-5)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

S40002 [ LGH1-001 ]

科目名	Intensive English I B	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[ 授業概要 ] Students will learn about the basic components involved with reading and writing in English. The main focus of the course is to help students develop skills for recognizing the basic structure of English sentences and paragraphs so that their reading and written expression becomes more fluent and less tedious. Students will learn to find information quickly and efficiently when reading and will be asked to write short responses to the various texts covered in the course. The more you do it the easier it becomes! Let's have fun reading and writing in English!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Getting to know your classmates</li> <li>2. Discover New Zealand</li> <li>3. Adventure Activities</li> <li>4. Fun Festivals</li> <li>5. Japanese Festivals and Traditions</li> <li>6. Sounds Good – Ethnic Music of the Caribbean</li> <li>7. Talk About Music Genres</li> <li>8. The Big Screen</li> <li>9. Learning About Culture Through Film</li> <li>10. Now And Then – Making Comparisons: Past &amp; Present</li> <li>11. Exploring South America</li> <li>12. Country Life vs. City Life</li> <li>13. Summary</li> </ol>			

科目名	Intensive English I B	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[ 成績評価方法 ] Class Participation (30%) , Homework Assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Final Exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Same as Intensive I A (Voices Book 3 Student's Book with Online Practice and Student's eBook) (TOEIC 390 ~ 500) 著者名:Emily Bryson &amp; Christien Lee 出版社:National Geographic Learning Japan (9.780357-45881-5)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	Intensive English I B	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English			
[ 授業概要 ] Students will learn about the basic components involved with reading and writing in English. The main focus of the course is to help students develop skills for recognizing the basic structure of English sentences and paragraphs so that their reading and written expression becomes more fluent and less tedious. Students will learn to find information quickly and efficiently when reading and will be asked to write short responses to the various texts covered in the course. The more you do it the easier it becomes! Let's have fun reading and writing in English!			
[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要			
[ 授業計画 ] 1. Getting to know your classmates 2. Discover New Zealand 3. Adventure Activities 4. Fun Festivals 5. Japanese Festivals and Traditions 6. Sounds Good – Ethnic Music of the Caribbean 7. Talk About Music Genres 8. The Big Screen 9. Learning About Culture Through Film 10. Now And Then – Making Comparisons: Past & Present 11. Exploring South America 12. Country Life vs. City Life 13. Summary			



科目名	Intensive English I B	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[ 成績評価方法 ] Class Participation (30%) , Homework Assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Final Exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Same as Intensive I A (Voices Book 3 Student's Book with Online Practice and Student's eBook) (TOEIC 390 ~ 500) 著者名:Emily Bryson &amp; Christien Lee 出版社:National Geographic Learning Japan (9.780357-45881-5)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	Intensive English II A	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[ 授業概要 ] This course is the continuation of Intensive English I-A. Students will learn about the basic components involved with using English for communicative purposes. The main focus of the course is to facilitate quick response, aural comprehension, and increase fluency in the spoken language. Students are expected to work in pairs and in small groups and are encouraged to remain in the target language as much as possible. The course will also attempt to give students confidence in their communicative abilities by requiring them to use English to solve a multitude of group oriented tasks and to act out roles in various dramatic situations. Students will also learn how to give a formal presentation in English.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Talking About Past Experiences 2. Ecotourism 3. Learning About Wildlife Preserves in Uganda 4. To Market, To Market 5. The Aging Of Japan 6. The Problem of World Pollution 7. How Japan Recycles 8. Living Green 9. Endangered Species 10. Group Project - Kobe Local Global Self-Study 11. Living Abroad 12. Immigration/Emigration 13. Summary</p>			

科目名	Intensive English II A	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[ 成績評価方法 ]  平常の授業態度、クイズ、口頭発表等が評価の基準  Class Participation (30%) , Quiz after each unit (20%) , Oral Exam (30%) , On-line homework assignments (20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Same as for the first semester. Plus- additional printouts will be given as necessary. 前期と同様プリント配布もする。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし(なし)</p>			

科目名	Intensive English II A	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[ 授業概要 ] This course is the continuation of Intensive English I-A. Students will learn about the basic components involved with using English for communicative purposes. The main focus of the course is to facilitate quick response, aural comprehension, and increase fluency in the spoken language. Students are expected to work in pairs and in small groups and are encouraged to remain in the target language as much as possible. The course will also attempt to give students confidence in their communicative abilities by requiring them to use English to solve a multitude of group oriented tasks and to act out roles in various dramatic situations. Students will also learn how to give a formal presentation in English.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Talking About Past Experiences</li> <li>2. Ecotourism</li> <li>3. Learning About Wildlife Preserves in Uganda</li> <li>4. To Market, To Market</li> <li>5. The Aging Of Japan</li> <li>6. The Problem of World Pollution</li> <li>7. How Japan Recycles</li> <li>8. Living Green</li> <li>9. Endangered Species</li> <li>10. Group Project - Kobe Local Global Self-Study</li> <li>11. Living Abroad</li> <li>12. Immigration/Emigration</li> <li>13. Summary</li> </ol>			

科目名	Intensive English II A	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[ 成績評価方法 ]  平常の授業態度、クイズ、口頭発表等が評価の基準  Class Participation (30%) , Quiz after each unit (20%) , Oral Exam (30%) , On-line homework assignments (20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Same as for the first semester. Plus- additional printouts will be given as necessary. 前期と同様一プリント配布もする。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし(なし)</p>			

科目名	Intensive English II B	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[ 授業概要 ] This course is the continuation from the first semester. Students will learn about the basic components involved with reading and writing in English. The main focus of the course is to help students develop skills for recognizing the basic structure of English sentences and paragraphs so that their reading and written expression becomes more fluent and less tedious. Students will learn to find information quickly and efficiently when reading and will be asked to write short responses to the various texts covered in the course. The more you do it the easier it becomes! Let's have fun reading and writing in English!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Talking About Past Experiences 2. Ecotourism 3. Learning About Wildlife Preserves in Uganda 4. To Market, To Market 5. The Aging Of Japan 6. The Problem of World Pollution 7. How Japan Recycles 8. Living Green 9. Endangered Species 10. Group Project – Kobe Local Global Self-Study 11. Living Abroad 12. Immigration/Emigration 13. Summary</p>			

科目名	Intensive English II B	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[ 成績評価方法 ]  平常の授業態度、クイズ、口頭発表等が評価の基準  Class Participation (30%) , Homework Assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Final Exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Same as for the first semester. Plus- additional printouts will be given as necessary. 前期と同様一プリント配布もする。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	Intensive English II B	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[ 授業概要 ] This course is the continuation from the first semester. Students will learn about the basic components involved with reading and writing in English. The main focus of the course is to help students develop skills for recognizing the basic structure of English sentences and paragraphs so that their reading and written expression becomes more fluent and less tedious. Students will learn to find information quickly and efficiently when reading and will be asked to write short responses to the various texts covered in the course. The more you do it the easier it becomes! Let's have fun reading and writing in English!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Talking About Past Experiences 2. Ecotourism 3. Learning About Wildlife Preserves in Uganda 4. To Market, To Market 5. The Aging Of Japan 6. The Problem of World Pollution 7. How Japan Recycles 8. Living Green 9. Endangered Species 10. Group Project – Kobe Local Global Self-Study 11. Living Abroad 12. Immigration/Emigration 13. Summary</p>			



科目名	Intensive English II B	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[ 成績評価方法 ]  平常の授業態度、クイズ、口頭発表等が評価の基準  Class Participation (30%) , Homework Assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Final Exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Same as for the first semester. Plus- additional printouts will be given as necessary. 前期と同様一プリント配布もする。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	英語学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代英語に至るまでの変遷を、歴史的背景に関連させて説明できる。</li> <li>2. 英語のバリエーションについて具体例を挙げて説明できる。</li> <li>3. 英語の音声や音韻について、具体的な単語や文例を挙げて説明できる。</li> <li>4. 英語の単語がどのような構造で形成されているかを説明できる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の歴史や、音声的特徴・語構造・文構造など、その言語の背景的知識を学ぶことも重要である。この授業では、まず、英語の歴史的変化や方言などのバリエーションを概観する。その後、現代英語の音声的・音韻的な特徴や、単語の構造といった英語という言語に見られるしくみを、他言語との比較を通して客観的に観察する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。  予習: 参考書を用いて、各回で扱うトピックの該当箇所を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておくことが望ましい。  ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションおよび言語の起源について</li> <li>2. 言語研究の諸分野とその研究方法</li> <li>3. 英語の歴史</li> <li>4. 英語の発音とスペリング</li> <li>5. 英語の語彙の多様性</li> <li>6. 標準英語の成立</li> <li>7. 英語の方言と多様性</li> <li>8. 英語の発音のしくみ</li> <li>9. 英語の音の組み合わせ(1)前後の音の影響で変化する発音</li> <li>10. 英語の音の組み合わせ(2)音節、アクセント、リズム</li> <li>11. 英語の単語のしくみ(1)形態素の種類</li> <li>12. 英語の単語のしくみ(2)単語の組み立て</li> <li>13. 講義内容の総括と学習到達度の確認</li> </ol>			

科目名	英語学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等):30%</li> <li>・授業内や授業後に提出する課題:30%</li> <li>・最終試験:40%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社,2014年。(978-4-327-40165-8) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版,2013年。(978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会,2015年。(978-4766422139) 英語の音声を科学する(新装版) 著者名:川越いつえ 出版社:大修館書店,2007年。(978-4469245318)</p>			

S45050 [ LGH1-025 ]

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語の文構造を正しく分析できる。</li> <li>2. 意味の拡張について、話者の認知や視点に関連させて分析できる。</li> <li>3. 会話における意味解釈において、コンテキストがどのように関わっているかを分析できる。</li> <li>4. 文章のなかで効果的に情報を提示する方法を理解し、それを実践する。</li> <li>5. 言語と文化・社会にどのような関連があるかを説明できる。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の背景的知識について学ぶことも重要である。「英語学入門Ⅱ」では、「英語学入門Ⅰ」に引き続き、英語を他言語(主に日本語)と比較しながら客観的に観察する。この授業ではまず英語の文構造を分析する。その後、この授業の前半を使って意味解釈に関する理論を概観し、人間の認知と意味拡張の関わりや、会話においてコンテキストの情報が意味解釈に与える影響について考察する。授業の後半では、言語と文化の関わりや、社会言語学的観点からみた英語のバリエーションについて分析する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。  予習: 事前配布する講義資料や参考書等の資料を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておく。  ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションおよび次週への導入(文構造の分析)</li> <li>2. 文構造の分析</li> <li>3. メタファーとメトニミー</li> <li>4. 法助動詞と主観性</li> <li>5. 明意と暗意</li> <li>6. 会話におけるルール</li> <li>7. まとまりのある文章</li> <li>8. 新情報と旧情報</li> <li>9. 異文化間におけるコミュニケーション</li> <li>10. ことばと文化</li> <li>11. ことばと社会(1): 地域変種と社会変種</li> <li>12. ことばと社会(2): ピンジンとクレオール</li> <li>13. 講義内容の総括と学習到達度の確認</li> </ol>			

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等):30%</li> <li>・授業内や授業後に提出する課題:30%</li> <li>・最終試験:40%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社,2014年。(978-4-327-40165-8) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版,2013年。(978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会,2015年(978-4766422139)</p>			

科目名	英語科指導法 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	田中 章愛			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]          伝統的教授法の問題点を理解し、これからの英語教育に何が必要かを理解する。また、学習指導要領における外国語教育の目標と指導内容について学ぶ。これらの学習を通して、課題意識を持って授業を組み立てる態度を養う。</p> <p>[授業概要]          近年注目を集めている「フォーカス・オン・フォーム」という学習者の気付きを支援する指導法を学習することに加え、学習指導要領の3つの資質・能力を踏まえた指導について基本的な知識と技能を身に付ける。また、小学校における外国語活動・外国語科の学習内容を踏まえた、中学校・高等学校の授業づくりの方法や英語の授業における異文化理解の在り方、ALTとのチーム・ティーチングの方法についても学習する。さらに、学習到達目標に基づく授業づくりや観点別評価等の評価の在り方を確認し、考查問題の作成等の言語能力の測定と評価についても学ぶ。模擬授業では、主に、前半はICT等の活用や生徒の習熟度に応じた授業づくりを実践し、後半は5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び領域を統合した指導に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。</p> <p>* 授業では manaba を多用するので、PC 必携のこと。          また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録をしておくこと。</p> <p>* 学校現場で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          各回の授業についての予習・復習4時間程度。          テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画]          1. オリエンテーション、英語教員の役割          2. 英語教育観と第二言語習得研究          3. 4技能の指導の注意点          4. 学習指導要領(中学校・高等学校外国語科の目標と指導内容)          5. 伝統的教授法の問題点とコミュニカティブ言語教授法          6. タスク中心教授法の理論的背景とその課題          7. 「聞くこと」と「読むこと」に関する授業映像視聴、英語の音声指導・文字指導          8. 「話すこと」と「書くこと」に関する授業映像視聴、英語の語彙・表現・文法の指導          9. 小テスト、指導法のワークショップ(授業担当教員による実演)          10. 授業の構成、指導手順、指導案の書き方          11. 模擬授業(1)(第1グループ)          12. 模擬授業(2)(第2グループ)          13. 模擬授業の反省とまとめ</p>				

科目名	英語科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中 章愛		
<p>[ 成績評価方法 ]  模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  指導案・模擬授業は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>manabaでの小テストやレポート課題は、manabaにてフィードバックを行います。</p> <p>manabaを活用するため、必ず登録しておくこと。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  新・グローバル時代の英語教育 著者名:岡秀夫編著 出版社:成美堂 (9784791972180)  ) Trend Scope 著者名:Jonathan Lynch, Kotaro Shitori 出版社:成美堂 (9784790000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 著者名:和泉伸一 出版社:大修館書店 (978-4-469-24547-9)  中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (978-4304041617)  高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (978-4304041648)</p>			

S45010 [ LGH2-034 ]

科目名	英語科指導法Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	田中 章愛			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 「フォーカス・オン・フォーム」による指導法を理解する。また、学習指導要領の3つの資質・能力(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」とともに、評価の在り方及び授業の指導計画について理解し、実際に授業を担当できる能力の基礎を築く。</p> <p>[授業概要] 近年注目を集めている「フォーカス・オン・フォーム」という学習者の気付きを支援する指導法を学習することに加え、学習指導要領の3つの資質・能力を踏まえた指導について基本的な知識と技能を身に付ける。また、小学校における外国語活動・外国語科の学習内容を踏まえた、中学校・高等学校の授業づくりの方法や英語の授業における異文化理解の在り方、ALTとのチーム・ティーチングの方法についても学習する。さらに、学習到達目標に基づく授業づくりや観点別評価等の評価の在り方を確認し、考查問題の作成等の言語能力の測定と評価についても学ぶ。模擬授業では、主に、前半はICT等の活用や生徒の習熟度に応じた授業づくりを実践し、後半は5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び領域を統合した指導に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。</p> <p>* 授業では manaba を多用するので、PC 必携のこと。 また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録をしておくこと。</p> <p>* 学校現場で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 学習指導要領の3つの資質・能力を育むための授業、教科用図書に基づく指導 2. 小学校学習指導要領(外国語活動・外国語科)、小中高を通じた英語教育の在り方 3. 言語習得の3要素とフォーカス・オン・フォーム、フォーカス・オン・フォームに基づいた授業映像の視聴 4. 異文化理解、ALTとのチーム・ティーチングに関する授業映像視聴、英語でのインタラクション 5. 学習到達目標に基づく授業づくりと評価の在り方、考查問題の作成方法、教材・ICTの活用 6. 生徒の特性・習熟度に応じた授業づくり 7. 5つの領域の指導、領域統合型の授業映像視聴 8. 模擬授業の準備 9. 模擬授業(1) (第1グループ) 10. 模擬授業(2) (第2グループ) 11. 模擬授業(3) (第3グループ) 12. 模擬授業の振り返り 13. まとめ</p>				



科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中 章愛		
<p>[ 成績評価方法 ]  模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>指導案・模擬授業は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>manabaでの小テストやレポート課題は、manabaにてフィードバックを行います。</p> <p>manabaを活用するため、必ず登録しておくこと。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  新・グローバル時代の英語教育  (前期に引き続き使用) 著者名:岡秀夫編著 出版社:成美堂 (9784790000000)  Trend Scope  (前期に引き続き使用) 著者名:Jonathan Lynch, Kotaro Shitori 出版社:成美堂 (9784790000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』  著者名:和泉伸一 出版社:大修館書店 (978-4-469-24547-9)  中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (978-4304041617)  高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (978-4304041648)</p>			

S45020 [ LGH2-035 ]

科目名	英語圏文学 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア(講義)	
担当者	坂元 敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

アメリカ小説・戯曲を読み、作品中に使用されるさまざまな英語表現を学ぶとともに英語の読解力をつける。  
英語で外国文学作品を味わう方法を学ぶ。  
アメリカ文学作品と時代背景、またアメリカの社会・文化について理解する。  
作品の朗読や台詞の発表を通して、コミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。

[授業概要]

【メディア授業】

この授業では、代表的なアメリカ文学作品の一部(抜粋)を英語で読み、その中の英語表現について学ぶとともに、作品に見られる「アメリカらしさ」とは何かについて考える。作品の背景となる時代やアメリカの社会・文化に焦点をあて、各自が調べたり発表したりすることによって、異なる文化の理解を目指す。また声に出して台詞や文章を読むことによって、英語による文学作品を味わい、自然な英語やコミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。作品の多くは映画化されているので、映像作品と原作の違いなどについても考えたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

課題とした文学作品を次の授業までに読み、発表する。辞書を使用してテキストを細かく読み、理解してから授業に臨むこと。また、レポートは字数や形式を守り、作品に関するリサーチをじゅうぶん行うこと。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]

- 第1回: イントロダクション
- 第2回: 小説と戯曲、アメリカ文学史概観
- 第3回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウィンクル』を読む
- 第4回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウィンクル』の時代背景と社会
- 第5回: オルコット『若草物語』を読む
- 第6回: オルコット『若草物語』と南北戦争
- 第7回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』を読む
- 第8回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』と20年代
- 第9回: フォークナー『響きと怒り』を読む
- 第10回: フォークナー『響きと怒り』とアメリカ南部
- 第11回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』を読む
- 第12回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』とアメリカの家族
- 第13回: まとめ

科目名	英語圏文学 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア(講義)	
担当者	坂元 敦子		

[ 成績評価方法 ]

テスト(30%)、課題(40%)、授業参加(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

授業内でおこない、マナバも使用します。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

プリント配布 著者名:

[ 参考書(ISBN) ]

小説の技法 著者名:D. ロッジ 出版社:白水社 (9784560000000)

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・翻訳を通して原作を読み、物語の力を感じる。</li> <li>・原作の英文も一部読むので、時代や作者によって変わる英語の文体の違いを知る。</li> <li>・イギリスやアイルランドの文学作品とその時代背景、社会や文化について理解する。</li> <li>・文学作品を読み、そのなかから問題を探し、調べ、考え、表現する。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>【メディア授業】</p> <p>この授業では、イギリスやアイルランドの代表的な文学作品の一部(抜粋)を英語で読み、その中の英語表現について学ぶとともに、作品に見られる「イギリスらしさ・アイルランドらしさ」とは何かについて考える。作品の背景となる時代や社会・文化にも焦点をあて、各自が調べたり発表したりすることによって、異なる文化の理解を目指す。また声に出して台詞や文章を読むことによって、英語による文学作品を味わい、コミュニケーションの道具を超えた言語表現に触れる。作品の多くは映画化されているので、映像作品と原作の違いなどについても考えたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>図書館やインターネットを使用して、講義関連内容の情報を収集し、興味のある文献を読んでおく。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回 イン트로ダクション  第2回 小説と戯曲、イギリスとアイルランド文学史概観  第3回 スウィフト『ガリバー旅行記』を読む: 18世紀の旅行記文学  第4回 スウィフト『ガリバー旅行記』: 「憤怒」の人スウィフトと、フーイヌムの悲しみ  第5回: ディケンズ『オリバー・ツイスト』を読む  第6回: ディケンズ『オリバー・ツイスト』: 階級社会  第7回: ハーディ『ダーバヴィル家のテス』を読む  第8回: ハーディ『ダーバヴィル家のテス』 運命と意思  第9回: ジョイス『ダブリン市民』を読む ポスト植民地文学  第10回: ジョイス『ダブリン市民』: 意識の流れ  第11回: ベケット『ゴドーを待ちながら』を読む: 世界に放り出された人間  第12回: ベケット『ゴドーを待ちながら』を読む 戦争の記憶  第13回: まとめ</p>			

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[ 成績評価方法 ] 音読テスト20% (母音、子音、アクセント、イントネーション、強弱、間など)、最終レポート80%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manabaやメール等でおこなう</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『ゴドーを待ちながら』 著者名:サミュエル・ベケット 出版社:白水社 (ISBN-10: 4560071837)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『ベケット大全』 著者名:高橋康也監修 出版社:白水社 (ISBN-10: 4560046662) 『ガリヴァー旅行記』を読む 著者名:富山太佳夫 出版社:岩波書店 (ISBN-10: 4000042491) 二十世紀「英国」小説の展開 著者名:高橋和久・丹治愛編著 出版社:松柏社 (978-4-7754-0269-6) 『ガリヴァー旅行記』 著者名:スウィフト (高山宏訳) 出版社:研究社 (4327180521) イェイツとジョイスの時代のダブリン 著者名:リチャード・ケイン 出版社:小鳥遊書房 (978-4-909812-37-7)</p>			

科目名	英語史 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語の歴史を知り、現代英語を知る。	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各時代において英語に変化をもたらした社会・文化的要因について理解する。(外面史の理解)</li> <li>・現代英語が示す様々な文法的特異性を歴史的变化の観点から理解する。(内面史の理解)</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>英語という言葉が歴史上辿ってきた変化について、各時代背景を踏まえつつ、他言語との接触・文字と音声・語形・統語法の観点から講義する。英語を取り巻く状況の変化の歴史(外面史)と英語そのものに生じた変化(内面史)の2つの観点を行き来しながら話を進める。特に内面史においては、各時代に英語に生じた変化が現代英語のどのような特徴に繋がっているかという観点を重視しながら解説していく。</p> <p>資料は授業ごとに配布する。毎回の授業の終わりに、授業担当者が出す問題への解答や自身の質問・コメントを書いて提出することが求められる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習: 次回授業までに参考書に挙げている寺澤(2008)の該当箇所を読んで予習をすると良い。</li> <li>・復習: 授業で配布した資料を読み返しておくこと。</li> <li>・「英語学入門Ⅰ」「英語学入門Ⅱ」をすでに履修していることが望ましい。</li> </ul> <p>※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに(英語の外面史と内面史、現代英語の謎)</li> <li>2. 英語のルーツ(1): 語族と印欧祖語</li> <li>3. 英語のルーツ(2): 印欧祖語からゲルマン祖語へ</li> <li>4. 古英語期から中英語期の時代背景</li> <li>5. 英語と外国語の接触(1): 古英語期</li> <li>6. 英語と外国語の接触(2): ノルマン征服以降</li> <li>7. ローマン・アルファベットの歴史</li> <li>8. 文字と音声(1): 古英語～中英語</li> <li>9. 文字と音声(2): 大母音推移</li> <li>10. 語形(1): 古英語の豊富な屈折</li> <li>11. 語形(2): 屈折の平板化、消失</li> <li>12. 格・語順・一致からみた英語の文法変化</li> <li>13. 講義の総まとめ</li> </ol>			

科目名	英語史 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語の歴史を知り、現代英語を知る。	講義	
担当者	吉本 真由美		

[ 成績評価方法 ]

授業内課題 (40%) + 試験 (60%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

授業内課題はその次の回の授業の冒頭にフィードバックをおこなう。  
試験は実施後にmanabaに講評を掲載し、希望に応じて答案を返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) ]

学科DP番号/DP内容: 国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 授業内課題、試験

[ 教科書 (ISBN) ]

なし

[ 参考書 (ISBN) ]

『英語の歴史—過去から未来への物語—』 著者名: 寺澤盾 出版社: 中公新書, 2008年. (9784120000000)

『英語の歴史』(テイクオフ英語学シリーズ①) 著者名: 松浪有(編) 出版社: 大修館書店, 1996年. (978-4469141351)

The Cambridge Encyclopedia of the English Language, 3rd Edition. 著者名: David Crystal 出版社: Cambridge University Press. (2018) (9781110000000)

科目名	英語史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	英語の変化・バリエーション	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各時代の英語の特徴を、実際のテキストを通して理解する。</li> <li>・英語の文法の成立過程について基礎的な事項を理解する。</li> <li>・時代や地域による英語のバリエーションを知る。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>以下の3つのテーマに沿って講義を進める。</p> <p>(1) 英語の特徴の変遷(古英語期から初期近代英語期まで):各時代の代表的なテキストを取り上げ、その言語的特徴を時代背景も含めながら解説する。</p> <p>(2) 統語法の歴史(否定辞not、助動詞do、法助動詞の発達):主に語順の固定化という要因を中心に、3つの文法現象の変化の過程について説明する。</p> <p>(3) 英語の変種について(アメリカ、オーストラリア):それぞれの国に英語がもたらされた歴史を踏まえながらそれぞれの英語の変種の特徴を概観する。</p> <p>※資料は授業ごとに配布する。毎回の授業の終わりに、授業担当者が出す問題への解答や自身の質問・コメントを書いて提出することが求められる。</p> <p>※「英語史Ⅰ」の履修は前提としないが、参考書の寺澤(2008)を読んでおくことを推奨する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習:次回授業までに参考書に挙げている宇賀治(2000)や寺澤(2008)の該当箇所を読んで予習をすると良い。</li> <li>・復習:授業で配布した資料を読み返しておくこと。</li> <li>・「英語史Ⅰ」や「英語学入門Ⅰ」「英語学入門Ⅱ」をすでに履修していることが望ましい。</li> </ul> <p>※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに(「英語史Ⅰ」のダイジェスト)</li> <li>2. 古英語の語形成(複合語、派生、品詞転換、屈折)</li> <li>3. 古英詩の特徴:『ベオウルフ』</li> <li>4. 中英語の特徴:『カンタベリー物語』</li> <li>5. 初期近代英語期(1):シェイクスピアの英語</li> <li>6. 初期近代英語期(2):欽定訳聖書の英語</li> <li>7. 統語法の変化(1):否定辞notの歴史</li> <li>8. 統語法の変化(2):助動詞do(前編)</li> <li>9. 統語法の変化(3):助動詞do(後編)</li> <li>10. 統語法の変化(4):法助動詞のサイクル</li> <li>11. 英語の変種(1):アメリカ英語 vs. イギリス英語</li> <li>12. 英語の変種(2):オーストラリア英語</li> <li>13. 講義の総まとめ</li> </ol>			



科目名	英語史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語の変化・バリエーション	講義	
担当者	吉本 真由美		

[ 成績評価方法 ]

授業内課題 (40%) + 試験 (60%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

※授業内課題はその次の回の授業の冒頭にフィードバックをおこなう。  
 ※試験は実施後にmanabaに講評を掲載し、希望に応じて答案を返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) ]

学科DP番号/DP内容: 国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 授業内課題、試験

[ 教科書 (ISBN) ]

なし

[ 参考書 (ISBN) ]

『英語史』(現代の英語学シリーズ⑧) 著者名: 宇賀治正朋 出版社: 開拓社, 2000年. (978-4758902182)

The Cambridge Encyclopedia of the English Language, 3rd Edition 著者名: David Crystal 出版社: Cambridge University Press.

(2018) (9780000000000)

『英語の歴史—過去から未来への物語』 著者名: 寺沢盾 出版社: 中公新書, 2008年. (978-4121019714)

科目名	開発協力と政治		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート		○	グループワーク	○
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>国家の発展という、恐らく多くの人々が考えることは、経済的発展である。しかしながら、数ある重要な視点のひとつとして、国家の政治発展を挙げることが出来るが、今迄、ほぼ注目される機会は少なかった。更には、国際援助という、経済及び社会的インフラに関する対外援助という理解になってしまいがちではあるものの、本講義では、政治制度、行政制度及び公共政策における対外援助の変遷や動向及び開発途上国内の政治体制・行政制度や公共政策の基礎知識を深めることを目標とする。</p> <p>[授業概要]</p> <p>前半では、対外援助と政治発展との関係性や先進国や国際機関の開発途上国の政治発展のための援助の変遷及びその援助理由について取り上げる。また、後半では、国内の政治体制について事例を取り上げる。政治発展や政治過程に関係するステークホルダーも変化しており、様々な地域の視点から、グローバル化及びパンデミック禍の政治発展への援助及びガバナンス(様々な定義があるが、統治能力)の構築を取り上げる。国連持続可能な開発のためのアジェンダ2030(SDGs)との関連性についても概説する。授業の中で、授業内容に関する資料をもとにディスカッションを行うこともある。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>前回の授業内容を復習し理解し、次回の授業を予習しておくこと。毎日の国際関係に関する新聞記事を読むことなど、各回、予習復習合わせて4時間程度を費やすこと。外部のセミナー・シンポジウムに積極的に参加すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>なぜ、いま政治発展なのか</li> <li>発展概念の多様化</li> <li>政治発展と開発との関係性(なぜ、政治が国家の発展(経済的及び社会的)に影響することがあるのか。)</li> <li>対外援助と福祉国家</li> <li>対外援助と民主主義発展援助</li> <li>開発と政治(比較政治学と政治発展論、グッド・ガバナンスと民主化論、国際機関の議論)</li> <li>開発と行政(ローカル・ガバナンス: 中央—地方関係と地方政府への支援、地方分権化)</li> <li>途上国に見られる公共政策の形</li> <li>様々な途上国国家体制(進む権威主義体制、新興民主主義はどこへ)、国家の役割、脆弱国家</li> <li>田南米地域の政治体制</li> <li>太平洋州地域の政治・行政体制(学外講師)</li> <li>政治発展に関する市民社会の役割(権威主義体制に対する市民の抵抗)</li> <li>SDGsと政治発展の関係性</li> </ol>				

科目名	開発協力と政治	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ]  ディスカッションへの参加度(30%)、リアクションペーパー(30%)、テスト(10%)、期末レポート試験(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p>			

S43265 [ LGH3-011 ]

科目名	観光英語 I	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

国内外の観光、旅行に関する知識を得ながら実践的な英語力の増強に努め、観光英語検定試験2級3級の合格を目指す。

[ 授業概要 ]

テキストを基に、郵便物の送付や両替、ホテルでのクレーム対応など、旅行・観光業における実際の仕事現場を再現した具体的なやり取りを通じて、リスニング・スピーキングのスキルを訓練する。また、関連文書を読んで設問に取り組むことによって必要な基本知識や語彙力を身につけ、リーディング・ライティングスキルも強化する。ダイアログの練習や予備知識・専門知識の確認などの場面では、ペアやグループワークを多用し、受講生間のコミュニケーション能力を高める。さらに、口頭発表によってより実践的な英語力の強化、プレゼンテーション能力の育成をはかる。授業内外での学びを通じてグローバルな視野を広げ、異文化・風習に対する思考を深めると同時に、自国の文化や風習を見つめ直していく。旅行・観光業や英語を使用する職場での就職希望者にはもちろん、そうでない者も、将来身近にいる外国人とやり取りをしたり海外旅行をしたりする際にも役立つ内容とする。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

- ・授業で取り上げるトピックについて、インターネット等で予備知識を得る
  - ・日頃から関連するニュースや英語に関心を持ち、「自主的、積極的な学び」を行う
  - ・学期に一度の口頭発表の準備(練習)
- 以上をふまえ、各回予習復習合わせて2時間程度を目安とする

[ 授業計画 ]

1. Introduction + Unit 1: Travel Information
2. Unit 1: Travel Information
3. Unit 2: At the Airpor
4. Unit 2: At the Airpor
5. Unit 3: Hotel
6. Unit 3: Hotel
7. Unit 4: Dining
8. Unit 4: Dining
9. Unit 5: Asking and Giving Directions
10. Unit 5: Asking and Giving Directions
11. Unit 6: Buses and Trains
12. Unit 6: Buses and Trains
13. Review

科目名	観光英語 I	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
<p>[ 成績評価方法 ] 筆記試験(50%)、口頭発表(30%)、提出物・授業態度など(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・筆記試験終了後、授業中に解答解説を行う ・口頭発表の点数的な評価は、授業内で説明する評価基準にしたがって講師が行う</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] English for Tourism-Intermediateステップアップ観光英語 著者名:観光英検センター編 出版社:三修社 (ISBN978-4-384-33436-4 C1082)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	観光英語Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

国内外の観光、旅行に関する知識を得ながら実践的な英語力の増強に努め、観光英語検定試験2級3級の合格を目指す。

[ 授業概要 ]

テキストを基に、旅行の際の空港でのチェックインやホテルの予約など、旅行・観光業における実際の仕事現場を再現した具体的なやり取りを通じて、リスニング・スピーキングのスキルを訓練する。また、関連文書を読んで設問に取り組むことによって必要な基本知識や語彙力を身につけ、リーディング・ライティングスキルも強化する。ダイアログの練習や予備知識・専門知識の確認などの場面では、ペアやグループワークを多用し、受講生間のコミュニケーション能力を高める。さらに、口頭発表によってより実践的な英語力の強化、プレゼンテーション能力の育成をはかる。授業内外での学びを通じてグローバルな視野を広げ、異文化・風習に対する思考を深めると同時に、自国の文化や風習を見つめ直していく。旅行・観光業や英語を使用する職場での就職希望者にはもちろん、そうでない者も、将来身近にいる外国人とやり取りをしたり海外旅行をしたりする際にも役立つ内容とする。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

- ・授業で取り上げるトピックについて、インターネット等で予備知識を得る
  - ・日頃から関連するニュースや英語に関心を持ち、「自主的、積極的な学び」を行う
  - ・学期に一度の口頭発表の準備(練習)
- 以上をふまえ、各回予習復習合わせて2時間程度を目安とする

[ 授業計画 ]

1. Introduction + Unit 7: Mailing and Money Exchange
2. Unit 7: Mailing and Money Exchange
3. Unit 8: Sightseeing (1)
4. Unit 8: Sightseeing (1)
5. Unit 9: Sightseeing (2)
6. Unit 9: Sightseeing (2)
7. Unit 10: Problems and Complaints
8. Unit 10: Problems and Complaints
9. Unit 11: Tour Conductor Duties
10. Unit 11: Tour Conductor Duties
11. Unit 12 Sightseeing in Japan
12. Unit 12 Sightseeing in Japan
13. Review

科目名	観光英語Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
<p>[ 成績評価方法 ] 筆記試験(50%)、口頭発表(30%)、提出物・授業態度など(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・筆記試験終了後、授業中に解答解説を行う ・口頭発表の点数的な評価は、授業内で説明する評価基準にしたがって講師が行う</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] English for Tourism-Intermediateステップアップ観光英語 著者名:観光英検センター編 出版社:三修社 (ISBN978-4-384-33436-4 C1082)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	観光実務論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全国47都道府県の観光地理を理解できる</li> <li>・JR運賃・料金の計算方法が理解できる</li> <li>・『国内旅行業務取扱管理者試験』合格に相当する知識を養える</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>旅行業界における国家資格『旅行業務取扱管理者(国内)』に合格を目指す科目である。この資格は旅行業者が一店舗に一名以上必ず配置することが法令で決められているため、旅行業者を希望する学生は取得が望ましい。また ホテル・旅館・航空会社など観光周辺産業においても必要な知識を学び、かつ身に付けることは重要である。</p> <p>この科目は 国家試験3科目のうち 1科目 国内実務(国内観光地理とJR運賃・料金計算)を学習する。国家試験に合格するためには観光地理が重点科目である。地理の内容は多岐にわたるが、一般教養が身につく就職試験や社会に出てからも役に立つ科目である。旅行商品は現地調達のため、ツアーパンフレットを媒体とする商品で契約する。購買意欲を促進させるツアー内容とするには観光資源を学習することで試験対策並びに旅行実務を授業内で体験できる科目である。</p> <p>観光実務論 I と II 2科目受講をお勧めします I のみ受講も可能です</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎週、地理テストを行いますので前週に指定した範囲を学習すること。 地理の学習範囲が広いので、予習として観光地を「読める・調べる」でテキスト内容に沿った準備をしてくること 復習は予習プリントと授業で得た知識を合わせて毎回の学習範囲を専用ノートにまとめること ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <p>授業方法は 反転授業、プレゼンテーション、協同学習を行い講義型授業と併用します。 単純作業の繰り返しではなく、自主的に知識を定着させるため、学びのモチベーションを継続させよう。 授業で使用するテキストは必ず最新版を準備すること(参考書不要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 観光地理①(北海道) 運賃料金計算①基礎編</li> <li>2. 国内観光地理②(東北) JR運賃料金計算② (運賃計算の基礎)</li> <li>3. 国内観光地理③(関東) JR運賃料金計算③ (特例運賃計算)</li> <li>4. 国内観光地理④(中部1) JR運賃料金計算④ (団体運賃計算)</li> <li>5. 国内観光地理⑤(中部2) JR運賃料金計算⑤ (料金計算の基礎)</li> <li>6. 1回～5回のまとめと復習テスト(地理60% 運賃計算40%) 解説と振り返り</li> <li>7. 国内観光地理⑥(近畿) JR運賃料金計算⑥ (乗継割引計算)</li> <li>8. 国内観光地理⑦(中国) 航空運賃料金計算</li> <li>9. 国内観光地理⑧(四国) 宿泊料金計算</li> <li>10. 国内観光地理⑨(九州・沖縄) バス・フェリー料金計算</li> <li>11. 7回～11回のまとめと復習テスト(地理40% 運賃計算60%)</li> <li>12. 過去問研究(地理問題の出題傾向をグループワークで探る)</li> <li>13. 過去問研究(運賃料金のまとめ)</li> </ol>			



科目名	観光実務論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
<p>[ 成績評価方法 ] 毎週の小テスト(30%) 定期試験(50%) 課題(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 小テストは当日、課題は翌週にフィードバックします。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 国内観光地理 著者名:株インク社 出版社:株インク社 国内旅行実務 著者名:株インク社 出版社:株インク社 旅に出たくなる地図 日本 著者名:帝国書院 出版社:帝国書院</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 国内白地図 出版社:JTB能力開発</p>			

S43130 [ LGH3-012 ]

科目名	観光実務論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>国家試験『国内旅行業務取扱管理者試験』合格に相当する知識を養える  旅行業法で条文の読み方及び内容を理解できる  旅行業約款で契約の成立から解除まで消費者と業者の両方の立場を理解できる  約款学習を通して契約書面を読める賢い消費者としての知識を養える</p> <p>[授業概要]</p> <p>国家資格『国内旅行業務取扱管理者試験』科目4科目のうち2科目(旅行業法、約款)を学ぶ科目である  旅行業法は法律を学ぶ。法律の条文がそのまま試験問題として出題されるため  当初は難しく感じるが、用語や表現方法に慣れることで理解を深めることができる。  約款は契約の流れを理解する。契約成立から解除まで旅行者と旅行業者側双方の立場を  理解する。  業法、約款は法律系を学ぶことで、卒業後の社会生活においてあらゆる契約に対応できる。また消費者として正しい知識を身につけることができる。</p> <p>観光実務論ⅠとⅡ 2科目受講をお薦めします  Ⅱのみ受講も可能です</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>予習は前週に指定した範囲を専用ノートに要約してくる  授業中は専用ノートを参照して学習し、修正があれば加える  復習で反復学習をする  ※各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、旅行業法①(法の目的と登録)</li> <li>2. 旅行業法②(営業保証金・取扱管理者・取引条件)</li> <li>3. 旅行業法③(旅程管理・広告・旅行業協会)</li> <li>4. 旅行業法④(禁止行為 まとめと小テスト)</li> <li>5. 旅行業約款①(約款概説・募集型1)</li> <li>6. 旅行業約款②(募集型2・3)</li> <li>7. 旅行業約款③(受注型旅行・手配旅行)</li> <li>8. その他約款④(バス・フェリー約款と実務)</li> <li>9. その他旅行業約款⑤(国内航空・宿泊約款と実務)</li> <li>10. 約款(まとめと小テスト)</li> <li>11. 過去問研究(2023年度業法)</li> <li>12. 過去問研究(2023年度約款)</li> <li>13. 総復習と中間テスト</li> </ol>			

科目名	観光実務論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
<p>[ 成績評価方法 ] 定期試験以外のテスト 50% 定期試験 50%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業日当日または翌週にコメントを添付して返却</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 旅行業法/約款 著者名:(株)インク社 出版社:(株)インク社</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

S43140 [ LGH3-013 ]

科目名	観光実務論Ⅲ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 国内旅行業務取扱管理者試験合格するための直前強化授業です。9月の本試験で合格圏内の点数を取得できることを目標とする。</p> <p>[ 授業概要 ] 観光実務論Ⅰ及びⅡでは、「国家試験の基礎を理解する」ことが目標でしたが、この授業では、合格基準ラインに達するため「問題を数多く解く」ことで本試験に合格することを目標とする。 基本問題→応用問題→国家試験過去問題→今年の予想模擬問題と、ひとつひとつクリアにして本試験に備える 原則：国内旅行取扱管理者試験を受験する学生(6月に受験申込済)が対象である</p> <p>★★★2024年度国家試験は9月2日(予定)のため、この授業は、8月1日～26日(注意：期間を変更することがあります)に集中講座として行う予定です。追って発表される日程に注意して下さい。★★★</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] この授業では 不得意科目の克服を模擬試験で合格ラインに到達できる授業をしますので 前期終了後集中開始日までに業法、約款、地理、運賃料金を復習しておくことが肝要です。 試験日より逆算して学習計画を立てて 基本的理解を深める学習しておいて下さい。 ※各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 旅行業法／プリント復習①(総則・登録制度)</li> <li>2. 旅行業法／プリント復習②(営業保証金制度・取扱管理者制度)</li> <li>3. 旅行業約款／プリント復習①(企画旅行1)</li> <li>4. 旅行業約款／プリント復習②(企画旅行2)</li> <li>5. 旅行業約款／プリント復習③(手配旅行)</li> <li>6. 旅行業約款／プリント復習③(その他約款)</li> <li>7. 国内実務／プリント復習①(JR運賃)・国内地理</li> <li>8. 国内実務／プリント復習②(JR料金)・国内地理</li> <li>9. 国内実務／プリント復習③(JRまとめ)・国内地理</li> <li>10. 国内実務／プリント復習④(航空・宿泊)・国内地理</li> <li>11. 模擬試験①</li> <li>12. 模擬試験②</li> <li>13. 模擬試験③／観光実務論まとめ</li> </ol>			

科目名	観光実務論Ⅲ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
<p>[ 成績評価方法 ]  ●小テスト 40% ●期末テスト 60%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  国内演習過去問問題集 著者名:(株)インク社 出版社:(株)インク社</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

S43150 [ LGH3-014 ]

科目名	観光実務論Ⅳ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての旅行(海外及び国内)が取扱できる資格、『総合旅行業務取扱管理者』の合格を目指す。</li> <li>世界の観光地理を理解できる</li> <li>出入国手続きや海外実務など観光産業で必要とされる知識を理解できる</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この科目では『総合旅行業務取扱管理者』試験の受験科目である『海外実務5科目』の内容を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 出入国 旅券取得から海外出入国手続きを学ぶ出入国関係法令及び実務</li> <li>② 海外実務 時差計算、ホテル知識など</li> <li>③ 海外地理 世界地理宿泊や食事や観光等のリザーベーション知識など幅広く学習する。</li> <li>④ 語学(英語)長文2題</li> <li>⑤ 国際航空運賃</li> </ol> <p>またこの科目は総合旅行業務取扱管理者試験に合格するレベルの知識を修得する。</p> <p>毎年 出入国法令や国際運賃のルール変更があるため 必ず最新版を準備すること。</p> <p>★★★ 集中講義として授業を行います。追って発表される日程に注意して下さい。 6月～8月(月に1回1コマ程度)、9月～10月(2コマ×5回の授業を予定★★★)</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>海外地理が国家試験学習の課題となるのでこの科目を中心とした授業外学習を行うこと 予習は指定した範囲を専用ノートにまとめてくること 復習は授業と専用ノートを照合して知識の積み上げ学習を行う 試験対策として毎週小テストを行う ※各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出入国法令実務① + 海外地理(ヨーロッパ①)</li> <li>2. 出入国法令実務② + 海外地理(ヨーロッパ②)</li> <li>3. 出入国法令実務③ + 海外地理(ヨーロッパ③)</li> <li>4. 海外実務① + 海外地理(アジア①)</li> <li>5. 海外実務② + 海外地理(アジア②)</li> <li>6. 海外実務③ + 海外地理(南北アメリカ)</li> <li>7. 海外実務④ + 海外地理(アフリカ)</li> <li>8. 国際航空運賃① + 海外地理(中近東)</li> <li>9. 国際航空運賃② + 海外地理(オセアニア)</li> <li>10. 国際航空運賃③ + 海外地理(過去問)</li> <li>11. 国際航空運賃④ + 海外地理(過去問)</li> <li>12. 英語① + 海外地理(過去問)</li> <li>13. 英語② + 海外地理(過去問)</li> </ol>			

科目名	観光実務論Ⅳ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト50%, 授業内テスト50%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 海外旅行実務 著者名:(株)インク社 出版社:(株)インク社 海外観光地理 著者名:(株)インク社 出版社:(株)インク社 旅に出たくなる地図(世界) 著者名:帝国書院 出版社:帝国書院 総合旅行演習問題集 著者名:(株)インク社 出版社:(株)インク社</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 海外地理白地図 著者名:JTB能力開発</p>			

S43155 [ LGH3-015 ]

科目名	観光中国語 I		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	東條 智恵			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>1. 実用的な会話表現をマスターし、会話力のレベルを高める。音読やロールプレイ練習などを通じて、発音とリスニング力を向上させる。</p> <p>2. 授業で取り上げた中国文化や中国人の考え方などを知ることは広い中華圏社会を理解する糸口になる。観光で日本に訪れる中華圏の観光客との異文化コミュニケーションについての基礎知識を習得する。</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>この授業では、1年目の初級中国語の学習を終えた受講生を対象に、より実用的な会話表現を習得していく。1年間の学習で、会話力を高めるのと同時に、中国をはじめとする中国語圏社会の文化・習慣・価値観・考え方などを広く深く理解する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。 音声をたくさん聞き、音読練習を繰り返し行うことにより、学習内容を定着させる。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1課</li> <li>2. 第1課</li> <li>3. 第2課</li> <li>4. 第2課</li> <li>5. 第3課</li> <li>6. 第3課</li> <li>7. 第4課</li> <li>8. 第4課</li> <li>9. 第5課</li> <li>10. 第5課</li> <li>11. 第6課</li> <li>12. 第6課</li> <li>13. まとめ、成果発表</li> </ol>				



科目名	観光中国語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條 智恵		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の発表20%、小テスト30%、成果発表50%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]  学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]  教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  『日中文化Q&amp;A』 著者名:李軼倫 出版社:金星堂 (978-4-7647-0727-6)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	観光中国語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條 智恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>1. 実用的な会話表現をマスターし、会話力のレベルをさらに高める。音読やロールプレイ練習などを通じて、発音とリスニング力を向上させる。</p> <p>2. 授業で取り上げた中国文化や中国人の考え方などを知ることは広い中華圏社会を理解する糸口になる。観光で日本に訪れる中華圏の観光客との異文化コミュニケーションについての基礎知識を習得し、理解を深める。</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>この授業では、「観光中国語Ⅰ」の学習を終えた受講生を対象に、より高度で実用的な会話表現を習得していく。1年間の学習で、会話力を高めるのと同時に、中国をはじめとする中国語圏社会の文化・習慣・価値観・考え方などを広く深く理解する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。 音声をたくさん聞き、音読練習を繰り返し行うことにより、学習内容を定着させる。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第7課</li> <li>2. 第7課</li> <li>3. 第8課</li> <li>4. 第8課</li> <li>5. 第9課</li> <li>6. 第9課</li> <li>7. 第10課</li> <li>8. 第10課</li> <li>9. 第11課</li> <li>10. 第11課</li> <li>11. 第12課</li> <li>12. 第12課</li> <li>13. まとめ、成果発表</li> </ol>			

科目名	観光中国語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條 智恵		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の発表20%、小テスト30%、成果発表50%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]  学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]  教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  『日中文化Q&amp;A』 著者名:李軼倫 出版社:金星堂 (978-4-7647-0727-6)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	観光論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子、橋本 亮一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>観光や旅行の歴史や役割を学び、資格試験制度の概要を知る事によって、観光産業や旅行業への関心を高め、社会における観光や旅行の重要性を認識する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>日本ではこれまで、「観光」とは物見遊山の意味でしかなく、学問の対象として認められてこなかった。しかし今日では、経済発展や世界平和に貢献するものとして、「観光」や「観光学」が大いに注目を集めている。訪日外国人旅行者を中心とした観光産業の醸成や国内観光業の課題は、政府の重要取組課題であるが、コロナ禍での移動制限の中で観光産業の再生が喫緊の課題となっている。</p> <p>この科目では、時代とともに変化する観光の意味と役割を理解し、旅行業や旅行商品の歴史と現状、新しい旅行ビジネスについて考え、またその観光業界に必要な資格試験制度の概要についての知識も深められるようにしたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日頃から、観光や旅行に関するニュース等に関心を持つこと。 ※各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観光とは何か(橋本)</li> <li>2. 旅行業界の仕組み(橋本)</li> <li>3. 店頭営業と団体営業(橋本)</li> <li>4. 添乗業務の実際(橋本)</li> <li>5. 旅行商品とマーケティング(橋本)</li> <li>6. 観光まちおこし(橋本)</li> <li>7. 旅行業界の将来像(橋本)</li> <li>8. 前半の「まとめ」(橋本)</li> <li>9. 観光業界の仕事(稲田)</li> <li>10. 旅行業界資格試験(稲田)</li> <li>11. 国内旅行業務取扱管理者試験の内容(稲田)</li> <li>12. 総合旅行業務取扱管理者試験の内容(稲田)</li> <li>13. 後半の「まとめ」(稲田)</li> </ol>			

科目名	観光論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子、橋本 亮一		
<p>[ 成績評価方法 ]  提出課題(橋本)40% 平常点(橋本)10%  毎回の提出課題(稲田)40% 平常点(稲田)10%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題についてのフィードバックは翌週回答</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  最新 業界の常識 よくわかる旅行業界 著者名:橋本亮一 出版社:(日本実業出版社) (9784530000000)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

S42060 [ LGH1-024 ]

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	政策調査入門	演習	
担当者	野口 和美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	国際協働オンライン学習	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。

[授業概要]

次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。  
 国際公共政策、地方分権、市民社会に関する基本的な文献を講読する。  
 論文やレポートの書き方、文献の引用法や参考文献リストの書き方を学ぶ。  
 海外の交流のある大学等の教員の講義を聴いた後に、学生との意見交換を行う予定である。  
 国際協働オンライン学習の要素を取り入れて行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前回の授業の復習をするとともに、次回の授業の予習をしておくこと。様々なことに興味を持ち、好奇心をもって、学習に臨むこと。各回、関心のある国際情勢に関する日英新聞記事を持ってくること。各回、予習復習2時間程度。

[授業計画]

1. 論文などの文献の検索方法(図書館で実施する)
2. 論文及びレポートの書き方
3. 行政学とは
4. 政策過程論
5. 地方分権とは
6. 公共政策論
7. 保健政策比較
8. 教育政策比較
9. 行政の役割
10. 企業の役割
11. 市民社会の役割
12. 公民協働(学外講師)
13. 海外の公共政策研究

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	政策調査入門	演習	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ]  ディスカッションへの参加度:30%、レポート課題:40%、期末レポート試験:30%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  mana以上にコメントを載せます。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  政策リサーチ入門 仮説検証による問題解決の技法 増補版 著者名:伊藤修一郎 出版社:東京大学出版会 (9784130000000)  ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方 著者名:石井 一成 出版社:ナツメ社 (9784820000000)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  基礎からわかる 論文の書き方 著者名:小熊英二 出版社:講談社現代新書 (978-4065280867)</p>			

S46001 [ LGH3-025 ]

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 本講義では、履修者の興味ある分野の中から新書程度の本を数冊選び、輪読し、内容について討論する。また、開発問題に関する特定のテーマについて各自レポートを作成し、発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習あわせて4時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、各受講者のテーマの確定 2.それぞれについての参考文献の選定 3.テキスト「開発問題」について輪読と討論① 4.テキスト「開発問題」について輪読と討論② 5.テキスト「開発問題」について輪読と討論③ 6.テキスト「開発問題」について輪読と討論④ 7.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑤ 8.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑥ 9.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑦ 10.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑧ 11.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑨ 12.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑩ 13.総括</p>			



科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(50%)、期末レポート(50%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業時のレポート発表についてコメントとフィードバックをする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] プリント配布</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 このゼミでは、特にヨーロッパと南アジアという2つの地域を対象に、歴史・文化、宗教などについて学び、文献の輪読や最新情報をもとに、論文執筆のための思考力や表現力を身につけていく。 初回のガイダンスで受講者それぞれに興味ある分野の中から共通のテーマを設定した上で、輪読する文献を定める。プレゼンテーションにおいては、特定のテーマについて参考文献の枠を広げ、関連資料を読み解き、論点の整理と考察を行う。ディスカッションを通じてフィードバックをえながら、最後にレポートとして発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス、共通テーマの選定と輪読する文献の調整 2. 各共通テーマについての文献と発表準備についての確認 3. 文献の輪読とディスカッション 4. 文献の輪読とディスカッション 5. 文献の輪読とディスカッション 6. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 7. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 8. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 9. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 10. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 11. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 12. 文献の輪読とディスカッション、レポート発表 13. 文献の輪読とディスカッション、レポート発表</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし (授業中に紹介する)</p>			

S46003 [ LGH3-025 ]

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解できる。

[授業概要]

次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。

ひとつの国・地域を研究する切り口はさまざまであるが、ここでは人種・民族、ジェンダーに焦点を当てて、地域としては日米を考察の対象とする。これらのキーワードは独立しているものではなく相互に絡み合っているし、歴史・政治・経済・教育といった大きな枠組みを考慮する必要もある。それぞれをテーマとする文献解題を行うことによって社会の多層性、多文化性への理解を深める。

文献解題に際しては、論文作成に必要なアカデミック・スキルの要点を確認し、文献の批判的・論理的思考を身につけ、文献解題の演習を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]

1. ガイダンス
2. 情報に対するアカデミックな態度
3. 文書情報の種類、特徴、利用法
4. データベース活用法
5. データベース活用演習@大学図書館
6. 文献検索演習
7. クリティカル・リーディング
8. クリティカル・リーディング演習
9. 文献読解演習(ジェンダー): 発表とディスカッション
10. 文献読解演習(人種・民族): 発表とディスカッション
11. 文献読解演習(教育): 発表とディスカッション
12. 文献読解演習(多文化社会): 発表とディスカッション
13. まとめ

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし。資料配布</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『アカデミック・スキルズ:大学生のための知的技法入門新版』 著者名:佐藤・湯川・横山・近藤編 出版社:慶応義塾大学出版会</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	Understanding identity through exploring gender, language, and diversity.	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[ 授業概要 ]          次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。          In the first semester, students will first learn about essential theories about identity, gender, and language. Next, students will look at international case studies about issues of language, gender, and identity, and compare them to contemporary Japanese society. The instructor will often provide a short lecture and academic English guidance. However, the main focus of each class will be student discussion. At the end of the first semester, students are expected to choose their thesis topic (tentative) and prepare a short report about it.</p> <p>Please note that although this seminar uses both Japanese and English, students are expected to submit homework and do presentations in English.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to the seminar goals, choosing first-semester case studies</li> <li>2. Introduction to fundamental concepts: What is identity? What is intersectionality?</li> <li>3. Introduction to fundamental concepts: What is gender? How does it connect to identity?</li> <li>4. Introduction to fundamental concepts: What is language? How does it connect to identity?</li> <li>5. Case Study ①: Gender</li> <li>6. Case Study ②: Gender</li> <li>7. Case Study ③: Language and education</li> <li>8. Case Study ④: Diversity</li> <li>9. Case Study ⑤: Diversity</li> <li>10. Fieldwork Planning</li> <li>11. Fieldwork: Connecting with diversity in Kobe</li> <li>12. Final report and presentation guidance</li> <li>13. Student presentations about current status of research interests</li> </ol> <p>***Please note the syllabus may change depending on student progress and interests.</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	Understanding identity through exploring gender, language, and diversity.	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] The instructor will provide students with materials.</p>			

S46007 [ LGH3-025 ]

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 本ゼミでは、朝鮮半島に関する基礎知識を習得するために複数のテキストを選んで輪読する。 具体的な進め方としては、①ゼミ参加者は毎回、共通テキストの該当箇所を読んでくる(自宅学習)。授業では、②発表担当者がレジュメを基にテキスト要約・批評の発表をし、③全員でディスカッションをする。学期を通して2冊程度のテキストを扱うが、テキストはゼミ参加者が確定した後に参加者の関心に合わせて教員が選定する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス(分担決め) 2.ゼミ関連映画鑑賞① 3.ゼミ関連映画鑑賞②映画内容に関するディスカッション 4.テキストの輪読とディスカッション① 5.テキストの輪読とディスカッション② 6.テキストの輪読とディスカッション③ 7.テキストの輪読とディスカッション④ 8.テキストの輪読とディスカッション⑤ 9.テキストの輪読とディスカッション⑥ 10.テキストの輪読とディスカッション⑦ 11.テキストの輪読とディスカッション⑧ 12.テキストの輪読とディスカッション⑨ 13.テキストの輪読とディスカッション⑩、まとめ</p>			



科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 別途案内をする。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 随時紹介</p>			

S46008 [ LGH3-025 ]

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	3回生ゼミ	演習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 卒論に必要な基礎知識及び研究技法を鍛えるため、中国語圏の文化研究に関連する文献に基づいて輪読する。最終的に各自のテーマについての発表を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。 授業中の議論に参加できるように、自分の担当回以外の回でも、輪読する文献を事前に読むこと。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション 2.輪読発表 3.輪読発表 4.輪読発表 5.輪読発表 6.輪読発表 7.輪読発表 8.輪読発表 9.アカデミック・スキルの復習 10.自分の興味あるテーマを仮に決める(全員発表) 11.各自のテーマに関する資料・先行研究の整理 12.発表と討論 13.発表と討論</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	3回生ゼミ	演習	
担当者	莊 千慧		

[ 成績評価方法 ]

授業での輪読発表(30%)、最終プレゼンテーション(30%)、期末レポート(40%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
manabaで行う。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ 教科書 (ISBN) ]

適宜文献資料をコピーして配布する。

[ 参考書 (ISBN) ]

『レポート・論文の書き方入門』 著者名:河野 哲也 出版社:慶應義塾大学出版会、1100円+税 (9784770000000)

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	国際公共政策における市民社会の役割	演習	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。</p> <p>[授業概要]          前期に引き続き、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。参加学生各人の興味のあるテーマについて論証やレポート作成などに取り組み、卒業研究作成の準備とする。選択したテーマについてレジュメを作成し、口頭発表を行う。また、国内外の大学や研究所の専門家の講義を聴き、意見交換する場を設ける予定である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。予習復習2時間程度。各回、関心のある国際情勢に関する新聞記事を持つてくること。</p> <p>[授業計画]          1. 国際公共政策(1)          2. 国際公共政策(2)          3. テーマ選択(1)          4. テーマ選択(2)          5. 課題や問題点の設定(1)          6. 課題や問題点の設定(2)(学外講師と担当教員との協働ゼミ)          7. 資料収集と分析、検証(1)          8. 資料収集と分析、検証(2)          9. 資料収集と分析、検証(3)          10. 中間のとりまとめと検討(1)          11. 中間のとりまとめと検討(2)          12. レポート作成と調整(1)          13. レポート作成と調整(2)</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	国際公共政策における市民社会の役割	演習	
担当者	野口 和美		

[ 成績評価方法 ]  
授業への参加度(30%)、レポート(40%)、ディスカッション(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
mana上でコメントを載せます。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ 教科書 (ISBN) ]

政策リサーチ入門 増補版 著者名:伊藤修一郎 出版社:東京大学出版会 (9784130000000)  
SDGsを学ぶ:国際開発・国際協力入門 著者名:高柳 彰夫(著、編集)、大橋 正明(著、編集) 出版社:法律文化社 (978-4589039699 )

[ 参考書 (ISBN) ]

指定しない。

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。</p> <p>[授業概要]  前期に引き続き、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。このゼミでは、特にヨーロッパと南アジアという2つの地域を対象に、歴史・文化、宗教などについて学び、文献の輪読や最新情報をもとに、論文執筆のための思考力や表現力を身につけていく。毎回、担当者がレジュメまたはスライドを用意し、特定の課題についてプレゼンテーションを行う。フィードバックをもとに最後に研究レポートとして発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  各回の授業について、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画]  1. ガイダンス、レポート作成の準備  2. 個別テーマ、文献の選択 (1)  3. 個別テーマ、文献の選択 (2)  4. 文献の批評と問題点の設定 (1)  5. 文献の批評と問題点の設定 (2)  6. 関連文献の収集と分析 (1)  7. 関連文献の収集と分析 (2)  8. レポートの全体構想と検討 (1)  9. レポートの全体構想と検討 (2)  10. レポート作成と検証 (1)  11. レポート作成と検証 (2)  12. レポート作成と検証 (3)  13. 研究レポートの発表</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 授業中に指示する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 授業中に紹介する。</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	Deepening understanding of issues of identity, diversity, language, and gender.	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]            次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。</p> <p>[ 授業概要 ]            前期に引き続き、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。            In the second semester, students will deepen their understanding of course themes (gender, language, diversity, and identity) through academic texts, class discussions, and media. Each student will complete two short presentations about their research project.            This course will have ample guidance on writing a thesis and collecting data in English, but students are expected to take proactive steps and begin writing the introduction section of their thesis.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]            各回の授業について、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Review of last semester and Introduction to course and student goals. Discussion of major assignments and important dates.</li> <li>2. Review of important theories: Identity, gender, and language</li> <li>3. Academic guidance: Writing an academic resume and summarizing a resource</li> <li>4. Research methods guidance: Interviews and surveys</li> <li>5. Student-led discussion</li> <li>6. Student-led discussion</li> <li>7. Student-led discussion</li> <li>8. Research methods practice: Creating a survey and collecting data</li> <li>9. Academic guidance: Creating a thesis outline and starting your introduction</li> <li>10. Student-led discussion</li> <li>11. Student-led discussion</li> <li>12. Student-led discussion</li> <li>13. Academic guidance: Analysis of survey data, consultations about thesis progress</li> </ol>			



科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	Deepening understanding of issues of identity, diversity, language, and gender.	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] Students will receive materials from the instructor.</p>			

S46014 [ LGH3-026 ]

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 本講義では、履修者の興味ある分野の中から新書程度の本を数冊選び、輪読し、内容について討論する。また、開発問題に関する特定のテーマについて各自レポートを作成し、発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、各受講者のテーマの確定 2.それぞれについての参考文献の選定 3.テキスト「開発問題」について輪読と討論① 4.テキスト「開発問題」について輪読と討論② 5.テキスト「開発問題」について輪読と討論③ 6.テキスト「開発問題」について輪読と討論④ 7.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑤ 8.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑥ 9.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑦ 10.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑧ 11.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑨ 12.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑩ 13.総括</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(50%)、期末レポート(50%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業時のレポート発表についてコメントとフィードバックをする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] プリント配布</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。</p> <p>[授業概要]          前期に引き続いて、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。          ひとつの国・地域を研究する切り口はさまざまであるが、ここでは人種・民族、ジェンダーに焦点を当て、地域としては日米を考察の対象とする。これらのキーワードは独立しているものではなく相互に絡み合っているし、歴史・政治・経済・教育といった大きな枠組みを考慮する必要もある。それぞれをテーマとする文献解題を行うことによって社会の多層性、多文化性への理解を深める。それぞれをテーマとする文献解題を行うことによってアメリカの多層性、多文化性、さらに日米関係、ジェンダー平等へと視界を広げ、卒論に向けたテーマへと収斂させていく。          Ⅰを踏まえて、Ⅱでは、各自の関心のあるトピックについて文献解題を行い、相互にディスカッションを深め、卒論テーマを絞り込んでいく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画]          1. ガイダンス:「私の関心ごと」発表          2. 文献選択の留意点          3. 文献検索収集報告 1 &amp; ディスカッション          4. 文献解題発表 &amp; ディスカッション:以後、各自の関心ごとを踏まえた文献解題発表を順次行う。          5. 文献解題発表 &amp; ディスカッション          6. 文献解題発表 &amp; ディスカッション          7. 文献解題発表 &amp; ディスカッション          8. 文献解題発表 &amp; ディスカッション          9. 卒論テーマ中間発表 &amp; ディスカッション          10. 文献検索収集報告 2 &amp; 講評          11. 卒論テーマレジュメ・発表原稿発表 &amp; ディスカッション          12. ゼミ内卒論テーマ発表 &amp; ディスカッション・講評          13. まとめ:卒論テーマ発表</p> <p>* 文献選択に際しては、「私の関心ごと」から卒論テーマにつながる文献を選ぶこと。</p> <p>注)レポート提出、授業の伝達など、manaba を多用するので、必ず受信設定・登録をしておくこと。</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし、資料 manaba。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 『アカデミック・スキルズ:大学生のための知的技法入門新版』</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]            次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。</p> <p>[授業概要]            前期に引き続き、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。            本ゼミでは、次年度の卒業論文執筆に向け、各自が①興味を持っている研究テーマに関する文献を探して入手し、②テキスト分析・批評を行って授業で発表し、さらには、③学期末レポートの章構成を考えて発表し、④学期末に3,000字程度のレポート作成を行う。その過程を通して、(1)文献の探し方と入手方法、(2)文献リストの作り方、(3)テーマ・「問い」の設定方法、(4)論文・レポートの書き方(参照・引用方法含む)などを学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]            各回の授業について、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画]            1. ガイダンス(夏休みの課題発表、今後のスケジュール確認、文献リストの作成方法、文献の検索・入手方法)            2. 図書館ガイダンス            3. 文献リストのチェック、発表・コメント順の決定、論文・レポートの書き方            4. テキスト批評①            5. テキスト批評②            6. テキスト批評③            7. テキスト批評④            8. 章構成発表①            9. 章構成発表②            10. 章構成発表③            11. 章構成発表④            12. 学科3回生卒論テーマ発表会準備            13. 学科3回生卒論テーマ発表会</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

S46018 [ LGH3-026 ]

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	3回生ゼミ	演習	
担当者	莊 千慧		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。

[授業概要]

前期に引き続き、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。卒業論文を向けて、各自の研究テーマを設定し、そのテーマに関する資料の収集・整理作業を行った上でプレゼンテーションする。文献の整理と議論を通して各自の研究テーマを深める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。

[授業計画]

1. オリエンテーション、各自の研究テーマを決める。
2. [読書報告]各自のテーマに関する資料・先行研究の整理(1)
3. [研究発表]各自のテーマについての発表と議論(1)
4. [読書報告]各自のテーマに関する資料・先行研究の整理(2)
5. [研究発表]各自のテーマについての発表と議論(2)
6. 中間発表(1)
7. 中間発表(2)
8. [読書報告]各自のテーマに関する資料・先行研究の整理(3)
9. [研究発表]各自のテーマについての発表と議論(3)
10. [読書報告]各自のテーマに関する資料・先行研究の整理(4)
11. [研究発表]各自のテーマについての発表と議論(4)
12. 最終レポートに基づく発表(1)
13. 最終レポートに基づく発表(2)



科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	3回生ゼミ	演習	
担当者	莊 千慧		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manabaで行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 必要に応じて配布する。</p>			

S46019 [ LGH3-026 ]

科目名	グローバル関係論	前期	2 単位
サブタイトル	国際関係における諸問題	講義	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	<small>国内外の大学の教員や研究員の講義を聴き、ディスカッションを行うとオンライン国際協働学習を実施する。</small>	実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 国際社会の変遷や国際関係理論を学ぶ。国際社会の中心的なアクターである国連をはじめとする国際機関、行政、多国籍企業、市民社会が国際課題解決に向けてどのような役割を果たしているのかを事例を通して理解する。</p> <p>[授業概要] 国際関係の行為主体は、もはや国家のみではなく、国連をはじめとする国際機関、市民社会、企業など多様になっている。どんなに小規模の地域でも、国際的な大きな枠組みから、もはや外れることが出来ない状態となっている。本講義では、まず、国際社会の成り立ちについて国際関係史を通して概説し、各分野や地域において誰がアクターであるのかを考察する。様々な分野や地域の視点から、グローバル化の中における国際社会の構図を理解する。授業の中で、随時ディスカッションを行う。平和であることはどのようなことなのか学生と一緒に考える。民間シンクタンクでの実務経験を持った教員が講義を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解し、次回の授業を予習しておくこと。毎日の国際関係に関する新聞記事を読むことなど、各回、予習復習合わせて4時間程度を費やすこと。外部のセミナー・シンポジウムに積極的に参加すること。</p> <p>[授業計画] 1. 冷戦期までの国際関係史(主権国家体系から第一次世界大戦後の国際連盟の成り立ち、第2次世界大戦後の国際連合の成り立ち及び冷戦体制の確立) 2. ポスト冷戦の国際関係史(冷戦体制崩壊後の文明間や民族間の対立の深刻化、EUなどの地域統合の流れ及び911以後のテロ対策や安全保障の変容) 3. 国際関係のアクター(国連、国連関係機関) 4. 国際関係のアクター(市民社会、多国籍企業) 5. 安全保障(軍事的な脅威とサイバーテロなどの非軍事的脅威) 6. パブリック・ディプロマシー 7. 地球環境問題(持続可能な開発への国際的枠組み) 8. アメリカと国際関係(アメリカの外交政策) 9. オセアニアと国際関係(学外講師と担当教員との協働授業) 10. ヨーロッパと国際関係(EUと地域機構) 11. アジアと国際関係(アジア太平洋地域の地域機構) 12. ラテンアメリカと国際関係(ブラジルと国際社会) 13. 中東と国際関係(中東国家形成の類型や冷戦後におけるイスラム原理主義者の台頭)(学外講師)</p>			

科目名	グローバル関係論	前期	2 単位
サブタイトル	国際関係における諸問題	講義	
担当者	野口 和美		

[ 成績評価方法 ]

ディスカッションへの参加度(30%)、リアクションペーパー(30%)、テスト(10%)、期末レポート試験(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

manaバ上にコメントを載せます。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

毎日の新聞、ニュースも教科書となるので、新聞記事のコピーを授業の際に持ってくる。外部のセミナー・シンポジウムに積極的に参加すること。国際情勢によって講義内容を変更する場合がある。

[ 参考書(ISBN) ]

授業中に紹介する。著者名:授業中に紹介する 出版社:授業中に紹介する

【参考書】国際関係論 第3版(2018) 著者名:佐渡友 哲 信夫隆司 出版社:弘文堂 (9780000000000)

地図で読む「国際関係」入門 著者名:眞淳平 出版社:ちくまプリマー新書 (9780000000000)

新聞力 できる人はこう読んでいる 著者名:齋藤孝 出版社:ちくまプリマー新書 (9780000000000)

科目名	グローバル関係論	前期	2 単位
サブタイトル	国際関係における諸問題	講義	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	<small>国内外の大学の教員や研究員の講義を聴き、ディスカッションを行うとオンライン国際協働学習を実施する。</small>	実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 国際社会の変遷や国際関係理論を学ぶ。国際社会の中心的なアクターである国連をはじめとする国際機関、行政、多国籍企業、市民社会が国際課題解決に向けてどのような役割を果たしているのかを事例を通して理解する。			
[授業概要] 国際関係の行為主体は、もはや国家のみではなく、国連をはじめとする国際機関、市民社会、企業など多様になっている。どんなに小規模の地域でも、国際的な大きな枠組みから、もはや外れることが出来ない状態となっている。本講義では、まず、国際社会の成り立ちについて国際関係史を通して概説し、各分野や地域において誰がアクターであるのかを考察する。様々な分野や地域の視点から、グローバル化の中における国際社会の構図を理解する。授業の中で、随時ディスカッションを行う。平和であることはどのようなことなのか学生と一緒に考える。民間シンクタンクでの実務経験を持った教員が講義を行う。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解し、次回の授業を予習しておくこと。毎日の国際関係に関する新聞記事を読むことなど、各回、予習復習合わせて4時間程度を費やすこと。外部のセミナー・シンポジウムに積極的に参加すること。			
[授業計画] 1. 冷戦期までの国際関係史(主権国家体系から第一次世界大戦後の国際連盟の成り立ち、第2次世界大戦後の国際連合の成り立ち及び冷戦体制の確立) 2. ポスト冷戦の国際関係史(冷戦体制崩壊後の文明間や民族間の対立の深刻化、EUなどの地域統合の流れ及び911以後のテロ対策や安全保障の変容) 3. 国際関係のアクター(国連、国連関係機関) 4. 国際関係のアクター(市民社会、多国籍企業) 5. 安全保障(軍事的な脅威とサイバーテロなどの非軍事的脅威) 6. パブリック・ディプロマシー 7. 地球環境問題(持続可能な開発への国際的枠組み) 8. アメリカと国際関係(アメリカの外交政策) 9. オセアニアと国際関係(学外講師と担当教員との協働授業) 10. ヨーロッパと国際関係(EUと地域機構) 11. アジアと国際関係(アジア太平洋地域の地域機構) 12. ラテンアメリカと国際関係(ブラジルと国際社会) 13. 中東と国際関係(中東国家形成の類型や冷戦後におけるイスラム原理主義者の台頭)(学外講師)			

科目名	グローバル関係論	前期	2 単位
サブタイトル	国際関係における諸問題	講義	
担当者	野口 和美		

[ 成績評価方法 ]

ディスカッションへの参加度(30%)、リアクションペーパー(30%)、テスト(10%)、期末レポート試験(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

manaバ上にコメントを載せます。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

毎日の新聞、ニュースも教科書となるので、新聞記事のコピーを授業の際に持ってくる。外部のセミナー・シンポジウムに積極的に参加すること。国際情勢によって講義内容を変更する場合がある。

[ 参考書(ISBN) ]

授業中に紹介する。著者名:授業中に紹介する 出版社:授業中に紹介する

【参考書】国際関係論 第3版(2018) 著者名:佐渡友 哲 信夫隆司 出版社:弘文堂 (9780000000000)

地図で読む「国際関係」入門 著者名:眞淳平 出版社:ちくまプリマー新書 (9780000000000)

新聞力 できる人はこう読んでいる 著者名:齋藤孝 出版社:ちくまプリマー新書 (9780000000000)

科目名	グローバル経済論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	チャン ティフェ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 国際経済の基礎知識を学ぶことにより、現実の国際経済で生じる諸問題を理解する。</p> <p>[ 授業概要 ] 現在、経済のグローバル化が進展しており、私たちの生活はますます国際経済の動向と密接に関わっている。毎日、私たちが目にしたり耳にしたりする様々なニュースの多くは、為替相場の変動や日系企業による海外直接投資等、国際経済に関連するトピックである。現在の国際経済を理解するためには、国際経済の動向を説明するための理論を学ぶ必要がある。本講義では、現代の国際経済で生じる問題を理解するために、グローバル経済の基本的な理論を理解することを目的とする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション: 講義の説明、グローバル経済論の基本的な説明</li> <li>2. グローバル化する社会とグローバル化の諸問題</li> <li>3. 財とサービスのグローバル化① 自由な取引の重要性</li> <li>4. 財とサービスのグローバル化② 地域経済統合の進展</li> <li>5. 財とサービスのグローバル化③ 国際収支の仕組み</li> <li>6. 金融のグローバル化① 為替レート、円高円安</li> <li>7. 金融のグローバル化② 為替レート決定要因</li> <li>8. 金融のグローバル化③: 国際通貨体制の変遷</li> <li>9. 人材のグローバル化①: 経済のグローバル化と外国人労働者</li> <li>10. 人材のグローバル化②: 人材のグローバル化の現状と課題</li> <li>11. 情報のグローバル化①: 情報通信技術の発達</li> <li>12. 情報のグローバル化②: 情報のグローバル化の課題</li> <li>13. 総括、期末試験</li> </ol>				

科目名	グローバル経済論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ] 小課題(50%)、期末試験(50%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] プリント配布</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 適宜指示する</p>			

科目名	経済学の基礎		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	チャン ティフェ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  本講義の到達目標は、受講生が、経済学の基本的な知識や経済学的な考え方について習得し、現実の経済の問題について理解を深めるとともに、自分で考えられるようになることである。</p> <p>[ 授業概要 ]  本講義は、経済学に関する知識や、数学に関する知識がなくとも学習できるよう、初学者を対象として構成される。経済学はミクロ経済学、マクロ経済学という2つの側面から経済問題をとらえている。ミクロ経済学では、人間や企業の合理的な判断の結果どのような行動をとるようになるのかを分析している。マクロ経済学では、国全体としての家計や企業の行動を把握することによって、ミクロ経済学では見えていなかった経済システムの整合性を明らかにしている。これらを学ぶことによって、学問としての経済学の意味を分かってもらいたい。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  授業外学修時間は、1週間当たり4時間程度が必要である。</p> <p>[ 授業計画 ]  1. イントロダクション: 経済学とは  2. 人々はどのように意思決定するか  3. 人々はどのように影響しあうのか  4. 経済は全体としてどのように動いているか  5. 生産可能性  6. 比較優位  7. 市場における需要  8. 市場における需要と供給の作用  9. 国内総生産(GDP)の定義、構成要素  10. GDPと経済成長の国際比較  11. 生計費の測定  12. インフレーション  13. 期末試験  (学習の効果を高めるために、履修者の理解度に応じて授業計画を調整することも可能)</p>				



科目名	経済学の基礎	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ] 小課題(50%)、期末試験(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 小課題に関する解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『入門経済学 第4版』 著者名:伊藤元重 出版社:日本評論社 (978-4-535-55817-5) 「マンキュー入門経済学 第1章~13章」『マンキュー経済学 I ミクロ編 第4版』(2022/2/9) 著者名:N・グレゴリー・マンキュー 出版社:東洋経済新報社 (978-4-492-31519-4) 適宜指示する</p>			

科目名	経済学の基礎		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	チャン ティフェ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  本講義の到達目標は、受講生が、経済学の基本的な知識や経済学的な考え方について習得し、現実の経済の問題について理解を深めるとともに、自分で考えられるようになることである。</p> <p>[ 授業概要 ]  本講義は、経済学に関する知識や、数学に関する知識がなくとも学習できるよう、初学者を対象として構成される。経済学はミクロ経済学、マクロ経済学という2つの側面から経済問題をとらえている。ミクロ経済学では、人間や企業の合理的な判断の結果どのような行動をとるようになるのかを分析している。マクロ経済学では、国全体としての家計や企業の行動を把握することによって、ミクロ経済学では見えていなかった経済システムの整合性を明らかにしている。これらを学ぶことによって、学問としての経済学の意味を分かってもらいたい。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  授業外学修時間は、1週間当たり4時間程度が必要である。</p> <p>[ 授業計画 ]  1. イントロダクション: 経済学とは  2. 人々はどのように意思決定するか  3. 人々はどのように影響しあうのか  4. 経済は全体としてどのように動いているか  5. 生産可能性  6. 比較優位  7. 市場における需要  8. 市場における需要と供給の作用  9. 国内総生産(GDP)の定義、構成要素  10. GDPと経済成長の国際比較  11. 生計費の測定  12. インフレーション  13. 期末試験  (学習の効果を高めるために、履修者の理解度に応じて授業計画を調整することも可能)</p>				

科目名	経済学の基礎	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ] 小課題(50%)、期末試験(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 小課題に関する解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『入門経済学 第4版』 著者名:伊藤元重 出版社:日本評論社 (978-4-535-55817-5) 「マンキュー入門経済学 第1章~13章」『マンキュー経済学 I ミクロ編 第4版』(2022/2/9) 著者名:N・グレゴリー・マンキュー 出版社:東洋経済新報社 (978-4-492-31519-4 ) 適宜指示する</p>			

S43070F [ LGH2-016 ]

科目名	現代政治学の基礎		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 政治の基礎を学ぶ。政治哲学や政策の基礎を理解する。更には、ガバナンスについても理解する。</p> <p>[授業概要] 政治学の基礎を学ぶ。行政の仕組みや市民の社会への関わりについてガバナンスの視点を大切にして考察する。民主的な政治とはどのようなことなのかについても、皆さんと考える。政治制度のみではなく、実際の政策事例を挙げながら、政策が策定されるプロセスなども講義する。NPOと政治などについても講義内容に含める。ニュース時事検定試験の問題を講義に活用することもある。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画] 1. 政治とは何か 身近なところから政治を考える 2. 民主主義の変遷 (1)民主主義の思想的側面を考える 3. 民主主義の変遷 (2)近代の民主主義の思想について考える 4. 政治における関係者 利益団体などどのようなアクターが政治に関係しているのか考える 5. 選挙と投票行動 選挙制度及びどのように有権者は投票行動に臨むのか考える 6. 政党制度と議員 政治における政党と議員との関係を考える 7. 地方自治 身近な地域に関する政治と地方と国家の関係性を考える 8. 政治と行政との関係 官僚と政治との関係性について考える 9. 政策過程と政策決定 政策過程におけるアクターについて考える 10. 市民社会組織 市民社会組織と政治・行政との関係性について考える 11. 政治とメディア(学外講師) 12. 国際政治 国家間関係 国際連盟及び国際連合 国際政治の変容 13. 政治学と持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)</p>				

科目名	現代政治学の基礎	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業参加への積極性(20%)、小テスト(30%)、新聞レポート(30%)、期末レポート(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p>			

科目名	現代世界の史的背景 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. 世界の歴史の展開を以下の3つの視点、すなわち、  ①アフロ・ユーラシア諸地域のつながりとグローバル化という視点、  ②領土・民族・国家・地域というローカルな視点、  ③ヨーロッパの世界進出と資本主義の形成、アジア・アフリカ地域の植民地化という近現代史の視点から歴史の展開を理解することができる。  2. 文献や資料集を読み考える力を養い、歴史を多様な視点から説明することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>現代世界は過去のどのような歴史を背景にして成立したのかという問題への知識と理解を深めるために、歴史上のさまざまな事象とその背景を、グローバルかつローカルな視点から振り返る。特に一つ一つの歴史上の出来事が相互にどのような「つながり」をもっているのか、現代の社会とどのように「つながって」いるのか、ということを考える。授業は各回のテーマと重要事項を設定し、受講者はそれらをあらかじめ学習した上でグループワークや課題発表を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回の予習として指定された範囲のまとめのレポートを作成する。また、重要な用語、固有名詞などについて、あらかじめ調べておく。復習としては、授業でテーマとした内容に対して解説された内容を確認しておく。各回、予習と復習に4時間は必要。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1. ガイダンス: 世界史リテラシーとは  2. 「世界」とは: 「アジア」「ユーラシア」というとらえ方  3. 古代帝国の栄華とユーラシアの動静  4. 唐宋改革  5. 中央ユーラシア型国家の時代  6. モンゴル帝国と「グローバル化」  7. 西アジア・南アジアの近世帝国  8. ヨーロッパ「近世」とルネサンス  9. 大航海時代と「近代世界システム」  10. 東アジア諸国の成熟  11. 産業革命と資本主義  12. アメリカ独立革命とフランス革命  13. まとめ・市民革命についての復習</p>			

科目名	現代世界の史的背景 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題 (40%)、発表 (30%)、レポート (30%)</p> <p>[ 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法 ] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー (質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) ]</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際1-1-1 / 日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際1-1-2 / 国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際1-1-3 / 海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際2-1 / 物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際3-1-2 / グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際3-2-1 / 世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際3-2-3 / グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 主体性 / 自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 責任感 / 社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 自己理解 / 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 多様性理解 / 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 表現力 / 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 論理的思考力 / 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 問題発見力 / 現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 市民のための世界史 著者名: 大阪大学歴史教育研究会編 出版社: 大阪大学出版会 (978-4-87259-469-0)</p>			

S41060 [ LGH1-015 ]

科目名	現代世界の史的背景Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. 世界の歴史の展開を以下の3つの視点、すなわち、</p> <p>①アフロ・ユーラシア諸地域のつながりとグローバル化という視点、</p> <p>②領土・民族・国家・地域というローカルな視点、</p> <p>③ヨーロッパの世界進出と資本主義の形成、アジア・アフリカ地域の植民地化という近現代史の視点から歴史の展開を理解することができる。</p> <p>2. 文献や資料集を読み考える力を養い、歴史を多様な視点から説明することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>現代世界は過去のどのような歴史を背景にして成立したのかという問題への知識と理解を深めるために、歴史上のさまざまな事象とその背景を、グローバルかつローカルな視点から振り返る。特に一つ一つの歴史上の出来事が相互にどのような「つながり」をもっているのか、現代の社会とどのように「つながって」いるのか、ということを考える。授業は各回のテーマと重要事項を設定し、受講者はそれらをあらかじめ学習した上で、授業の中でディスカッションをしたり、課題発表をおこなったりする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回の予習として指定された範囲のまとめのレポートを作成する。また、重要な用語、固有名詞などについて、あらかじめ調べておく。復習としては、授業でテーマとした内容に対して解説された内容を確認しておく。各回、予習と復習に4時間は必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欧米の国民国家の建設</li> <li>2. オスマン・トルコとその崩壊</li> <li>3. 南アジア・東南アジアの植民地化と工業化</li> <li>4. 第一次世界大戦と帝国主義</li> <li>5. アジアのナショナリズム</li> <li>6. ロシア革命と社会主義の目指したもの</li> <li>7. 第二次世界大戦</li> <li>8. アジア太平洋戦争</li> <li>9. 新中国、朝鮮戦争とアジアの独立</li> <li>10. ベトナム戦争とアメリカの覇権の動揺</li> <li>11. 中ソ対立と冷戦終結</li> <li>12. グローバル化と反グローバル化</li> <li>13. まとめ・グローバル化についての復習</li> </ol>			



科目名	現代世界の史的背景Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題 (40%)、発表 (30%)、レポート (30%)</p> <p>[ 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法 ] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー (質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) ]</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際1-1-1 / 日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際1-1-2 / 国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際1-1-3 / 海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際2-1 / 物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際3-1-2 / グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際3-2-1 / 世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際3-2-3 / グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 主体性 / 自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 責任感 / 社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 自己理解 / 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 多様性理解 / 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 表現力 / 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 論理的思考力 / 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 問題発見力 / 現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 市民のための世界史 著者名: 大阪大学歴史教育研究会編 出版社: 大阪大学出版会 (978-4-87259-469-0)</p>			

S41070 [ LGH1-016 ]

科目名	神戸と防災学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	諏訪 清二			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標]</p> <p>阪神・淡路大震災をはじめ国内外の災害の事例から、防災の教訓と知識を学ぶ。災害時に自分の命を守る方法を知り、行動に移そうとする姿勢を身に着けるとともに、復旧・復興過程で社会に参画する姿勢を育てる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>日本は災害と戦い続けてきた。阪神・淡路大震災(1995)を中心に、国内外で発生した災害の事実と教訓を学び、私たちがどうやって災害と向き合ってきたかを知る。具体的には、災害への備え、災害時の対応、避難所生活や災害ボランティアなどを実際の経験をもとに学ぶ。</p> <p>具体的には、実際の体験談を中心に被災と復旧・復興のプロセスを学ぶ。特に、被災後の人々の知恵—助け合い、支援、法・制度の整備、災害ボランティア、防災教育など—を実際の体験をもとに学びその意味を考える。近年も、豪雨災害、地震災害が頻発しており、近い将来、南海トラフ巨大地震も必ず発生する。未来の災害時に自分の命を守り、他者の安全を確保し、より安全で安心な社会の構築に参画するためにはどうすればよいかを被災の事実をもとに共に考えていく。人と防災未来センターの見学も行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前学習として阪神・淡路大震災に関する本を一冊選んで読み、感想を1200字程度にまとめる。</li> <li>1日目、2日目の講義の終わりを与えられた課題について自分の考えを800字程度で書く。</li> <li>3日目の終わりに、自分が設定したテーマで1200字程度のレポートを書く。</li> </ul> <p>* manabaで提出する。</p> <p>[授業計画]</p> <p>3日間の集中講義とする。</p> <p><b>【1日目】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ガイダンス(講義の概要と成績・配点の説明)、ディスカッション「神戸のイメージ」</li> <li>阪神・淡路大震災(被災体験から学ぶ)</li> <li>阪神・淡路大震災(被害の概要と避難所の実際)</li> <li>阪神・淡路大震災(避難と避難所、復旧、復興)</li> </ol> <p><b>【2日目】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>東日本大津波(被災体験から学ぶ)</li> <li>気象災害から学ぶ(ハザード、備え、避難の判断、様々な気象災害)</li> <li>災害ボランティア、ディスカッション「こんなときどうする？」(災害ボランティアの実際から)</li> <li>復興のまちづくり</li> </ol> <p><b>【3日目】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>防災の基礎(誘因、素因、社会の防災力、脆弱性、防災、減災、ハード、ソフト、など)</li> <li>ディスカッション「人と防災未来センターで知りたいこと」</li> <li>フィールドワーク(人と防災未来センター)</li> <li>フィールドワーク(人と防災未来センター)</li> <li>ディスカッションとまとめ(10時間目に設定した課題の解決レポート)</li> </ol> <p>* 大学から人と防災未来センターへの交通費 人と防災未来センター入場料 大学生450円(20人以上であれば350円)</p>				

科目名	神戸と防災学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	諏訪 清二		
<p>[ 成績評価方法 ]  事前レポート 20点(20%)  1日目レポート 800字 20点(20%)  2日目レポート 800字 20点(20%)  最終レポート 1200字 40点(40%)  合計100点</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  基本的に授業時間内で解説する。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。  成績評価方法:巡検とレポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。  成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし。</p>			

S43020 [ LGI2-001 ]

科目名	国際協働事例研究		後期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標アジェンダ2030(SDGs)とグローバル・ガバナンス		講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他		オンライン国際協働学習(Collaborative Online International Learning: COIL)を導入します。	実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]  様々な国際協力事例を通して、多様なアクターの協働関係と役割を理解する。</p> <p>[授業概要]  授業概要  国際社会は国家を主役として発展してきました。しかし、近年では、非政府組織、多国籍企業、国際機関、専門家、著名人など、国家以外のアクターがその存在感を増してきています。その背景には、「グローバリゼーション」と呼ばれる現象が進むなかで、環境問題、平和構築、貧困削減、新型コロナウイルス感染症などのパンデミック、民主化、テロリズムなど、国家単位では対応できない問題が増えてきていることがあります。これらの課題は、複数の持続可能な開発のためのアジェンダ2030(所謂SDGs)に大きく関係しています。本講義では、様々なグローバルな問題の解決に向けて、多様なアクターがどのように連携しているのかについて検討していきます。民間セクターの方に現在の協働事例について説明していただきます。  海外の大学との協働学習、グループワークやディスカッションを取り入れながら、皆さんと一緒に国際協働について考えたいと思います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  前回の授業内容を復習し理解し、次回の授業を予習しておくこと。毎日の国際協働に関する新聞記事を読んでおくこと。海外の大学と協働学習の事前調査や準備。予習復習4時間程度。</p> <p>[授業計画]  1. グローバリゼーション  2. 持続可能な開発目標2030(SDGs)  3. グローバルガバナンス  4. 人間の安全保障  5. 国際機関の役割  6. 民間セクターの役割①  7. 民間セクターの役割②(学外講師との協働授業)  8. 国際協働事例—貧困削減  9. 国際協働事例—パンデミック  10. 中間報告会  11. 国際協働事例—HIV/エイズ  12. 国際協働事例—ジェンダー  13. グループ・プレゼンテーション</p>				

科目名	国際協働事例研究	後期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標アジェンダ2030(SDGs)とグローバル・ガバナンス	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ] リアクション・ペーパー(30%)、グループ・ディスカッション(30%)、期末レポート試験(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba上にコメントを書きます。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 授業中に指定する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 授業中に紹介する。</p>			

S43250 [ LGH2-020 ]

科目名	国際協働事例研究		後期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標アジェンダ2030(SDGs)とグローバル・ガバナンス		講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他		オンライン国際協働学習(Collaborative Online International Learning: COIL)を導入します。	実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]  様々な国際協力事例を通して、多様なアクターの協働関係と役割を理解する。</p> <p>[授業概要]  授業概要  国際社会は国家を主役として発展してきました。しかし、近年では、非政府組織、多国籍企業、国際機関、専門家、著名人など、国家以外のアクターがその存在感を増してきています。その背景には、「グローバリゼーション」と呼ばれる現象が進むなかで、環境問題、平和構築、貧困削減、新型コロナウイルス感染症などのパンデミック、民主化、テロリズムなど、国家単位では対応できない問題が増えてきていることがあります。これらの課題は、複数の持続可能な開発のためのアジェンダ2030(所謂SDGs)に大きく関係しています。本講義では、様々なグローバルな問題の解決に向けて、多様なアクターがどのように連携しているのかについて検討していきます。民間セクターの方に現在の協働事例について説明していただきます。  海外の大学との協働学習、グループワークやディスカッションを取り入れながら、皆さんと一緒に国際協働について考えたいと思います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  前回の授業内容を復習し理解し、次回の授業を予習しておくこと。毎日の国際協働に関する新聞記事を読んでおくこと。海外の大学と協働学習の事前調査や準備。予習復習4時間程度。</p> <p>[授業計画]  1. グローバリゼーション  2. 持続可能な開発目標2030(SDGs)  3. グローバルガバナンス  4. 人間の安全保障  5. 国際機関の役割  6. 民間セクターの役割①  7. 民間セクターの役割②(学外講師との協働授業)  8. 国際協働事例—貧困削減  9. 国際協働事例—パンデミック  10. 中間報告会  11. 国際協働事例—HIV/エイズ  12. 国際協働事例—ジェンダー  13. グループ・プレゼンテーション</p>				

科目名	国際協働事例研究	後期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標アジェンダ2030(SDGs)とグローバル・ガバナンス	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ] リアクション・ペーパー(30%)、グループ・ディスカッション(30%)、期末レポート試験(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba上にコメントを書きます。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 授業中に指定する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 授業中に紹介する。</p>			

S43250F [ LGH2-020 ]

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

人文社会科学における基礎的なアカデミック・スキルズ(学術的技法)を習得する。

[ 授業概要 ]

アカデミック・スキルズ(学術的技法)とは、

- (1)〈知りたい心〉、〈知る〉、〈問い〉、〈思考〉という知的態度
- (2)聞く、ノートをとる、調べる(インプット)
- (3)まとめる、発表する(アウトプット)

といった「知的活動」の中で特に〈スキル〉とよばれる(2)(3)を指すことが多いが、本来は広く(1)も含むと考えられる。

〈問い〉を立てる場合も様々な立て方があり、また、「聞く」場合も授業で決められた内容を教員から聞く場合や、フィールドでこちらで聞きたいことを用意して聞く(インタビュー)場合など、さまざまな「聞き方」がある。(2)や(3)は、訓練が必要であるが、実はそれに劣らず(1)にも訓練が必要である。この授業では、独自にテーマを探して設定し、調査し、記録し、分析・整理し、議論をし、口頭やレポートで発表するという基礎的なアカデミック・スキルズを実践を通して学ぶ。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。

[ 授業計画 ]

1. ガイダンス、「アカデミック・スキルズ」とは
2. ノートの取り方
3. 文献調査の方法①
4. 文献調査の方法②
5. フィールドワークの方法①
6. フィールドワークの方法②
7. フィールドワークの方法③
8. フィールドワークの方法④
9. フィールドワークの方法⑤
10. プレゼンテーションの方法①
11. プレゼンテーションの方法②
12. レポートの書き方①
13. レポートの書き方②

※授業時間外(土曜など)にフィールドワークを実施する。日程は相談して決定する。



科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(30%)、発表(30%)、レポート(40%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『アカデミック・スキルズ(第3版)—大学生のための知的技法入門』 著者名:佐藤望ほか編著 出版社:慶應義塾大学出版会、2020年 (978-4-7664-2656-4) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く— ver.2.1』 著者名:橋本礼子 出版社:神戸女子大学 全学共通教育部、2019年</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『質的社会調査の方法—他者の合理性の理解社会学』 著者名:岸政彦、石岡丈昇、丸山里美 出版社:有斐閣 (978-4-641-15037-9)</p>			

S41030 [ LGH1-014 ]

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

人文社会科学における基礎的なアカデミック・スキルズ(学術的技法)を習得する。

[ 授業概要 ]

アカデミック・スキルズ(学術的技法)とは、

- (1)〈知りたい心〉、〈知る〉、〈問い〉、〈思考〉という知的態度
- (2)聞く、ノートをとる、調べる(インプット)
- (3)まとめる、発表する(アウトプット)

といった「知的活動」の中で特に〈スキル〉とよばれる(2)(3)を指すことが多いが、本来は広く(1)も含むと考えられる。

〈問い〉を立てる場合も様々な立て方があり、また、「聞く」場合も授業で決められた内容を教員から聞く場合や、フィールドでこちらで聞きたいことを用意して聞く(インタビュー)場合など、さまざまな「聞き方」がある。(2)や(3)は、訓練が必要であるが、実はそれに劣らず(1)にも訓練が必要である。この授業では、独自にテーマを探して設定し、調査し、記録し、分析・整理し、議論をし、口頭やレポートで発表するという基礎的なアカデミック・スキルズを実践を通して学ぶ。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。

[ 授業計画 ]

1. ガイダンス、「アカデミック・スキルズ」とは
2. ノートの取り方
3. 文献調査の方法①
4. 文献調査の方法②
5. フィールドワークの方法①
6. フィールドワークの方法②
7. フィールドワークの方法③
8. フィールドワークの方法④
9. フィールドワークの方法⑤
10. プレゼンテーションの方法①
11. プレゼンテーションの方法②
12. レポートの書き方①
13. レポートの書き方②

※授業時間外(土曜など)にフィールドワークを実施する。日程は相談して決定する。

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題 (30%)、発表 (30%)、レポート (40%) により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 『アカデミック・スキルズ(第3版)—大学生のための知的技法入門』 著者名:佐藤望ほか編著 出版社:慶應義塾大学出版会、2020年 (978-4-7664-2656-4) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く— ver.2.1』 著者名:橋本礼子 出版社:神戸女子大学 全学共通教育部、2019年</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 授業中に紹介する。</p>			

S41031 [ LGH1-014 ]

科目名	国際教養学演習		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[ 到達目標 ] 人文社会科学における基礎的なアカデミック・スキルズ(学術的技法)を習得する。</p> <p>[ 授業概要 ] アカデミック・スキルズ(学術的技法)とは、 (1)〈知りたい心〉、〈知る〉、〈問い〉、〈思考〉という知的態度 (2)聞く、ノートをとる、調べる(インプット) (3)まとめる、発表する(アウトプット) といった「知的活動」の中で特に〈スキル〉とよばれる(2)(3)を指すことが多いが、本来は広く(1)も含むと考えられる。 〈問い〉を立てる場合も様々な立て方があり、また、「聞く」場合も授業で決められた内容を教員から聞く場合や、フィールドでこちらで聞きたいことを用意して聞く(インタビュー)場合など、さまざまな「聞き方」がある。(2)や(3)は、訓練が必要であるが、実はそれに劣らず(1)にも訓練が必要である。この授業では、独自にテーマを探して設定し、調査し、記録し、分析・整理し、議論をし、口頭やレポートで発表するという基礎的なアカデミック・スキルズを実践を通して学ぶ。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. ガイダンス、「アカデミック・スキルズ」とは 2. ノートの取り方 3. 文献調査の方法① 4. 文献調査の方法② 5. フィールドワークの方法① 6. フィールドワークの方法② 7. フィールドワークの方法③ 8. フィールドワークの方法④ 9. フィールドワークの方法⑤ 10. プレゼンテーションの方法① 11. プレゼンテーションの方法② 12. レポートの書き方① 13. レポートの書き方② ※授業時間外(土曜など)にフィールドワークを実施する。日程は相談して決定する。</p>				

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(30%)、発表(30%)、レポート(40%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 解説やレポートへのコメント manabaを通してコメント</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『アカデミック・スキルズ(第3版)—大学生のための知的技法入門』 著者名: 佐藤望ほか編著 出版社: 慶應義塾大学出版会、2020年 (978-4-7664-2656-4) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く— ver.2.1』 著者名: 橋本礼子 出版社: 神戸女子大学 全学共通教育部、2019年</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 特になし。</p>			

S41032 [ LGH1-014 ]

科目名	国際教養学演習		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	莊 千慧			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 人文社会科学における基礎的なアカデミック・スキルズ(学術的技法)を習得する。</p> <p>[ 授業概要 ] アカデミック・スキルズ(学術的技法)とは、 (1)〈知りたい心〉、〈知る〉、〈問い〉、〈思考〉という知的態度 (2)聞く、ノートをとる、調べる(インプット) (3)まとめる、発表する(アウトプット) といった「知的活動」の中で特に〈スキル〉とよばれる(2)(3)を指すことが多いが、本来は広く(1)も含むと考えられる。 〈問い〉を立てる場合も様々な立て方があり、また、「聞く」場合も授業で決められた内容を教員から聞く場合や、フィールドでこちらで聞きたいことを用意して聞く(インタビュー)場合など、さまざまな「聞き方」がある。(2)や(3)は、訓練が必要であるが、実はそれに劣らず(1)にも訓練が必要である。この授業では、独自にテーマを探して設定し、調査し、記録し、分析・整理し、議論をし、口頭やレポートで発表するという基礎的なアカデミック・スキルズを実践を通して学ぶ。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. ガイダンス、「アカデミック・スキルズ」とは 2. ノートの取り方 3. 文献調査の方法① 4. 文献調査の方法② 5. フィールドワークの方法① 6. フィールドワークの方法② 7. フィールドワークの方法③ 8. フィールドワークの方法④ 9. フィールドワークの方法⑤ 10. プレゼンテーションの方法① 11. プレゼンテーションの方法② 12. レポートの書き方① 13. レポートの書き方② ※授業時間外(土曜など)にフィールドワークを実施する。日程は相談して決定する。</p>				

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	莊 千慧		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(30%)、発表(30%)、レポート(40%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。 レポートはチェックをしたうえで返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『アカデミック・スキルズ(第3版)—大学生のための知的技法入門』 著者名: 佐藤望ほか編著 出版社: 慶應義塾大学出版会、2020年 (978-4-7664-2656-4 ) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く— ver.2.1』 著者名: 橋本礼子 出版社: 神戸女子大学 全学共通教育部、2019年</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 『質的社会調査の方法—他者の合理性の理解社会学』 著者名: 岸政彦、石岡丈昇、丸山里美 出版社: 有斐</p>			

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

人文社会科学における基礎的なアカデミック・スキルズ(学術的技法)を習得する。

[ 授業概要 ]

アカデミック・スキルズ(学術的技法)とは、

- (1)〈知りたい心〉、〈知る〉、〈問い〉、〈思考〉という知的態度
- (2)聞く、ノートをとる、調べる(インプット)
- (3)まとめる、発表する(アウトプット)

といった「知的活動」の中で特に〈スキル〉とよばれる(2)(3)を指すことが多いが、本来は広く(1)も含むと考えられる。

〈問い〉を立てる場合も様々な立て方があり、また、「聞く」場合も授業で決められた内容を教員から聞く場合や、フィールドでこちらで聞きたいことを用意して聞く(インタビュー)場合など、さまざまな「聞き方」がある。(2)や(3)は、訓練が必要であるが、実はそれに劣らず(1)にも訓練が必要である。この授業では、独自にテーマを探して設定し、調査し、記録し、分析・整理し、議論をし、口頭やレポートで発表するという基礎的なアカデミック・スキルズを実践を通して学ぶ。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。

[ 授業計画 ]

1. ガイダンス、「アカデミック・スキルズ」とは
2. ノートの取り方
3. 文献調査の方法① 文献一覧の作り方
4. 文献調査の方法② 図書館ガイダンス
5. フィールドワークの方法①
6. フィールドワークの方法②
7. フィールドワークの方法③
8. フィールドワークの方法④
9. フィールドワークの方法⑤
10. プレゼンテーションの方法①
11. プレゼンテーションの方法②
12. レポートの書き方①
13. レポートの書き方②

※授業時間外(土曜など)にフィールドワークを実施する。日程は相談して決定する。



科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(30%)、発表(30%)、レポート(40%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。 レポートはチェックをしたうえで返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法: 発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法: 課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『アカデミック・スキルズ(第3版)—大学生のための知的技法入門』 著者名: 佐藤望ほか編著 出版社: 慶應義塾大学出版会、2020年 (978-4-7664-2656-4) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く— ver.2.1』 著者名: 橋本礼子 出版社: 神戸女子大学 全学共通教育部、2019年</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S41034 [ LGH1-014 ]

科目名	国際教養学入門	前期	2 単位
サブタイトル	研究の世界への招待	講義	
担当者	野口 和美、莊 千慧、室屋 安孝、E. ウィリアムズ、チャン ティフェ、高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  グローバル・ローカル研究とはどのような学問なのか、国際教養学科の先生方の専門分野をとおしてグローバル・ローカル研究の基本的事項を具体的研究の紹介の中から学ぶ。</p> <p>[ 授業概要 ]  国際教養学科の教員がそれぞれの研究分野を紹介しながら、グローバル・ローカル研究の基本となる、地誌、風土、言語、民族、国家、政治、経済、宗教、国際交流などについての基本的考え方、基本的知識を学ぶ。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  各地域について、地理、国名と位置、主要都市名などを予習しておくこと。  ※各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.&lt;導入&gt; グローバル・ローカルを規定する諸要因について(野口)  地理、地誌、風土、言語、民族、国家、政治、経済、宗教、国際交流などについて</li> <li>2.&lt;東アジア&gt;① 新しい(宗教)の形を追い求める日中の知識人(莊)</li> <li>3.&lt;東アジア&gt;② 1つのアジア:タゴール・岡倉天心・孫文(莊)</li> <li>4.&lt;東アジア&gt;③戦後日本の賠償と謝罪問題①: 政府間交渉のみによる妥結(高城)</li> <li>5.&lt;東アジア&gt;④戦後日本の賠償と謝罪問題②: 政府間妥結の内容上の不備による各国市民社会からの不満噴出(高城)</li> <li>6.&lt;東南アジアの諸地域&gt;① 国際関係学、開発経済学(チャンフェ)</li> <li>7.&lt;東南アジアの諸地域&gt;② 国際関係学、開発経済学(チャンフェ)</li> <li>8.&lt;南アジアと西アジア&gt; インド独立運動とマハトマ・ガンディー(室屋)</li> <li>9.&lt;ヨーロッパ&gt;①欧州統合と「歓喜の歌」(室屋)</li> <li>10.&lt;アメリカ大陸&gt;① カナダにおけるバイリンガリズムと文化的な多様性(ウィリアムズ)</li> <li>11.&lt;アメリカ大陸&gt;② 日系カナダ人の歴史とアイデンティティ(ウィリアムズ)</li> <li>12.&lt;アメリカ大陸&gt;③ アメリカ合衆国の市民社会とフィランソロピー (野口)</li> <li>13.&lt;アメリカ大陸&gt;④ ブラジルと日本との関係、まとめ (野口)</li> </ol>			

科目名	国際教養学入門	前期	2 単位
サブタイトル	研究の世界への招待	講義	
担当者	野口 和美、莊 千慧、室屋 安孝、E. ウィリアムズ、チャン ティフェ、高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト 授業後の課題</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] manaba、メール、授業中に解説を行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力</p>			

科目名	国際協力・援助政策論		後期	2 単位
サブタイトル	サステナビリティ		講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 国際協力政策におけるグローバル及びローカルなガバナンスを理解する。</p> <p>[ 授業概要 ] 国際機関、先進国の国際協力機関の開発援助動向を踏まえて、グローバリゼーションにおける国際協力の現状と課題を理解する。国際協力活動は、地方自治体や市民レベルまでにおよび、私たちの生活に身近になっている。最近では、社会起業家といわれる新しい国際協力のアクターも現れ、様々なアクターと連携し、持続可能な開発のための開発アジェンダ2030(SDGs)達成のため国際協力活動を行っている。国際協力の変遷を概説し、アクティブラーニングを通して、各アクターがどのように連携しているかを考察する。グループ・ディスカッションを交えながら授業を行う。なぜ国際協力が重要であるのかを一緒に考えましょう。写真や現在国際開発活動に関わっている実務者を通して最新の開発政策の現状等を確認し、どのように開発途上国の問題の改善に取り組むことが出来るのか考えましょう。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。国際協力や開発途上国に関する新聞記事やニュースに毎日目を通すようにすること。 前回の授業で学んだ授業内容や国際協力用語を復習し、次回の授業の予習をしておくこと。 学外のセミナーやシンポジウムに積極的に参加すること。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. レジリエントとは何か</li> <li>2. 国際協力の変遷と潮流 国際協力の仕組み グローバルな課題とミレニアム開発目標から持続可能な開発目標2030アジェンダ</li> <li>3. 途上国の問題は何かー飢餓と栄養不良</li> <li>4. 途上国の問題は何かー感染症対策</li> <li>5. 途上国の問題は何かー国際協力における子どもと子どもの健康</li> <li>6. 途上国の問題は何かー民主化支援</li> <li>7. 途上国の問題は何かー地方分権とローカル・ガバナンス</li> <li>8. 途上国の問題は何かー法の支配の構築</li> <li>9. 日本の国際協力と海外の国際協力(学外講師との協働授業)</li> <li>10. 国際協力の担い手の変化と公民連携</li> <li>11. 身近な国際協力のフェア・トレード促進活動</li> <li>12. 誰のための国際協力なのか 国際協力プロジェクト評価</li> <li>13. 持続可能な開発のための教育からグローバル・アクション・プランへ</li> </ol>				

科目名	国際協力・援助政策論	後期	2 単位
サブタイトル	サステナビリティ	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ] グループディスカッションの参加(30%)、リアクションペーパー(30%)、テスト(10%)、期末レポート試験及び発表(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] マナバ上でコメントを載せます。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 国際開発論 貧困をなくすミレニアム開発目標へのアプローチ 著者名: 勝間 靖 編著 出版社: ミネルヴァ書房 (9784620000000)</p>			

S43230 [ LGH2-019 ]

科目名	国際協力・援助政策論		後期	2 単位
サブタイトル	サステナビリティ		講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 国際協力政策におけるグローバル及びローカルなガバナンスを理解する。</p> <p>[ 授業概要 ] 国際機関、先進国の国際協力機関の開発援助動向を踏まえて、グローバリゼーションにおける国際協力の現状と課題を理解する。国際協力活動は、地方自治体や市民レベルまでにおよび、私たちの生活に身近になっている。最近では、社会起業家といわれる新しい国際協力のアクターも現れ、様々なアクターと連携し、持続可能な開発のための開発アジェンダ2030(SDGs)達成のため国際協力活動を行っている。国際協力の変遷を概説し、アクティブラーニングを通して、各アクターがどのように連携しているかを考察する。グループ・ディスカッションを交えながら授業を行う。なぜ国際協力が重要であるのかを一緒に考えましょう。写真や現在国際開発活動に関わっている実務者を通して最新の開発政策の現状等を確認し、どのように開発途上国の問題の改善に取り組むことが出来るのか考えましょう。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。国際協力や開発途上国に関する新聞記事やニュースに毎日目を通すようにすること。 前回の授業で学んだ授業内容や国際協力用語を復習し、次回の授業の予習をしておくこと。 学外のセミナーやシンポジウムに積極的に参加すること。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. レジリエントとは何か</li> <li>2. 国際協力の変遷と潮流 国際協力の仕組み グローバルな課題とミレニアム開発目標から持続可能な開発目標2030アジェンダ</li> <li>3. 途上国の問題は何かー飢餓と栄養不良</li> <li>4. 途上国の問題は何かー感染症対策</li> <li>5. 途上国の問題は何かー国際協力における子どもと子どもの健康</li> <li>6. 途上国の問題は何かー民主化支援</li> <li>7. 途上国の問題は何かー地方分権とローカル・ガバナンス</li> <li>8. 途上国の問題は何かー法の支配の構築</li> <li>9. 日本の国際協力と海外の国際協力(学外講師との協働授業)</li> <li>10. 国際協力の担い手の変化と公民連携</li> <li>11. 身近な国際協力のフェア・トレード促進活動</li> <li>12. 誰のための国際協力なのか 国際協力プロジェクト評価</li> <li>13. 持続可能な開発のための教育からグローバル・アクション・プランへ</li> </ol>				

科目名	国際協力・援助政策論	後期	2 単位
サブタイトル	サステナビリティ	講義	
担当者	野口 和美		

[ 成績評価方法 ]

グループディスカッションの参加(30%)、リアクションペーパー(30%)、テスト(10%)、期末レポート試験及び発表(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

マナバ上でコメントを載せます。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

なし

[ 参考書(ISBN) ]

国際開発論 貧困をなくすミレニアム開発目標へのアプローチ 著者名: 勝間 靖 編著 出版社: ミネルヴァ書房 (9784620000000)

科目名	国際コミュニケーション演習 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>This is a higher-level four-skills course with an emphasis on using English for international communication. Students will have many chances to improve their reading and writing skills, but the main goal of the course is to practice speaking and listening as much as possible.</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>In this class, students will learn about different cultures and countries while improving English communication skills. Students will regularly give their opinions about the topics they are studying through pair and group discussions and writing assignments. Students will also be exposed to various English accents and dialects through listening activities. In this class, students are encouraged to use as much English as possible, and not worry about making mistakes!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials.  ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course introduction, self-introductions, and discussing student goals</li> <li>2. Chapter 1: Self introductions and communication styles</li> <li>3. Chapter 1: Self introductions and communication styles</li> <li>4. Chapter 2: Sleep, rest and work culture</li> <li>5. Chapter 2: Sleep, rest and work culture</li> <li>6. Chapter 3: In the classroom and global education</li> <li>7. Chapter 3: In the classroom and global education</li> <li>8. Pair presentations</li> <li>9. Chapter 4: Relationships and socializing</li> <li>10. Chapter 4: Relationships and socializing</li> <li>11. Chapter 5: Student life and student clubs</li> <li>12. Chapter 5: Student life and student clubs</li> <li>13. Final exam</li> </ol>			



科目名	国際コミュニケーション演習 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ] Class participation (20%) , homework assignments (30%) , pair presentation (20%) , final exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] In class and online</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p>			

科目名	国際コミュニケーション演習 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>This is a higher-level four-skills course with an emphasis on using English for international communication. Students will have many chances to improve their reading and writing skills, but the main goal of the course is to practice speaking and listening as much as possible.</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>In this class, students will learn about different cultures and countries while improving English communication skills. Students will regularly give their opinions about the topics they are studying through pair and group discussions and writing assignments. Students will also be exposed to various English accents and dialects through listening activities. In this class, students are encouraged to use as much English as possible, and not worry about making mistakes!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials.  ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course introduction, self-introductions, and discussing student goals</li> <li>2. Chapter 1: Self introductions and communication styles</li> <li>3. Chapter 1: Self introductions and communication styles</li> <li>4. Chapter 2: Sleep, rest and work culture</li> <li>5. Chapter 2: Sleep, rest and work culture</li> <li>6. Chapter 3: In the classroom and global education</li> <li>7. Chapter 3: In the classroom and global education</li> <li>8. Pair presentations</li> <li>9. Chapter 4: Relationships and socializing</li> <li>10. Chapter 4: Relationships and socializing</li> <li>11. Chapter 5: Student life and student clubs</li> <li>12. Chapter 5: Student life and student clubs</li> <li>13. Final exam</li> </ol>			

科目名	国際コミュニケーション演習 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ] Class participation (20%) , homework assignments (30%), interview assignment (20%), final exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] In class and online</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p>			

科目名	国際コミュニケーション演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>This is a higher-level four-skills course with an emphasis on using English for international communication. Students will have many chances to improve their reading and writing skills, but the main goal of the course is to practice speaking and listening as much as possible.</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>This course is a continuation of 国際コミュニケーション演習 I. In this class, students will learn about different cultures and countries while improving English communication skills. Students will regularly give their opinions about the topics they are studying through pair and group discussions and writing assignments. Students will also be exposed to various English accents and dialects through listening activities. In this class, students are encouraged to use as much English as possible, and not worry about making mistakes!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials.  ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要です</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course introduction and basic review, student goals</li> <li>2. Chapter 6: Shopping and business</li> <li>3. Chapter 6: Shopping and business</li> <li>4. Chapter 7: Affection, relationships and romance</li> <li>5. Chapter 7: Affection, relationships and romance</li> <li>6. Chapter 8: Communication styles and agreeing/disagreeing</li> <li>7. Chapter 8: Communication styles and agreeing/disagreeing</li> <li>8. Group discussion: Sharing assignments</li> <li>9. Chapter 9: Family</li> <li>10. Chapter 9: Family</li> <li>11. Chapter 10: Respect and asking for favours</li> <li>12. Chapter 10: Respect and asking for favours</li> <li>13. Final exam</li> </ol>			

科目名	国際コミュニケーション演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ] Class participation (20%), homework assignments (30%), interview project (20%) , final exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] In-person and online</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p>			

科目名	国際コミュニケーション演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>This is a higher-level four-skills course with an emphasis on using English for international communication. Students will have many chances to improve their reading and writing skills, but the main goal of the course is to practice speaking and listening as much as possible.</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>This course is a continuation of 国際コミュニケーション演習 I. In this class, students will learn about different cultures and countries while improving English communication skills. Students will regularly give their opinions about the topics they are studying through pair and group discussions and writing assignments. Students will also be exposed to various English accents and dialects through listening activities. In this class, students are encouraged to use as much English as possible, and not worry about making mistakes!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials.  ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要です</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Course introduction and basic review, student goals</li> <li>2. Chapter 6: Shopping and business</li> <li>3. Chapter 6: Shopping and business</li> <li>4. Chapter 7: Affection, relationships and romance</li> <li>5. Chapter 7: Affection, relationships and romance</li> <li>6. Chapter 8: Communication styles and agreeing/disagreeing</li> <li>7. Chapter 8: Communication styles and agreeing/disagreeing</li> <li>8. Group discussion: Sharing assignments</li> <li>9. Chapter 9: Family</li> <li>10. Chapter 9: Family</li> <li>11. Chapter 10: Respect and asking for favours</li> <li>12. Chapter 10: Respect and asking for favours</li> <li>13. Final exam</li> </ol>			

科目名	国際コミュニケーション演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ] Class participation (20%), homework assignments (30%), interview project (20%) , final exam (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] In-person and online</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p>			

科目名	国際ボランティア・リーダーシップ論	後期	2 単位
サブタイトル	国際ボランティアにおけるリーダーシップとは何か。	講義	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] NPOやNGOにおける国際ボランティア活動に必要なリーダーシップについて理解するとともに、国際ボランティア活動の企画等を行うことも視野に入れる。</p> <p>[ 授業概要 ] 国際交流や協力における日本の貢献が期待されている中で、国際ボランティアやボランティアリーダーの役割が重要になってきている。リーダーの立場で実践活動に参加するためには、現場で発生している多様な課題を理解し、他のアクターとの情報の共有や共同事業実施のためのネットワークの構築が必要となってくる。本講義では、NPO・NGOの組織運営及びリーダーシップに必要な要素は何であるのかを考えながら、国際交流や協力のプログラムの目的の設定やネットワークの構築などについて、JICA海外協力隊の事例やシュミレーションを通じて学ぶ。実際に、国際協力関連の活動を行っている民間セクターの方に説明していただく。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 予習ならびに復習を行うこと。予習復習4時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際交流及び協力の新しい潮流 (SDGsやグローバルな課題解決に向けて)</li> <li>2. リーダーシップとは何か</li> <li>3. 国際ボランティアにおけるリーダーシップ</li> <li>4. NPO・NGOの組織運営 (理念、人材、資金、ボランティア、情報)</li> <li>5. NPO・NGOの組織運営の国際比較</li> <li>6. 開発実務者の講義 (学外講師と担当教員との協働授業)</li> <li>7. 国際交流・協力プログラム及び事業におけるリーダーシップ</li> <li>8. 事例研究 国際交流の事例</li> <li>9. 事例研究 JICA海外協力隊 (学外講師と担当教員との協働授業 派遣地とオンラインで交流の可能性もある)</li> <li>10. シュミレーション 国際交流・国際協力プログラムの考案 ①</li> <li>11. シュミレーション 国際交流・国際協力プログラムの考案 ②</li> <li>12. 受講生による発表 ①</li> <li>13. 受講生による発表 ②</li> </ol>			



科目名	国際ボランティア・リーダーシップ論	後期	2 単位
サブタイトル	国際ボランティアにおけるリーダーシップとは何か。	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ]  ディスカッションへの参加(30%)、リアクションペーパー(30%)、発表(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  manaバ上でコメントを載せます。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  特に指定しない。授業中に適宜、資料を配布する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  授業中に随時紹介します。</p>			

科目名	国際ボランティア活動論	前期	2 単位
サブタイトル	国際ボランティア活動の理念と実践からの学び	講義	
担当者	諏訪 清二		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	<small>国際ボランティア活動の「私案」をグループで作成し、発表する。</small>	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 国際支援、国際ボランティアの在り方を実際の活動から学び、「支援」で何を大切にすべきかを知り、今後の学びや卒業後の社会人としての活動に活かせるようになる。</p> <p>[授業概要] 支援者と受援者の在り方と関係、NGOやNPOの活動と政府組織の関係、SDGsの内容めざすものなどを具体的な事例をもとに学ぶ。特に被災国の支援の実例を具体的に取り上げ、国際ボランティアがどうあるべきか、議論を深める。 また、日本国内におけるオールドカマー、ニューカマーなどの問題についても支援の具体例を学んで、地元関西圏の課題や私たちにできることなど考える機会とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習を合わせて4時間程度。 各授業単元に関連するニュースや支援プロジェクト等について事前調べをしておこと。講義の振り返りとして各事例について自分ならどのようなかかわりをするか／できるか、を考える習慣をつけること。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション: 講義の進め方 支援者と受援者、NGO、NPOなどについての基礎的な知識を学ぶ。 2. ボランティアとは何か? ボランティアの歴史と定義、要素、災害ボランティアの活動をまなぶ。 3. ボランティアとは何か? 高校生による国内の災害ボランティアの実際から学ぶ。 4. SDGsと国際ボランティア SDGsについて深く学ぶ。 5. 海外の防災支援・災害ボランティアの実例 外部講師: 京都大学防災研究所、中野元太さんの実践から学ぶ。 6. 中国四川省での地震被災地支援 支援の在り方と日中問題を考える。 7. Kobe Kathmandu Exchange Program 高校生の活動を通して開発途上国の防災問題と日本のかかわり方、若者の交流の在り方を学ぶ。 8. ネパール地震復興支援 「チームひょうご」によるネパール地震の被災地支援を通して支援の在り方を学ぶ。 9. 貧困 国内外の貧困と在日外国人の現状を学ぶ。 10. ワークショップ ブレイン・ライティングで支援の在り方を考え話し合う。 11. ワークショップ 海外支援プロジェクトを創る。 12. ワークショップ 海外支援プロジェクトを創る。 13. プロジェクトの発表とまとめ</p>			

科目名	国際ボランティア活動論	前期	2 単位
サブタイトル	国際ボランティア活動の理念と実践からの学び	講義	
担当者	諏訪 清二		
<p>[ 成績評価方法 ]  各回小レポート(40%)  毎時間終了時に回収し、次回の講義で講評。  支援プロジェクト立案(30%)  グループワークで創り、発表。相互評価と講評。  最終レポート(30%)  講義に関連するテーマで小論文を書いて提出。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  小レポートはmanabaで返信し、次回の講義で講評する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし。講義資料配布</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし。授業中に指示</p>			

S43240 [ LGH3-009 ]

科目名	ジェンダー論	後期	2 単位
サブタイトル	自分らしく生／性を生きるために	講義	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] ジェンダー概念の理解できる、人間の尊厳を根幹に多様な性のあり方、生き方への寛容の精神と共感力を持つことができる。</p> <p>[ 授業概要 ] 1990年代に入ってから国連会議のテーマにみられるように、近年のグローバル・イシューは人権・環境・人口・女性などであり、また国内においても少子高齢・人口減少社会を迎え男女共同参画社会づくり (Gender Equality) が国の最重要課題とされ、その際、ジェンダーの視点は欠かせないものとなっている。さらにジェンダーからセクシュアリティも議論の訴状が上がっている。日本社会におけるジェンダー/セクシュアリティ関係の実態、国際開発等におけるジェンダーの視点の展開等について概説し、ジェンダー理解の基礎とする。さらに、映像、ケーススタディ、学外研修を通して、ジェンダー平等 (Gender Equality) に向けた国内外のさまざまな取り組みを具体的に見ていくことによって、グローバル化が進む同時代を生きる者として、ジェンダーという視点が拓く可能性と課題について考える。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習・復習合わせて4時間程度。 ・日頃よりジェンダー平等に向けた国内外のニュースや様々な活動に関心を持つ習慣をつけておくこと。 ・授業内容を振り返り(Reflection 200字程度、manaba 提出)。 ・次回の授業資料 (manaba) を参照して重要用語・語句、出来事などについて下調べしておくこと(事項調べ)。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンスとイントロダクション: 各種ジェンダー指標からジェンダーの現状を考える</li> <li>2. ジェンダー発見までの道のり(歴史的背景)</li> <li>3. 女性学・ジェンダー学の誕生: ジェンダー概念とその変容と深化</li> <li>4. Gender Equality への国際的取組み: (1) 国連の取組みと女子差別撤廃条約</li> <li>5. Gender Equality への国際的取組み: (2) 「世界の女性は、今」(ビデオ)</li> <li>6. Gender Equality への国際的取組み: (3) ジェンダーの主流化に向けて</li> <li>7. Gender Equalityへの日本の取組み: (1) 男女共同参画社会づくりへの歩みと男女共同参加/社会基本法</li> <li>8. Gender Equalityへの日本の取組み: (2) ジェンダー課題と法社会制度(グループワーク&amp;プレゼン)</li> <li>9-10. ジェンダーの視点と地域活動(ケーススタディ): 学外研修(兵庫県の取組み)</li> <li>11. 女性活躍推進法と働き方改革(グループワーク&amp;プレゼン、)</li> <li>12. セクシュアル・マイノリティの今(ディスカッション)</li> <li>13. まとめ</li> </ol> <p>* レポート提出、授業の伝達など、manaba を多用します、必ず受信設定・登録しておいてください。併せてPC持参のこと。</p>			

科目名	ジェンダー論	後期	2 単位
サブタイトル	自分らしく生／性を生きるために	講義	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[ 成績評価方法 ]  確認テスト50%+レポート40%+授業への取り組み(プレゼン、ディスカッション)10%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・テストはmanabaにてフィードバック  ・各レポートはmanaba提出、授業中あるいはmanabaにてフィードバック  ・授業への取り組み(プレゼン&amp;ディスカッションは)授業中に講評。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし 授業資料manaba</p>			

科目名	ジェンダー論	後期	2 単位
サブタイトル	自分らしく生／性を生きるために	講義	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] ジェンダー概念の理解できる、人間の尊厳を根幹に多様な性のあり方、生き方への寛容の精神と共感力を持つことができる。</p> <p>[ 授業概要 ] 1990年代に入ってから国連会議のテーマにみられるように、近年のグローバル・イシューは人権・環境・人口・女性などであり、また国内においても少子高齢・人口減少社会を迎え男女共同参画社会づくり (Gender Equality) が国の最重要課題とされ、その際、ジェンダーの視点は欠かせないものとなっている。さらにジェンダーからセクシュアリティも議論の訴状が上がっている。日本社会におけるジェンダー/セクシュアリティ関係の実態、国際開発等におけるジェンダーの視点の展開等について概説し、ジェンダー理解の基礎とする。さらに、映像、ケーススタディ、学外研修を通して、ジェンダー平等 (Gender Equality) に向けた国内外のさまざまな取り組みを具体的に見ていくことによって、グローバル化が進む同時代を生きる者として、ジェンダーという視点が拓く可能性と課題について考える。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回、予習・復習合わせて4時間程度。 ・日頃よりジェンダー平等に向けた国内外のニュースや様々な活動に関心を持つ習慣をつけておくこと。 ・授業内容を振り返り(Reflection 200字程度、manaba 提出)。 ・次回の授業資料 (manaba) を参照して重要用語・語句、出来事などについて下調べしておくこと(事項調べ)。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ガイダンスとイントロダクション: 各種ジェンダー指標からジェンダーの現状を考える</li> <li>ジェンダー発見までの道のり(歴史的背景)</li> <li>女性学・ジェンダー学の誕生: ジェンダー概念とその変容と深化</li> <li>Gender Equality への国際的取組み: (1) 国連の取組みと女子差別撤廃条約</li> <li>Gender Equality への国際的取組み: (2) 「世界の女性は、今」(ビデオ)</li> <li>Gender Equality への国際的取組み: (3) ジェンダーの主流化に向けて</li> <li>Gender Equalityへの日本の取組み: (1) 男女共同参画社会づくりへの歩みと男女共同参加/社会基本法</li> <li>Gender Equalityへの日本の取組み: (2) ジェンダー課題と法社会制度(グループワーク&amp;プレゼンテーション)</li> <li>9-10. ジェンダーの視点と地域活動(ケーススタディ): 学外研修(兵庫県の取組み)</li> <li>女性活躍推進法と働き方改革(グループワーク、プレゼンテーション)</li> <li>セクシュアル・マイノリティの今(ディスカッション)</li> <li>まとめ</li> </ol> <p>注)レポート提出、授業の伝達など、manaba を多用します、必ず受信設定・登録しておいてください。併せてPC持参のこと。</p>			

科目名	ジェンダー論	後期	2 単位
サブタイトル	自分らしく生／性を生きるために	講義	
担当者	吉岡 志津世		

[ 成績評価方法 ]  
 確認テスト50%＋レポート40%＋授業への取り組み(プレゼン、ディスカッション)10%

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
 ・テストはmanabaにてフィードバック  
 ・各レポートはmanaba提出、授業中あるいはmanabaにてフィードバック  
 ・授業への取り組み(プレゼン、ディスカッション)は授業中に講評。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号／DP内容:国際1-1-2／国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

学科DP番号／DP内容:国際2-1／物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

学科DP番号／DP内容:国際3-1-1／体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

学科DP番号／DP内容:国際3-1-2／グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

学科DP番号／DP内容:国際3-2-1／世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

[ 教科書(ISBN) ]  
 なし。講義資料 manaba

科目名	実践英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] TOEICの問題形式を教材として、日常生活・ビジネスの場面である程度意思疎通ができる英語運用力を身に付け、TOEIC-IPテスト600点以上相当の英語力を修得できる。</p> <p>[授業概要] TOEICの問題形式を教材として、リスニングの基礎、語彙、文法、読解の基礎を固める演習を徹底して行い、これまで曖昧にしてきた点を明確にして実践的な英語運用力を高める。各ユニット終了後には学修の定着を測るオンラインプログラム学習を行う。学修の定着を確認するTOEIC-IPの受験を必須とする(1回。詳細は授業で指示)。</p> <p>1. Unit 予習課題をmanabaから解答。解答解説で誤答箇所を中心に確認しておくこと。 Unit学習では、正答率の低い設問を中心に解説、曖昧な点を理解する。 2. ペアワーク、グループワークを通して実践的なコミュニケーション演習を行う。 3. 毎Unit 終了後、オンラインプログラムTESTUDYでUnitの学修を定着させる。</p> <p>授業外学習として、 1. 英語多読 (extensive reading @ A223) の演習を行い、Book Report を提出する。 2. Part 3 プレゼンテーションに向けて、音読練習を行う。 3. 毎Unit 学習を振り返るノートを作成し、学期末に提出する。特に誤答箇所を中心に、なぜ誤 答したのかその理由を明確にしてその後の学習に役立てる。</p> <p>* 授業では、オンラインプログラムやmanabaを多用するので、PC、イヤホン必携のこと。また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録しておくこと。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。 日頃から英語ニュースやWebを活用して積極的に英語環境をつくり英語に親しむ習慣をつけること。 1. 各Unit 予習、リスニング・音読練習をする。 2. 誤答した設問を中心に確実に復習し、併せてテキスト準拠のオンラインプログラムTESTUDYによる復習を行う。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス(学習方法、extensive reading, presentation の概要を含む) 2. Unit 1: Dining Out + Part 3 group work 3. Unit 1 Review. Unit 2: Offices + Part 3 group work 4. Unit 2 Review. Unit 3: General Business + Part 3 group work 5. Unit 3 Review. Unit 4: Manufacturing + Part 3 group work 6. Unit 4 Review. Unit 5: Communication + Part 3 group work 7. Unit 5 Review. Unit 6: Health + Part 3 group work 8. Unit 6 Review. Unit 7: Finance and Budgeting + Part 3 group work 9. Unit 7 Review. Part 3 Presentation 11. まとめテスト 12-13. TOEIC-IP L&amp;R Test</p> <p>* TOEIC問題形式に準じたテキストに従い、毎回演習を行う。授業の進捗状況によって調整する場合もある。</p>			



科目名	実践英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[ 成績評価方法 ]  予習・復習・小テスト等 25%+Book Report 5% + プレゼン 5%+まとめのテスト 20%+TOEIC-IP Test 45%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・まとめのテスト (mamaba)はテスト終了後フィードバック。  ・Part 3 Presentation は、ピアレビューに加えて授業中に講評する。  ・Book Report は manabaに提出。manabaからフィードバック。  ・TOEIC-IPスコアは後日配布。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  Best Practice for the TOEIC L&amp;A Test: Advanced 著者名:YOSHIZUKA Hiroshi, Graham Skerritt  出版社:成美堂 (978-4-7919-7270-8 )  TOEIC L&amp;Rテスト最新学習法&amp;完全模試 著者名:Jリサーチ出版編集部 出版社:Jリサーチ出版 (978-4-86392-554-0)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  公式TOEIC Listening &amp; Learning 問題集10 著者名:Education Testin Service 出版社:国際ビジネスコミュニケーション協会 (978-4906033713)</p>			

科目名	実践英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中 章愛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] TOEIC の問題形式を教材として、日常生活・ビジネスの場面である程度意思疎通ができる英語運用力を培い、TOEIC-IP テスト 600点以上相当の英語力修得を目標とする。</p> <p>[授業概要] TOEIC の問題形式を教材として、リスニングの基礎、語彙、文法、読解の基礎を固める演習を徹底して行い、これまで曖昧にしてきた点を明確にして実践的な英語運用力を高める。 各ユニット終了後には学修の定着を測るオンラインプログラム学習を行う。</p> <p>学修の定着を確認する TOEIC-IP の受験を必須とする(1回。詳細は授業で指示)。</p> <p>1. Unit 予習課題を manaba から解答、解答解説で誤答箇所を中心に確認しておくこと。 Unit 学習では、正答率の低い設問を中心に解説、曖昧な点を理解する。 2. Part 3 プレゼンテーションに向けて、音読練習を行う。 3. 毎 Unit 終了後、オンラインプログラム TESTUDY で Unit の学修を定着させる。</p> <p>授業外学習として 1. 英語多読 (extensive reading @ A223) の演習を行い、Book Report を提出する。 2. Part 3 のグループワークプレゼンテーション、ピアレビューで、実践的なプレゼンテーション演習を行う。 3. 毎 Unit 学習を振り返るノートを作成し、学期末に点検する。特に誤答箇所を中心に、なぜ誤答したのかその理由を明確にしてその後の学習に役立てる。</p> <p>* 授業では、オンラインプログラムや manaba を多用するので、PC、イヤホン必携のこと。 また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録しておくこと。</p> <p>* 学校現場の教員経験を有する教員が、その経験を活かして授業を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度。 日頃から、英語ニュースや Web を活用して積極的に英語環境をつくり、英語に親しむ習慣をつけること。 1. 各Unit 予習、リスニング・音読練習をする。 2. 誤答した設問を中心に確実に復習し、併せてテキスト準拠のオンラインプログラム TESTUDY による復習を行う。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1. ガイダンス(学習方法、extensive reading、presentation の概要を含む) 2. Unit 1: Dining Out + Part 3 group work 3. Unit 1 Review. Unit 2: Offices + Part 3 group work 4. Unit 2 Review. Unit 3: General Business + Part 3 group work 5. Unit 3 Review. Unit 4: Manufacturing + Part 3 group work 6. Unit 4 Review. Unit 5: Communication + Part 3 group work 7. Unit 5 Review. Unit 6: Health + Part 3 group work 8. Unit 6 Review. Unit 7: Finance and Budgeting + Part 3 group work 9. Unit 7 Review +Extra 10. Part 3 Presentation 11. まとめのテスト 12-13. TOEIC-IP L&amp;R Test</p> <p>* TOEIC問題形式に準じたテキストに従い、毎回演習を行う。 授業の進捗状況によって調整する場合もある。</p>			

科目名	実践英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中 章愛		
<p>[ 成績評価方法 ]  予習・復習・小テスト等 25% + Book Report 5% + プレゼン 5% + まとめのテスト 20% + TOEIC-IP 45%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・まとめのテスト(manaba)はテスト終了後フィードバック。  ・Part 3 Presentation は、ピアレビューに加えて授業中に講評する。  ・Book Report は manaba に提出。manaba からフィードバック。  ・TOEIC-IP スコアは後日配布。  ・振り返りノートは学期末にチェックして返却。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&amp;R TEST -Advanced-  著者名:YOSHIZUKA Hiroshi, Graham Skerritt 出版社:成美堂 (978-4-7919-7270-8)  TOEIC L&amp;R テスト最新学習法&amp;完全模試  著者名:Jリサーチ出版編集部 出版社:Jリサーチ出版 (978-4-86392-554-0)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  公式TOEIC Listening &amp; Reading 問題集 10 著者名:Education Testing Service  出版社:国際ビジネスコミュニケーション協会 (978-4906033713)</p>			

S40101 [ LGH3-001 ]

科目名	実践英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] TOEICの問題形式を教材として、日常生活・ビジネスの場面である程度意思疎通ができる英語運用力を身に付け、TOEIC-IPテスト600点以上相当の英語力を修得できる。</p> <p>[授業概要] TOEICの問題形式を教材として、リスニングの基礎、語彙、文法、読解の基礎を固める演習を徹底して行い、これまで曖昧にしてきた点を明確にして実践的な英語運用力を高める。各ユニット終了後には学修の定着を測るオンラインプログラム学習を行う。学修の定着を確認するTOEIC-IPの受験を必須とする(1回。詳細は授業で指示)。</p> <p>1. Unit 予習課題をmanabaから解答。解答解説で誤答箇所を中心に確認しておくこと。 Unit学習では、正答率の低い設問を中心に解説、曖昧な点を理解する。 2. ペアワーク、グループワークを通して実践的なコミュニケーション演習を行う。 3. 毎Unit 終了後、オンラインプログラムTESTUDY で Unit の学修を定着させる。</p> <p>授業外学習として、 1. 英語多読 (extensive reading @ A223) の演習を行い、Book Report を提出する。 2. 学期に1回、おススメ本 (My Favorite Book) に関する Book Talk プレゼンテーション PPTを作成し、実践的なプレゼンテーション演習に備える。 3. 毎Unit 学習を振り返るノートを作成し、学期末に提出する。特に誤答箇所を中心に、なぜ誤答したのかその理由を明確にしてその後の学習に役立てる。</p> <p>* 授業では、オンラインプログラムやmanabaを多用するので、PC、イヤホン必携のこと。また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録をしておくこと</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。 日頃から英語ニュースやWebを活用して積極的に英語環境をつくり英語に親しむ習慣をつけること。</p> <p>1. 各Unit 予習、リスニング・音読練習をする。 2. 誤答した設問を中心に確実に復習し、併せてテキスト準拠のオンラインプログラムTESTUDYによる復習を行う。</p> <p>[授業計画] 1. Warm-up Practice 2. Unit 8 Entertainment + Part 3 group work 3. Unit 8 Review. Unit 9: Purchasing + Part 3 group work 4. Unit 9 Review. Unit 10: Corporate Development + Part 3 group work 5. Unit 10 Review. Unit 11: Technical Areas + Part 3 group work 6. Unit 11 Review. Unit 12: Travel + Part 3 group work 7. Unit 12 Review. Unit 13 Housing/Corporate Property + Part 3 group work 8. Unit 13 Review. Unit 14: Personnel + Part 3 group work 9. Unit 14 Review + Extra 10. Book Talk Presentation 11. まとめのテスト 12-13. TOEIC-IP L&amp;R</p> <p>* TOEIC問題形式に準じたテキストに従い、毎回演習を行う。授業の進捗状況によって調整する場合もある。</p>			

科目名	実践英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		

[ 成績評価方法 ]

予習・復習、小テスト等 25%+Book Talk 5% + Book Report 5% + まとめのテスト 20%+TOEIC-IP 50%

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

- ・まとめのテスト (manaba)はテスト終了後フィードバック。
- ・Book Talk Presentation は、ピアレビューに加えて授業中に講評する。
- ・Book Report は manaba に提出。manaba からフィードバック。
- ・TOEIC-IPスコアは後日配布。
- ・振り返りノートは学期末にチェックして返却。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。

成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。

成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト

[ 教科書 (ISBN) ]

前期に引き続き Best Practicer for the TOEIC L&R Test-Advanced, 『TOEIC Listening & Reading最新学習法&完全模試』を使用する。

[ 参考書 (ISBN) ]

なし

科目名	実践英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中 章愛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] TOEIC の問題形式を教材として、日常生活・ビジネスの場面である程度意思疎通ができる英語運用力を培い、TOEIC-IP テスト 600点以上相当の英語力修得を目標とする。</p> <p>[授業概要] TOEIC の問題様式を教材として、リスニングの基礎、語彙、文法、読解の基礎を固める演習を徹底して行い、これまで曖昧にしてきた点を明確にして実践的な英語運用力を高める。 各ユニット終了後には学修の定着を測るオンラインプログラム学習を行う。 学修の定着を確認する TOEIC-IP の受験を必須とする(1回。詳細は授業で指示)。</p> <p>1. Unit 予習課題を manaba から解答、解答解説で誤答箇所を中心に確認しておくこと。 Unit 学習では、正答率の低い設問を中心に解説、曖昧な点を理解する。 2. ペアワーク、グループワークを通して実践的なコミュニケーション演習を行う。 3. 毎 Unit 終了後、オンラインプログラム TESTUDY で Unit の学修を定着させる。</p> <p>授業外学習として 1. 英語多読 (extensive reading @ A223) の演習を行い、Book Report を提出する。 2. 学期に1回、おススメ本 (My Favorite Book) に関する Book Talk プレゼンテーション PPT を作成し、実践的なプレゼンテーション演習に備える。 3. 毎 Unit 、学習を振り返るノートを作成し、学期末に提出する。特に誤答箇所を中心に、なぜ誤答したのかその理由を明確にしてその後の学習に役立てる。</p> <p>* 授業では、オンラインプログラムや manaba を多用するので、PC、イヤホン 必携のこと。 また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録をしておくこと。</p> <p>* 学校現場の教員経験を有する教員が、その経験を活かして授業を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度。 日頃から、英語ニュースや Web を活用して積極的に英語環境をつくり、英語に親しむ習慣をつけること。 1. 各 Unit 予習、リスニング・音読練習をする。 2. 誤答した設問を中心に確実に復習し、併せてテキスト準拠のオンラインプログラム TESTUDY による復習を行う。</p> <p>[授業計画] 1. Warm-up Practice 2. Unit 8: Entertainment + Part 3 group work 3. Unit 8 Review. Unit 9: Purchasing + Part 3 group work 4. Unit 9 Review. Unit 10: Corporate Development + Part 3 group work 5. Unit 10 Review. Unit 11: Technical Areas + Part 3 group work 6. Unit 11 Review. Unit 12 Travel + Part 3 group work 7. Unit 12 Review. Unit 13: Housing/Corporate Property + Part 3 group work 8. Unit 13 Review. Unit 14: Personnel + Part 3 group work 9. Unit 14 Review + Extra 10. Book Talk Presentation 11. まどめのテスト 12-13. TOEIC-IP L&amp;R</p> <p>TOEIC問題形式に準じたテキストに従い、毎回演習を行う。 授業の進捗状況によって調整する場合もある。</p>			

科目名	実践英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中 章愛		
<p>[ 成績評価方法 ]  予習・課題、小テスト等 25% + Book Talk 5% + Book Report 5% + まとめのテスト 20% + TOEIC-IP Test 45%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・まとめのテスト(manaba)はテスト終了後フィードバック。  ・Book Talk Presentation は、ピアレビューに加えて授業中に講評する。  ・Book Report は manaba に提出。manaba からフィードバック。  ・TOEIC-IP スコアは後日配布。  ・振り返りノートは学期末にチェックして返却。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&amp;R TEST -Advanced-  (前期に引き続き使用) 著者名:YOSHIZUKA Hiroshi, Graham Skerritt 出版社:成美堂 (978-4-7919-7270-8)  TOEIC L&amp;R テスト 完全模試 730  (前期に引き続き使用) 著者名:柴山かつの / Paur Dorey / 松本恵美子 / 成重寿 出版社:Jリサーチ出版 (978-4-86392-381-2)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  公式TOEIC Listening &amp; Reading 問題集 10  (前期に引き続き使用) 著者名:Educational Testing Service 出版社:一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (978-4906033713)</p>			

科目名	社会科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪 守		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          中学校学習指導要領についての理解を深め、情報通信機器等の活用を含めた生徒の思考・判断・表現の育成につながる社会科教材の編成につながる中学校社会科授業を考える。</p> <p>[授業概要]          この講座では、現在の中学校教育の課題や新たな学習観にも触れながら、中学校学習指導要領についての理解を深め、生徒の発達段階を踏まえた中学校社会科教育の在り方を考える。特に、広い視野に立って社会への関心を深めるための指導法や、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察するための指導法等、実践力につながる講座運営を行いたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          ・主として『学習指導要領解説 社会編』を読む。          ・教育実習に行く自治体の採択教科書の出版社や内容の情報を得る。          ・自治体の教育委員会の「教育振興基本計画」その他の発行物を調べる。          ※高校へ実習に行く学生は、科目が変わり、新しい教科書が採択されている。母校から情報を得ておく。</p> <p>[授業計画]          1. 中学校教育の課題と中学校社会科の展開          2. 学校教育法規と学習指導要領          3. 学習指導要領研究 I(教科の目標と内容)          4. 学習指導要領研究 II(地理的分野の目標)          5. 学習指導要領研究 III(歴史的分野の目標)          6. 学習指導要領研究 IV(公民的分野の目標)          7. 情報機器、ICTの活用及び教材編成の実際          8. 課題学習の指導「ICTの活用、資料等の活用法          9. 年間指導計画、学習指導案の作成          10. 授業研究[模擬授業]          11. フィールドワーク          12. まとめ          13. 理解度確認・解説          ※ 受講生の要望と受講者数を勘案して、講義内容を変更することがある。</p>			



科目名	社会科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪 守		
<p>[ 成績評価方法 ]  ・授業内の作業、活動30% 提出課題の評価30% 授業内試験の評価40%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]  中学校学習指導要領(平成29年告示)  ※他の講義で購入していればそれでよし(共有)  著者名:文部科学省 出版社:東山書房 (978-4827814613)  「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編」 著者名:文部科学省 出版社:東洋館出版社 (978-4536590051)  新版「学校を改革する」 著者名:佐藤 学 出版社:岩波ブックレットNo.1078</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]  「ヒトは『いじめ』をやめられない」 著者名:中野 信子 出版社:小学館新書  中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編  ※他の講義で購入していればそれでよし(共有) 著者名:文部科学省 出版社:教育出版</p>			

S45030 [ LGH3-021 ]

科目名	社会科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪 守		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  中学校学習指導要領「社会科」〔歴史的分野〕の目標や内容についての理解に基づいて、教材編成や授業の実践力を身につける。</p> <p>[授業概要]  中学校学習指導要領の〔歴史的分野〕の目標や内容を踏まえ、歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解する。その中で日本の文化と伝統の特色を考え、現在の歴史認識に基づき国民としての自覚を育てる。小学校の歴史学習を踏まえ、歴史上の人物や文化遺産に対する理解を深めつつ、歴史に見られる国際関係や文化交流についても考え、国際協調の精神を養う。以上の事柄への実践的指導法の基礎を培うこと目指した講座運営を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  ・『中学校学習指導要領』『学習指導要領解説 社会編』を読む。  ・教育実習に行く自治体の採択教科書の出版社や内容の情報を得る。  ・自治体の教育委員会の「教育振興基本計画」その他の発行物を調べる。  ※高校へ実習に行く人は、教科書が改訂、科目が変わるので母校から情報を得ておく。</p> <p>[授業計画]  ※ICTの活用について扱ってください  1. 〔歴史的分野〕の全体の構成の把握(含む小学校、高等学校の学習内容)  2. 教材編成の実際Ⅰ(A「歴史との対話「私たちと歴史」)  3. 教材編成の実際Ⅱ(A「歴史との対話「身近な地域の歴史」)  4. 「身近な地域の歴史」の発表  5. 教材編成の実際Ⅲ(B「近世までの日本とアジア」—古代までの日本)  6. 教材編成の実際Ⅳ(B「近世までの日本とアジア」—中世の日本)  授業研究Ⅰ(模擬授業)ICTの活用  7.教材研究の実際Ⅳ(B「近世までの日本とアジア」—近世の日本①)  8.教材研究の実際Ⅳ(B「近世までの日本とアジア」—近世の日本②)  9. 教材編成の実際Ⅵ(C「近現代の日本と世界」—近代の日本と世界)  授業研究Ⅲ(模擬授業)ICTの活用  10. 教材編成の実際Ⅶ(C「近現代の日本と世界」—現代の日本と世界)  授業研究Ⅳ(模擬授業)ICTの活用  11. 教材編成の実際…各時代のまとめ  12. フィールドワーク  13. 年間計画の作成  14. 理解度の認・解説(後期試験)</p> <p>※受講生の要望と受講者数を勘案して、講義内容を変更する場合がある。</p>			

科目名	社会科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪 守		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業内作業、活動30% 提出物の評価30% 授業内試験40%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 文部科学省告示『中学校学習指導要領』 著者名:文部科学省 出版社:東山書房 (978-4827814613) 『中学校学習指導要領解説(社会科編)』-H29.7月- 著者名:文部科学省 出版社:東洋館出版社 (978-4536590051) 新版『学校を改革する』 著者名:佐藤 学 出版社:岩波ブックレットNo. 1078</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 適宜、プリント資料配布 (なし)</p> <p>実習先の中学校で使われている歴史教科書を持っていれば、必要に応じて持参する</p>			

S45040 [ LGH3-022 ]

科目名	社会活動の法的基礎	後期	2 単位
サブタイトル	日常生活の法知識、海外制度との比較	講義	
担当者	諏佐 ランカ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  社会で活動するための基本的な法制度を理解する</p> <p>[ 授業概要 ]  民法・社会保障法・労働法を中心に、社会生活で知っておくべき法律について概説する。テーマによっては、日本と海外(主にドイツ)の法律・社会制度も紹介する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  どのような法律(または法にまつわる問題)に興味があるか考えておいてください。  また、授業ではresponアプリを使いますので、インストール等の事前準備をお願いします。</p> <p>[ 授業計画 ]  初回授業は可能な限り出席すること。試験概要や成績の評価方法などの説明があります。  レジュメはmanabaに随時アップロードします。各自ダウンロードまたは印刷して持ってきてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに～日常生活と法～</li> <li>2. 婚姻・離婚</li> <li>3. 親子・扶養・相続</li> <li>4. 所有と法(所有権・知的財産権)</li> <li>5. 契約と解除(売買契約・賃貸借契約)</li> <li>6. 労働法(男女雇用機会均等法など)</li> <li>7. 税金と法</li> <li>8. ジェンダーと法</li> <li>9. 社会保障法1(社会保険)―健康保険・公的年金・雇用保険</li> <li>10. 社会保障法2(公的扶助)―女性にまつわる法律を中心に</li> <li>11. 犯罪と法(刑法)</li> <li>12. 紛争解決(調停・裁判)</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	社会活動の法的基礎	後期	2 単位
サブタイトル	日常生活の法知識、海外制度との比較	講義	
担当者	諏佐 ランカ		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験(70%)、授業中の課題(20%)、授業態度(10%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題終了後に解説することを予定しています。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし(レジュメを使用)※参考書は任意です。条文は、e-Gov法令検索や六法アプリを参照してください。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 「はじめまして、法学」～身近なのに知らなすぎる「これって法的にどうなの?」～ 著者名:遠藤研一郎 出版社:ウェッジ (9784860000000) ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた—あなたがあなたらしくいられるための29問 著者名:佐藤文香編 出版社:明石書店 (9784750000000)</p>			

科目名	人権思想の系譜	前期	2 単位
サブタイトル	人権の歩みと新たな人権状況への理解を深める	講義	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 人権思想の変遷を理解し、人権に対する感性を高めることができる。</p> <p>[ 授業概要 ] 20世紀は「戦争の世紀」といわれるほど、わたしたちは大きな戦争や紛争を避けることができなかった。また科学万能主義と物質文明は自然環境の破壊をもたらし、わたしたちの生命、生活をも脅かすところまで来ている。人が人としてその生命の安全が保障され、自然との共生を図り、安心して自らの生を開花させることが今改めて求められており、その意味では、まさに21世紀は「人権の世紀」といえよう。一方、グローバル化が急速に進展する現代国際社会において、これまでの西欧中心の「人権」も再考を求められており、新たな「人権」理念の構築が模索されている。地球共生に向けた現代における人権課題と「人権文化の創造」について考えていきたい。 「世界人権宣言」に集約されている人権 (Human Rights) 概念の系譜を振り返り、連綿と継承、進化・深化してきていることを理解する。その上で、現代の人権課題、新たな人権課題についてリサーチし、ディスカッション、プレゼンテーションを行うことで、人権を等身大に捉えていく。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回の授業について予習・復習4時間程度。 ・日頃より、国連活動や人権に関するニュースなどに関心を持つよう習慣づけること。 ・また、前回の授業の復習 (Reflection) し、次回の授業資料 (manaba) を予習して重要用語などを調べておくこと (事項調べ)。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. ガイダンス: 現代の人権課題フリーディスカッション 2. 近代市民社会以前の思想史と人権 (1) ギリシャ・ローマの遺産とキリスト教の伝統と人権 3. 近代市民社会以前の思想史と人権 (2) イングランドの権利と法の伝統から自然権と社会契約 4. 近代人権思想の展開 (1) 近代人権文書とその課題: アメリカ独立宣言、US憲法、フランス人権宣言 5. 近代人権思想の展開 (2) 19世紀の多様な民衆運動と人権 6. 20世紀前半2次世界大戦と人権における国際主義 7-8. 映像鑑賞(映像の世紀&amp;世界の人々のために)とディスカッション 9. 人権思想の深化 (1) 世界人権宣言と実定法 10. 人権思想の深化 (2) 第3世代の人権 ディスカッション 11. 現代の人権課題 プレゼン/ディスカッション 12. 人権文化の創造に向けて 13. まとめ</p> <p>* 毎授業について振り返りのミニレポート(リフレクション)を manaba 提出したり次回授業始めに各自のリフレクションを共有したりするため、PC必携のこと。 * 課題提出や授業の連絡などmanabaを多用するので、必ず受信設定・登録しておくこと。また、進捗によっては、授業展開を調整することもあります。</p>			

科目名	人権思想の系譜	前期	2 単位
サブタイトル	人権の歩みと新たな人権状況への理解を深める	講義	
担当者	吉岡 志津世		

[ 成績評価方法 ]

確認テスト50%+ミニレポート(リフレクション、事項調べ)20%+映像レポート20% + 授業への取り組み10%

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

- ・テストは manaba で解答解説
- ・ミニレポート(リフレクション、事項調べ)は授業でフィールドバック
- ・映像レポートはmanabaからフィードバック
- ・授業の取り組み(プレゼン、ディスカッション)は授業中に講評

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

科目名	人権思想の系譜		前期	2 単位
サブタイトル	人権の歩みと新たな人権状況への理解を深める		講義	
担当者	吉岡 志津世			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[ 到達目標 ] 人権思想の変遷を理解し、人権に対する感性を高めることができる。</p> <p>[ 授業概要 ] 20世紀は「戦争の世紀」といわれるほど、わたしたちは大きな戦争や紛争を避けることができなかった。また科学万能主義と物質文明は自然環境の破壊をもたらし、わたしたちの生命、生活をも脅かすところまで来ている。人が人としてその生命の安全が保障され、自然との共生を図り、安心して自らの生を开花させることが今改めて求められており、その意味では、まさに21世紀は「人権の世紀」といえよう。一方、グローバル化が急速に進展する現代国際社会において、これまでの西欧中心の「人権」も再考を求められており、新たな「人権」理念の構築が模索されている。地球共生に向けた現代における人権課題と「人権文化の創造」について考えていきたい。 「世界人権宣言」に集約されている人権 (Human Rights) 概念の系譜を振り返り、連綿と継承、進化・深化してきていることを理解する。その上で、現代の人権課題、新たな人権課題についてリサーチし、ディスカッションを行うことで、人権を等身大に捉えていく。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回の授業について予習・復習4時間程度。 ・日頃より、国連活動や人権に関するニュースなどに関心を持つよう習慣づけること。 ・また、前回の授業の復習 (Reflection) し、次回の授業資料 (manaba) を予習して重要用語などを調べておくこと (事項調べ)。</p> <p>[ 授業計画 ] 1. ガイダンス:現代の人権課題フリーディスカッション 2. 近代市民社会以前の思想史と人権 (1) ギリシャ・ローマの遺産とキリスト教の伝統と人権 3. 近代市民社会以前の思想史と人権 (2) イングランドの権利と法の伝統から自然権と社会契約 4. 近代人権思想の展開 (1) 近代人権文書とその課題:アメリカ独立宣言、US憲法、フランス人権宣言 5. 近代人権思想の展開 (2) 19世紀の多様な民衆運動と人権 6. 20世紀前半2次世界大戦と人権における国際主義 7-8. 映像鑑賞(映像の世紀&amp;世界の人々のために)とディスカッション 9. 人権思想の深化 (1) 世界人権宣言と実定法 10. 人権思想の深化 (2) 第3世代の人権 ディスカッション 11. 現代の人権課題 プレゼン、ディスカッション 12. 人権文化の創造に向けて 13. まとめ</p> <p>* 毎授業について振り返りのミニレポート(リフレクション)を manaba 提出、リフレクションを共有する。PC必携。 * 課題提出や授業の連絡などmanabaを多用するので、必ず受信設定・登録しておくこと。また、進捗によっては、授業展開を調整することもあります。</p>				



科目名	人権思想の系譜	前期	2 単位
サブタイトル	人権の歩みと新たな人権状況への理解を深める	講義	
担当者	吉岡 志津世		

[ 成績評価方法 ]

確認テスト50%+ミニレポート(リフレクション、事項調べ)20%+映像レポート20%+授業への取り組み(プレゼン、ディスカッション)10%

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

- ・テスト、映像レポートは manaba でフィードバック
- ・ミニレポート(リフレクション、事項調べ)は授業でフィールドバック
- ・授業の取り組み(プレゼン、ディスカッション)は授業中に講評

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

科目名	世界の環境問題	後期	2 単位
サブタイトル	環境の変化と環境保全への道	講義	
担当者	水田 憲志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 地球規模の環境問題と日常生活とのかかわりを正確に理解し、問題解決に向けてどのように行動するかを考える。</p> <p>[授業概要] 気候を中心とした世界の自然環境を概観したうえで、現在私たちが直面する地球規模の環境問題、人口、食料、資源、エネルギー問題について講義し、ポストコロナ(コロナ以降)の世界を展望する。講義内容についての予習を課すとともに授業時に課題を出題する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業内容についての復習(1時間)。</p> <p>[授業計画] 1. はじめに 2. 世界の気候 3. 気候と植生 4. 気候変動 5. 生物多様性 6. 人口問題 7. 都市化する世界 8. 環境破壊 9. 食料問題 10. 水資源 11. 再生不可能エネルギー 12. 再生可能エネルギー 13. ポストコロナの世界</p>			

科目名	世界の環境問題	後期	2 単位
サブタイトル	環境の変化と環境保全への道	講義	
担当者	水田 憲志		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の課題(50%)、試験(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に出題する課題については解答例を示し、解説する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] レジュメ・資料を作成し配布する。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S43200 [ LGI2-002 ]

科目名	世界の地理・地誌学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	水田 憲志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	<small>毎回、授業内容に関する課題(コメント作成)を課し、理解度の確認し、疑問点などについて次回で応答する。</small>	実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 世界の諸地域における地理的諸事象の特徴や関わりを広く理解し、地域の特徴や問題について説明できる能力を修得する。</p> <p>[ 授業概要 ] 世界の諸地域における自然環境と人間活動のかかわりを概観したうえで、各地域の特徴的な事象や地域の問題について講義する。講義内容についての予習を課すとともに授業時に課題を出題する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回の授業についての復習(1時間)</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに(授業の進め方/地理学・地誌学について)</li> <li>2. 東アジア</li> <li>3. 東南アジア</li> <li>4. 南アジア</li> <li>5. 西アジアと中央アジア</li> <li>6. アフリカ(1) 北アフリカ</li> <li>7. アフリカ(2) サハラ以南のアフリカ</li> <li>8. ヨーロッパ(1) ヨーロッパの地域区分</li> <li>9. ヨーロッパ(2) ヨーロッパの地域問題</li> <li>10. ロシア</li> <li>11. アングロアメリカ</li> <li>12. ラテンアメリカ</li> <li>13. オセアニア</li> </ol>			

科目名	世界の地理・地誌学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	水田 憲志		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中課題(50%)および試験(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p>			

S42050 [ LGI1-001 ]

科目名	世界の民族と宗教A	後期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝、莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宗教を特徴づける枠組みについて広い知識を得る。</li> <li>2. 世界の三大宗教といわれるキリスト教、イスラム教、仏教について基本的な理解を得る。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>宗教は、現代人の生活や世界の平和と深くかかわっている。国際化した社会では異なった宗教文化をもつ人々と接触する機会も多く、いわゆる三大宗教(キリスト教、イスラム教、仏教)や民族宗教(ユダヤ教、ヒンドゥー教など)についての知識は不可欠である。宗教や民族が異なっているために起こる無理解や不信感が差別や暴力を招き、紛争や戦争に発展してしまう事例が後を絶たない。</p> <p>講義では、平和と国際交流を求める国際人として宗教のあり方について学んでいく。なお、この講義(A)と次年度の「世界の民族と宗教B」とを合わせて受講することで、すべての三大宗教やさまざまな民族宗教について学ぶことができる。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>各回、復習を中心に4時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス:「宗教リテラシー」とは (室屋)</li> <li>2. 宗教の種類と構成要素(室屋)</li> <li>3. 宗教と神話・物語(室屋)</li> <li>4. 信仰と奇跡・呪術(室屋)</li> <li>5. 宗教と儀礼(室屋)</li> <li>6. 宗教の機能と現代社会(莊)</li> <li>7. ユダヤ教 (1) (室屋)</li> <li>8. ユダヤ教 (2) (室屋)</li> <li>9. ユダヤ教 (3)(室屋)</li> <li>10. キリスト教 (1)(室屋)</li> <li>11. キリスト教 (2)(室屋)</li> <li>12. キリスト教 (3)(室屋)</li> <li>13. まとめ(室屋)</li> </ol>			

科目名	世界の民族と宗教A	後期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝、莊 千慧		

[ 成績評価方法 ]

発表(25%)、課題レポート(35%)、試験(40%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

KISSシステムにてご確認ください。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

科目名	世界の民族と宗教A	後期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝、莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宗教を特徴づける枠組みについて広い知識を得る。</li> <li>2. 世界の三大宗教といわれるキリスト教、イスラム教、仏教について基本的な理解を得る。</li> </ol> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>宗教は、現代人の生活や世界の平和と深くかかわっている。国際化した社会では異なった宗教文化をもつ人々と接触する機会も多く、いわゆる三大宗教(キリスト教、イスラム教、仏教)や民族宗教(ユダヤ教、ヒンドゥー教など)についての知識は不可欠である。宗教や民族が異なっているために起こる無理解や不信感が差別や暴力を招き、紛争や戦争に発展してしまう事例が後を絶たない。</p> <p>講義では、平和と国際交流を求める国際人として宗教のあり方について学んでいく。なお、この講義(A)と次年度の「世界の民族と宗教B」とを合わせて受講することで、すべての三大宗教やさまざまな民族宗教について学ぶことができる。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>各回、復習を中心に4時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス:「宗教リテラシー」とは (室屋)</li> <li>2. 宗教の種類と構成要素(室屋)</li> <li>3. 宗教と神話・物語(室屋)</li> <li>4. 信仰と奇跡・呪術(室屋)</li> <li>5. 宗教と儀礼(室屋)</li> <li>6. 宗教の機能と現代社会(莊)</li> <li>7. ユダヤ教 (1) (室屋)</li> <li>8. ユダヤ教 (2) (室屋)</li> <li>9. ユダヤ教 (3)(室屋)</li> <li>10. キリスト教 (1)(室屋)</li> <li>11. キリスト教 (2)(室屋)</li> <li>12. キリスト教 (3)(室屋)</li> <li>13. まとめ(室屋)</li> </ol>			



科目名	世界の民族と宗教A	後期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝、莊 千慧		

[ 成績評価方法 ]

発表(25%)、課題レポート(35%)、試験(40%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

KISSシステムにてご確認ください。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

科目名	世界の民族と宗教B	前期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

1. 世界宗教といわれるキリスト教、イスラーム(イスラム教)、仏教について広い知識を獲得する。
2. 宗教と各地域の民族・地理・歴史との関係について多面的な理解を得る。
3. 宗教の基本的な枠組みに基づいて、宗教について説明することができる。

[ 授業概要 ]

宗教は、現代人の生活や世界の平和と深くかかわっている。国際化した社会では異なった宗教文化をもつ人々と接触する機会も多く、いわゆる三大宗教(キリスト教、イスラム教、仏教)や民族宗教(ユダヤ教、ヒンドゥー教など)についての知識は不可欠である。宗教や民族が異なっているために起こる無理解や不信感が差別や暴力を招き、紛争や戦争に発展してしまう事例が後を絶たない。

講義では、平和と国際交流を求める国際人として宗教のあり方について学んでいく。なお、キリスト教とユダヤ教は「世界の民族と宗教(A)」で扱っているため、この授業では、イスラームと仏教を取り上げ、五大宗教にもあげられるヒンドゥー教と、ほかに儒教や神道などについて学ぶ。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回、復習と課題学習を中心に4時間程度。

[ 授業計画 ]

1. ガイダンス
2. イスラーム(6世紀のアラビア社会とムハンマド)
3. イスラーム(イスラムの拡大)
4. イスラーム(イスラームの教義と実践)
5. 仏教(古代インドの社会と思想)
6. 仏教(ブッダの生涯)
7. 仏教(仏教の興隆)
8. ヒンドゥー教(ヴェーダとウパニシャッド)
9. ヒンドゥー教(初期のヒンドゥー教)
10. ヒンドゥー教(ヒンドゥー教の思想と広がり)
11. 儒教
12. 神道
13. まとめ・宗教の現代的意義についての解説

科目名	世界の民族と宗教B	前期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝		

[ 成績評価方法 ]

発表(25%)、課題レポート(35%)、試験(40%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

科目名	世界の民族と宗教B	前期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

1. 世界宗教といわれるキリスト教、イスラーム(イスラム教)、仏教について広い知識を獲得する。
2. 宗教と各地域の民族・地理・歴史との関係について多面的な理解を得る。
3. 宗教の基本的な枠組みに基づいて、宗教について説明することができる。

[ 授業概要 ]

宗教は、現代人の生活や世界の平和と深くかかわっている。国際化した社会では異なった宗教文化をもつ人々と接触する機会も多く、いわゆる三大宗教(キリスト教、イスラム教、仏教)や民族宗教(ユダヤ教、ヒンドゥー教など)についての知識は不可欠である。宗教や民族が異なっているために起こる無理解や不信感が差別や暴力を招き、紛争や戦争に発展してしまう事例が後を絶たない。

講義では、平和と国際交流を求める国際人として宗教のあり方について学んでいく。なお、キリスト教とユダヤ教は「世界の民族と宗教(A)」で扱っているため、この授業では、イスラームと仏教を取り上げ、五大宗教にもあげられるヒンドゥー教と、ほかに儒教や神道などについて学ぶ。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回、復習と課題学習を中心に4時間程度。

[ 授業計画 ]

1. ガイダンス
2. イスラーム(6世紀のアラビア社会とムハンマド)
3. イスラーム(イスラムの拡大)
4. イスラーム(イスラームの教義と実践)
5. 仏教(古代インドの社会と思想)
6. 仏教(ブッダの生涯)
7. 仏教(仏教の興隆)
8. ヒンドゥー教(ヴェーダとウパニシャッド)
9. ヒンドゥー教(初期のヒンドゥー教)
10. ヒンドゥー教(ヒンドゥー教の思想と広がり)
11. 儒教
12. 神道
13. まとめ・宗教の現代的意義についての解説

科目名	世界の民族と宗教B	前期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝		

[ 成績評価方法 ]

発表(25%)、課題レポート(35%)、試験(40%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス、文献の調べ方・先行研究レビュー指導 2. 各自の関心分野＋章構想＋執筆スケジュール発表① 3. 各自の関心分野＋章構想＋執筆スケジュール発表② 4. 各自の関心分野＋章構想＋執筆スケジュール発表③ 5. 卒論初期段階発表① 6. 卒論初期段階発表② 7. 卒論初期段階発表③ 8. 卒論初期段階発表④ 9. 卒論中間段階発表① 10. 卒論中間段階発表② 11. 卒論中間段階発表③ 12. 卒論中間段階発表④ 13. 学科の卒論中間発表会</p> <p>後半 1. ガイダンス、先行研究レビュー復習 2. 「はじめに」＋1章分の発表①-1 3. 「はじめに」＋1章分の発表②-1 4. 「はじめに」＋1章分の発表③-1 5. 「はじめに」＋1章分の発表④-1 6. 「はじめに」＋1章分の発表①-2 7. 「はじめに」＋1章分の発表②-2 8. 「はじめに」＋1章分の発表③-2 9. 「はじめに」＋1章分の発表④-2 10. 「表紙」＋「目次」＋「はじめに」＋「おわりに」＋「参考文献・資料」の発表① 11. 「表紙」＋「目次」＋「はじめに」＋「おわりに」＋「参考文献・資料」の発表② 12. 学科のポスター発表会準備 13. 学科のポスター発表会</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文50%</li> <li>・研究プロセス40%</li> <li>・ポスター発表10%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>なし</p>			

S49000 [ LGH4-001 ]

科目名	卒業研究		前期～後期	8 単位
サブタイトル			演習	
担当者	室屋 安孝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート		○	グループワーク	
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1. 各自のテーマについて、選定動機、今後の方向性 (1) 2. 各自のテーマについて、選定動機、今後の方向性 (2) 3. 各自のテーマについて、選定動機、今後の方向性 (3) 4. 各自のテーマに関する基本文献・資料についてレポート発表 (1) 5. 各自のテーマに関する基本文献・資料についてレポート発表 (2) 6. 各自のテーマに関する基本文献・資料についてレポート発表 (3) 7. 第2次発表と、テーマと論点について修正・限定する議論 (1) 8. 第2次発表と、テーマと論点について修正・限定する議論 (2) 9. 第2次発表と、テーマと論点について修正・限定する議論 (3) 10. 第2次発表と、テーマと論点について修正・限定する議論 (4) 11. 第3次発表 (1) 12. 第3次発表 (2) 13. 第3次発表 (3) 14. 夏休みまでに書き終えた部分の報告と検討 (1) 15. 夏休みまでに書き終えた部分の報告と検討 (2) 16. 第4次発表(目次と全体構成の確定)と中間発表の準備 (1) 17. 第4次発表(目次と全体構成の確定)と中間発表の準備 (2) 18. 中間発表 19. 最終構成の決定 (1) 20. 最終構成の決定 (2) 21. 完成原稿の検討 (1) 22. 完成原稿の検討 (2) 23. 最終修正 (1) 24. 最終修正 (2) 25. 学科へ提出 26. ポスター発表会の準備</p>				



科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文50%</li> <li>・研究プロセス40%</li> <li>・ポスター発表10%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>『アカデミック・スキルズ』 第2版 著者名:佐藤望編著 出版社:慶応義塾大学出版会 (978-4-7664-1960-3)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>なし(授業中に紹介する)</p>			

S49020 [ LGH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	2年間研究結果の集大成	演習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。 まず、自分の関心をもつ課題をはっきりさせ、それに関連する先行研究の文献・資料を集め、段階的に自分の考えをまとめ、授業中に発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に問題意識を持つこと。関係資料を早めに手元に置く。</li> <li>・発表レジュメは発表前日の17時までに配布。</li> <li>・1人の発表時間は約20分。</li> <li>・質問者は事前にテキストとレジュメを読み、2つ以上の質問を用意。</li> </ul> <p>[授業計画] 前期 1.オリエンテーション 2.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 3.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 4.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 5.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 6.中間発表 7.中間発表 8.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 9.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 10.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 11.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 12.学科中間発表の準備 13.学科中間発表の準備 ※前期の期末レポートは5000字</p> <p>後期 1.前期期末レポート修正稿に基づく発表 2.卒論第二部分に基づく発表① 3.卒論第二部分に基づく発表② 4.論文指導 5.論文指導 6.卒論初稿に基づく発表 7.論文指導 8.論文指導 9.論文指導 10.学科提出の準備 11.論文指導 12.論文指導 13.口頭試問の準備</p>			

S49030 [ LGH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	2年間研究結果の集大成	演習	
担当者	莊 千慧		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文50%</li> <li>・研究プロセス40%</li> <li>・ポスター発表10%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>manabaで行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]</p> <p>なし</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]</p> <p>なし(授業中に指定する)</p>			

S49030 [ LGH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	卒業論文に取り組む	演習	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。 各自研究テーマを絞り込み、文献調査およびインタビューなど社会調査を実施し、論文としてまとめる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 4年間の集大成を完成させるという意識をもってゼミに参加し、卒業論文を書くこと。 各回、予習復習4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. テーマを絞り込む 2. テーマについての文献の調査方法(1) 3. テーマについての文献の調査方法(2) 4. 論文の構成(1) 5. 論文の構成(2) 6. 参考文献の引用方法(1) 7. 参考文献引用方法(2) 8. 参考文献のリスト作成方法(1) 9. 参考文献のリスト作成方法(2) 10. 文献調査(1) 11. 文献調査(2) 12. 社会調査方法(1) 13. 社会調査方法(2)  14. 中間報告準備 15. 中間報告 16. 聞き取り調査(1) 17. 聞き取り調査(2) 18. 聞き取り調査(3) 19. 聞き取り調査(4) 20. 論文校正(1) 21. 論文校正(2) 22. 論文校正(3) 23. 論文校正(4) 24. 論文校正(5) 25. 論文校正(6) 26. 最終提出</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	卒業論文に取り組む	演習	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文50%</li> <li>・研究プロセス40%</li> <li>・ポスタープレゼンテーション 10%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>レポートや論文については、コメント及び修正の指示を示す。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]</p> <p>ゼミ時に資料や図書を紹介する。</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]</p> <p>特に指定しない</p>			

S49070 [ LGH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1. 前期ガイダンス:論文作成準備進捗報告 2. 文献収集レビューと露文作成工程 3. テーマの設定・確定 4. 論立て・論文構成の留意点 5. テーマおよび論文構成演習(アウトライン) 6. ゼミ内テーマ概要発表と合評 7. 文献研究解題演習① 引用の種類・注のつけ方 8. 文献研究解題演習② 引用事例 9. 文献研究解題演習③ 文献表記のルール 10. 論文章立て作成演習:各章梗概第1校 11. 論文章立て作成演習:各章梗概第2校 12. ゼミ内卒論中間模擬発表 13. まとめ:卒論中間発表 14. 文献一覧作成演習 15. 論文構成演習(章立て) 16. 論点整理と講評 17. 論文初校作成 18. 初校講評・校正 19. 論文第2校作成 20. 2校講評・校正 21. 論文第3校作成 22. 3校講評・校正 23. 最終稿作成 24. 最終講評 25. 卒論最終チェック 26. まとめ:ゼミ内卒論発表会</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文50%</li> <li>・研究プロセス40%</li> <li>・ポスター発表10%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし。適宜資料配布</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>『アカデミック・スキルズ:大学生のための知的技法入門 新版』 著者名:佐藤・湯川・横山・近藤編 出版社:(慶応義塾大学出版会)</p>			

S49080 [ LGH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。

[授業概要]

各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。

[授業計画]

- 研究テーマの説明  
研究室の研究テーマ、卒業論文課題候補を提示する
- 研究の進め方  
選択したテーマに沿って研究方法などを検討し、研究目的、研究方法を各自プレゼンテーションする(議論、指導などを含む)
- 卒業研究①  
研究計画を作成し、研究を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
- 卒業研究②  
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
- 卒業研究③  
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
- 卒業研究④  
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
- 中間検討  
研究室内で卒業研究の進捗状況、今後の課題などをプレゼンテーションし、議論する
- 卒業研究⑤  
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
- 卒業研究⑥  
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
- 卒業研究⑦  
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
- 卒業研究⑧  
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
- 卒業研究⑨  
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
- 期末発表  
期末発表を行い、研究について議論する



科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文50%</li> <li>・研究プロセス40%</li> <li>・ポスター発表10%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] プリント配布</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 随時紹介</p>			

S49090 [ LGH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	Completing an English graduation paper about diversity, identity, gender or language	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。 In this seminar, we will work together to complete your graduation research project/paper. We will focus on research skills and academic English writing skills. Each week, students will share their progress and receive feedback.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 前期 1. Introduction, goals, and review 2. ~ 11. Student updates, feedback, and academic English guidance 12. Review and instructor comments 13. Presentations about research progress 後期 14. Introduction, goals, and review 15. ~ 24. Student updates, feedback, and academic English guidance 25. ~ 26. Specific guidance based on student needs</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	Completing an English graduation paper about diversity, identity, gender or language	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文50%</li> <li>・研究プロセス40%</li> <li>・ポスター発表10%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>Provided by instructor</p>			

S49100 [ LGH4-001 ]

科目名	多文化共生論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	チャン ティフェ、E. ウィリアムズ、ブライアン マレー、高城 建人			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  多文化する日本で起きている現実や共生社会に向けた実践に触れることから、日本の中での共生について考察し、多文化共生社会の在り方やそれを支える法制度、さらに自分の現場からできることは何かを考えることができる。</p> <p>[ 授業概要 ]  日本に生活する移民・外国人労働者の様々な現実や共生社会に向けた取り組みを映像資料、講義、参加者間のグループワークを通じて理解する。また、共生を妨げる差別や貧困などの実態を知り、それらの背景や乗り越える方法について学ぶ。授業の全体を通じて、自分たちが描く多文化共生社会とは何か、そのために必要な法制度の在り方や、自分が今いる場からできることは何かなどの議論を深めていきたい。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  各回の授業に、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。毎週の授業で配布する資料を次週までにしっかり読み込むこと。また映像資料の閲覧を推奨する場合や調べ学習を課することもある。</p> <p>[ 授業計画 ]  1.オリエンテーション:授業の狙いと進め方について。私たちが考える「多文化共生とは何か？(チャン)  2. 多文化社会日本の今①:在留外国人労働者・技能実習生①(チャン)  3. 多文化社会日本の今②:在留外国人労働者・技能実習生②(チャン)  4. グループワーク①:多文化共生のために私たちにできること(チャン)  5. グループワーク②:まとめと発表(チャン)  6. 多文化社会日本の今③ (マレー)  7. 多文化社会日本の今④(マレー)  8. 多文化社会日本の今⑤:日系コミュニティ(歴史と文化なアイデンティティ)(ウィリアムズ)  9. 多文化社会日本の今⑥:日系コミュニティ (教育と言語)(ウィリアムズ)  10. 多文化社会日本の今⑦:外国人居住者コミュニティ (歴史と異文化交流)(ウィリアムズ)  11. 多文化社会日本の今⑧:外国人居住者コミュニティ (教育と社会活動)(ウィリアムズ)  12. 日本に生活する外国のルーツを持つ人々① (高城)  13. 日本に生活する外国のルーツを持つ人々② (高城)  (内容と順番が変更する場合があります)</p>				

科目名	多文化共生論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ、E. ウィリアムズ、ブライアン マレー、高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ]          教員ごとに下記の配点で評価を行い、合算して最終的な成績を出す。          チャン(40満点):第5回のグループ・プレゼンテーション(20点)と小レポート(20点)          ウィリアムズ(30満点):グループディスカッション(10点)と小レポート(20点)          高城、マレー(30点満点)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]          授業中に、もしくはmanabaを通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。          成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。          成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。          成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。          成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。          成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢          成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢          成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力          成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]          授業ごとに資料を配付</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]          随時紹介</p>			

科目名	地域開発論	前期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標SDGsの観点からの考察	講義	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]</p> <p>1.SDGsとは何か、その理念・用語・定義を知ると同時に世界規模で起きている様々な問題について学び、理解を深めること。</p> <p>2. 学生が自発的に学習課題を発見し、それを自学自習によって解決する能力を身に着ける。</p> <p>3. 課題やグループ・ワーク、プレゼンテーションを通じて、自分の考えを他人に論理的に説明し、理解させることの重要性を認識し、そのために必要なコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身に着ける。</p> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>「持続可能な開発目標SDGs」は、全ての人類が発展を遂げながら生存を続けられることを目指して、国連で採択された目標である。持続可能な開発を実現し、目標を達成するためには、大きく「環境」「社会」「経済」の3要素が調和している状態を維持することが重要だと言われている。</p> <p>本授業では、SDGsの17目標の具体的な課題やその理念を理解しつつ、上述の3つの要素の中、①「社会」(貧困、教育機会の不平等、ジェンダー格差、健康と福祉、消費と生産等)、②「経済」(経済格差の拡大、海外労働者の受け入れ等)の問題を中心に解説し、同時に持続可能な社会づくりのための施策・解決案を履修者とともに議論し考えていく。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>国内及び国際的な地域開発についての新聞記事等に目を通すこと。前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。</p> <p>* 各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.オリエンテーション</li> <li>2.SDGsとは？第1目標～第17目標、グループ編成</li> <li>3.SDGs課題① 貧困</li> <li>4.SDGs課題② 教育機会の不平等</li> <li>5. SDGs課題③ ジェンダー格差</li> <li>6. SDGs課題④ 健康と福祉</li> <li>7. SDGs課題⑤ 消費と生産</li> <li>8. SDGs課題⑥ 経済格差の拡大</li> <li>9. SDGs課題⑦ 海外労働者の受け入れ</li> <li>10. ゲスト講師による講義</li> <li>11.グループワーク①: 課題設定</li> <li>12.グループワーク②: 成果発表</li> <li>13. 総括</li> </ol>			

科目名	地域開発論	前期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標SDGsの観点からの考察	講義	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(50%)、プレゼンテーション(50%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] プリント配布</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 適宜紹介</p>			

科目名	地域基礎研究A(アジアA)	前期	2 単位
サブタイトル	東南アジアに関する基礎研究	講義	
担当者	野口 和美、平松 秀樹、莊 千慧、チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          オフ・キャンパス・プログラムの留学先の国々及びそれらの近隣国の文化、社会、政治、経済について理解を深める。</p> <p>[授業概要]          オフ・キャンパス・プログラム(中国、タイ)、近隣国のベトナムの文化、社会、政治、経済に関する講義。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          東アジア及び東南アジアの地図の予習及び講義に対して4時間程度の予習復習が必要である。</p> <p>[授業計画]          1. オフ・キャンパス・プログラムⅢ (野口、莊)          2. タイ 文化 (野口)          3. タイ 社会 (野口)          4. タイ 政治 (野口)          5. タイ 文学 (平松)          6. タイのサブ・カルチャー (平松)          7. 中国の地理と民族 (莊)          8. 現代中国の政治 (莊)          9. 現代中国の外交 (莊)          10. 現代中国の経済(莊)          11. 現代中国の社会(莊)          12. ベトナムの経済 (チャン)          13. ベトナムの社会 (チャン)</p>			



科目名	地域基礎研究A(アジアA)	前期	2 単位
サブタイトル	東南アジアに関する基礎研究	講義	
担当者	野口 和美、平松 秀樹、莊 千慧、チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト 授業後の課題</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 解説 課題については、解説及びコメント</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 指定しないが、授業中に必要な資料を配布する。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 特に指定しないが、授業時に必要な資料は配布する。</p>			

科目名	地域基礎研究B(アジアB)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	莊 千慧、高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] OCP先の国の事情やその国と日本との関係についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] OCP先に対する理解を深めるために、それぞれの国と地域における歴史、文化、社会を紹介し、日本との関係などについて学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション(莊) 2.台湾の地理・自然・先史(莊) 3.オランダ時代・明鄭時代・清代(莊) 4.日本統治時代(莊) 5.中華民国による台湾統治(莊) 6.中華文化・本土文化・日本文化——現代史にみる“われわれ”意識(莊) 7.日本と台湾との関係——切っても切れない重要な隣国(莊) 8.朝鮮半島の地理・自然・言葉(高城) 9.近代以前の日本と朝鮮半島との文化交流①6世紀～15世紀:渡来人からの文化伝授から限定的交流へ(高城) 10.近代以前の日本と朝鮮半島との文化交流②15世紀～19世紀:倭館を通じた交流から朝鮮通信使まで(高城) 11.近代における日本と朝鮮半島との文化交流:日本を通じての近代化模索の挫折と日本の植民地支配(高城) 12.韓国民主化以前(1948-1987)の日本と朝鮮半島(主に韓国)との文化交流:韓国政府による日本他者化模索と日本文化流入規制(高城) 13.韓国民主化以後(1987-現在)の日本と朝鮮半島(主に韓国)との文化交流:韓国政府による日本文化流入解禁から日本での韓流ブームへ(高城)</p>			

科目名	地域基礎研究B(アジアB)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	莊 千慧、高城 建人		
<p>[ 成績評価方法 ]            教員ごとに下記の基準により50点満点で評価を行い、それを合算して最終的な成績を出す。</p> <p>小テスト(30点)、課題(発表等の形式も含む)(20点)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]            manabaやメールで行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]            詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]            詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力            成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]            適宜資料を配布します。</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]            『台湾を知るための72章』 著者名:赤松美和子など 出版社:明石書店 (9780000000000)            『日本と韓国・朝鮮の歴史』 著者名:中塚明 出版社:高文研 (9784870000000)            『「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし』 著者名:加藤圭木監修 出版社:大月書店 (9784270000000)</p>			

S41110 [ LGH1-018 ]

科目名	地域基礎研究C(ヨーロッパ・アメリカ)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝、E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. ヨーロッパ地域とアメリカ地域の歴史・社会・文化について基礎的な知識を修得する。  2. 授業中に与えられた課題について自ら作成した資料をもとにわかりやすく発表する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>ヨーロッパと北アメリカ(主にアメリカ合衆国とカナダ)は欧米的な価値観を作ってきた。それぞれの地域の歴史や社会、文化を幅広く理解するために、民族、言語、女性史、ジェンダー論、芸術などの視点によって、過去と現代を接続するさまざまな出来事や事象を学ぶ。なお、この授業は、2名の担当者によるオムニバス形式の講義である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習・復習に4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス:「欧米」的な価値観とは何か(室屋)</li> <li>2. アメリカ(1) 基礎知識とアメリカとカナダの始まり(ウィリアムズ)</li> <li>3. アメリカ(2) 文化的、言語的な多様性(ウィリアムズ)</li> <li>4. アメリカ(3) ジェンダー平等(ウィリアムズ)</li> <li>5. アメリカ(4) 食文化(ウィリアムズ)</li> <li>6. アメリカ(5) ポップカルチャー(ウィリアムズ)</li> <li>7. アメリカ(6) ペア口頭発表とグループディスカッション(ウィリアムズ)</li> <li>8. ヨーロッパ(1) 多言語主義(室屋)</li> <li>9. ヨーロッパ(2) ユダヤ人と「記憶」文化(室屋)</li> <li>10. ヨーロッパ(3) ルネサンス(室屋)</li> <li>11. ヨーロッパ(4) 女性史とジェンダー論(室屋)</li> <li>12. ヨーロッパ(5) 社会と文化(室屋)</li> <li>13. ヨーロッパ(6) プレゼンテーション(室屋)</li> </ol>			

科目名	地域基礎研究C(ヨーロッパ・アメリカ)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝、E. ウィリアムズ		
<p>[ 成績評価方法 ]          教員ごとに下記の基準により50点満点で評価を行い、それを合算して最終的な成績を出す。          小テスト(30点)、課題(発表等の形式も含む)(20点)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]          課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力          成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]          なし(レジュメ・資料を配布する)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]          なし(授業中に紹介する)</p>			

S41120 [ LGH1-019 ]

科目名	地域専門研究A(アジアA)	前期	2 単位
サブタイトル	韓国現代史	演習	
担当者	高城 建人		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

日本の植民地支配から解放後、韓国はどのような発展過程を歩んできたのかに関する基礎知識を取得し、日韓関係の相互理解を理解するためにより広い視野を持つことを目指す。一方的な情報を鵜呑みせずに、交差検証を行い、適切な判断能力を養うメディアリテラシー能力を涵養する。

[授業概要]

解放後、韓国の人々がどのような歴史的過程を経て現在まで生きて来たのか、激動に満ちた解放から現在までの韓国のダイナミックな道のりについて、当時の政治指導者と人々の苦悩について理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

1. ガイダンス、現代韓国政治・社会の特徴
2. 南北分断胎動期(1945-1948)の朝鮮半島の動向

- 【第1部】: 民主化以前(1948-1987)の韓国政治・社会
3. 李承晩政権期(1948-1960)の韓国政治・社会と朝鮮戦争
  4. 朴正熙政権期(1961-1979)の韓国政治・社会
  5. 日韓国交正常化(1965)と韓国の経済発展
  6. 全斗煥政権期(1980-1988)の韓国
  7. 光州事件(1980)と民主化運動

- 【第2部】: 民主化以後(1987-現在)の韓国政治・社会

8. 民主化と社会政策
9. 保守と進歩の対立
10. 韓国の外交政策の変遷
11. 日本との関係の変遷
12. グローバル化と大衆文化の隆盛
13. 問題先進国家へ: 少子化・高齢化・貧富の格差・世代間対立など

科目名	地域専門研究A(アジアA)	前期	2 単位
サブタイトル	韓国現代史	演習	
担当者	高城 建人		

[ 成績評価方法 ]

授業への参加度(30%)、小テスト(30%)、レポート(40%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

[ 教科書(ISBN) ]

なし

[ 参考書(ISBN) ]

韓国:民主化と経済発展のダイナミズム 著者名:木宮正史 出版社:ちくま新書(978-4480061263)

国際政治のなかの韓国現代史 著者名:木宮正史 出版社:山川出版社(978-4634640566)

民主化以後の韓国民主主義——起源と危機 著者名:崔章集 出版社:岩波書店(978-4000248631)

K-POP現代史——韓国大衆音楽の誕生からBTSまで 著者名:山本 浄邦 出版社:ちくま新書(978-4480075475)

韓国現代史:大統領たちの栄光と蹉跎 著者名:木村幹 出版社:中公新書(978-4121019592)

科目名	地域専門研究B(アジアB)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義では、アジア経済の発展メカニズム、グローバリゼーション下での新しい動き、現代のアジアが直面する様々な課題を概観することで、アジア経済のダイナミズムを把握するとともに、アジア域内及び日本とアジアとの相互関係を理解することを目標とします。</p> <p>[授業概要] かつて貧困と停滞で形容されたアジアは、ここ50年間に、貿易、投資の拡大、市場経済化、地域経済統合など様々な動きを見せ、世界の中でも最も活性化した地域となっています。これまでアジア諸国との国際分業体制を構築し、経済的依存度を深めてきた日本にとって、アジア経済を的確に捉えることが重要な意味を持つようになった。本講義では、アジア地域内の相互依存・価値共創関係を意識しながら、アジア経済の体系的な知識・理論について最新情報をベースに解説していく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業中に示す参考文献をよく読んで理解を深めておくこと。 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 講義の構成、進め方、評価方法等について説明する。 2. 世界の中のアジア 「世界の工場」から「世界の消費市場」へと変貌を遂げている要因 3. アジア経済はなぜ発展したのか アジア経済の特徴、アジア経済発展の要因・メカニズム 4. 中国などの新興経済の台頭 新興経済とはどこの国・地域を指すのか、新興アジア経済の現状 5. 中国が変えるアジア 中国の経済発展はアジア地域経済にどのような影響を与えているのか 6. アジアの工業化とグローバル化 アジア経済地域における多国籍企業とグローバルバリューチェーン 7. アジア経済のデジタル化とイノベーション デジタル化時代におけるアジア経済、アジアのイノベーションの源泉となる要因 8. アジアにおける国際労働移動 アジアにおける国際労働移動とその関連の政策・制度 9. アジアにおけるインフォーム経済 インフォーム経済とは何か、アジアにおけるインフォーム経済の動向とその機能 10. アジア経済と日本の役割 日本経済はアジア地域にどのような影響を与えているのか 日本の外国人労働者の受入れの現状、技能実習生の制度 11. 国際舞台で活躍するアジア ASEAN、ASEANの経済共同体、ASEANの経済統合 12. アジアの抱える諸問題 中所得の罅、少子高齢化、貧困と格差 13. 総括</p>			



科目名	地域専門研究B(アジアB)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題(30%)、グループ・プレゼンテーション(30%)、期末試験(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 『現代アジア経済論「アジアの世紀を学ぶ」』 著者名:遠藤 環, 伊藤 亜聖, 大泉 啓一郎, 後藤 健太 編 出版社:有斐閣 (978-4641184428)</p>			

S43310 [ LGH3-018 ]

科目名	地域専門研究C(ヨーロッパ)		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	室屋 安孝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. ヨーロッパ地域の民族・言語・社会・文化について幅広い知識を身につけることができる。  2. ヨーロッパについて多角的な視点を持ち、他者に分かりやすく説明することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>ヨーロッパは現代で重視される価値観の基礎を築き、グローバリゼーションという世界的現象を生み出す一つの母体となっています。そのヨーロッパにも、ローカルと言うべき多様な地域や民族があり、言語、歴史、宗教、文化によるさまざまな個性があります。この講義では、ヨーロッパにおける異文化理解のあり方を、政治、ジェンダー、環境問題などのマクロな視点と、言語教育、社会、宗教、文化というローカルな視点から学びます。また、課題学習やグループワークを通じて、自分の考えと関心を持ちながら、他者とのコミュニケーション力を高めていきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業での理解をより深めるための資料を配布します。各回、予習・復習に4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス: ヨーロッパの地理と民族</li> <li>2. EU: 多言語主義</li> <li>3. フランス① パリ</li> <li>4. フランス② 「ライシテ」</li> <li>5. フィンランド① ジェンダー平等</li> <li>6. フィンランド② 「ネウボラ」</li> <li>7. ドイツ① 安楽死と生命の倫理</li> <li>8. ドイツ② 環境問題とゲルマン文化</li> <li>9. チェコ① 文化遺産と観光</li> <li>10. チェコ② 過去と「記憶」</li> <li>11. イタリア① 食文化とライフスタイル</li> <li>12. イタリア② 歴史とブランド</li> <li>13. プレゼンテーション</li> </ol>				

科目名	地域専門研究C(ヨーロッパ)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題 (40%)、発表 (30%)、レポート (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] なし(レジュメ・資料を配布します)</p>			

S43320 [ LGH3-019 ]

科目名	地域専門研究D(アメリカ)		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	吉岡 志津世			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 多様性と統合に向けたアメリカ多民族共生社会の文化的諸相を理解でき、併せて自国文化を相対して考えることができる。</p> <p>[授業概要] ドル紙幣に刻印された&lt;多なる一&gt;が象徴するように、アメリカ合衆国は独立以前以後を通じてその内に多様な人種・民族集団を抱え対立と衝突を繰り返しながらも、各集団の文化的個性を圧殺することなく曲りなりにでも一つの社会に共存してきている。そのアメリカ社会のダイナミクスを、縦軸にアメリカの成り立ちを、横軸にさまざまな文化現象を見ていく。</p> <p>受講生は分担して、各単元についてテキストを中心に周辺・関連事項を調べppt作成、プレゼンを行い、質疑を通して各文化事象を批判的に読み解く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 ・日頃より、国際ニュース報道や日米関係について関心を持つ習慣をつけておくこと。 ・前回の授業内容を振り返り(Reflection paper)をmanabaに提出、次回授業の予習と重要用語・事項、人物等について下調べしておくこと。</p> <p>[授業計画] &lt;植民地建設から独立・建国まで(-1799)&gt; 1. ガイダンス / ポカホンタスの神話:白人を救うインディアン娘(ディスカッション) 2-3. ポカホンタスとディズニー表象:アメリカインディアンの悲劇(映像とディスカッション) 4. 「丘の上の町」:ピューリタンの使命と「われら人民」:合衆国の土台(プレゼン/ディスカッション) &lt;西部開拓から産業国家へ(1800~1899)&gt; 5. 『アンクル・トムの小屋』:大戦争を引き起こした本(プレゼン/ディスカッション) 6. 万国博覧会:「世界の八番目の不思議」(プレゼン/ディスカッション) &lt;世界進出から超大国へ(1900~1969)&gt; 7. デパート・ストア消費文化の殿堂と摩天楼:アメリカ文化の象徴(プレゼン/ディスカッション) 8-9. パラダイムシフト:公民権獲得運動と立ち上がるエスニック・マイノリティーズ(プレゼン/ディスカッション)+映像鑑賞) 10. ヒッピー:放埒な求道者たちとフォークソング:民衆・放浪・反体制(プレゼン/ディスカッション) &lt;文化革命、そして宇宙へ(1970年~)&gt; 11. ユートピアを求めて:性革命の70年代~(プレゼン/ディスカッション) 12. 宇宙探索:「なぜ月へ行く?」(プレゼン/ディスカッション) 13. まとめ:21世紀アメリカの行方(+ディスカッション)</p>				

科目名	地域専門研究D(アメリカ)	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[ 成績評価方法 ]  まとめのレポート40%+ミニレポート20%+授業の取り組み(プレゼンテーション、ディスカッション) 40%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Introduction to American Culture 著者名:亀井俊介監修杉山他編 出版社:南雲堂 (978-4-523-17910-8)</p>			

S43330 [ LGH3-020 ]

科目名	入門会計論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	都築 洋一郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  会計学の基礎知識の習得を目的とします。具体的には、会計情報の利用目的を理解すること、初級程度の財務諸表分析をできるようにすることを目標とします。</p> <p>[ 授業概要 ]  近年、あらゆるビジネスシーンにおいて、会計の知識が求められるようになってきています。そこで、本講義では、会計学を初めて学ぶ学生に対して、会計学の基礎知識について解説を行います。具体的には、企業会計の目的や財務諸表の仕組みと見方を解説します。化粧品メーカーの資生堂やコーセーが公表している財務諸表を使って解説する予定です。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  各回の授業につき、予習・復習4時間程度。  前回の授業内容を復習し、わからないことがあれば質問すること。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションー会計学を学ぶ意義ー</li> <li>2. 会計情報の役立ち</li> <li>3. 損益計算書の仕組みと見方</li> <li>4. 資生堂の損益計算書</li> <li>5. 貸借対照表の仕組みと見方</li> <li>6. 資生堂の貸借対照表</li> <li>7. キャッシュ・フロー計算書の仕組みと見方</li> <li>8. 収益性に関する分析①(P/Lを中心とした分析)ー資生堂とコーセーの比較ー</li> <li>9. 収益性に関する分析②(P/LとB/Sを中心とした分析)ー資生堂とコーセーの比較ー</li> <li>10. 成長性に関する分析ー資生堂とコーセーの比較ー</li> <li>11. 安全性に関する分析ー資生堂とコーセーの比較ー</li> <li>12. 財務諸表分析の練習問題</li> <li>13. まとめ</li> </ol> <p>※なお、小テストを数回行う予定です。また学生の理解度などによって、内容を変更する場合があります。</p>			

科目名	入門会計論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	都築 洋一郎		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業参加態度(30%)、定期試験(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中およびmanabaにてフィードバックします。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]  学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]  教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  なし。プリントおよび企業の財務諸表を配布する。(なし。)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし(なし。)</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[ 授業概要 ] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the first term we will mainly focus on honing our writing skills. Through sentence combining exercises, we will learn how to increase the diversity of our writing by making compound and complex sentences from basic simple sentences. We will also learn how to brainstorm, structure and compose mini essays on a wide variety of topics. Practice makes perfect so expect to do a lot of writing this first term. Write, revise, then write again will make you a confident writer in English!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Students must bring to class all their written assignments in a timely manner. Students must also be willing to work with a partner to assist them in proofreading, commentary, and other editing tasks. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Sentence combining exercise 1</li> <li>2. Writing about yourself</li> <li>3. Focus on simple sentence and basic paragraphs</li> <li>4. Writing about your family</li> <li>5. Free Time Activities</li> <li>6. Writing about Healthy habits</li> <li>7. Learning how to Give Instructions</li> <li>8. Using Imperative forms</li> <li>9. Expressing an Opinion</li> <li>10. Learning about transitions</li> <li>11. Describing a place</li> <li>12. Writing a simple narrative about an experience</li> <li>13. Summary</li> </ol>			



科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
<p>[ 成績評価方法 ] Class participation (40%), Homework (10%), Written work (including revisions) (50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Ready to Write with Essential Online Resources Book 2, Perfecting Paragraphs Fifth Edition 著者名:Karen Blanchard and Christine Root 出版社:Pearson Education (9780130000000)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[ 授業概要 ] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the first term we will mainly focus on honing our writing skills. Through sentence combining exercises, we will learn how to increase the diversity of our writing by making compound and complex sentences from basic simple sentences. We will also learn how to brainstorm, structure and compose mini essays on a wide variety of topics. Practice makes perfect so expect to do a lot of writing this first term. Write, revise, then write again will make you a confident writer in English!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Students must bring to class all their written assignments in a timely manner. Students must also be willing to work with a partner to assist them in proofreading, commentary, and other editing tasks. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Sentence combining exercise 1</li> <li>2. Writing about yourself</li> <li>3. Focus on simple sentence and basic paragraphs</li> <li>4. Writing about your family</li> <li>5. Free Time Activities</li> <li>6. Writing about Healthy habits</li> <li>7. Learning how to Give Instructions</li> <li>8. Using Imperative forms</li> <li>9. Expressing an Opinion</li> <li>10. Learning about transitions</li> <li>11. Describing a place</li> <li>12. Writing a simple narrative about an experience</li> <li>13. Summary</li> </ol>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[ 成績評価方法 ] Class participation (40%), Homework (10%), Written work (including revisions) (50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Ready to Write with Essential Online Resources Book 2, Perfecting Paragraphs Fifth Edition 著者名:Karen Blanchard and Christine Root 出版社:Pearson Education (9780130000000)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[ 授業概要 ] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the first term we will mainly focus on honing our writing skills. Through sentence combining exercises, we will learn how to increase the diversity of our writing by making compound and complex sentences from basic simple sentences. We will also learn how to brainstorm, structure and compose mini essays on a wide variety of topics. Practice makes perfect so expect to do a lot of writing this first term. Write, revise, then write again will make you a confident writer in English!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Students must bring to class all their written assignments in a timely manner. Students must also be willing to work with a partner to assist them in proofreading, commentary, and other editing tasks. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Sentence combining exercise 1 2. Writing about yourself 3. Focus on simple sentence and basic paragraphs 4. Writing about your family 5. Free Time Activities 6. Writing about Healthy habits 7. Learning how to Give Instructions 8. Using Imperative forms 9. Expressing an Opinion 10. Learning about transitions 11. Describing a place 12. Writing a simple narrative about an experience 13. Summary</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
<p>[ 成績評価方法 ] Class participation (40%), Homework (10%), Written work (including revisions) (50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Ready to Write with Essential Online Resources Book 2, Perfecting Paragraphs Fifth Edition 著者名:Karen Blanchard and Christine Root 出版社:Pearson Education (9780130000000)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[ 授業概要 ] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the first term we will mainly focus on honing our writing skills. Through sentence combining exercises, we will learn how to increase the diversity of our writing by making compound and complex sentences from basic simple sentences. We will also learn how to brainstorm, structure and compose mini essays on a wide variety of topics. Practice makes perfect so expect to do a lot of writing this first term. Write, revise, then write again will make you a confident writer in English!</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Students must bring to class all their written assignments in a timely manner. Students must also be willing to work with a partner to assist them in proofreading, commentary, and other editing tasks. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Sentence combining exercise 1</li> <li>2. Writing about yourself</li> <li>3. Focus on simple sentence and basic paragraphs</li> <li>4. Writing about your family</li> <li>5. Free Time Activities</li> <li>6. Writing about Healthy habits</li> <li>7. Learning how to Give Instructions</li> <li>8. Using Imperative forms</li> <li>9. Expressing an Opinion</li> <li>10. Learning about transitions</li> <li>11. Describing a place</li> <li>12. Writing a simple narrative about an experience</li> <li>13. Summary</li> </ol>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[ 成績評価方法 ] Class participation (40%), Homework (10%), Written work (including revisions) (50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] Ready to Write with Essential Online Resources Book 2, Perfecting Paragraphs Fifth Edition 著者名:Karen Blanchard and Christine Root 出版社:Pearson Education (9780130000000)</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] なし</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	E. ラポーズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[ 授業概要 ] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the second term we will mainly focus on public speaking and presentation skills in English. Using a step by step approach, we will compare and contrast the differences and similarities in giving a presentation in English vs. giving a presentation in Japanese. As the course progresses, students will be able to construct a solid and flowing presentation in both a simple poster style presentation in addition to a technologically advanced one.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Students must prepare in advance of class and be ready to work on their assignments. Preparation includes doing the necessary footwork, research, and data gathering prior to the class. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Introduction to Public Speaking and Oral Presentation 2. Part 1 The Physical Message 3. Posture and Eye Contact 4. Gestures 5. Voice Inflection and Intonation 6. Part 2 The Visual Message 7. Effective Use of Visual Materials 8. Explaining Visuals 9. Part 3 The Story Message 10. Developing a Good Introduction 11. Working on the Main Body of the presentation 12. Wrapping Up – Focus on the Conclusion 13. Summary</p>			



科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	E. ラポータ		
<p>[ 成績評価方法 ]  Class Participation 40%  Oral Presentations 60%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  English Presentations Today 著者名:Christopher Pond 出版社:南雲堂  (978-4-523-17864-4)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし 出版社:なし</p>			

S40090 [ LGH2-002 ]

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[ 授業概要 ] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the second term we will mainly focus on public speaking and presentation skills in English. Using a step by step approach, we will compare and contrast the differences and similarities in giving a presentation in English vs. giving a presentation in Japanese. As the course progresses, students will be able to construct a solid and flowing presentation in both a simple poster style presentation in addition to a technologically advanced one.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Students must prepare in advance of class and be ready to work on their assignments. Preparation includes doing the necessary footwork, research, and data gathering prior to the class. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction to Public Speaking and Oral Presentation</li> <li>2. Part 1 The Physical Message</li> <li>3. Posture and Eye Contact</li> <li>4. Gestures</li> <li>5. Voice Inflection and Intonation</li> <li>6. Part 2 The Visual Message</li> <li>7. Effective Use of Visual Materials</li> <li>8. Explaining Visuals</li> <li>9. Part 3 The Story Message</li> <li>10. Developing a Good Introduction</li> <li>11. Working on the Main Body of the presentation</li> <li>12. Wrapping Up – Focus on the Conclusion</li> <li>13. Summary</li> </ol>			

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[ 成績評価方法 ]  Class Participation 40%  Oral Presentations 60%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Speaking of Speech (premium edition)</p> <p>注意点: Be sure to buy the PREMIUM EDITION by using the ISBN number. There are other editions in print but they are older versions. 著者名: Charles LeBeau 出版社: National Geographic Learning (978-4-86312-385-4)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし 出版社: なし</p>			

S40091 [ LGH2-002 ]

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	E. ラポーズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[ 授業概要 ] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the second term we will mainly focus on public speaking and presentation skills in English. Using a step by step approach, we will compare and contrast the differences and similarities in giving a presentation in English vs. giving a presentation in Japanese. As the course progresses, students will be able to construct a solid and flowing presentation in both a simple poster style presentation in addition to a technologically advanced one.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Students must prepare in advance of class and be ready to work on their assignments. Preparation includes doing the necessary footwork, research, and data gathering prior to the class. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Introduction to Public Speaking and Oral Presentation 2. Part 1 The Physical Message 3. Posture and Eye Contact 4. Gestures 5. Voice Inflection and Intonation 6. Part 2 The Visual Message 7. Effective Use of Visual Materials 8. Explaining Visuals 9. Part 3 The Story Message 10. Developing a Good Introduction 11. Working on the Main Body of the presentation 12. Wrapping Up – Focus on the Conclusion 13. Summary</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	E. ラポータ		
<p>[ 成績評価方法 ]  Class Participation 40%  Oral Presentations 60%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  English Presentations Today 著者名: Christopher Pond 出版社: 南雲堂  (978-4-523-17864-4)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし 出版社: なし</p>			

S40092 [ LGH2-002 ]

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[ 授業概要 ] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the second term we will mainly focus on public speaking and presentation skills in English. Using a step by step approach, we will compare and contrast the differences and similarities in giving a presentation in English vs. giving a presentation in Japanese. As the course progresses, students will be able to construct a solid and flowing presentation in both a simple poster style presentation in addition to a technologically advanced one.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Students must prepare in advance of class and be ready to work on their assignments. Preparation includes doing the necessary footwork, research, and data gathering prior to the class. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Introduction to Public Speaking and Oral Presentation 2. Part 1 The Physical Message 3. Posture and Eye Contact 4. Gestures 5. Voice Inflection and Intonation 6. Part 2 The Visual Message 7. Effective Use of Visual Materials 8. Explaining Visuals 9. Part 3 The Story Message 10. Developing a Good Introduction 11. Working on the Main Body of the presentation 12. Wrapping Up – Focus on the Conclusion 13. Summary</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[ 成績評価方法 ]  Class Participation 40%  Oral Presentations 60%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  Speaking of Speech (premium edition)</p> <p>注意点:Be sure to buy the PREMIUM EDITION by using the ISBN number. There are other editions in print but they are older versions. 著者名:Charles LeBeau 出版社:National Geographic Learning (978-4-86312-385-4)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし 出版社:なし</p>			

S40093 [ LGH2-002 ]

科目名	ビジネス英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

ビジネスで必要とされる基本的な知識や英語表現を学びながら、ビジネスに対する理解を深め、英語で対応できる基礎的な力を養う。

[ 授業概要 ]

テキストを基に、初対面の挨拶や製品の紹介など実際の仕事現場を再現した具体的なやり取りを通じて、リスニング・スピーキングのスキルを訓練する。また、関連記事を読み解き、emailを作成することでビジネスに必要な基本知識や語彙力を身につけ、リーディング・ライティングスキルも強化する。特にemailの作成では、相手との関係性によりformal, semi-formal, casualの3種類のタイプがあることを知り、それらを書き分けることができるように練習する。ダイアログの練習や予備知識・専門知識の確認などの場面では、ペアやグループワークを多用し、受講生間のコミュニケーション能力を高める。さらに、レポート課題や口頭発表によって知識の定着や英語力の強化、プレゼンテーション能力の育成をはかる。授業内外での学びを通じてグローバルな視野を広げ、異文化・風習に対する思考を深めると同時に、自国の文化や風習を見つめ直していく。英語を使用する職場での就職希望者にはもちろん、そうでない者も、将来身近にいる外国人と直接会話をしたり、電話や電子媒体でやり取りをしたりする際にも役立つ内容とする。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

- ・不定期の小レポート作成
  - ・学期に一度の口頭発表の準備(練習)
  - ・日頃から授業に関係するニュースに関心を持ち、「自主的、積極的な学び」を行う
- 以上をふまえ、各回予習復習合わせて2時間程度を目安とする

[ 授業計画 ]

1. Orientation, Unit 1: Introducing Yourself
2. Unit 1: Introducing Yourself
3. Unit 2: Introducing Companies
4. Unit 2: Introducing Companies
5. Unit 3: Explaining Your Role
6. Unit 3: Explaining Your Role
7. Unit 4: Introducing Products
8. Unit 4: Introducing Products
9. Unit 5: Checking Information
10. Unit 5: Checking Information
11. Unit 6: Giving your Opinion
12. Unit 6: Giving your Opinion
13. まとめ



科目名	ビジネス英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
<p>[ 成績評価方法 ] 筆記試験(40%)、口頭発表(20%)、小レポート(20%)、小テストなどの提出物(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験終了後、解答をmanabaに掲載する</li> <li>・口頭発表の点数的な評価は、授業内で説明する評価基準にしたがって講師が行う</li> <li>・小レポートはmanabaにて提出後、受講生同士相互閲覧可能とし、後日授業内またmanabaにて講評を行う</li> </ul> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Go Global グローバル時代のビジネスコミュニケーション 著者名:Garry Pearson, Graham Skerritt, 吉塚 弘 出版社:成美堂 (978-4-7919-7184-8)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	ビジネス英語Ⅱ		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	佐藤 由美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          ビジネスで必要とされる基本的な知識や英語表現を学びながら、ビジネスに対する理解を深め、英語で対応できる基礎的な力を養う。</p> <p>[ 授業概要 ]          前期に引き続き、テキストを基に、ミーティングの取り付け方や行先案内の仕方など実際の仕事現場を再現した具体的なやり取りを通じて、リスニング・スピーキングのスキルを訓練する。また、関連記事を読み解き、emailを作成することでビジネスに必要な基本知識や語彙力を身につけ、リーディング・ライティングスキルも強化する。特にemailの作成では、相手との関係性によりformal, semi-formal, casualの3種類のタイプがあることを知り、それらを書き分けることができるように練習を重ねる。ダイアログの練習や予備知識・専門知識の確認などの場面では、ペアやグループワークを多用し、受講生間のコミュニケーション能力を高める。さらに、レポート課題や口頭発表によって知識の定着や英語力の強化、プレゼンテーション能力の育成をはかる。授業内外での学びを通じてグローバルな視野を広げ、異文化・風習に対する思考を深めると同時に、自国の文化や風習を見つめ直していく。英語を使用する職場での就職希望者にはもちろん、そうでない者も、将来身近にいる外国人と直接会話をしたり、電話や電子媒体でやり取りをしたりする際にも役立つ内容とする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          ・不定期の小レポート作成          ・学期に一度の口頭発表の準備(練習)          ・日頃から授業に関係するニュースに関心を持ち、「自主的、積極的な学び」を行う          以上をふまえ、各回予習復習合わせて2時間程度を目安とする</p> <p>[ 授業計画 ]          1. Orientation, Unit 7: Making Requests          2. Unit 7: Making Requests          3. Unit 8: Asking Permission          4. Unit 8: Asking Permission          5. Unit 9: Making Invitations          6. Unit 9: Making Invitations          7. Unit 10: Making Appointments          8. Unit 10: Making Appointments          9. Unit 11: Cancelling and Rescheduling          10. Unit 11: Cancelling and Rescheduling          11. Unit 12: Describing Locations          12. Unit 12: Describing Locations          13. まとめ</p>				

科目名	ビジネス英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
<p>[ 成績評価方法 ] 筆記試験(40%)、口頭発表(20%)、小レポート(20%)小テストなどの提出物(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験終了後、解答をmanabaに掲載する</li> <li>・口頭発表の点数的な評価は、授業内で説明する評価基準にしたがって講師が行う</li> <li>・小レポートはmanabaにて提出後、受講生同士相互閲覧可能とし、後日授業内またmanabaにて講評を行う</li> </ul> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] Go Global グローバル時代のビジネスコミュニケーション 著者名:Garry Pearson, Graham Skerritt, 吉塚 弘 出版社:成美堂 (978-4-7919-7184-8)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] なし</p>			

科目名	ビジネス情報処理演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	河野 幸		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] Excelを使った実習を通してデータの分析と活用方法を習得することを目標とする。</p> <p>[ 授業概要 ] Excelのピボットテーブルやグラフを利用したデータ傾向の把握、分析ツールを利用した仮説検定など、データ分析の手順を学習します。データ分析に必要な、Excelの関数、グラフ、ピボットテーブル、分析ツールの使いかたも学びます。関数やグラフ、ピボットテーブル、分析ツールを使ったデータの視覚化、現状や傾向の把握、分析の手順や結果の読み取り方などを学び、ビジネスで活用するために必要な知識やスキルの習得を目指します。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] スムーズにタイピングが行えるよう日頃からタイピングソフトなどで練習しておくこと。また、毎回の授業の内容をしっかりと復習しておくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ] 第1回 オリエンテーション・データ分析をはじめる前に 第2回 データの傾向を把握することからはじめよう① 第3回 データの傾向を把握することからはじめよう② 第4回 データを視覚化しよう① 第5回 データを視覚化しよう② 第6回 仮説を立てて検証しよう① 第7回 仮説を立てて検証しよう② 第8回 関係性を分析してビジネスヒントを見つけよう① 第9回 関係性を分析してビジネスヒントを見つけよう② 第10回 シミュレーションして最適な解を探ろう① 第11回 シミュレーションして最適な解を探ろう② 第12回 まとめ① 第13回 まとめ②</p>			

科目名	ビジネス情報処理演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	河野 幸		
<p>[ 成績評価方法 ]  試験(50%)・授業中の課題(30%)・授業態度(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  よくわかる Excelではじめるデータ分析  関数・グラフ・ピボットテーブルから分析ツールまで  Microsoft Excel 2019/2016対応 著者名:富士通エフ・オー・エム 出版社:FOM出版 (978-4-938927-41-7)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	Follow-up English I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] Achieve a greater degree of skill in English.</p> <p>[ 授業概要 ] This course is a tutorial style class for more extensive practice and individual support for the work covered in Intensive English 1A and 1B.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review the previous lesson. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ] 1. Introduction/Essential English 2. Support and additional practice for Unit 1 3. Support and additional practice for Unit 1 4. Support and additional practice for Unit 2 5. Support and additional practice for Unit 2 6. Support and additional practice for Unit 3 7. Support and additional practice for Unit 3 8. Mid term assessment/presentation 9. Support and additional practice for Unit 4 10. Support and additional practice for Unit 4 11. Support and additional practice for Unit 5 12. Support and additional practice for Unit 5 13. Summary</p>			

科目名	Follow-up English I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[ 成績評価方法 ]  Assignments, class work, quizzes, reports, presentations. (50%)  Participation and effort in class (50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  E. ラポーザ:プリント配布No additional texts are required.</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	Follow-up English I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] Achieve a greater degree of skill in English.</p> <p>[ 授業概要 ] This course is a tutorial style class for more extensive practice and individual support for the work covered in Intensive English 1A and 1B.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review the previous lesson. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction/Essential English</li> <li>2. Support and additional practice for Unit 1</li> <li>3. Support and additional practice for Unit 1</li> <li>4. Support and additional practice for Unit 2</li> <li>5. Support and additional practice for Unit 2</li> <li>6. Support and additional practice for Unit 3</li> <li>7. Support and additional practice for Unit 3</li> <li>8. Mid term assessment/presentation</li> <li>9. Support and additional practice for Unit 4</li> <li>10. Support and additional practice for Unit 4</li> <li>11. Support and additional practice for Unit 5</li> <li>12. Support and additional practice for Unit 5</li> <li>13. Summary</li> </ol>			



科目名	Follow-up English I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[ 成績評価方法 ]  Assignments, class work, quizzes, reports, presentations. (50%)  Participation and effort in class (50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  プリント配布No additional texts are required.</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	Follow-up English II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] Achieve a greater degree of skill in English</p> <p>[ 授業概要 ] This course is a tutorial style class for more extensive practice and individual support for the work covered in Intensive English 1A and 1B.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review the previous lesson. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction/Essential English</li> <li>2. Support and additional practice for Unit 7</li> <li>3. Support and additional practice for Unit 7</li> <li>4. Support and additional practice for Unit 8</li> <li>5. Support and additional practice for Unit 8</li> <li>6. Support and additional practice for Unit 9</li> <li>7. Support and additional practice for Unit 9</li> <li>8. Mid term assessment/presentation</li> <li>9. Support and additional practice for Unit 10</li> <li>10. Support and additional practice for Unit 10</li> <li>11. Support and additional practice for Unit 11</li> <li>12. Support and additional practice for Unit 11</li> <li>13. Summary</li> </ol>			

科目名	Follow-up English II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[ 成績評価方法 ]  Assignments, class work, quizzes, reports, presentations. (50%)  Participation and effort in class (50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  E. ラポーザ: プリント配布 No additional texts are required.</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	Follow-up English II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] Achieve a greater degree of skill in English</p> <p>[ 授業概要 ] This course is a tutorial style class for more extensive practice and individual support for the work covered in Intensive English 1A and 1B.</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] Review the previous lesson. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction/Essential English</li> <li>2. Support and additional practice for Unit 7</li> <li>3. Support and additional practice for Unit 7</li> <li>4. Support and additional practice for Unit 8</li> <li>5. Support and additional practice for Unit 8</li> <li>6. Support and additional practice for Unit 9</li> <li>7. Support and additional practice for Unit 9</li> <li>8. Mid term assessment/presentation</li> <li>9. Support and additional practice for Unit 10</li> <li>10. Support and additional practice for Unit 10</li> <li>11. Support and additional practice for Unit 11</li> <li>12. Support and additional practice for Unit 11</li> <li>13. Summary</li> </ol>			

科目名	Follow-up English II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[ 成績評価方法 ]  Assignments, class work, quizzes, reports, presentations. (50%)  Participation and effort in class (50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業中に指示する</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  プリント配布No additional texts are required.</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  なし</p>			

科目名	貿易・投資論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 貿易・投資に関する基礎的な理論と実務の理解。</p> <p>[ 授業概要 ] 情報通信や物流機能の進展に伴い、国境を越えたモノ・サービスの行き来が一層活発になってきている。一方、自由貿易協定やEUといった地域統合の拡大など貿易・投資に関わる各国間の取り組みも多様化している。これら経済のグローバル化に伴う貿易・投資の動きについて、貿易の実務も含めて講義する。講義にあたっては、統計データなどの情報分析にも取り組む。もって創造性の基礎となる国際教養の涵養を図る。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 貿易投資論の基礎概念</li> <li>3. 国際収支からみた貿易・投資の変遷</li> <li>4. 国際貿易のルールと貿易交渉(GATT, WTO)</li> <li>5. 地域貿易協定(FTA, EU)</li> <li>6. 多国籍企業と直接投資</li> <li>7. 発展途上国の貿易政策</li> <li>8. 産業間貿易と産業内貿易</li> <li>9. 労働の国際移動と外国人の受け入れ問題</li> <li>10. 貿易の流れと基礎知識① 輸出</li> <li>11. 貿易の流れと基礎知識② 輸入</li> <li>12. 貿易の流れと基礎知識③ 貿易決済と外国為替相場</li> <li>13. 総括</li> </ol> <p>(学習の効果を高めるために、履修者の理解度に応じて授業計画を調整することも可能)</p>			

科目名	貿易・投資論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[ 成績評価方法 ] 小課題(50%)、期末試験(50%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] プリントを配布する</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 適宜指示する</p>			

科目名	ローカル研究	前期	2 単位
サブタイトル	グローバルとローカルの接点ーフェア・トレードを事例として	講義	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  持続可能な開発目標2030(SDGs)11 持続可能な住みよいまちや地域を軸に、地域で実施されているフェア・トレードやエシカルな行動を理解する。</p> <p>[授業概要]  グローバルな課題の解決には、ローカルな関わりが大きく影響してきます。特に、今回のパンデミックの経験で明らかになったように、グローバルレベルで政策を方針を決定してはいるものの、私たちの身近なローカルレベルでの対策が私たちの生活に影響を及ぼしてくる。  本授業では、グローバルな課題のひとつであるフェア・トレード推進活動について、欧米のフェア・トレード・タウンの取り組みについて理解を深める。ローカルレベルのアクター(都道府県、自治体、民間企業、NGO)の連携について講義した後、教員と履修学生と一緒に調査し、実際に、自治体、民間企業、NGO等を訪問し調査する。訪問日は、土曜日となる可能性もあることを申し添える。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  フェア・トレード・タウン及び欧米の事例について調べる。兵庫県やふるさとの地方自治体のホームページを見て地域協働に関する取り組みを調べるとともに、テレビや新聞などで紹介される地域のニュースを見ること。  ※各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画]  1. 持続可能なまちとはどのようなところか。  2. 世界におけるローカルなエシカル(ethical)活動の動向ー事例研究  3. 都道府県におけるエシカル(ethical)活動  4. 自治体におけるエシカル(ethical)活動  5. 市民主導のエシカル(ethical)活動  6. フェア・トレード・タウンとは何か。  7. 日本のフェア・トレードタウン  8. 神戸におけるフェア・トレードに関わるNGO (学外講師)  9. フェア・トレードと民間企業 (学外講師)  10. フェア・トレードをめぐる協働事例  11. 市民主導のフェア・トレード  12. 大学とフェア・トレード活動  13. 学生によるプレゼンテーション  * フィールドワークに外出することがある。</p>			



科目名	ローカル研究	前期	2 単位
サブタイトル	グローバルとローカルの接点ーフェア・トレードを事例として	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業への積極性(30%)、発表のための調査活動(30%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 講義レジュメ等を適宜利用</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 適宜指示する</p>			

科目名	ローカル研究	前期	2 単位
サブタイトル	グローバルとローカルの接点ーフェア・トレードを事例として	講義	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  持続可能な開発目標2030(SDGs)11 持続可能な住みよいまちや地域を軸に、地域で実施されているフェア・トレードやエシカルな行動を理解する。</p> <p>[ 授業概要 ]  グローバルな課題の解決には、ローカルな関わりが大きく影響してきます。特に、今回のパンデミックの経験で明らかになったように、グローバルレベルで政策を方針を決定してはいるものの、私たちの身近なローカルレベルでの対策が私たちの生活に影響を及ぼしてくる。  本授業では、グローバルな課題のひとつであるフェア・トレード推進活動について、欧米のフェア・トレード・タウンの取り組みについて理解を深める。ローカルレベルのアクター(都道府県、自治体、民間企業、NGO)の連携について講義した後、教員と履修学生と一緒に調査し、実際に、自治体、民間企業、NGO等を訪問し調査する。訪問日は、土曜日となる可能性もあることを申し添える。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  フェア・トレード・タウン及び欧米の事例について調べる。兵庫県やふるさとの地方自治体のホームページを見て地域協働に関する取り組みを調べるとともに、テレビや新聞などで紹介される地域のニュースを見ること。  ※各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要です</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持続可能なまちとはどのようなところか。</li> <li>2. 世界におけるローカルなエシカル(ethical)活動の動向ー事例研究</li> <li>3. 都道府県におけるエシカル(ethical)活動</li> <li>4. 自治体におけるエシカル(ethical)活動</li> <li>5. 市民主導のエシカル(ethical)活動</li> <li>6. フェア・トレード・タウンとは何か。</li> <li>7. 日本のフェア・トレードタウン</li> <li>8. 神戸におけるフェア・トレードに関わるNGO (学外講師)</li> <li>9. フェア・トレードと民間企業 (学外講師)</li> <li>10. フェア・トレードをめぐる協働事例</li> <li>11. 市民主導のフェア・トレード</li> <li>12. 大学とフェア・トレード活動</li> <li>13. 学生によるプレゼンテーション</li> </ol> <p>*フィールドワークに外出することがある。</p>			

科目名	ローカル研究	前期	2 単位
サブタイトル	グローバルとローカルの接点ーフェア・トレードを事例として	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業への積極性(30%)、発表のための調査活動(30%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 講義レジュメ等を適宜利用</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 適宜指示する</p>			